はじめに

このたびは、「Vodafone 903SH」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- Vodafone 903SHをご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- 本書は日本国内向けです。
- 本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。
- 本書を万一紛失または損傷したときは、お問い合わせ先（☞P.19-25）までご連絡ください。
- ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

903SHは、W-CDMA方式とGSM方式に対応しております。

ご注意

- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたらお問い合わせ先（☞P.19-25）までご連絡ください。
- 基本機能に関して、一部日本では提供していないサービスがあります。
  Be related with basic functions, in part, there is service which is not offered in Japan.
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

本書の見かた

本書では、Vodafone 903SHをオープンポジション（☞P.1-11）にした状態での操作を中心に説明しています。
また、本書で記載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。操作の目安としてご利用ください。

マルチガイドボタン

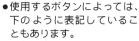
メニュー項目を選択するときやカーソルを移動するとき、画面をスクロールするときなどは、マルチガイドボタンを使用します。

本書では、マルチガイドボタンでの操作を右のように表記しています。

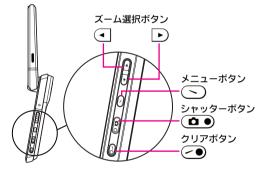
●使用するボタンによっては、下のように表記していることもあります。

■ やを押すとき ……………………

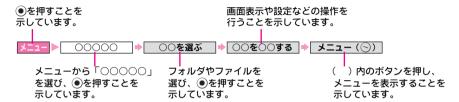
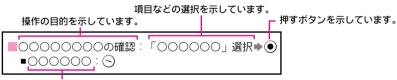
■ やを押すとき ……………………

■ を押すとき …………………

サイドボタン

カメラ機能を使った撮影などでは、903SH側面のボタンを使用します。

本書では、ボタンでの操作を下のように表記しています。

本書の表記

■メニュー操作

目的の操作に至るまでのメニュー操作（◉で始まる操作）は、次のように表記しています。
（白背景の四角はメニューで選択する項目、グレー背景の四角はメニュー選択以外の操作を示しています。）

■補足操作

この「Vodafone 903SH取扱説明書」の本文中においては、「Vodafone 903SH」を「903SH」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

お買い上げ品の確認

■電池パック（SHBAA1）※
（１タイプ　リチウムイオンバッテリー）

■ステレオイヤホンマイク

■急速充電器（SHCAA1）※

■L型ビデオ出力ケーブル※
（SHPU01）

■ユーティリティーソフトウェア
（CD-ROM）

■miniSD™メモリカード（64Mバイト）★

■miniSD™メモリカードアダプタ★

※オプション品としても取り扱いしております。
★試供品です。

補足▶
- その他付属品／オプション品につきましては、お問い合わせ先（☞P.19-25）までご連絡ください。
- 本書では、「miniSD™**メモリカード**」を、以降「**メモリカード**」と記載いたします。

目次

3 文字の入力方法

Contents

4 電話帳

5 TVコール

6 カメラ

7 メディアプレイヤー

Contents

8 メモリカード

9 データフォルダ

10 外部接続

11 その他の設定

Contents

12 ツール

Contents

Contents

13 オプションサービス

Vodafone live!編

14 Vodafone live! をご利用になる前に

15 メール

16 ウェブ

Contents

17 Vアプリ

18 Abridged English Manual

19 付録

Contents

安全上のご注意

- ご使用の前に、「**安全上のご注意**」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
  また、お読みになったあとは必要なときにご覧になれるよう、大切に保管してください。
- ここに示した説明事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ご使用の前に

■絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。
その表示を無視し、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険 **誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う恐れが高い内容を示しています。**

警告 **誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。**

注意 **誤った取り扱いをしたときに、けがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。**

■絵表示の意味

記号は
してはいけないこと（禁止）を表しています。

記号は
しなければならないこと（指示）を表しています。

記号は
気をつける必要があることを表しています。

⚠危険

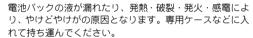
903SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

903SHに使用する充電器および電池パック、卓上ホルダーは、ボーダフォンが指定したものを使用する（☞P.iii）

指定品以外のものを使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂させる原因となります。また、充電器が発熱したり、故障・感電・火災の原因となります。

充電端子どうしを金属などで接触させない

充電端子を針金などの金属類（金属製のストラップなど）で接触させないでください。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

電池パックの液が漏れたり、発熱・破裂・発火・感電により、やけどやけがの原因となります。専用ケースなどに入れて持ち運んでください。

電池パックの取り扱いについて

電池パックを充電するときや、使用する場合は、必ず次のことを守ってください。
正しく使用しないと、電池パックの液が漏れたり、発熱･破裂･発火により､やけどやけがの原因となります。

- 加熱したり、火の中へは投げ込まないでください。
- 分解・改造・破壊しないでください。
- 釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、ハンダ付けをしないでください。
- 外傷､変形の著しい電池パックは使用しないでください。
- 充電するときは、専用の充電器以外は使用しないでください。（☞P.iii）
- 電池パックを903SHに装着する場合、うまく装着できないときは、無理に装着しないでください。
- 火のそばや、ストーブのそば、炎天下など、高温の場所での充電・使用・放置はしないでください。
- 付属品の電池パックは、903SH専用です。
  それ以外の機器には使用しないでください。

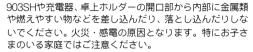
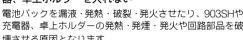
電池パックが漏液して液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

目に障害を与える恐れがあります。

⚠警告

903SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

内部に物や水などを入れない

903SHや充電器、卓上ホルダーの開口部から内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子さまのいる家庭ではご注意ください。

風呂場や雨にあたる所などの、湿気の多い所では使用しない

火災・感電の原因となります。

水などの入った容器を近くに置かない

903SHや充電器、卓上ホルダーの近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

引火、爆発の恐れがある場所では使用しない

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させない

視力傷害の原因になります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

電子レンジや高圧容器に、電池パックや903SH、充電器、卓上ホルダーを入れない

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させたり、903SHや充電器、卓上ホルダーの発熱・発煙・発火や回路部品を破壊させる原因となります。

分解や改造はしない

- 903SHや充電器、卓上ホルダーのキャビネットは、開けないでください。感電やけがの原因となります。
  内部の点検・調整・修理は、ボーダフォンの故障受付窓口にご依頼ください。
- 903SHや充電器、卓上ホルダーを改造しないでください。火災・感電の原因となります。

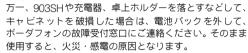
内部に水や異物などが入ったときは

903SHの電源を切って電池パックを取り外し、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いてボーダフォンの故障受付窓口にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠警告

903SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

衝撃を与えない

903SHや充電器、卓上ホルダーを持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えないようにしてください。けがや故障の原因となります。
万一、903SHや充電器、卓上ホルダーを落とすなどして、キャビネットを破損した場合は、電池パックを外して、ボーダフォンの故障受付窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

異常が起きたら

万一、異常な音がしたり、煙が出たり、へんな臭いがするなどの異常な状態に気がついたときは、903SHの電源を切って電池パックを取り外し、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いてボーダフォンの故障受付窓口に修理を依頼してください。
異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

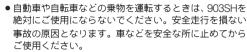
903SHの取り扱いについて

メモリカード、miniSD™メモリカードアダプタを乳幼児の手の届くところに置かない

あやまって飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

903SHの取り扱いについて

事故防止のために

- 自動車や自転車などの乗物を運転するときは、903SHを絶対にご使用にならないでください。安全走行を損ない事故の原因となります。車などを安全な所に止めてからご使用ください。

  道路交通法により、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となります。（2004年11月1日改正施行）
- 自動車やバイク、自転車などの運転中は、ステレオイヤホンマイクを絶対に使わないでください。
  交通事故の原因となります。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げすぎないでください。特に、踏切や横断歩道などでは、十分に気をつけてください。
  交通事故の原因となります。

ステレオイヤホンマイクやストラップを持って903SHを振り回したり、投げない

本人や他人に当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

航空機内では、903SHの電源を切る

電波の影響で航空機の電子精密機器の故障の原因および安全に支障をきたす恐れがあります。

バイブレータや着信音の設定に注意する

心臓の弱い方は、設定にご注意ください。

屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動する

落雷・感電の原因となります。

⚠警告

充電器の取り扱いについて

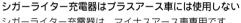
指定以外の電圧では使用しない

指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- **急速充電器**：AC100V～240V
  - ■ 海外での充電に起因するトラブルについては、当社は一切責任を負いません。
- **シガーライター充電器**：DC12／24V

市販の「変圧器」は使用しない

急速充電器を、海外旅行用として市販されている「**変圧器**」などに接続しますと、火災・感電・故障の原因となることがあります。

シガーライター充電器はプラスアース車には使用しない

シガーライター充電器は、マイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。火災の原因となります。

充電器の取り扱いについて

- ぬれた手でプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- タコ足配線はしないでください。発熱により火災の原因となります。
- コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、加工したりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したり、引っぱったりすると、コードが破損し、火災・感電の原因となります。

接続コネクターの端子をショートさせない

接続コネクターの端子を金属類でショートさせないでください。

充電器が発熱したり、発火・感電の原因となります。

卓上ホルダーは自動車内で使用しない

卓上ホルダーを自動車内で使用しないでください。過大な温度と振動により、火災・故障の原因となることがあります。

事故防止のために

シガーライター充電器は、運転に支障のない位置に取り付けてください。取り付けが不十分な場合、落ちたりして、けがや事故の原因となります。

急速充電器コードやシガーライターコードが傷ついたときは

（芯線の露出、断線など）

ボーダフォンの故障受付窓口に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら

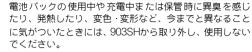
安全のため早めに急速充電器のプラグをACコンセントから抜いておいてください。火災・感電・故障の原因となります。

充電器や卓上ホルダーは、乳幼児の手の届かない所で使用・保管する

感電・けがの原因となります。

⚠警告

電池パックの取り扱いについて

- 充電の際に所定充電時間を超えても充電が完了しないときには、充電をやめてください。発熱・破裂・発火の原因となります。
- 電池パックが漏液したり、異臭がするときには直ちに火気より遠ざけてください。
  漏液した電解液に引火し、発火・破裂する原因となります。

電池パックの使用中や充電中または保管時に異臭を感じたり、発熱したり、変色・変形など、今までと異なることに気がついたときには、903SHから取り外し、使用しないでください。
そのまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。

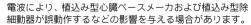
医用電気機器の近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会［平成９年４月］）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人　電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

満員の電車など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、903SHの電源を切るようにしてください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、903SHを持ち込まない。
- 病棟内では903SHの電源を切る。
- ロビー等であっても、付近に医用電気機器がある場合は、903SHの電源を切る。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止等の場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。

自宅療養等医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカ等にご確認ください。

⚠注意

903SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

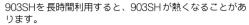
置き場所について

●ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。
●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・事故の原因となることがあります。
●冷気が直接吹きつける所へは置かないでください。露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。
●直射日光が長時間当たる場所（特に密閉した自動車内）や暖房器具の近くには置かないでください。キャビネットが変形・変色したり、火災の原因となることがあります。また、電池パックが変形して、使用できなくなることがあります。
●極端に寒い場所に置かないでください。故障や事故の原因となることがあります。
●火気の近くに置かないでください。故障や事故の原因となることがあります。

使用場所について

●ほこりの多い所では使用しないでください。放熱が悪くなり、焼損・発火の原因となることがあります。
●海辺や砂地など内部に砂の入りやすい所で使用しないでください。故障や事故の原因となることがあります。
●キャッシュカード、テレホンカードなどの磁気を利用したカード類を903SHや充電器に近づけないでください。カードに記録されているデータが消えることがあります。

903SHの取り扱いについて

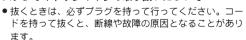
903SHの温度（発熱）について

903SHを長時間利用すると、903SHが熱くなることがあります。
また、903SHを長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。
気温や室温が高い場所では、特にご注意ください。

真夏の自動車内など、高温になる場所には置かない

903SHのキャビネットが熱くなり、やけどの原因となることがあります。

音量の設定について

音量の設定については、十分に気をつけてください。
思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因となることがあります。
また、耳をあまり刺激しないように適度な音量でお楽しみください。

ステレオイヤホンマイクの取り扱いについて

●抜くときは、必ずプラグを持って行ってください。コードを持って抜くと、断線や故障の原因となることがあります。
●プラグはいつもきれいにしておいてください。プラグが汚れていると雑音が出たり、誤動作の原因となることがあります。

自動車内でご使用のとき

903SHを自動車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を及ぼすことがあります。

⚠注意

903SHの取り扱いについて

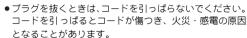
皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめ医師の診断を受ける

下記の箇所に金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

使用箇所	使用材料、表面処理
キャビネット（メインディスプレイ側）	マグネシウム合金／アクリル系焼付け塗装処理（下地：エポキシ系焼付け塗装）
キャビネット（背面側、ディスプレイ下側、操作ボタン側、電池パック側）、電池カバー、ディスプレイ側外周カバー、外部接続端子キャップ	ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
ディスプレイ窓、カメラ透明窓、スモールライト窓、ネジカバー（ディスプレイ上側）	アクリル樹脂
ロゴバッジ	UV硬化樹脂
カメラ飾り	ABS樹脂（クロムメッキ／下地：ニッケル、銅）
ネジカバー（ディスプレイ下側、ヒンジ部、操作ボタン上部）	PET
ネジカバー（開閉当たり部）	ABS樹脂
サイドボタン、マルチガイドボタン（カーソルキー部分）	ABS樹脂（クロムメッキ／下地：ニッケルメッキ）／PC樹脂
マルチガイドボタン（センター部分）	ABS樹脂（クロムメッキ／下地：ニッケルメッキ）
開始ボタン、電源／終了ボタン、ショートカットボタン、クリア／バックボタン、マルチメディアボタン、ダイヤルボタン	PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
メモリカードスロットカバー、イヤホンマイク端子キャップ	エラストマー樹脂、ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
電池パック	PC樹脂
充電端子	ナイロン6T／BRASS、Auメッキ（下地：ニッケル、銅）
ネジ（ディスプレイ側、操作ボタン側、電池パック側）	SWCH12A、Niメッキ
USIMピン	リン青銅＋ニッケルメッキ＋パラジウム・ニッケル合金メッキ＋金メッキ
USIMガイド	SUS

⚠注意

充電器の取り扱いについて

急速充電器コードやシガーライターコードの取り扱いについて

- プラグを抜くときは、コードを引っぱらないでください。コードを引っぱるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
  急速充電器やシガーライターのプラグを持って抜いてください。
- コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。
- ACコンセントやシガーライターソケットへの差し込みがゆるくぐらついていたり、コードやプラグが熱いときは使用を中止してください。
  そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- シガーライターソケットの中は、きれいにしておいてください。灰などで汚れているときは、プラグを接続しないでください。発熱によりやけどの原因となることがあります。

通電中は卓上ホルダーに長時間触らない

低温やけどの原因となります。

指定以外のヒューズは使用しない

シガーライター充電器のヒューズは、1A（アンペア）のものを使用してください。
指定以外のヒューズを使用したり、針金などで代用すると、火災・故障の原因となります。

風通しの悪い場所では使用しない

充電器や卓上ホルダーは風通しのよい状態でご使用ください。
布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。
熱がこもり、キャビネットが変形し、火災の原因となることがあります。

エンジンが切れた状態では使用しない

シガーライター充電器をご使用になるときは、必ずエンジンをかけておいてください。エンジンを切ったまま使用すると、車のバッテリーを消耗させる原因となることがあります。

長期間ご使用にならないとき

安全のため、必ず急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いて、903SHを取り外してください。

お手入れのときは

安全のため、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いて行ってください。感電やけがの原因となることがあります。

シガーライター充電器のケーブル類の配線について

ケーブル類の配線は、運転または車の乗降に支障がないようにご注意ください。けがや事故の原因となることがあります。

⚠注意

電池パックの取り扱いについて

衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
発熱・破裂・発火の原因となることがあります。

電池パックを直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用したり、放置しないでください。
発熱・発火・電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

水や海水などにつけたり、ぬらさないでください。
電池パックの破損や性能・寿命を低下させる原因となることがあります。

電池パックが漏液して液が皮膚や衣類に付着したときには、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りのボーダフォンショップへお持ちください。
電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

電池パックは乳幼児の手の届かない所に保管してください。けがなどの原因となることがあります。また、使用する際にも乳幼児が機器から取り外さないようにご注意ください。

- 電池パックの充電は、周囲温度5℃〜35℃の場所で行ってください。この温度範囲以外で充電すると、漏液や発熱したり、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。
- 電池パックをお子さまがご使用の場合は、保護者が取扱説明書の内容を教えてください。
  また、使用中においても、取扱説明書のとおりに使用しているかどうかをご注意ください。
- 電池パックをはじめてご使用の際に、異臭・発熱や、その他異常と思われたときは、使用しないで、ボーダフォンの故障受付窓口にご連絡ください。
- 電池パックを使い切った状態で、保管・放置はしないでください。
  また、電池パックを長期間保管・放置されるときは、半年に1回程度、電池パックの補充電を行ってください。電池パックが使用できなくなります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 事故や故障などにより903SH／メモリカードに登録したデータ（電話帳・画像・サウンドなど）が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な電話帳などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- 903SHは、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 903SHを公共の場所でご利用いただくときは、まわりの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- 903SHは電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオ等をお使いになっている近くで903SHを使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- **傍受にご注意ください。**
  903SHは、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときには第三者が故意に傍受するケースもまったくないとは言えません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。
  傍受（ぼうじゅ）とは
  無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

自動車内でのご使用にあたって

- 運転中は、903SHを絶対にご使用にならないでください。
- 903SHをご使用になるために、禁止された場所に駐停車しないでください。
- 903SHを車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を与えることがありますので、ご注意ください。

航空機の機内でのご使用について

- 航空機の機内では、絶対にご使用にならないでください。（電源も入れないでください。）
  運航の安全に支障をきたす恐れがあります。

お取り扱いについて

- 903SHの電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 903SHは温度：5℃～35℃、湿度：35%～85%の範囲でご使用ください。
  極端な高温や低温環境、直射日光のあたる場所でのご使用、保管は避けてください。
- カメラ部分に、直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。
- 903SHを落下させたり衝撃を与えたりしないでください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などでふいてください。
  また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 雨や雪、湿気の多い場所でご使用になるときは、水にぬらさないよう十分ご注意ください。
- 903SHは精密部品で作られた無線通信装置です。
  絶対に分解、改造はしないでください。
- 903SHのディスプレイを堅いものでこすったり、傷つけないようご注意ください。
- 903SHを閉じるときは、ストラップなどを挟まないでください。ディスプレイを破損する原因となります。
- ステレオヘッドホンの中には開放型のものがあり、音が外にもれることがあります。
  周囲の人の迷惑にならないようにご注意ください。
- **903SHは防水仕様にはなっていません。**
  水にぬらしたり、湿度の高い所に置かないでください。
  - ■雨の日にバッグの外のポケットに入れたり、手で持ち歩かないでください。
  - ■エアコンの吹き出し口に置かないでください。急激な温度変化により結露し、内部が腐食する原因となります。
  - ■洗面所などでは衣服に入れないでください。ポケットなどに入れて、身体をかがめたりすると、洗面所に落としたり、水でぬらす原因となります。
  - ■海辺などに持ち出すときは、海水がかかったり直射日光が当たらないように、バッグなどに入れてください。
  - ■汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れないでください。手や身体の汗が903SHの内部に浸透し、故障の原因になる場合があります。
- **903SHに無理な力がかかるような場所には置かないでください。**
  故障やけがの原因となります。
  - ■903SHをズボンやスカートの前、または後ろのポケットに入れたまま、しゃがみこんだり座席や椅子などに座らないでください。特に、厚い生地の衣服のときはご注意ください。
  - ■荷物の詰まった鞄などに入れるときは、重たいものの下にならないようにご注意ください。
- 903SHのイヤホンマイク端子に指定品以外の商品は取り付けないでください。誤動作を起こしたり、903SHを傷めることがあります。
- 電池パックを取り外すときは、必ず903SHの電源を切ってから取り外してください。
  データの登録やメールの送信等の動作中に電池パックを取り外さないでください。データの消失・変化・破損などの恐れがあります。

著作権等について

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「**著作権侵害**」「**著作者人格権侵害**」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

動画の撮影／再生の技術には「MPEG-4」が使われています。

This product is licensed under the MPEG-4 Visual Patent Portfolio License for the personal and non-commercial use of a consumer to (i) encode video in compliance with the MPEG-4 Video Standard ("MPEG-4 Video") and/or (ii) decode MPEG-4 Video that was encoded by a consumer engaged in a personal and non-commercial activity and/or was obtained from a licensed video provider. No license is granted or implied for any other use.

Additional information may be obtained from MPEG LA.
See http://www.mpegla.com.
This product is licensed under the MPEG-4 Systems Patent Portfolio License for encoding in compliance with the MPEG-4 Systems Standard, except that an additional license and payment of royalties are necessary for encoding in connection with (i) data stored or replicated in physical media which is paid for on a title by title basis and/or (ii) data which is paid for on a title by title basis and is transmitted to an end user for permanent storage and/or use. Such additional license may be obtained from MPEG LA, LLC.
See http://www.mpegla.com for additional details.

- Microsoft、MS、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他の記載している会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。
- Windows Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語の略です。
- Windows 98 SEは、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system 日本語の略です。
- Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語の略です。
- Windows XPは、Microsoft® Windows® XP operating system 日本語の略です。

QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

この製品では、株式会社アプリックスがJava™アプリケーションの実行速度が速くなるように設計したJBlend™が搭載されています。
Powered by JBlend™ .Copyright 1997-2005 Aplix Corporation.
All rights reserved.

JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
JavaおよびJavaに関連する商標は、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。

miniSD™はSDアソシエーションの商標です。

着うた®は、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

下記の１件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United
States Patents and/or their counterparts in other nations ;

4,901,307	5,490,165	5,056,109	5,504,773	5,101,501
5,506,865	5,109,390	5,511,073	5,228,054	5,535,239
5,267,261	5,544,196	5,267,262	5,568,483	5,337,338
5,600,754	5,414,796	5,657,420	5,416,797	5,659,569
5,710,784	5,778,338			

Bluetooth is a trademark of the Bluetooth SIG, Inc.

Bluetooth®

The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Sharp is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

Powered by Mascot Capsule®/Micro3D Edition™
Mascot Capsule® is a registered trademark of HI Corporation
©2002-2005 HI Corporation. All Rights Reserved.

本製品は Macromedia, Inc. が開発した Macromedia® FLash Lite™ テクノロジーを搭載しています。
Copyright © 1995-2005 Macromedia, Inc. All rights reserved. Macromedia, Flash, Flash Lite, Macromedia Flash, Macromedia Flash Lite は Macromedia, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Apple, Mac, Macintoshは、米国Apple Computer, Inc.の登録商標です。

Portions of this product are protected under copyright law and are provided under license by ARIS/SOLANA/4C.

MPEG Layer- 3 オーディオコーディング技術はFraunhofer IIS及び Thomson から実施許諾されています。

903SH のBluetooth®機能の周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ライン等で使用されている構内無線局、アマチュア無線局など（以下、「**他の無線局**」と略す）が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

1 Bluetooth®機能を使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「**他の無線局**」が運用されていないことを確認してください。
2 万一、Bluetooth®機能の使用にあたり、903SHと「**他の無線局**」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Bluetooth®機能の使用を停止（電波の発射を停止）してください。
3 その他不明な点やお困りのことが起きたときには、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：ボーダフォン株式会社　お客さまセンター
ボーダフォン携帯電話から　157（無料）
※一般電話からおかけの場合、「**お問い合わせ先**」（☞P.19-25）を参照してください。

- この無線機器は、2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10m以下です。

2.4FH1

CP8 PATENT

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

- **この機種【903SH】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。**
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが２W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。
- この携帯電話機【903SH】のSARは、0.55W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
- SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。
  - ■総務省のホームページ
    http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
  - ■社団法人電波産業会のホームページ
    http://www.arib-emf.org/index02.html

※技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

ご利用になる前に

代表的な機能

● の利用には、メモリカードが必要です。

USIMカード対応 電話番号などの情報が書き込まれたカードです。USIMカード対応のボーダフォン携帯電話で利用できます。 P.1-4	**4つのポジション** ディスプレイ部分が180度回転して、使い方に応じて4つのポジションが選べます。 P.1-11、P.1-12	**国際ローミング対応** W-CDMA方式とGSM方式に対応しており、日本国内／海外を1つの電話番号でご利用いただけます。 P.2-16
マナーモード ボタン1つで着信音を鳴らさないようにしたり、簡易留守録を設定できます。 P.2-18	**電話帳** 最大500件（1件につき電話番号とE-mailアドレス各3件：903SHに登録時）まで登録できます。 P.4-2	**TVコール** お客様ご自身と相手の映像を見ながら、通話できます。 P.5-2
カメラ 内蔵のカメラで静止画や動画を撮影できます。モバイルライト撮影も可能です。 P.6-2	**メディアプレイヤー** ダウンロードした音楽や動画、撮影した動画を再生できます。 P.7-2	**メモリカード** 静止画や動画など、各種データをメモリカードに保存できます。 P.8-2
データフォルダ 静止画や動画、メロディ、アニメなど、各種データをまとめて管理できます。 P.9-2	**Bluetooth通信／赤外線通信** Bluetooth通信／赤外線通信を利用して他機器との接続やデータのやりとりができます。 P.10-2、P.10-9	**ユーティリティーソフトウェア** 付属のユーティリティーソフトウェアをパソコンにインストールして、パソコンと接続できます。 P.10-14

ディスプレイ設定
壁紙や画面ピクチャー、文字表示などを設定できます。
P.11-5

カスタムスクリーン
903SHを利用中に表示される各画面を、お好みの形式に一括して変更できます。
P.11-6

Language／言語選択
メニューや各種メッセージを英語表示に切り替えられます。
P.11-7

外部出力
テレビなどで、静止画／動画やゲーム画面などを見ることができます。
P.11-7

カレンダー／予定リスト
時間や期限の決まった予定を登録して、スケジュール管理を行えます。
P.12-2、P.12-6

ボイスレコーダー
903SHで音声を録音／再生したり、録音した音声をメールで送信できます。
P.12-13

バーコード
バーコードを読み取ったり、電話帳などからバーコードを作成できます。
P.12-15、P.12-18

電子ブック
メモリカード内の電子書籍データ（XMDF形式）を、閲覧できます。
P.12-23

Vodafone live!（ボーダフォンライブ！）
メール（SMS／MMS）、ウェブ、Vアプリの各機能が利用できます。
P.14-2

オプションサービス

転送電話サービス
かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します。
P.13-2

留守番電話サービス
電話に出られないとき、相手のメッセージをお預かりします。
P.13-4

割込通話サービス
通話中にかかってきた電話を受けられます。
P.13-5

多者通話サービス
複数で同時に通話したり、相手を切り替えながら通話できます。
P.13-6

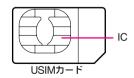
発着信規制サービス
電話をかけたり、電話を受けたりすることを制限できます。
P.13-7

発信者番号通知サービス
お客様の電話番号を相手に通知したり、非通知に設定できます。
P.13-10

USIMカードのお取り扱い

USIMカードをご利用になる前に

USIM（ユーシム）カード（以下「**USIMカード**」）は、電話番号やお客様情報が入ったICカードです。USIMカード対応のボーダフォン携帯電話に取り付けて使用します。USIMカードが取り付けられていないときは、電話の発着信、メール、ウェブなどの機能が利用できません。

- USIMカードの詳細については、USIMカードに付属の説明書を参照してください。
- USIMカードには電話帳を保存できます。（☞P.4-3）
- USIMカードに保存したデータは、他のUSIMカード対応のボーダフォン携帯電話でもご利用いただけます。
- USIMカードの取り付け、および取り外し時には、必要以上に力を入れないようにしてください。
- 他社製品のICカードリーダーなどに、USIMカードを挿入し故障したときは、お客様ご自身の責任となり当社では一切責任を負いかねますのでご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは乾いた柔らかい布などでふいてください。
- USIMカードにラベルなどを貼り付けないでください。故障の原因となります。

USIMカード

903SHを落としたり、強い衝撃を与えたとき

USIMカードを正しく認識しなくなることがあります。そのとき、自動的に電源が切れ、再度電源が入ることがありますが、故障ではありません。
また、ディスプレイに「**USIMカード未挿入**」とメッセージが表示されたときは、電源を切り、USIMカードが正しく装着されているか確認のうえ、電源を入れ直してください。

USIMカードについてのその他ご注意

- USIMカードの所有権は当社に帰属します。
- 紛失・破損などによるUSIMカードの再発行は有償となります。
- 解約・休止などの際は、USIMカードを当社にご返却ください。
- お客様からご返却いただいたUSIMカードは、環境保全のためリサイクルされています。
- USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。ご了承ください。
- お客様ご自身でUSIMカードに登録された情報内容は、別途、メモなどに控えて保管することをおすすめします。万一、登録された情報内容が消失した場合でも、当社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。

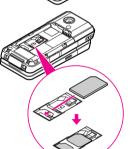
USIMカードを取り付ける/取り外す

- 電池パックは、必ず電源を切ってから取り外してください。
- 903SHを操作したすぐあとは、電池パックを取り外さないでください。

取り付ける

1 電池パックを取り外す。
(☞P.1-18)

2 金色のIC部分を下側にして、USIMカードを矢印方向にスライドさせる。

3 電池パックを取り付ける。(☞P.1-18)

取り外す

1 電池パックを取り外す。
(☞P.1-18)

2 ツメを①の方向に押し、USIMカードを軽く押しながら、ゆっくりと②の方向にスライドさせる。

3 電池パックを取り付ける。(☞P.1-18)

注意
- 無理に取り付けたり、取り外すと、USIMカードや903SHが破損することがありますので、ご注意ください。
- 取り外したUSIMカードは紛失しないよう、ご注意ください。
- USIMカードの取り付け/取り外しを行うときは、IC部分に不用意に触れたり、傷を付けたりしないでください。IC部分に汚れなどが付着すると、USIMカードを正しく認識しなくなることがあります。
  そのときは、「**USIMカード未挿入**」のメッセージが表示されたり、自動的に電源が切れ、再度電源が入ることがありますが、故障ではありません。
  また、電池パックとの接点部分にも触れないようにしてください。

PINコード

USIMカードには、「**PIN 1 コード**」と「**PIN 2 コード**」という２つの暗証番号があります。

PIN 1 コード

第三者によるボーダフォン携帯電話の無断使用を防ぐための４～８ケタの暗証番号です。
- お買い上げ時には、「**9999**」に設定されています。
- PIN 1 コードは、変更することもできます。（☞P.11-13）
- 「**PIN On／Off設定**」（☞P.11-13）を「**On**」に設定すると、USIMカードを903SHに取り付けて電源を入れたとき、PIN 1 コードを入力しないと903SHを使用することができなくなります。

PIN 2 コード

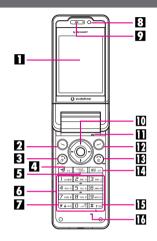
「**累積通話料金**」のリセットや「**通話料金上限設定**」に使用する暗証番号です。
- お買い上げ時には、「**9999**」に設定されています。
- PIN 2 コードは、変更することもできます。（☞P.11-13）

PINロック解除コード（PUKコード）

PIN 1 コードまたはPIN 2 コードの入力を３回続けて間違うと、「**PIN 1 ロック**」または「**PIN 2 ロック**」が設定されます。PINロックは「**PINロック解除コード（PUKコード）**」を入力することで、解除できます。（☞P.11-13）
- PINロック解除コードについては、お問い合わせ先（☞P.19-25）までご連絡ください。

注意▶
- PIN ロック解除コードの入力を 10 回続けて間違えると、USIM カードがロックされ、903SH が使用できなくなります。PINロック解除コードはメモに控えるなどして、お忘れにならないようにご注意ください。
- USIMカードがロックされたときは、ロックを解除する方法がなくなります。お問い合わせ先（☞P.19-25）までご連絡ください。
- PIN認証中の「**110**」などの緊急電話発信については、P.2-22「**緊急電話発信について**」を参照してください。

各部の名称と機能

本体

1 ディスプレイ

2 左ソフトボタン

画面左下のソフトキーを利用するときや、メールを利用するときに使用します。

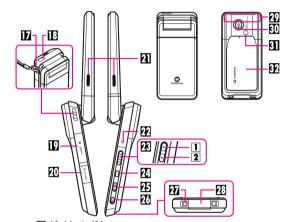
3 開始ボタン

電話をかけるときや受けるときに使用します。

4 ショートカットボタン

ショートカットリストを表示するときなどに使用します。

5 クリアボタン

入力した電話番号、文字などを削除するときや、各種メニューをキャンセルするときなどに使用します。

6 ダイヤルボタン

電話番号や文字の入力などを行うときに使用します。

7 ＊／誤動作防止ボタン

誤動作防止を設定／解除するときに使用します。
（1 秒以上長押し）

8 インカメラ

TVコール利用時、ここから撮影した画像が相手に送られます。

9 レシーバー（受話口）

10 マルチガイドボタン

メニュー項目の選択や決定、カーソルの移動、画面をスクロールするときなどに使用します。

⑪マイク（送話口）
ビューアポジション時に、お客様の声をここから伝えます。

⑫右ソフトボタン
画面右下のソフトキーを利用するときや、ウェブを利用するときに使用します。

⑬電源／終了ボタン
電源のON／OFFを行うときに使用します。（２秒以上長押し）

⑭マルチメディア／文字ボタン
メディアプレイヤーを起動したり、文字の入力モードを切り替えるときに使用します。

⑮♯ボタン
- 短押し：文字入力中、絵文字リストや記号リストなどを表示するときに使用します。
- 長押し：マナーモードを設定／解除するときに使用します。

⑯マイク（送話口）

⑰ストラップ取り付け穴

⑱赤外線ポート

⑲メモリカードスロット

⑳VIDEO OUT／イヤホンマイク端子／光デジタル・ライン入力端子
ビデオ出力ケーブルやステレオイヤホンマイクなどを接続する端子です。

㉑スピーカー

㉒スモールライト
充電中に赤色で点灯します。

㉓ズーム／選択ボタン
メニュー項目を選択するときやカーソルを移動するときに使用します。
1上へ移動します。　2下へ移動します。

㉔メニューボタン
画面左下のソフトキーを利用するときに使用します。

㉕シャッターボタン
- 短押し：ビューアポジション時に、メニュー項目を選択／実行するときに使用します。
- 長押し：カメラを起動するときに使用します。

㉖クリアボタン
- 短押し：ビューアポジション時に、各種メニュー操作をキャンセルするときに使用します。

㉗充電端子

㉘外部機器端子
急速充電器やシガーライター充電器などを接続する端子です。

㉙内蔵アンテナ

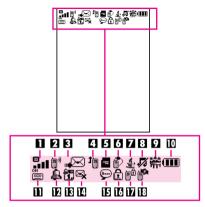
㉚アウトカメラ（レンズカバー）
カメラで、ここからの画像を撮影します。

㉛モバイルライト
電話がかかってくると設定したカラーパターンで点滅します。カメラでは、モバイルライト撮影に利用できます。また、待受中にはスポットライトとして利用できます。

㉜電池カバー

注意▶ **内蔵アンテナについて**
- 903SHは内蔵アンテナで送受信するため、外部アンテナはありません。
- 内蔵アンテナ部分は、手で覆ったりすると感度に影響しますのでご注意ください。また、内蔵アンテナ部分にシールなどを貼らないでください。ご使用中の体の向きや通話している場所によっては、通話品質が変わることがあります。
- 電波の弱い場所では、クローズポジション（☞P.1-11）での待ち受けをおすすめします。また、ビューアポジションでの通話中に音が途切れるなど、通話状態が悪いときは、オープンポジション（☞P.1-11）でお話しください。
- 金属性のストラップを取りつけないでください。内蔵アンテナの感度に影響します。

補足▶ P.1-7～P.1-8の操作方法は代表的なものを記載しています。ビューアポジション時やカメラの動作など、詳しい操作方法については、各機能を参照してください。

ディスプレイ

1（**3Gモード電波状態表示**）／
（**GSMモード電波状態表示**）
3Gサービス圏内：　GSMサービス圏内：
「」の棒の数が多いほど、電波の状態が良好です。
：強　：中　：弱　：微弱　圏外：圏外

2（**音声電話着信表示**）／／（**パケット通信状態表示**）／
（**音声電話通話中表示**）／（**TVコール通話中表示**）／
（**オフラインモード表示**）
パケット通信利用可能時：　パケット通信中：
音声電話着信時：　音声電話通話中：
TVコール通話中：　オフラインモード時：

3（**メール受信表示**）／（**メモリ容量フル表示**）
メール受信表示：
メモリの空き容量不足で受信できなかったとき：（赤）
（**メール受信中表示**）／（**メール送信中表示**）
メール受信中：　メール送信中：

4（**転送表示**）／（**ウェブ着信表示**）
転送電話サービス／留守番電話サービスの「**呼出なし**」が「**音声通話**」に設定時：
ウェブ着信時：

5／／／（**メモリカード状態表示**）
取り付け中：　使用中：　フォーマット中：
使用不可能時：

6／／／／／（**外部通信表示**）
USB通信可能：　赤外線通信接続中（矢印赤）：
赤外線通信データ送受信中：
Bluetooth通信可能：　Bluetooth通信中：
Bluetooth通話中：

7（**Vアプリ起動中表示／Vアプリ一時停止中表示**）／
（**音楽再生中表示**）／（**SSL表示**）
Vアプリ起動中：　Vアプリ一時停止中：（グレー）
音楽再生中：
SSL対応の情報画面表示中：

8（サイレント表示）／（ステップトーン表示）／（バイブレータ表示）／（スピーカーホン表示）／（マイクミュート表示）
通常着信音（サイレント）：
通常着信音（ステップトーン）：
バイブレータ設定時：（サイレントでバイブレータ設定時は「」が表示されます。）
スピーカーホン通話時：
マイクミュート中：

9／／／／（モード表示）
モードを設定しているときに表示されます。
ミーティングモード：　アクティブモード：
運転中モード：　ヘッドセットモード：
マナーモード：

10（電池残量表示）／（スポットライト表示）
電池パックの残量（電池レベル）の目安が表示されます。画面によっては「」で表示されます。また、スポットライト点灯時は「」と「」が交互に表示されます。

11（留守表示）／（録音表示）
簡易留守録設定時：
用件録音時：（簡易留守録解除時：）

12（アラーム表示）
アラームが設定されているときに表示されます。

13／（予定表示）
予定が設定されている日に、まだ設定時刻になっていない予定（アラームON時：／アラームOFF時：）があることをお知らせします。

14（送信失敗表示）
送信に失敗したメールがあるときに表示されます。

15（メッセージお預かり表示）
留守番電話センターに伝言メッセージが入っているときに表示されます。

16（シークレットモード表示）
シークレットモードのときに表示されます。

17（ダイヤル操作禁止表示）／（誤動作防止表示）
ダイヤル操作禁止設定時：　誤動作防止設定時：

18（赤外線通信可能表示：矢印グレー）

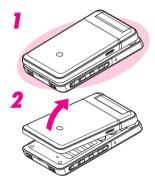
903SHのお取り扱い

903SHは使い方に応じて、４つのポジションが選べます。

●本書では、「**オープンポジション**」を中心に操作の説明をします。ただし、カメラ（☞P.6-2）の操作は「**ビューアポジション**」を中心に説明します。

４つのポジションから選ぶ

●ポジションを変更するときは、両手で持ってゆっくりと操作してください。力を入れすぎると、破損の原因になります。

クローズポジション

ディスプレイ部分を内側にして、２つ折りにした状態です。（お買い上げ時の状態です。）

●携帯するときにおすすめします。

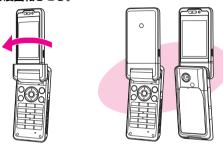
オープンポジション

ディスプレイを見ながら、ダイヤルボタン操作をするときの状態です。

●通話や文字入力などに適しています。

セルフショットポジション

4 **ディスプレイ部分を右回りに180度回転させる。**

5

ディスプレイを見ながら、ダイヤルボタンを使ってカメラ操作をするときの状態です。

- 自画撮影など、ディスプレイで画像を確認しながらの撮影に適しています。

注意▶
- 通話することはできません。通話するときは、オープンポジションまたはビューアポジションに変更してください。
- セルフショットポジションに変更するときは、ディスプレイ部分を左回りに回転させることはできません。

ビューアポジション

6 **ディスプレイ部分を閉じる。**

7

ディスプレイ部分を外側にして、2つ折りにした状態です。［カメラ（☞P.6-2）が自動的に起動します。］

- セルフショットポジション時、ディスプレイを待受画面にしていないときは、ビューアポジションにしてもカメラは自動的に起動しません。（セルフショットポジション時にカメラを起動しているときは、ビューアポジションにしてもそのままカメラを利用できます。）
- (📷●)、(～)、(～●)、◀、▶を使って、オープンポジションとほぼ同様に基本的な操作ができます。

注意▶ ビューアポジションのまま携帯しないでください。ディスプレイを破損する恐れがあります。

補足▶ ビューアポジションにしたとき、カメラが自動的に起動しない（待受画面を表示する）ように設定できます。（☞P.6-20）

ボタンの押し方

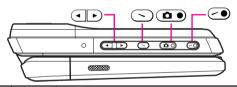
一部のボタンでは、押し方によっていくつかの機能が利用できます。

短押し※	軽く押します。(本書でのボタン操作の基本的な押し方です。)	**押し切り(カメラボタンだけの操作)**	軽く押したあと、さらに押し切ります。カメラの撮影操作で使用します。
長押し	押し続けます。		

※本書では、ことわりがない限り「**短押し**」は「**押す**」と記載しています。

ビューアポジション時のボタン操作

ビューアポジション時には、カメラボタン、メールボタン、電源ボタン、◀、▶の各ボタンを使って操作します。

待受画面での操作

ボタン	押し方	操作
カメラボタン	長押し	カメラ起動
	短押し	メインメニュー表示
メールボタン	短押し	−
電源ボタン	長押し	スポットライト点灯
◀ ▶	短押し	受話音量変更

待受画面以外での操作(着信中、通話中、カメラ、Vアプリを除く)

各ボタンは次のように、オープンポジション時のボタンと対応しており、基本的な操作はオープンポジション時とほぼ同様に行えます。

ビューアポジション時のボタン		オープンポジション時のボタン
カメラボタン	短押し	●
メールボタン	短押し	メール
電源ボタン	長押し	電源
	短押し	終話
▶	短押し	下または右※
◀	短押し	上または左※

※動作する方向は、表示される画面によって異なります。

補足▶
- ●ビューアポジションで操作するときは、対応するボタンに置き換えてお読みください。
- ●カメラ利用時の操作については、☞P.6-4「**カメラで使用するボタン**」を参照してください。

電池パックと充電器のお取り扱い

電池パックと充電器をご利用になる前に

はじめてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときは、必ず充電してお使いください。

電池パックの寿命について

- 極端な低温／高温の状態では、使用／保存しないでください。極端な温度の状態では、劣化が進行し、本来の容量が得られなくなります。
  ※推奨使用温度：5℃～35℃
- 指定以外の充電器で充電しないでください。指定以外の充電器を使用すると、充電制御回路が不適だったり、充電制御回路が内蔵されていない場合があり、電池パックを劣化させるばかりか、非常に危険な状態（発火、発熱など）となる可能性があります。また、完全に充電できない、電源が入らない等の原因になることがあります。
- 電池パックは消耗品です。電池パックを完全に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。

充電を行うときは

- 充電器を電池パックの充電以外に使用しないでください。
- 電池パックの金属部分（充電端子）を針金などの金属類でショートさせると大電流が流れて発熱したり、破損しますので、取り扱いにはご注意ください。
- 充電が開始されるとスモールライトが赤色点灯します。（電源OFF時に充電する場合は、スモールライトが点灯するまでにしばらく時間がかかることがあります。）
- 充電時間は約140分です。
  ■ **常温（電源OFF時）での充電時間の目安です。周囲温度によって充電時間は異なります。**
- 充電中、充電器や電池パック、903SHがあたたかくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 充電器を使用中、ご家庭でお使いのテレビやラジオなどに雑音が入る場合は、充電器をご家庭でお使いのテレビやラジオから雑音の入らない場所まで遠ざけてください。

充電時のご注意

- 電池パックや903SH、充電器の金属部分（充電端子）が汚れると、接触が悪くなり、電源が切れたり、充電できないことがあります。汚れたら、乾いたきれいな綿棒で清掃をしてからご使用ください。
- 次のような場所でのご使用は避けてください。
  ■ 極端な高温や低温環境
  ■ 湿気、ほこり、振動の多い場所
  ■ 直射日光のあたる場所
- 電池パックを使い切った状態で、保管・放置はしないでください。また、電池パックを長期間保管・放置されるときは、半年に1回程度、電池パックの補充電を行ってください。
  電池パックが使用できなくなることがあります。
- 電池パック単体を持ち運ぶときは、袋などに入れてください。

補足▶
- 電池パック単体で充電することはできません。903SHに電池パックを取り付けた状態で充電を行ってください。
- 電源を入れて、待受状態でも充電することができます。電源を入れて充電したとき、充電中は「▮▮▮」が点滅します。充電が完了すると、点灯に変わります。
- 903SHを開いた状態でも充電することができます。

完全に充電したときの利用可能時間

連続通話時間	約150分（3Gモード）／約240分（GSMモード）
連続待受時間	約300時間（3Gモード）／約290時間（GSMモード）
連続操作時間	約６時間
連続再生時間	約６時間
TVコール 連続通話時間	約90分

※上記の各利用可能時間は、パネル明るさ調整が「**明るさ３**」（お買い上げ時）に設定されているときの時間です。

- 連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。
- 連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、903SHをクローズポジションにした状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所（ビル内、車内、カバンの中など）や、圏外表示の状態での待受では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境（充電状態、気温など）によっては、ご利用可能時間が変動することがあります。
- 連続操作時間とは、通話をしないで連続して903SHを操作し続けたときの利用可能時間です。
- 連続再生時間とは、オフラインモードで連続して音楽（ミュージック）を再生し続けたときの利用可能時間です。
- 電池パックの利用可能時間は電波が安定した状態で算出した当社計算値です。

電池パックの持ちについて

次のような使用や操作をされた場合は、電池パックの消耗が早いため、電池パックの利用可能時間が短くなります。

- **使用環境**
  - ■極端な低温／高温の状態で使用／保存されているとき（周囲温度５℃～35℃の場所でお使いください。）
  - ■903SHや電池パック、充電器の充電端子が汚れているとき（充電端子が汚れていると、接触が悪くなり正常に充電できなくなります。）
  - ■電波の弱い場所で通話しているときや圏外表示で待受にしているとき（なるべく電波状態の良い環境でお使いください。）
- **操作**
  - ■Vアプリを起動しているとき
  - ■カメラ撮影／バーコード読み取りを多く使用したとき
  - ■モバイルライト撮影を多く使用したとき
  - ■動画を再生したとき
  - ■スポットライトを多く使用したとき
  - ■メール作成などの連続したボタン操作（照明の点灯時間が長くなる）を多くしたとき
  - ■音楽（ミュージック）を再生したり、ボイスレコーダーを録音／再生したとき
  - ■Bluetooth通信を多く使用したとき
  - ■赤外線通信を多く使用したとき
  - ■903SHのポジションを頻繁に変更したとき
- **設定**
  - ■ディスプレイ表示やバックライトの点灯時間を長く設定したとき
  - ■パネル照明を明るくなるように調整したとき
  - ■Bluetooth機能を「On」に設定しているとき

電池パックの消耗を軽減するには

ディスプレイの照明設定（☞P.11-7）を変更していただくと、電池パックの消耗を軽減できます。

●ディスプレイ表示やバックライトの点灯時間を短くするなど、設定を変更してください。

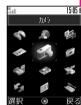
電池が切れたら

●電池交換のメッセージが表示され、電池アラーム音が「**ピピピ**…」と鳴り、約20秒後に電源が切れます。（20秒以内に充電を開始したときは、電源は切れません。）
電池アラーム音が鳴っているときに⦾を押すと、電池アラーム音は鳴りやみます。電池パックを充電してください。
（マナーモード設定時には、電池アラーム音は鳴りません。）
また、通話中に電池が切れたときは、電池アラーム音「**ピピ**」と断続音が約5秒間隔で鳴ります。約20秒後に通話が切れ、そのあと電源が切れます。電池パックを充電してください。

不要になった電池パックは

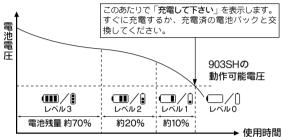
●不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。
端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りのボーダフォンショップへお持ちください。
電池を分別している市町村の場合は、その規則に従って処理してください。

電池レベル表示の確認

電池レベルを４段階で表示します

●「▭」または「▯」になると充電することをおすすめする確認メッセージが表示され、電池アラーム音が鳴り、約20秒後に電源が切れます。

■電池レベル表示について

電池レベル表示は、ご使用の時間経過とともに次のように変化します。

ディスプレイの電池レベル表示とメッセージをご確認のうえ、充電または電池パック交換の目安にしてください。

電池残量の目安（常温：25℃で使用した場合の例）

■ご使用の温度条件によって上図の電池レベル表示は次のように変化します

低温下では、レベル1が早めに表示されます。

高温下では、レベル1が遅めに表示されます。

注意▶
- 上記の電池レベル表示は電池残量の目安です。
- 電池レベル表示がレベル1になると、音楽の再生、ボイスレコーダーの録音、動画の撮影など利用できない機能があります。（☞P.7-7、P.12-13、P.6-14）

スモールライト／電池レベル表示

スモールライトや電池レベル表示は、次のような状態をお知らせします。

■電源が入っているとき

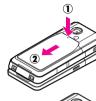
スモールライト	電池レベル表示（▯／▯）	状態
消灯	点滅	周囲温度が5℃～35℃以外、電池残量なし
赤色点滅	点滅	電池パックの寿命、異常
赤色点灯	点滅	充電中
消灯	点灯	充電完了、待受中

■電源が切れているとき

スモールライト	電池レベル表示（▯／▯）	状態
消灯	消灯	周囲温度が5℃～35℃以外、電池残量なし
赤色点滅	消灯	電池パックの寿命、異常
赤色点灯	消灯	充電中
消灯	消灯	充電完了

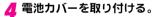
電池パックを取り付ける／取り外す

取り付ける

1 **電池カバーを、矢印の方向に押しながらスライドする。**

2 **矢印の方向に持ち上げ、取り外す。**

3 **電池パックを取り付ける。**

- 印刷面を上にして、本体のくぼみに電池パックの先を合わせて取り付けます。

4 **電池カバーを取り付ける。**

- 電池カバーとキャビネットとのすき間が生じないように電池カバーを押しながらスライドさせます。

取り外す

- 電池パックは、必ず電源を切ってから取り外してください。
- 903SHを操作したすぐあとは、電池パックを取り外さないでください。

1 **電池カバーを、矢印の方向に押しながらスライドする。**

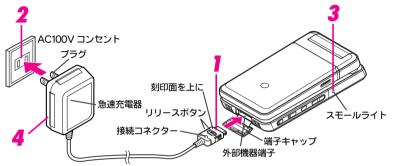
2 **矢印の方向に持ち上げ、取り外す。**

3 **電池パックを持ち上げ、取り外す。**

- この部分から電池パックを持ち上げます。

補足▶ 903SHは、リチウムイオン電池を使用しています。
リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。

- リサイクルは、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店で行っています。
- リサイクルのときは、次のことにご注意ください。火災・感電の原因となります。
  - ■ ショートさせない。　■ 分解しない。

急速充電器を利用して充電する

必ず、付属の急速充電器を使用してください。

1 **外部機器端子の端子キャップを開いたあと、引き出してから、急速充電器の接続コネクターのリリースボタンを押しながら差し込む。**

- しっかりと差し込んでください。

2 **プラグを家庭用ACコンセントに差し込む。**

- 充電が開始されます。
  （スモールライト赤色点灯：☞P.1-17）
- ACコンセントに差し込む前に、プラグを起こしてください。（ご使用後は、プラグを倒して保管してください。）

3 **スモールライトが消灯すれば、充電完了。**

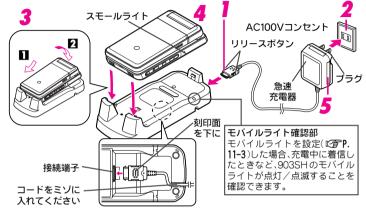
- 充電時間：約140分

4 **充電が完了したら…**
903SHから接続コネクターを抜き、プラグをACコンセントから抜く。

- 接続コネクターを外すときは、両側のリリースボタンを押さえながらまっすぐに引き抜いてください。
- 903SHの端子キャップを元に戻してください。

注意
- 急速充電器を携帯するときなど、コードを強くひっぱったり、折り曲げたり、ねじったりしないでください。断線の原因となります。
- 急速充電器はAC100〜240Vの家庭用電源に対応しています。
- 海外での充電に起因するトラブルについては、当社は一切責任を負いません。

卓上ホルダーを利用して充電する

●卓上ホルダーはオプション品です。

必ず、付属の急速充電器を使用してください。

1 急速充電器の接続コネクターを、卓上ホルダーの接続端子に差し込む。

●「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

●卓上ホルダーの接続端子は裏側にあります。

2 プラグを家庭用ACコンセントに差し込む。

●ACコンセントに差し込む前に、プラグを起こしてください。（ご使用後は、プラグを倒して保管してください。）

3 903SHに電池パックを取り付け、卓上ホルダーに置く。

●1のように903SHを挿入し、2の矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押し下げてください。

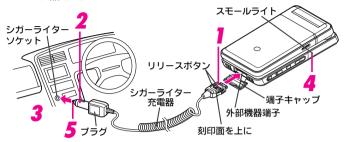
●充電が開始されます。
（スモールライト赤色点灯：☞P.1-17）

4 スモールライトが消灯すれば、充電完了。

●充電時間：約140分

5 充電が完了したら…
903SHを卓上ホルダーから取り外し、プラグをACコンセントから抜く。

シガーライター充電器を利用して充電する

●シガーライター充電器はオプション品です。

1 外部機器端子の端子キャップを開いたあと、引き出してから、シガーライター充電器の接続コネクターを差し込む。

●しっかりと差し込んでください。

2 シガーライターソケットにプラグを差し込む。

3 車のエンジンをかける。

●充電が開始されます。
（スモールライト赤色点灯：☞P.1-17）

4 スモールライトが消灯すれば、充電完了。

●充電時間：約140分

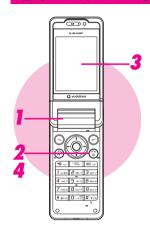
5 充電が完了したら…

903SHから接続コネクターを抜き、プラグをシガーライターソケットから抜く。

●接続コネクターを外すときは、両側のリリースボタンを押さえながらまっすぐに引き抜いてください。
●903SHの端子キャップを元に戻してください。

注意▶
●このシガーライター充電器はマイナスアース車専用です。（12V、24V両用）
●シガーライター充電器の電源は、自動車のキースイッチに連動しますが、自動車の種類によっては連動しない場合もあります。自動車から離れるときは、電源が切れていることを確認してください。
●シガーライター充電器を卓上ホルダーに接続しないでください。故障の原因となることがあります。
●炎天下で高温になった自動車内では、充電しないでください。

補足▶
●シガーライター充電器の操作方法などについては、シガーライター充電器の取扱説明書を参照してください。
●シガーライター充電器を使って充電するときは、903SHを固定させるため、車載ホルダーを利用されることをおすすめします。

電源を入れる／切る

1 **903SHをオープンポジションにする。**

2 **Ⓞを長く（２秒以上）押す。**

3 **ディスプレイが点灯する。**

アニメーションのあと、「**待受画面**」が表示されます。

4 **電源を切るときは…**

Ⓞを長く（２秒以上）押す。

アニメーションのあと、ディスプレイが消灯します。

はじめてお使いになるとき

■アニメーションのあと、日付／時刻設定の確認画面が表示されますので、次の操作を行ってください。

（Yes）➡**タイムゾーン設定画面へ**（☞P.11-9）➡**日付／時刻設定画面へ**（☞P.11-9）

■お買い上げ後、はじめて、、◉を押すと、ネットワーク自動調整を行う確認画面が表示されますので、次の操作を行ってください。

（Yes）

- ネットワーク自動調整をすると、Vodafone live!が利用できます。
- ネットワーク情報は、手動で取得することもできます。（☞P.10-20「**再設定**」）

注意▶

- 電源を入れたときにUSIMカードのデータを読み込むため、電波状態が表示されるまで時間がかかることがあります。また、最初に電源を入れたときは、通常よりも時間がかかります。
- 903SHを落としたり、強い衝撃を与えたときは、USIMカードを正しく認識しなくなることがあります。そのときは、自動的に電源が切れて再度電源が入ることがありますが、故障ではありません。
- USIMカードが未装着のときは、ディスプレイに「**USIMカード未挿入**」とメッセージが表示されます。
- USIMカードを装着しているときでも「**USIMカード未挿入**」と表示されるときは、電源を切ったうえでUSIMカードが正しく装着されているか、IC部分が汚れていないか確認後、電源を入れ直してください。

補足▶ 903SHは、操作をしない状態（クローズポジションを除く）が続くと、電池の消耗を抑えるため、自動的に画面表示が消えます。

誤ってボタンが押されるのを防ぐ

カバンの中に入れて持ち運ぶときなどに、誤ってボタンを押さないように設定します。（誤動作防止）

誤動作防止を設定する

1 **[＊]を長く（1秒以上）押す。**

「[アイコン]」が表示され、誤動作防止が設定されます。

誤動作防止を解除する

1 **誤動作防止が設定されている待受中に、[＊]を長く（1秒以上）押す。**

「[アイコン]」が消え、誤動作防止が解除されます。

注意 誤動作防止設定中に利用できる「110」などの緊急電話発信については、P.2-22「緊急電話発信について」を参照してください。

補足 **誤動作防止設定中は**

- 電話がかかってきたときは、一時的に誤動作防止が解除され、[開始]を押して電話に出ることができます。（エニーキーアンサー（☞P.2-6）を「On」に設定しているときは、エニーキーアンサーの各ボタンを押しても電話に出られます。）
  通話終了後には、再び誤動作防止が設定されます。
- [電源]を長く（2秒以上）押しても、電源は切れません。

スポットライトを利用する

903SHのモバイルライトを懐中電灯のように利用できます。

スポットライト点灯／消灯	スポットライトを点灯／消灯します。

待受画面で[●]（1秒以上）➡スポットライト点灯

- 点灯カラーの変更：点灯中に[◀][▶]
- 消灯：点灯中に[●]

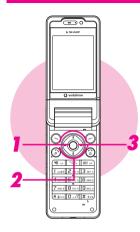
注意 スポットライトを人の目に近づけて点灯させたり、発光部を直視したりしないでください。また、発光方向を確認してから、ご使用ください。

お客様の電話番号を確認する

■次の操作を行うと、お客様の電話番号を確認できます。

待受画面で[●][0]

- オーナー情報の編集も行えます。（P.4-14）

機能の呼び出し方

メインメニューから機能を呼び出す

903SHのいろいろな操作は、「**メインメニュー**」と呼ばれる画面から行います。

1 ◉を押す。

メインメニューが表示されます。

■ ビューアポジション時：(📷●)

2 ⊕で利用するメニューを選ぶ。

■ ビューアポジション時：◀／▶

3 ◉を押す。

選んだメニュー内のサブメニューが表示されます。(☞P.19-2)

■ ビューアポジション時：(📷●)

■メインメニューの項目

メール…メールが利用できます。

Vアプリ…Vアプリが利用できます。

Vodafone live!…ウェブが利用できます。

メディアプレイヤー…動画や音楽を再生するメディアプレイヤーが利用できます。

カメラ…カメラが利用できます。

データフォルダ…データフォルダ内のファイルが利用できます。

通話履歴…通話の履歴などを確認できます。

電話帳…電話帳が利用できます。

設定…各種設定が行えます。

オーナー情報…オーナー情報を確認できます。

外部接続…赤外線通信やBluetoothなどが利用できます。

ツール…カレンダーやアラーム、世界時計など便利な機能が利用できます。

ソフトキーの使い方

各メニュー画面や操作画面では、最下行にボタン操作を示すガイダンスが表示されることがあります。

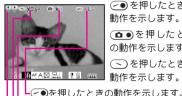
待受画面に戻す

■機能を呼び出したあとやメニューを表示したあとなどに、各画面でを押すと、待受画面（☞P.1-22）に戻ります。

- 確認画面が表示されたときは、（Yes）を押すと待受画面に戻ります。

ビューアポジション時のソフトキーの使い方

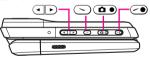
ビューアポジションでは、ソフトキーの表示される位置が2通りあります。カメラ操作のときは横向きのディスプレイの最上行に、それ以外の操作のときはオープンポジションと同様に、縦向きのディスプレイの最下行に表示されることがあります。

カメラ撮影時　　カメラ以外

カメラ　選択　戻る

を押したときの動作を示します。

を押したときの動作を示します。

を押したときの動作を示します。

を押したときの動作を示します。

簡単な操作で機能を呼び出す

ショートカットを利用する

よく使う機能をショートカットに登録しておけば、簡単な操作で利用できます。

● お買い上げ時には、次の機能が登録されています。

■ 簡易電卓、アラーム、カレンダー、ボイスレコーダー、サウンド設定、ディスプレイ設定、簡易留守録再生、Bluetooth、Vアプリ、データフォルダ、ムービー、マネー積算メモ

1 **を押す。**

2 **利用する機能を選び、◉を押す。**

機能の変更 ショートカット画面で表示される機能を変更します。

➡上書きする機能選択➡㊀（メニュー）➡「登録」選択➡◉➡登録する機能選択➡◉

機能の移動 ショートカット画面で表示される機能の順番を変更します。

➡移動する機能選択➡㊀（メニュー）➡「移動」選択➡◉➡◎で機能移動➡◉

初期値に戻す ショートカットをお買い上げ時の状態に戻します。

➡㊀（メニュー）➡「設定リセット」選択➡◉➡㊀（Yes）

クイックオペレーションを利用する

待受画面で数字を入力すると、数字のケタ数に応じて利用できる機能がディスプレイに表示されます。

この状態で、機能名の前に表示されるボタンを押すと、その機能が操作できます。

機能 ＼ 数字のケタ数	1	2	3	4	5〜6	7〜12	13〜32
簡易電卓（☞P.12-12）	○	○	○	○	○	○	×
マネー積算メモ（☞P.12-22）	○	○	○	○	○	×	×
簡単メール（☞P.15-24）	○	×	×	×	×	×	×
カレンダー（☞P.12-2）	×	×	×	○※1	×	×	×
アラーム（☞P.12-8）	×	×	×	○※2	×	×	×

15:05
電話番号入力
：発信
（長押し）：TVコール
：簡易電卓
：マネー積算メモ
：カレンダー
：アラーム
1111
メニュー 戻る

（4ケタ入力時）

※1 存在しない月日［例：「4月31日」（0431）］を入力しても、カレンダーは呼び出せません。
※2 設定したい時刻を24時間制の4ケタで入力してください。

暗証番号

903SHのご使用にあたっては、「**操作用暗証番号**」と「**交換機用暗証番号**」、「**発着信規制用暗証番号**」が必要になります。

操作用暗証番号

「**9999**」もしくはご契約時にお決めいただいた4ケタの番号です。

903SHの各機能を操作するときに使用します。

- 入力した操作用暗証番号は「¥」で表示されます。
- 操作用暗証番号を間違って入力したときは、番号間違いの確認メッセージが表示されます。操作をやり直してください。
- 「**操作用暗証番号**」は903SHの操作で変更できます。(☞P.11-15)

交換機用暗証番号

お客様がご契約時に申し込み書に記入された4ケタの番号です。

オプションサービスを一般電話から操作するときや、「**ウェブの有料情報**」の申し込みの際に必要な番号です。

- 「**交換機用暗証番号**」は903SHの操作では変更できません。「**交換機用暗証番号**」を変更するときは、手続きが必要となります。詳しくは、お問い合わせ先(☞P.19-25)までご連絡ください。

発着信規制用暗証番号

ご契約時にお決めいただいた4ケタの暗証番号で、903SHで発着信規制サービスの設定を行うときに使用します。入力を続けて3回間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。この場合、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先(☞P.19-25)までご連絡ください。

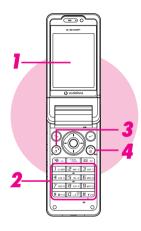
- 「**発着信規制用暗証番号**」は903SHの操作で変更できます。(☞P.13-9)

注意▶

- 「**操作用暗証番号**」や「**交換機用暗証番号**」、「**発着信規制用暗証番号**」は、お忘れにならないようご注意ください。いずれの暗証番号も万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要になります。詳しくは、お問い合わせ先(☞P.19-25)までご連絡ください。
- 「**操作用暗証番号**」や「**交換機用暗証番号**」、「**発着信規制用暗証番号**」は、他人に知られないようご注意ください。他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

基本的な操作のご案内

電話をかける

日本国内で音声電話をかける操作です。日本国内から国際電話をかける操作はP.2-5を、海外で音声電話をかける操作はP.2-17を、TVコールをかける操作はP.5-3を参照してください。

1 電源が入っていることを確認する。

- 電波状態を確認してください。
- ディスプレイに「圏外」、「 」、「 」、「 」が表示されているときは、ご利用になれません。（☞P.19-6）

2 市外局番からダイヤルする。

- 同一市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。

電話番号通知／非通知の設定

- ダイヤルしたあとに、次の操作を行ってください。
  （メニュー）➡「発信者番号通知」／「発信者番号非通知」選択➡◉

3 電話番号を確認し、を押す。

電話番号を間違えたとき

- またはを押し、カーソル「＿」を動かしたあとCLEAR/BACKを押すと、カーソル位置の番号が消えます。CLEAR/BACKを長く（1秒以上）押すと、数字がすべて消え、待受画面に戻ります。
- を押したあとは、を押して電話を切り、かけ直してください。

相手がお話し中のとき

- を押して一旦電話を切り、しばらくしてからかけ直してください。

4 通話が終わったら、を押す。

- 903SH をクローズポジションにしても、電話は切れます。

注意▶

- 通話時にマイクがふさがれていると、相手にこちらの声が聞こえなくなります。

- 内蔵アンテナ部分（☞P.1-8㉙）には、触れないようにしてください。通話品質が悪くなります。
- 体の向きや通話している場所によっては、通話品質が悪くなることがあります。
- 通話中はオープンポジションで利用することをおすすめします。

補足▶

- 通話時間や通話料金の目安を確認することもできます。（☞P.2-14、P.2-15）
- 通話中の操作方法については、P.2-11「**通話中の操作**」を参照してください。

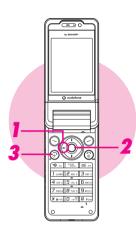
ビューアポジションで電話をかける 電話帳を利用して電話をかけます。

■あらかじめ電話帳の登録が必要です。（☞P.4-3）

ビューアポジションの待受画面で[カメラ]➡「電話帳」選択➡[カメラ]➡「電話帳」選択➡[カメラ]➡電話帳呼出（☞P.4-8）➡電話番号選択➡[カメラ]➡「発信」選択➡[カメラ]

■ 通話終了：[終話]（1秒以上）

- ビューアポジションで通話するときは、ディスプレイが見えるように持ち、レシーバー（受話口）を耳にあてます。
- ビューアポジションでの通話中には、次のボタンを使って各操作が行えます。

[カメラ]／[開始]	通話中メニュー表示	[▶]	受話音量大
[終話]	ミュート	[◀]	受話音量小

以前かけた電話番号にもう一度かける

以前かけた電話番号を最新の30件まで記憶しています。それらを呼び出して簡単に電話をかけられます。（発信履歴）

1 **を押す。**

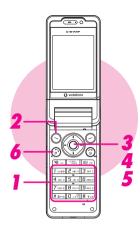
記憶している電話番号と日時が、新しいものから順に一覧表示されます。
電話帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。

- を押すと新しいものから、を押すと古いものから順に表示されます。
- を押すと、不在着信履歴や着信履歴、全通話履歴が確認できます。

2 **電話番号を選び、を押す。**

3 **を押す。**

表示されている電話番号がダイヤルされます。

補足▶
- 同じ番号に２回以上の電話をかけたときは、最後に電話をかけた日時のデータだけが記憶されます。
- 電源を切っても発信履歴の記憶は消えません。
- 30件を超えたときは、古いものから削除されます。個別に削除することもできます。（☞P.2-13）

国際電話をかける

日本国内で国際電話をかける操作です。海外で音声電話をかける操作はP.2-17を参照してください。

- 別途、お申し込みが必要です。
- 詳しくは、「**3Gガイドブック**」を参照してください。

1 相手の電話番号をダイヤルする。

- 一般電話にかけるときは、必ず市外局番からダイヤルしてください。

■ 国番号などを直接ダイヤルする：
「**0046010**」（Vodafoneの国際電話番号）入力➡国番号入力➡電話番号入力（先頭の「0」を除く）➡操作6へ

▪ イタリア（国番号：39）、ロシア（国番号：7）にかけるとき、電話番号の先頭に「0」があるときは、「0」を省かずに入力してください。

2 ㊀（メニュー）を押す。

3 「国際発信」を選び、◉を押す。

国名リストが表示されます。

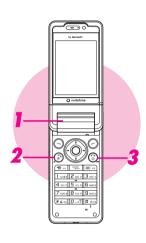
4 相手の国を選び、◉を押す。

■ リスト以外の国にかける：「**国番号入力**」選択➡◉➡国番号入力➡◉➡操作5へ

5 「国内から」を選び、◉を押す。

6 ㊁を押す。

補足▶ ボーダフォン携帯電話にかけるときは、相手のいる国にかかわらず、ボーダフォン携帯電話番号だけでかけられます。

国番号を追加するとき
よく利用する国番号がリストに登録されていないときは、「**国番号リスト**」（P.11-12）の操作で追加できます。（国番号の詳細については、「**国際ローミングサービスガイド**」を参照してください。）

電話を受ける

1 着信中に、903SHをオープンポジションにする。

- 相手が電話番号を通知してきたときは、電話番号が表示されます。
  （903SHの電話帳に登録している相手から電話がかかってきたときは、登録している名前が表示されます。）

■ TVコール着信時：☞P.5-3

2 ⓕを押す。

3 通話が終わったら、ⓞを押す。

- 903SHをクローズポジションにしても、電話は切れます。

ビューアポジションで電話を受ける	ビューアポジションで電話を受けます。

着信中に📷

■ 通話終了：⊖●（1秒以上）

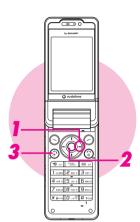
- ビューアポジションでの着信時には、次のボタンを使って各操作が行えます。

ボタン	操作
⊖●※	着信転送
⊖●（1秒以上）	着信拒否
⊖	着信中メニュー表示

※ 転送電話サービスまたは留守番電話サービスを転送条件「**着信／通話中**」で、「**開始**」に設定しているときに利用できます。「**個別停止**」に設定しているときは、着信を拒否します。（☞P.13-3、P.13-4）

■ ビューアポジションでの通話中にできること：☞P.2-3

補足▶

- エニーキーアンサーを「On」に設定（☞P.11-4）しているときは、次のボタンでも電話が受けられます。（◀、▶はビューアポジション時だけ利用できます。）
  0〜9、*、#、◎、A/a、文字、◀、▶
- 電話番号が通知されてこなかったときは、相手の電話番号や名前は表示されません。「**非通知設定**」と表示されます。
- 着信内容や時刻は30件まで記憶されており、あとで確認できます。（☞P.2-13）
- 簡易留守録に設定していないときは、その着信に限り、簡易留守録で応答することもできます。（☞P.2-9）（相手に通話料金がかかります。）
- 電話に出られないときの対応については、P.2-8「**電話に出られないとき**」を参照してください。
- 着信音の音量やパターン、モバイルライトの色を変更することができます。（☞P.11-2、P.11-3）

かけてきた相手にかけ直す

かかってきた電話に発信者番号通知があったときは、その番号を表示し電話をかけられます。
●過去にかかってきた電話の着信内容と時刻は、着信履歴（☞P.2-13）として記憶しています。（最新の30件）

1 ◎を押す。

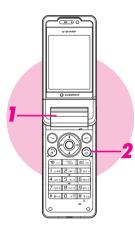
記憶している電話番号と日時が、新しいものから順に一覧表示されます。
電話帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。
●◎を押すと新しいものから、◎を押すと古いものから順に表示されます。
●◎ を押すと、発信履歴や不在着信履歴、全通話履歴が確認できます。

2 電話番号を選び、◉を押す。

3 ◎を押す。

表示されている電話番号がダイヤルされます。

補足▶
●シークレットデータの名前は、シークレットモード以外では表示されません。
●電源を切っても、着信履歴の記憶は消えません。
●30件を超えたときは、古いものから削除されます。個別に削除することもできます。（☞P.2-13）

電話に出られないとき

着信を拒否する

かかってきた電話に出ることを拒否できます。
- この操作を行うと、電話が切れ、不在着信履歴に記憶されます。

1 **着信中に、903SHをオープンポジションにする。**

2 **着信音が鳴っている間に、ⓞを押す。**

転送電話サービス

■あらかじめ登録した電話番号に電話を転送します。

着信中に㊀

- 転送電話サービスまたは留守番電話サービスを転送条件「**着信／通話中**」で「**開始**」に設定しているときに利用できます。「**個別停止**」に設定しているときは着信を拒否します。（☞P.13-2）

留守番電話サービス

■留守番電話サービスを開始すると、電波の届かない場所や通話中のため電話に出られないときなどに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。（☞P.13-4）

簡易留守録

■簡易留守録に設定すると、応答メッセージが流れ、簡易留守録を開始します。（☞P.2-9）

インフォメーション

■かかってきた電話に出なかったときや、簡易留守録で応答したときなどは、インフォメーションが表示されます。

- 「**不在着信**」を選び◉を押すと、不在着信履歴（☞P.2-13）が表示されます。

簡易留守録

電話を受けられないとき、相手の用件を録音します。
簡易留守録は電源が切れていたり、オフラインモードにしているときや「圏外」の表示が出ているときは使用できません。このときは、オプションサービスの留守番電話サービスをご利用ください。（☞P.13-4）
● 簡易留守録が利用できるのは、ボイスメモ（☞P.2-12）と合わせて20件まで、または最長約90秒です。
● お買い上げ時には、簡易留守録は「Off」に設定されています。

簡易留守録を設定／解除する

メニュー ▶ 通話履歴 ▶ 簡易留守録

1 「設定」を選び、◉を押す。

2 「On／Off設定」を選び、◉を押す。

■ 応答文を再生する：「**応答文再生**」選択➡◉

3 ***簡易留守録の設定***

1「On」を選び、◉を押す。
簡易留守録に設定されます。
● 設定完了後、Ⓞを押すと待受画面に戻り「ON」［用件録音時は「ON」］が表示されます。

簡易留守録の解除

1「Off」を選び、◉を押す。
簡易留守録が解除されます。

簡易留守録を設定すると

■着信があると、相手に応答文が流れたあと録音が始まります。
● 録音中に903SHをクローズポジションにしても、録音は止まりません。
● 録音中に電話に出る：Ⓢ（録音内容は残りません。）
● 録音が終わると、「ON」が表示されます。

■録音後、簡易留守録が設定できない状態になったときは、簡易留守録は自動的に解除され、「」が表示されます。

注意
● 録音できる時間が12秒以下のときや、すでに20件録音されているときは、簡易留守録に設定できません。不要なメッセージを削除してください。
● TVコール着信時に簡易留守録は利用できません。
● マナーモード中の簡易留守録の設定は、モード設定の「**マナーモード**」の設定内容（☞P.11-4）に従って動作します。

録音された用件を聞く

メニュー ▶ 通話履歴 ▶ 簡易留守録

1 「簡易留守録再生」を選び、◉を押す。

録音件数表示後、新しいものから順に再生されます。最後の用件を再生し終わると、自動的に止まります。

- 再生途中の停止：再生中に㊀（**戻る**）
- 次の用件を再生：再生中に◎
- 前の用件を再生：再生中に◎
- 再生中の用件を削除：再生中に㊁（**メニュー**）➡「**削除**」選択➡◉➡㊀（Yes）

補足▶ **再生中に電話がかかってくると**
再生は自動的に止まります。電話に出るときは、㊥を押してください。

留守録応答や録音中の受話音量の変更

■簡易留守録で応答中や簡易留守録で録音中の、相手の声の大きさを変更します。

◉➡「通話履歴」選択➡◉➡「簡易留守録」選択➡◉➡「設定」選択➡◉➡「音量設定」選択➡◉➡「受話音量連動」／「サイレント」選択➡◉

- 「**受話音量連動**」を選ぶと、相手の声は、設定済の受話音量と同じ大きさに設定されます。

応答時間変更

■電話がかかってきてから簡易留守録が応答するまでの時間を、０～59秒の間で設定します。（お買い上げ時：９秒）

◉➡「通話履歴」選択➡◉➡「簡易留守録」選択➡◉➡「設定」選択➡◉➡「応答時間設定」選択➡◉➡設定時間入力（00～59秒）➡◉

- ■着信音を鳴らさずに簡易留守録で応答：設定時間「00」を入力➡◉

■簡易留守録をオプションサービスの留守番電話サービス、または転送電話サービスと併せてご利用になるときは、呼出し時間の設定により、優先順位が変わります。

例：簡易留守録の呼出し時間… 9秒
各サービスの呼出し時間…10秒

と設定すると、簡易留守録が優先されます。（ただし、電波状況により優先順位が変わることがあります。）

- 簡易留守録を優先していても、録音件数が一杯になると転送電話／留守番電話サービスが優先されます。

簡易留守録を設定していないときの操作

■着信中に次の操作を行うと、応答文が流れたあと、録音が始まります。このときは、その着信に限り留守録音します。（簡易留守録は「Off」の設定のままです。）

着信中に㊁（メニュー）➡「簡易留守録」選択➡◉

通話中の操作

受話音量を調節する

受話口から聞こえる相手の声の大きさを、５段階で調整できます。
●お買い上げ時には、「**音量３**」に設定されています。

1 **通話中に、◁または▷を押す。**

2 **▷（小さくする）または◁（大きくする）を押す。**

●押すたびに受話音量が調節できます。
●電源を切っても、一度変更した音量は保持されています。

通話の保留

■通話中に次の操作を行うと、相手に保留音が流れ、双方の声が聞こえなくなります。

通話中に㊀（メニュー）➡「保留」選択➡◉

■ 保留の解除：保留中に㊀（**メニュー**）➡「**再開**」選択➡◉

●「**割込通話サービス**」（☞P.13-5）または「**多者通話サービス**」（☞P.13-6）のお申し込みが必要です。

マイクミュート

■通話中に次の操作を行うと、こちらの声が相手に聞こえなくなります。相手の声はこちらに聞こえます。

通話中に㊀（メニュー）➡「マイクミュートOn」選択➡◉

■ マイクミュートの解除：マイクミュート中に㊀（**メニュー**）➡「**マイクミュートOff**」選択➡◉

スピーカーを使った通話

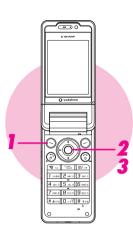
■通話中に次の操作を行うと、スピーカーを使って通話できます。

通話中に㊀（メニュー）➡「スピーカーホンOn」選択➡◉

■ スピーカー通話の解除：スピーカー通話中に㊀（**メニュー**）➡「**スピーカーホンOff**」選択➡◉

プッシュトーン送信

■通話中にダイヤルボタンを押すと、プッシュトーンが送信されます。903SHからポケットベルに文字メッセージを送ったり、自宅の留守番電話を遠隔操作します。

●送信できるプッシュトーンは「0」～「9」、「*」、「#」です。

通話中に相手の声を録音する

1 **通話中に、㊀（メニュー）を押す。**

2 **「ボイスメモ録音」を選び、◉を押す。**

録音が開始されます。

3 **録音を終了するときは、◉を押す。**

● 電話を切っても、録音は終了します。（録音内容は保存されています。）

録音内容の再生	通話中に録音した内容を再生します。

メニュー ▶ 通話履歴 ▶ 簡易留守録

「簡易留守録再生」選択➡◉

■ 録音内容の削除：再生中に㊀（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡㊀（Yes）

その他通話中にできること

電話帳	903SHに登録済の電話帳やオーナー情報を表示します。電話帳登録も行えます。

通話中に㊀（メニュー）➡「電話帳」選択➡◉➡表示する電話帳選択➡◉

■ 電話帳に登録する：通話中に㊀（メニュー）➡「電話帳」選択 ➡◉➡㊀（メニュー）➡「新規作成」選択➡◉

■ 電話帳登録の画面（☞P.4-4）になります。

メール	受信ボックス／送信ボックス／下書きが確認できます。

通話中に㊀（メニュー）➡「メール」選択➡◉➡確認項目選択➡◉

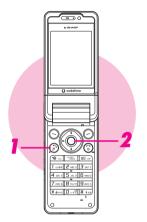
■ 新規メール作成時：「新規作成」選択➡◉➡P.15-7へ

発信	第三者に電話をかけます。

通話中に㊀（メニュー）➡「発信」選択➡◉➡相手の電話番号入力➡☎

トーン送出On／Off	通話中にダイヤルボタンを押したときに、プッシュトーンを発信しないようにします。

通話中に㊀（メニュー）➡「トーン送出Off」選択➡◉

補足▶ Bluetoothを利用してハンズフリー機器などと接続中、音声出力先を切り替えることもできます。（☞P.10-8）

発着信履歴の確認

発着信の履歴を確認します。確認できるのは、次のとおりです。

全通話履歴	すべての発着信履歴です。
発信履歴	こちらから電話をかけた履歴です。
不在着信履歴	かかってきた電話に出なかったときの履歴です。
着信履歴	かかってきた電話に出たときの履歴です。

1 **を押す。**

全通話履歴が表示されます。

■ 他の履歴の確認：

2 **確認する履歴を選び、●を押す。**

選んだ履歴の詳細が表示されます。

補足▶ 通話中にを押しても全通話履歴を確認できます。

発信	履歴を利用して電話をかけます。

➡**履歴選択**➡（**メニュー**）➡「**発信**」**選択**➡●

■ 電話番号を編集して発信：（**メニュー**）➡「**編集して発信**」選択➡●➡番号編集➡

■ TVコールの発信：（**メニュー**）➡「**TVコール**」選択➡●

メール作成	新規メールを作成します。

➡**履歴選択**➡（**メニュー**）➡「**メール作成**」**選択**➡●

● メール作成画面（☞P.15-7）になります。その他の項目を入力してください。

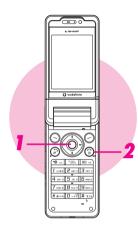
履歴の削除	履歴を１件ずつ削除します。

➡**履歴選択**➡（**メニュー**）➡「**削除**」**選択**➡●➡（Yes）

履歴の全件削除	履歴を全件削除します。

➡**履歴の種類を選択**➡（**メニュー**）➡「**全件削除**」**選択**➡●➡（Yes）

補足▶ 履歴を利用して電話帳へ登録することもできます。（☞P.4-7）

通話時間／パケット量表示

通話時間を確認する

直前（前回）の通話時間、累積の通話時間の目安を確認します。

●電話をかけたとき（発信履歴）と、かかってきたとき（着信履歴）を、それぞれ別に確認できます。

メニュー ▶ 通話履歴 ➡ 通話時間

1 **「着信通話時間」または「発信通話時間」を選び、◉を押す。**

2 **確認を終わるときは、⓪を押す。**

通話時間消去	通話時間の目安を消去します。

メニュー ▶ 通話履歴 ➡ 通話時間

「リセット」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡㊀（OK）➡㊀（Yes）

補足▶
- 電源を切っても、直前の電話の通話時間や累積の通話時間の記憶は消えません。
- 着信中や相手を呼び出している時間は計算されません。（保留中は計算されます。）

パケット量を確認する

●パケットの料金は確認できません。

メニュー ▶ 通話履歴 ➡ データ通信

1 **「前回パケット」または「累積パケット」を選び、◉を押す。**

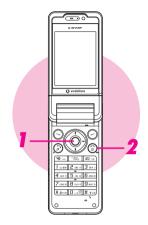
2 **確認を終わるときは、⓪を押す。**

パケット量消去	パケット量の目安を消去します。

メニュー ▶ 通話履歴 ➡ データ通信

「リセット」選択➡◉➡㊀（Yes）

通話料金表示

直前（前回）の通話料金の目安や、累積の通話料金の目安を確認します。
●通話料金の限度額を設定することもできます。

メニュー ▶ 通話履歴 ➡ 通話料金

1 「前回通話料金」または「累積通話料金」を選び、◉を押す。

2 確認を終わるときは、ⓞを押す。

通話料金消去	通話料金の目安を消去します。

メニュー ▶ 通話履歴 ➡ 通話料金
「リセット」選択➡◉➡PIN2コード入力➡◉➡㊀（Yes）

通話料金上限設定	通話料金の限度額を設定します。限度額を超えると発信できなくなります。

メニュー ▶ 通話履歴 ➡ 通話料金
「通話料金上限設定」選択➡◉➡「通話料金設定」選択➡◉➡PIN2コード入力➡◉➡金額入力➡◉

■ 限度額の確認 :「**通話料金上限設定**」選択➡◉➡「**料金設定確認**」選択➡◉
■ 通話料金限度額の残額の確認 :「**残り度数**」選択➡◉

注意▶ 通話料金上限設定中、限度額を超えたときに利用できる「110」などの緊急電話発信については、P.2-22「**緊急電話発信について**」を参照してください。

料金単位設定	通話時間と通話料金の換算単位を設定します。

お買い上げ時 1円

メニュー ▶ 通話履歴 ➡ 通話料金
「料金単位」選択➡◉➡「料金単位設定」選択➡◉➡PIN2コード入力➡◉➡通貨入力➡◉➡料金単位入力➡◉➡◉

■ 単位の確認 :「**料金単位**」選択➡◉➡「**料金設定確認**」選択➡◉

補足▶
- 電源を切っても、直前の電話の通話料金や累積の通話料金の記憶は消えません。
- オプションサービスの多者通話サービスを利用したときは、合算した通話料金を表示します。

海外での利用（国際ローミング）

モードを切り替える

903SHには、次の３つのモードがあります。

3Gモード	日本国内と海外の3Gサービスエリアで使用できるモードです。
GSMモード	海外のGSMサービスエリアで使用できるモードです。日本国内では使用できません。
自動モード	お使いの場所（ネットワークの状態）に応じて自動的にモードが切り替わります。

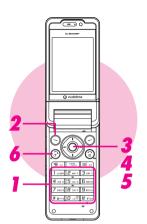
●お買い上げ時には、「3G」に設定されています。通常は「3G」でお使いになることをおすすめします。

1「3G／GSM設定」を選び、◉を押す。

2「3G」または「GSM」を選び、◉を押す。

●切り替えたモードで使用できるようになります。

■ 自動的に切り替えるとき：「自動」選択➡◉

注意
- 国際ローミングのしくみ、使用できる国や地域、料金などにつきましては、「国際ローミングサービスガイド」をご覧ください。また、使用できる機能や制限などにつきましては、お問い合わせ先（☞P.19-25）までご連絡ください。
- 国際ローミングを利用するには別途ご契約が必要です。

海外で電話をかける

1 相手の電話番号をダイヤルする。

- 一般電話にかけるときは、必ず市外局番からダイヤルしてください。

■ 滞在国内の一般電話／携帯電話へかける：操作6へ

■ 国番号などを直接ダイヤルする：[0]（1秒以上）（「＋」表示）➡国番号入力➡電話番号入力（先頭の「0」を除く）➡操作6へ

- ■ イタリア（国番号：39）、ロシア（国番号：7）にかけるとき、電話番号の先頭に「0」があるときは、「0」を省かずに入力してください。

2 ⌒（メニュー）を押す。

3 「国際発信」を選び、◉を押す。

国名リストが表示されます。

4 相手の国を選び、◉を押す。

■ リスト以外の国にかける：「**国番号入力**」選択➡◉➡国番号入力➡◉➡操作5へ

ボーダフォン携帯電話にかける

- 相手がいる国に関係なく、常に「日本（JPN）」を選んでください。（直接国番号を入力する場合は [8] [1] と押します。）

5 「海外から」を選び、◉を押す。

- 電話番号の前に「＋」と国番号が入力されます。また、電話番号の先頭の「0」は削除されます。ただし、国番号がイタリア（39）またはロシア（7）のときは削除されません。

（「＋」は国際発信を意味します。）

6 ⌒を押す。

注意▶ 海外で通話中に電話を保留したあと、保留を解除したとき（☞P.2-11）、地域によってはまれに相手の声が聞こえないことや、お客様の声が相手に聞こえなくなったりすることがあります。

補足▶ 国番号を追加するとき

よく利用する国番号がリストに登録されていないときは、「**国番号リスト**」（☞P.11-12）の操作で追加できます。（国番号の詳細については、「**国際ローミングサービスガイド**」を参照してください。

マナーモード

マナーについて

携帯電話をお使いになるときは、周囲への気配りを忘れないようにしましょう。

- 劇場や映画館、美術館などでは、まわりの人たちの迷惑にならないように電源を切っておきましょう。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では周囲の迷惑にならないように気をつけましょう。
- 新幹線や電車の中などでは、車内のアナウンスや掲示に従いましょう。
- 街の中では、通行の妨げにならない場所で使いましょう。

マナーを守るための機能

■マナーモード：☞P.2-19

着信音やボタン確認音を鳴らさないよう、ワンタッチで設定できます。また、簡易留守録を同時に設定できます。

電話がかかってくると振動でお知らせします。（マナーモード内容変更の設定による）

■バイブ設定：☞P.11-3

電話がかかってきたときやメールを受信したときなどに振動でお知らせします。

■音量調節：☞P.11-2

「**サイレント**」に設定すると、電話がかかってきたときなどの音を鳴らさないようにできます。また、ウェブの情報画面表示中やVアプリ実行中の音も鳴らさないようにできます。

■メール着信音の各設定：☞P.11-2

メールが届いたときの音を鳴らさないようにできます。

■オフラインモード：☞P.2-20

電源を入れたままで電波の送受信を停止して、電話をかけたり、受けたりできないようにします。メールの送受信やウェブの利用などもできなくなります。

■簡易留守録：☞P.2-9

電話に出られないときに、相手の用件を903SHに録音できます。

マナーモードを設定／解除する

マナーモードを設定する

1 **#を長く（1秒以上）押す。**

「：**マナーモード**」が点灯します。
また、マナーモードの設定内容（☞P.11-2）に応じて「」（簡易留守録）、「」（バイブレータ）、「」（サイレント）、「」（ステップ）も表示されます。

マナーモードを解除する

1 **マナーモードが設定されている待受中に、#を長く（1秒以上）押す。**

「」が消え、マナーモードが解除されます。

マナーモードに設定すると

■ボタン確認音／エラー音／パワー On／パワー Off時のサウンドや警告音やバーコード認識完了音が鳴らなくなります。ただし、切替通話の警告音（☞P.13-6）は鳴ります。
■マナーモードを設定しても、カメラ撮影時のシャッター音は鳴ります。
■メディアプレイヤー起動時に、音を出すかどうかの確認画面が表示されます。
■簡易留守録、着信音量、バイブレータ、モバイルライトなどは、モード設定の「**マナーモード**」の設定内容（☞P.11-2）に従って動作します。

補足
- 簡易留守録の録音中は、相手の声が受話口から聞こえます。
- マナーモード設定時の状態は、モード設定の「**マナーモード**」で変更できます。（☞P.11-2）

オフラインモードを設定／解除する

電源を切らずに、電波の送受信を停止します。

- オフラインモードを「On」に設定すると、電話の発着信、Vodafone live!など、電波のやりとりを行う機能は利用できません。
- お買い上げ時には、「Off」に設定されています。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ オフラインモード

1 「On」または「Off」を選び、◉を押す。

「On」に設定すると、オフラインモードが設定され「▨」が点灯します。

補足▶ ネットワーク接続型のVアプリ（☞P.17-2）を一時停止しているときにオフラインモードを「On」に設定すると、ネットワーク接続不可の確認画面が表示されます。確認画面で、⊝（Yes）を押すと、オフラインモードが「On」に設定されます。（オフラインモードを「Off」に設定するまで、ネットワークには接続できません。）

ステレオイヤホンマイクの利用

ワンタッチで電話をかける

スピードダイヤルの2に設定した電話帳（☞P.4-13）は、ステレオイヤホンマイクのスイッチを押すだけで、電話をかけられます。

1 イヤホンマイク端子に、ステレオイヤホンマイクの接続プラグを差し込む。

2 スイッチを「ピピッ」と音がするまで、長く（1秒以上）押す。

- 相手が出たら、お話しください。

3 通話が終わったら、スイッチを「ピッ」と音がするまで、長く（1秒以上）押す。

- 電話が切れます。Ⓞを押しても、電話を切ることができます。

注意▶ シークレットデータをスピードダイヤルの2に設定しているときは、シークレットモード（☞P.11-14）にしてから、スイッチの操作で電話をかけてください。

補足▶
- ダイヤル操作禁止／電話帳使用禁止／誤動作防止の設定中は、電話をかけられません。（☞P.11-14、P.1-23）
- ステレオイヤホンマイクのコードを、903SH本体や内蔵アンテナ部分に巻き付けないでください。アンテナが正しく働かないことがあります。また、ステレオイヤホンマイクのコードを、内蔵アンテナ部分に近づけると、ノイズが入ることがあります。ご注意ください。
- プラグは確実に差し込んでください。半差しなど途中で止まっていると音が聞こえないことがあります。

ワンタッチで電話を受ける

1 イヤホンマイク端子に、ステレオイヤホンマイクの接続プラグを差し込む。

電話がかかってくると、イヤホンとスピーカーの両方から着信音が聞こえます。

2 スイッチを長く（1秒以上）押す。

電話がつながります。相手とお話しください。

- 電話を切る操作は左記と同様です。

緊急電話発信について

緊急電話発信とは、「110」や「119」など、緊急時に使用する電話発信のことです。

■緊急番号…110、119、118

●903SHで発信の制限などを設定しているとき、緊急電話発信の利用は次のようになります。

■発信制限と緊急電話発信の可否

通話料金上限設定（☞P.2-15）	発信可
ダイヤル操作禁止（☞P.11-14）	発信可
誤動作防止（☞P.1-23）	発信可
簡易ロック（☞P.11-13）	発信可
PIN認証（☞P.1-6）	発信不可
発信規制（☞P.13-8）	発信可

注意▶ 無線ネットワークや無線信号、903SHの機能設定状態によって動作が異なるため、全ての国やエリアでの接続を保証するものではありません。

文字の入力方法

文字入力について

ひらがな、漢字、カタカナ（全角／半角）、英数字（全角／半角）、記号（全角／半角）、絵文字が入力できます。文字入力には、かな入力方式とポケベル入力方式（☞P.3-9）があります。

●文字入力については、一部（P.3-9「**ポケベル方式で入力する**」）を除き、かな入力方式での操作を中心に説明しています。

文字入力モード

文字入力モードは、文字の入力画面で[文字]を押して切り替えます。このあと[文字]を押すたびに、入力できる文字（入力モード）が次のように切り替わります。

漢→ア→ｱ→Ａ→A→１→区→漢…

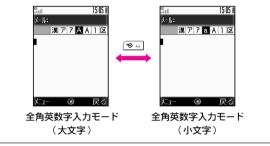
●入力モード切替中は、◎を押しても切り替わります。

選択できる入力モード

漢	漢字（ひらがな）
ア	全角カタカナ
ｱ	半角カタカナ
Ａ	全角英数字（大／小文字）
ａ	全角英数字（小／大文字）
A	半角英数字（大／小文字）
a	半角英数字（小／大文字）
１	半角数字
区	区点コード

大文字と小文字の切り替え

■かな入力方式では、全角英数字入力モード、半角英数字入力モードで[A/a]を押すと、大文字⇔小文字が切り替わります。また、ポケベル入力方式（☞P.3-9）では全角入力モード、半角入力モードで[A/a]を押すと大文字⇔小文字が切り替わります。

全角英数字入力モード（大文字）　全角英数字入力モード（小文字）

補足▶
●変換できる漢字は、区点全文字（6355文字）です。
●電話帳のE-mailアドレス入力のときなどは、入力できる文字（入力モード）が制限されます。

ダイヤルボタンの割り当て

１つのボタンには複数の文字が割り当てられており、ボタンを押す回数によって表示される文字が切り替わります。

例：カタカナ入力モードで[1]を３回押すと、「ウ」が表示されます。

●文字入力中に[◎]を押すと、表示される文字を逆順に切り替えられます。（半角数字入力モード、区点コード入力モードは除く。）

例：「い」を入力しているときに[◎]を押すと、「あ」になります。

■ダイヤルボタンの割り当て表

ボタン	漢字（ひらがな）［全角］	カタカナ［全角／半角］	英数字［全角／半角］	数字［半角］	区点コード
[1]	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	@. ／_―1 □（スペース）	1	1
[2]	かきくけこ	カキクケコ	ABCabc2	2	2
[3]	さしすせそ	サシスセソ	DEFdef3	3	3
[4]	たちつてとっ	タチツテトッ	GHIghi4	4	4
[5]	なにぬねの	ナニヌネノ	JKLjkl5	5	5
[6]	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNOmno6	6	6
[7]	まみむめも	マミムメモ	PQRSpqrs7	7	7
[8]	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	TUVtuv8	8	8
[9]	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZwxyz9	9	9
[0]	わをんー、。↲（改行）	ワヲンー、。↲（改行）	,. 0↲（改行）	0 +※1	0
[＊]	゛゜ 履歴／絵文字入力（全角）／記号入力（全角）	゛゜-※3	E-mailアドレス用／URL用変換（半角）※4	＊P（ポーズ）?-※5	――――
[#]	履歴／記号入力（全角）※2／絵文字入力（全角）			#	――――
[◎]	変換（前候補）	カーソル上移動			

※1「+」は電話番号入力時だけ、１秒以上押すと入力できます。

※2 半角カタカナ入力モードと半角英数字入力モードでは半角で入力されます。

※3「-」は半角カタカナ入力モード選択時だけ入力できます。

※4 E-mailアドレス、URLの一部が画面に表示され入力できます。

※5「P（ポーズ）」、「?」、「-」は、電話番号入力時だけ有効です。

■ダイヤルボタンの割り当て表（続き）

ボタン	漢字（ひらがな）［全角］	カタカナ［全角／半角］	英数字［全角／半角］	数字［半角］	区点コード
	変換（後候補）	カーソル下移動（改行）			
	カーソル左移動				
	カーソル右移動				
文字	文字入力モードの切り替え				
A/a	小文字／大文字変換（変換できる文字で有効）		小文字／大文字変換、大文字／小文字入力モードの切り替え	―――――	―――――
CLEAR/BACK 短押し	1文字消去、変換中止	1文字消去			入力済コード消去／1文字消去
CLEAR/BACK 長押し	カーソル後消去（カーソルが文中にあるとき）／カーソル前消去（カーソルが文末にあるとき）				
	最大64文字まで復元※6				
	決定				
	音訓変換	―――――			―――――
	カナ数字変換	―――――			―――――

※6 CLEAR/BACK（短押し）で消去した文字は、直後にを連続して押すと、最大64文字まで復元できます。

文字の入力方法

漢字／ひらがな／カタカナを入力する

ここでは、漢字（ひらがな）入力モードで「**鈴木**」と入力するときを例に説明します。

1 漢字（ひらがな）入力モードで、[3 DEF さ]を3回押す。

ひらがなを1文字入力するたびに、変換候補が表示されます。

2 ◎を押す。

- 同じボタンを使って次の文字を入力するときは、必ず◎を押します。

3 [3 DEF さ]を3回押したあと、[＊ あ゛゜絵]を押す。

4 [2 ABC か]を2回押す。

- ひらがなをそのまま入力するときは、このあと操作6へ進みます。

5 ◎（変換）を押したあと、◎で文字を選ぶ。

- 他の変換候補画面：◎（前ページ）／◎（次ページ）
- 変換の中止：[CLEAR/BACK]
- 目的の漢字に変換できない：☞P.3-6

6 ◉を押す。

補足▶
- カタカナは、全角カタカナ入力モードまたは半角カタカナ入力モードで入力します。漢字（ひらがな）入力モードでひらがなを入力し、変換候補から選んで入力することもできます。
- カナ英数字変換（☞P.3-11）でもカタカナを入力できます。

学習機能

■漢字変換では、最後に変換した漢字が優先してリストに表示されます。

近似予測変換と連携予測変換

■漢字変換では、「**近似予測変換**」と「**連携予測変換**」という便利な変換機能が利用できます。

近似予測変換	ひらがなを1～5文字入力するたびに、入力した文字で始まる変換候補が表示されます。専用の辞書を持っており、一般的によく使われる単語が登録されています。
連携予測変換	文字を確定すると、これまでの文字入力／変換履歴から推測して、確定した文字に続くと思われる文字の候補を自動的に表示します。

- お買い上げ時には、両方の変換機能が利用できるように設定されています。個別に利用を停止することもできます。（☞P.3-13）

ユーザー辞書

■よく使う単語はユーザー辞書に登録しておくと便利です。（☞P.11-11）

- ユーザー辞書は、読みを付けて単語登録することで、変換候補に表示できるようになります。

■目的の漢字に変換できないとき

P.3-5操作5のあと、[CLEAR/BACK]を押し、◎で変換する文字（反転している文字）の区切りを変えて変換し直します。

例：「み」と「ち」の区切りを変えて変換し直すとき

■複数の変換の対象を一度に採用するとき

[文字]を押します。

例：「西山大輔」と変換するとき

小文字（っ、ッなど）を入力する

ひらがなやカタカナの「**あいうえおつやゆよ**」を小文字に変換します。

1 文字を入力し、[A/a]を押す。

- 小文字にできない文字では、[A/a]を押しても変わりません。

だく点（゛）／半だく点（゜）を入力する

1 文字を入力し、［＊］を押す。

- 漢字（ひらがな）入力モードや全角カタカナ入力モードでは、「**か行**」、「**さ行**」、「**た行**」は1回押すとだく点が付き、2回押すと元に戻ります。
- だく点や半だく点を付けられない文字では、［＊］を押しても変わりません。

は行の場合

補足▶ 半角カタカナ入力モードのとき

- 1回押すとだく点が、2回押すと半だく点が半角1文字分で入力されます。
- だく点や半だく点を消去するときは、［CLEAR/BACK］を押します。

英数字を入力する

全角英数字入力モード（大文字／小文字）または半角英数字入力モード（大文字／小文字）で、英数字を入力します。半角数字は、半角数字入力モードでも入力できます。

- 同じボタンを使って、次の文字を入力するとき（例：「ＡＢ」）は、必ず◎でカーソルを移動させてから入力してください。
- 全角英数字入力モード、半角英数字入力モードで［A/a］を押すと、大文字⇔小文字が切り替わります。
- カナ英数字変換（☞P.3-11）でも英数字を入力できます。

記号／絵文字／顔文字などを入力する

記号／絵文字を入力する

1 記号／絵文字の入力が可能なモード（☞P.3-3）で、［＃記号］を押す。

これまで入力した記号／絵文字が、新しいものから順に一覧表示されます。（履歴リスト）

- 漢字（ひらがな）入力モードでは、［＊］を押しても履歴リストが表示されます。
- お買い上げ時または記号／絵文字の履歴を消去したとき（☞P.3-8）は、履歴リストは「－」で表示されます。

2 ◎で記号／絵文字を選び、●を押す。

- 1つの記号／絵文字を入力したあとも、続けて他の記号／絵文字を入力できます。

■ 他の記号／絵文字の入力：○／［＃記号］（押すたびに履歴リスト、記号リスト、絵文字リストを切替）

- ■ ［＊］を押すと逆順に切り替わります。
- ■ ◎を押すと、記号／絵文字リストの隠れている部分を表示できます。

3 記号／絵文字入力を終わるときは、○（閉じる）を押す。

補足▶

- 半角記号を入力したときは、履歴リストには残りません。
- 全角のモードで操作したときは全角の記号が、半角のモードで操作したときは半角の記号が入力できます。（絵文字はモードにかかわらず、すべて全角です。）
- 漢字（ひらがな）入力モードで、「**きごう**」と入力し◎（**変換**）を押すと、一部の記号を入力できます。
- 利用できる絵文字については、P.19-15「**絵文字一覧**」を参照してください。

記号／絵文字履歴の消去

■文字入力画面で、次の操作を行います。

（メニュー）→「入力／変換設定」選択→●→「絵／記号履歴リセット」選択→●→（Yes）

●文字入力画面に戻るときは、（戻る）を２回押します。

顔文字を入力する

1 文字入力画面で、（メニュー）を押す。

2「顔文字」を選び、●を押す。

3 顔文字を選び、●を押す。

補足▶
- ●漢字（ひらがな）入力モードで、「**かお**」と入力し（**変換**）を押すと、上記の操作で入力できる（表示される）顔文字以外の顔文字も入力できます。
- ●漢字（ひらがな）入力モードで、「**わーい**」や「**うーん**」などの顔の表情を表す言葉を入力し（**変換**）を押しても、顔文字が入力できます。
- ●２ケタの数字（01〜50）を入力すると、入力した番号の顔文字が確認できます。

スペースを入力する

1 文字入力画面で、を押す。

●英数字入力モードでは、を７回押してスペースを入力することもできます。

改行する

メールや定型文入力時などで有効です。

1 文末でを押す。

●文の途中で改行するときは、改行する位置でを数回押して「↵」を表示したあと、●を押します。を押す回数は入力モードによって異なります。（☞P.3-3）

E-mailアドレス／URLの一部を簡単に入力する

1 英数字入力モードで、を押す。

2 文字を選び、●を押す。

●全角／半角モードにかかわらず、E-mailアドレス、URLは半角で入力されます。

区点コードで入力する

1 区点コード入力モードで、区点コード（４ケタ：☞P.19-9）を入力する。

ポケベル方式で入力する

1 文字入力画面で、㊀（メニュー）を押す。

2「入力／変換設定」を選び、◉を押す。

3「入力方式」を選び、◉を押す。

4「ポケベル」を選び、◉を押す。

ポケベルコードで入力できる状態に切り替わります。

■かな入力方式に戻す：「**かな**」選択➡◉

5 ポケベルコード（２ケタ：☞右記）を入力する。

- ポケベル入力方式は、かな入力方式に切り替えるまで継続します。

ポケベル方式の文字入力モードの切替

■ポケベル入力方式では、文字の入力画面で［文字］を押すたびに、次のように切り替わります。

半角大文字（「P」反転）→区点コード（「区」反転）→全角大文字（「Ｐ」反転）

■全角入力モード、半角入力モードで［A/a］を押すと、大文字⇔小文字が切り替わります。

補足▶
- ポケベル入力方式では、カナ英数字変換はできません。
- だく点、半だく点の入力は、ポケベルコード一覧（☞右記）を参照してください。

■ポケベルコード一覧

- 空欄は、空白を示します。（何も入力されません。）
- ■部分は、文字入力後［A/a］を押すたびに、大文字⇔小文字が切り替わります。

全角大文字モード

1ケタ目（最初に押すボタン）	２ケタ目（次に押すボタン） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ	い	う	え	お	A	B	C	D	E
2	か	き	く	け	こ	F	G	H	I	J
3	さ	し	す	せ	そ	K	L	M	N	O
4	た	ち	つ	て	と	P	Q	R	S	T
5	な	に	ぬ	ね	の	U	V	W	X	Y
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	?	!	―	／
7	ま	み	む	め	も	¥	&		☎	※1
8	や	（	ゆ	）	よ	＊	#	スペース	♥	※2
9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
0	わ	を	ん	゛	゜	6	7	8	9	0

全角小文字モード

1ケタ目（最初に押すボタン）	２ケタ目（次に押すボタン） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	a	b	c	d	e
2						f	g	h	i	j
3						k	l	m	n	o
4			っ			p	q	r	s	t
5						u	v	w	x	y
6						z				
7										※1
8	ゃ		ゅ		ょ					※2
9										
0				、	。					

■ポケベルコード一覧（続き）

半角大文字モード

		2ケタ目（次に押すボタン）									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1ケタ目（最初に押すボタン）	1	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	A	B	C	D	E
	2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F	G	H	I	J
	3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K	L	M	N	O
	4	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	P	Q	R	S	T
	5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U	V	W	X	Y
	6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z	?	!	-	/
	7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&		☎	※1
	8	ﾔ	(	ﾕ	)	ﾖ	*	#	スペース	♥	※2
	9	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	1	2	3	4	5
	0	ﾜ	ｦ	ﾝ	ﾞ	ﾟ	6	7	8	9	0

半角小文字モード

		2ケタ目（次に押すボタン）									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1ケタ目（最初に押すボタン）	1	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	a	b	c	d	e
	2						f	g	h	i	j
	3						k	l	m	n	o
	4			ｯ			p	q	r	s	t
	5						u	v	w	x	y
	6						z				
	7										※1
	8	ｬ		ｭ		ｮ					※2
	9										
	0				,	.					

※1 [7][0]の順に押すと、改行が入力されます。（改行は、メールの本文、定型文入力時などで有効です。）

※2 [8][0] の順に押すと、大文字モードと小文字モードが切り替わります。

●「♥」、「☎」は半角2文字分となります。

文字の変換機能

音訓変換を利用する

通常変換で入力する漢字が見つからないときは、漢字の読みを入力して1文字ずつ変換します。

1 漢字（ひらがな）入力モードで、ひらがなを入力する。

2 ㋐（音訓）を押す。

3 漢字を選び、◉を押す。

一度入力した文字を利用する

一度、通常の変換方法で入力した漢字は、次回入力するときに先頭の１文字を入力すると、漢字に変換できます。（１文字変換）

例：以前に「鈴木」を変換したとき

- １文字変換で記憶されるメモリは、ユーザー辞書（☞P.11-11）と共用しています。（１文字変換は、ユーザー辞書の空きメモリに自動的に記憶されます。）
  そのため、ユーザー辞書の登録内容や件数によっては、１文字変換が記憶できないことがあります。
- １文字変換で記憶される件数は、同じ読み（１文字）に対して、最大20件です。
  記憶可能な件数を超えると、古い１文字変換の記憶から順に消去されます。（ユーザー辞書は消去されません。）

カナ英数字変換を利用する

漢字（ひらがな）入力モードのまま、カタカナや英字、数字が入力できます。

1 ひらがなを入力し、⊖（カナ英数）を押す。

- 「AM」と入れるときは、2ABC か 6MNO は の順に押したあと、⊖（**カナ英数**）を押します。

2 ◎で文字を選び、●を押す。

- 英字は次のように変換されます。（小文字やだく点、半だく点付きも同様です。）

あ	@	い	.	う	／	え	＿	お	ｽﾍﾟｰｽ
か	A	き	B	く	C	け	ｽﾍﾟｰｽ	こ	ｽﾍﾟｰｽ
さ	D	し	E	す	F	せ	ｽﾍﾟｰｽ	そ	ｽﾍﾟｰｽ
た	G	ち	H	つ	I	て	ｽﾍﾟｰｽ	と	ｽﾍﾟｰｽ
な	J	に	K	ぬ	L	ね	ｽﾍﾟｰｽ	の	ｽﾍﾟｰｽ
は	M	ひ	N	ふ	O	へ	ｽﾍﾟｰｽ	ほ	ｽﾍﾟｰｽ
ま	P	み	Q	む	R	め	S	も	ｽﾍﾟｰｽ
や	T	ゆ	U	よ	V	—	—	—	—
ら	W	り	X	る	Y	れ	Z	ろ	ｽﾍﾟｰｽ
わ	,	を	.	ん	ｽﾍﾟｰｽ	ー（長音）、。改行			ｽﾍﾟｰｽ

- 数字は次のように変換されます。（小文字やだく点、半だく点付きも同様です。）
  ■あ行…１　■か行…２　■さ行…３　■た行…４
  ■な行…５　■は行…６　■ま行…７　■や行…８
  ■ら行…９　■わ／を／ん／ー（長音）／、／。／改行…０

ワンタッチ変換を利用する

押したボタンに割り当てられている、すべてのひらがなの組み合わせを利用して、漢字変換を行えます。
目的のひらがなを入力するために、何度も同じボタンを押す必要がなくなります。

例：「微妙」を入力するとき

通常の変換	6MNOは 6MNOは ＊ （び） 7PQRSま 7PQRSま （み） 8TUVや 8TUVや 8TUVや 8TUVや 8TUVや 8TUVや （ょ） 1.@あ 1.@あ 1.@あ （う） （変換）
ワンタッチ変換	6MNOは ＊ （ば） 7PQRSま （ま） 8TUVや （や） 1.@あ （あ） （ワンタッチ変換）

1 ひらがなを入力し、を押す。

カーソルが緑色に変わります。

- ワンタッチ変換状態（緑色のカーソル）でを押すと、変換の対象となる文字の区切りを変えることができます。このときも以降の変換はワンタッチ変換となります。

■通常変換に戻す：CLEAR/BACK➡（**通常変換**）

2 で文字を選び、を押す。

注意▶ ひらがな以外を入力しているときは、ワンタッチ変換は利用できません。

補足▶ ワンタッチ変換では、これまでによく変換した文字列が優先してリストに表示されます。（主に名詞に対応しています。）

推測頭出し変換

１文字だけ入力してワンタッチ変換すると、その行の文字（「**あ**」を入力したときは「**あ**」「**い**」「**う**」「**え**」「**お**」）で始まる言葉が、操作した時間帯に応じて表示されます。

例：「あ」を入力したとき

5:00～10:59	11:00～16:59	17:00～22:59	23:00～4:59
朝一番 朝帰り 行ってきます いってらっしゃい ⋮	あちぃ～ 後でね いただきま～す♪ 移動中 ⋮	遊ぼう 明日 急いで行くよ 今どこ？ ⋮	アウチ！！ ありがとう いえーい！！！ 行こうね ⋮

- 表示される言葉は、時間帯ごとであらかじめ登録されています。
- 時刻が設定されていないときは、操作した時間帯にかかわらず11:00～16:59の内容が表示されます。

ワンタッチ１文字学習

以前にワンタッチ変換した文字列の先頭の１文字を入力してワンタッチ変換すると、以前の変換結果が最初に表示されます。

例：以前に「あたあさわ」でワンタッチ変換し、「お父さん」を採用していたとき

その他の機能

変換方法の設定	「**近似予測変換**」および「**連携予測変換**」（P.3-6）を利用できないようにします。

お買い上げ時 On（利用する）

文字入力画面で（メニュー）➡「入力／変換設定」選択➡◉➡「近似予測」／「連携予測」選択➡◉➡「Off」選択➡◉

変換履歴の消去	これまでによく変換した文字列の変換履歴を消去します。

文字入力画面で（メニュー）➡「入力／変換設定」選択➡◉➡「学習辞書リセット」選択➡◉➡（Yes）

● ユーザー辞書に登録している単語は消去されません。

文字の編集

入力した文字を削除／修正する

1 **で削除する文字を選び、CLEAR/BACKを押す。**

● カーソル上の1文字が消えます。

● CLEAR/BACKを長く（1秒以上）押すと、カーソルが文中にあるときはカーソルから後ろの文字が消えます。カーソルが文末にあるときは、カーソルから前の文字が消えます。

2 **正しい文字を入力する。**

コピー／カット（切り取り）／ペースト（貼り付け）を行う

連続した文字列を、コピー／カットして他の場所へペーストします。

● 同じ画面内にも他の画面にもコピー／カットできます。（「**メニュー**」が表示されない画面へはコピー／カットできません。）

1 **文字入力画面で、（メニュー）を押す。**

2 **「コピー」または「カット」を選び、◉を押す。**

3 **で、コピー／カットする文字列の最初の文字を指定し、◉を押す。**

文字列の開始位置が指定されます。

■ 開始位置の再指定：CLEAR/BACK

切り取り例

4 **コピー／カットする文字列の最後の文字を指定し、◉を押す。**

● カットすると、指定した文字列が元の画面から消去されます。

5 **ペースト先を表示する。**

6 **（メニュー）を押したあと、「ペースト」を選び、◉を押す。**

カーソル後の文字をまとめて削除する

1 削除する場所にカーソルを移動する。

2 ㋱（メニュー）を押す。

3「カーソル後消去」を選び、◉を押す。

その他の機能

電話帳の登録内容を利用して入力する

文字入力中に電話帳を呼び出し、登録している電話番号などの文字列を作成中の文章に挿入します。

- 利用できる項目は、「**名前（姓／名）**」、「**電話番号1～3**」、「**Eメールアドレス1～3**」、「**住所（郵便番号、国、都道府県、市町村、番地）**」、「**メモ**」です。

1 文字入力画面で、㋱（メニュー）を押す。

- 文字を挿入する場所で㋱（メニュー）を押してください。

2「その他」を選び、◉を押す。

3「電話帳引用」を選び、◉を押す。

4 利用する相手の電話帳を呼び出す。

- オーナー情報もここで呼び出せます。

5 ◎で項目を選び、◉を押す。

選んだ項目の前に、相手の名前（姓／名）が付いて挿入されます。

定型文を利用する

あらかじめ、よく使う文章を定型文として登録してください。（☞P.9-14）

1 文字入力画面で、㋱（メニュー）を押す。

2「定型文」を選び、◉を押す。

3「定型文読み出し」を選び、◉を押す。

4 定型文を選び、◉を押す。

定型文の内容が挿入されます。

文字入力中の定型文登録

■入力済の内容を、新しい定型文として登録できます。

定型文を新しく登録するときは、メール／電話帳などの文字入力画面で、次の操作を行います。

㋱（メニュー）➡「**定型文**」選択➡◉➡「**定型文登録**」選択➡◉➡**最初の文字にカーソル移動**➡◉➡**最後の文字にカーソル移動**➡◉

- 最大256文字まで入力できます。

電話帳について

よく電話をかけたり、メールをやりとりする相手の名前や電話番号、E-mailアドレスなどを電話帳に登録しておくと便利です。また、電話帳に登録している相手から電話があったときには、相手の名前や写真などが表示されます。

■電話帳から電話をかける（☞P.4-7）

■電話帳からメールを送信する（☞P.15-7）

■電話などの着信があると

注意▶ 大切なデータを失わないために

電話帳に登録した電話番号や名前は、電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化してしまうことがあります。また、事故や故障でも同様の可能性があります。大切な電話帳などは、控えをとっておくことをおすすめします。なお、電話帳が消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

補足▶

- 左記以外にも相手別に着信音を指定したり、グループ別に管理するなどさまざまな項目を登録できます。（☞P.4-3）
- 電話帳を誤って削除しないように、また他人が使用できないように設定することができます。（☞P.11-14）
- Bluetooth（☞P.10-2）や赤外線通信（☞P.10-9）を利用して、他の機器との間で、電話帳のやりとりができます。

電話帳登録

電話帳に登録できる項目

903SHの電話帳には、903SHの「**本体**」のメモリを使用する電話帳と「**USIMカード**」のメモリを使用する電話帳の２種類があります。（☞P.4-7）

- 903SHには500件の電話帳が登録できます。USIMカードに登録できる件数は、USIMカードによって異なります。
- 登録できる項目や内容は下表でご確認ください。
- ご使用のUSIMカードによっては、登録できない項目があったり、文字数やグループ数が制限されることがあります。
  また、電話帳１件あたりに登録できる電話番号やE-mailアドレスの件数が少なくなるなど、利用項目が制限されることがあります。

項目	内容	登録の可／不可	
		本体	USIMカード
名前／姓： 名前／名：	最大16文字まで入力できます。 （USIMカードへの登録は、「**名前：**」となります。）	○	○
ヨミ：	最大32文字まで入力できます。	○	○
電話番号：	電話帳１件あたりに登録できる電話番号は、本体：最大３件、USIMカード：最大２件です。それぞれ最大32ケタまで入力できます。	○	○
Eメールアドレス：	電話帳１件あたりに登録できるE-mailアドレスは、本体：最大３件、USIMカード：最大１件です。最大128文字まで入力できます。	○	○
グループ：	本体／USIMカードそれぞれ最大16種類のグループに分けて管理でき、グループ名も変更できます。また、本体の電話帳は、グループごとに着信音を設定できます。	○	○
郵便番号：	最大20文字まで入力できます。	○	×
国：	最大32文字まで入力できます。	○	×
都道府県：	最大64文字まで入力できます。	○	×
市町村：	最大64文字まで入力できます。	○	×
番地：	最大64文字まで入力できます。	○	×
メモ：	相手の個人情報などを、最大256文字まで入力できます。	○	×
誕生日：	相手の誕生日を登録できます。	○	×
フォト：	電話がかかってきたときやメールが届いたとき、登録した画像を表示します。	○	×
着信音／ムービー：	登録した相手から電話がかかってきたときの着信パターンやムービーを設定できます。	○	×
シークレット設定：	他人に見られたくない電話帳を、秘密の電話帳として登録できます。	○	×

4
電話帳

電話帳の基本的な登録方法

ここでは、新規作成を例に、相手の「姓」、「名」、「電話番号」、「E-mailアドレス」の登録を順に説明します。その他の項目（☞P.4-3）を入力するときは、P.4-5～P.4-6を参照してください。

- お買い上げ時には、電話帳の登録先は、「本体」に設定されています。（☞右記）

 ▶ 電話帳 ▶ 電話帳

1 ⊖（メニュー）を押す。

2「新規作成」を選び、◉を押す。

電話帳登録の画面が表示されます。

電話帳登録の画面

3「名前／姓：」を選び、◉を押す。

4 相手の名字を入力し、◉を押す。

5「名前／名：」を選び、◉を押す。

6 相手の名前を入力し、◉を押す。

7「電話番号：」を選び、◉を押す。

8 電話番号を入力し、◉を押す。

- 一般電話は、市外局番も必ず入力してください。

9 アイコンを選び、◉を押す。

■ 複数の電話番号の登録：「電話番号：」選択➡◉➡操作８～９をくり返す

10「Eメールアドレス：」を選び、◉を押す。

11 E-mailアドレスを入力し、◉を押す。

12 アイコンを選び、◉を押す。

■ 複数のE-mailアドレスの登録：「Eメールアドレス：」選択➡◉➡操作11～12をくり返す

13 ⊖（保存）を押す。

注意▶ 必ず「姓」、「名」、「電話番号」、「E-mailアドレス」のいずれかを入力してから保存してください。電話帳に登録できません。

電話帳入力中に着信があると

■入力中の内容は記憶されています。通話終了後に入力を継続できます。

登録先を変更する

■次の操作を行うと、電話帳を新規作成するときの登録先をあらかじめ設定できます。

◉➡「電話帳」選択➡◉➡「設定」選択➡◉➡「登録先設定」選択➡◉➡「本体」／「USIM」／「毎回確認」選択➡◉

- 「毎回確認」を選ぶと、新規作成を行うたびに、登録先の選択画面が表示されるようになります。
- お買い上げ時には、「本体」に設定されています。

個別に着信音などを設定する

電話がかかってきたときや、メールを受信したときの着信パターンを設定します。

- あらかじめ登録されているパターンの他に、データフォルダの次のサウンド／動画が設定できます。
  - ■着信メロディ＆サウンドフォルダ内のファイル名が拡張子を含めて55文字以内のサウンド
  - ■ムービーフォルダ内のファイル名が拡張子を含めて55文字以内の動画
- 動画を設定するときは、あらかじめ、ムービーフォルダ内に動画を登録してください。
- メモリカード内のデータは、利用できません。

1 **電話帳登録の画面（☞P.4-4）で「着信音／ムービー：」を選び、◉を押す。**

2 **着信の種類を選び、◉を押す。**

3 ***着信音の設定***

1「着信音選択」を選び、◉を押す。

■ 設定の解除：「**設定解除**」選択➡◉➡㊀（Yes）

2「固定データ」または「データフォルダ」を選び、◉を押す。

動画の設定

1「ムービー選択」を選び、◉を押す。

■ 設定の解除：「**設定解除**」選択➡◉➡㊀（Yes）

4 **サウンドまたはムービーを選び、◉を押す。**

固定の着信音を選んだときは、再生画面が表示されますので、㊀（**決定**）を押してください。

■ メール着信時の鳴動時間を設定する：操作４のあと◉➡「**鳴動時間**」選択➡◉➡時間入力➡◉

5 **㊀（戻る）を押す。**

電話帳登録の画面（☞P.4-4）に戻ります。他の項目を入力してください。

注意▶

- データフォルダ内のサウンドや動画を設定しているときに、設定しているファイルに対して以下の操作を行うと、音声着信またはTVコール着信時には「Carnival du Brazil」、メール着信時には「**メールサウンド１**」で再生されます。
  （著作権保護されたファイルの有効期限切れのときも、同様の着信音が再生されます。）
  - ■ファイルの削除／ファイル名の変更／メモリカードへ移動
- 設定した電話帳がシークレットデータの場合、シークレットモードに設定されていないときは、ここでの設定は無効となります。

指定した画像（静止画）を着信時に表示する

相手から電話がかかってきたときや、メールが送られてきたとき、登録している画像をディスプレイに表示します。

- 設定できるのは、40Kバイト以内の画像ファイルです。
- メモリカード内の画像は、利用できません。

1 電話帳登録の画面（☞P.4-4）で「フォト：」を選び、◉を押す。

2「フォト選択」を選び、◉を押す。

■フォト設定の解除：「**フォト解除**」選択➡◉➡㊀（Yes）

3 画像を選び、◉を押す。

電話帳登録の画面（☞P.4-4）に戻ります。他の項目を入力してください。

注意▶ 登録したデータフォルダ内の元の画像に対して以下の操作を行うと、フォト設定している画像は表示されなくなります。

■ ファイルの削除／ファイル名の変更／メモリカードへ移動

シークレットを設定する

他の人に見られたくない電話帳をシークレットデータとして設定します。

1 電話帳登録の画面（☞P.4-4）で「シークレット設定：」を選び、◉を押す。

2「On」を選び、◉を押す。

電話帳登録の画面（☞P.4-4）に戻ります。他の項目を入力してください。

注意▶
- シークレットデータは、シークレットモード（☞P.11-14）を設定しないと、確認できません。
- シークレット設定を解除するときは、シークレットモードを設定したあと、電話帳の修正（☞P.4-9）を行います。（左記「**シークレットを設定する**」操作2の「On」の代わりに「Off」を選びます。）

その他の項目を登録する

下表の操作は、電話帳登録の画面（☞P.4-4）で行います。

- 登録内容や入力できる文字数など詳しくは、P.4-3「**電話帳に登録できる項目**」を参照してください。

項目	操作
ヨミ	「**ヨミ：**」選択➡◉➡よみがな入力➡◉※
グループ	「**グループ：**」選択➡◉➡グループ選択➡◉※
郵便番号	「**郵便番号：**」選択➡◉➡郵便番号入力➡◉※
国	「**国：**」選択➡◉➡国名入力➡◉※
都道府県	「**都道府県：**」選択➡◉➡都道府県名入力➡◉※
市町村	「**市町村：**」選択➡◉➡市町村名入力➡◉※
番地	「**番地：**」選択➡◉➡番地入力➡◉※
メモ	「**メモ：**」選択➡◉➡内容入力➡◉※
誕生日	「**誕生日：**」選択➡◉➡年／月／日入力➡◉※

※このあと、電話帳登録の画面（☞P.4-4）に戻ります。他の項目を入力してください。

発信履歴／着信履歴の電話番号を登録する

1 で発信履歴または着信履歴を表示する。

2 で履歴を選び、（メニュー）を押す。

3「電話帳登録」を選び、を押す。

4 *新しい電話帳に登録する*

1「新規作成」を選び、を押す。

自動的に電話番号が入力され、電話帳登録の画面（☞P.4-4）になります。他の項目を入力してください。

登録済の電話帳に追加登録する

1 追加登録する相手の電話帳を選び、を押す。

自動的に電話番号が入力され、電話帳登録の画面（☞P.4-4）になります。他の項目を入力してください。

注意▶ 着信履歴には、発信者番号通知がないものも記憶されます。発信者番号通知がないものは、電話帳に登録できません。

電話帳の登録件数を確認する

メニュー ▶ 電話帳 ▶ 電話帳管理

1「メモリ確認」を選び、を押す。

903SH／USIMカードに登録されている電話帳の件数が表示されます。

■確認終了：

電話帳の利用

電話帳をさまざまな方法で呼び出して電話をかけられます。

電話帳から電話をかける

1 を押す。

2 で相手のよみがなの行を指定する。

- 相手のヨミを入力して、該当する電話帳を検索することもできます。

3 で電話帳を選び、を押す。

登録した電話帳の詳細が表示されます。

- この画面からメールを送信することもできます。（☞P.15-7）

4 を押す。

- このあと、通話を終了するときはを押してください。

電話帳を切り替える（本体／USIMカード）

■次の操作で電話帳のメモリを切り替えてください。（メモリ切替）

➡「電話帳」選択➡➡「設定」選択➡➡「メモリ切替」選択➡➡「本体」／「USIM」選択➡

- お買い上げ時には、「本体」に設定されています。

補足▶
- 他の方法で電話帳を検索することもできます。（☞P.4-8）
- シークレットデータを利用して電話をかけるときは、あらかじめシークレットモードに設定しておいてください。（☞P.11-14）

ディスプレイ

1 相手の名前
2 フォトに設定されている画像
3 電話番号
4 E-mailアドレス
5 グループ名
6 住所
住所は、郵便番号、国名、都道府県名、市町村名、番地をカンマ（ , ）で区切り、改行した状態で登録されています。
7 メモ
8 誕生日
9 着信音に設定しているサウンド／動画
10 シークレットOn

電話帳の検索方法を切り替える

電話帳検索は、次の３つの方法から選んで利用できます。

ヨミ	登録したよみがなの順で電話帳を表示します。
グループ	指定したグループ内の電話帳を表示します。
あかさたな別	指定したよみがなの行の電話帳を表示します。

● お買い上げ時には、「**あかさたな別**」に設定されています。

メニュー ▶ 電話帳 ➡ 設定 ➡ 検索方法切替

1 「ヨミ」、「グループ」、「あかさたな別」のいずれかを選び、◉を押す。

各検索方法を利用して電話をかける

ヨミ検索 「ヨミ」で電話帳を表示して電話をかけます。

■検索方法を「ヨミ」に切り替えてください。（☞上記）

◎➡**よみがなを入力➡電話帳選択**➡◉➡☎

■ 文字入力モードの切替：☞P.3-2

グループ検索 「グループ」で電話帳を表示して電話をかけます。

■検索方法を「グループ」に切り替えてください。（☞上記）

◎➡**グループ選択**➡◉➡**電話帳選択**➡◉➡☎

あかさたな検索 「あかさたな別」で電話帳を表示して電話をかけます。

■検索方法を「あかさたな別」に切り替えてください。（☞上記）

◎➡**よみがなの行を指定➡電話帳選択**➡◉➡☎

■ 行の切替：◎

電話帳の編集

電話帳を修正する

1 **Ⓖを押したあと、電話帳を呼び出す。**

2 **㊀（メニュー）を押す。**

3 **「編集」を選び、◉を押す。**

4 **項目を選び、◉を押す。**

選んだ項目が修正できる状態になります。
- このあと、電話帳登録時と同様の操作（☞P.4-4）で修正します。

5 **修正が終われば、◉を押す。**

■続けて他の項目を修正：操作4～5をくり返す
■操作の中止：Ⓕ➡㊀（Yes）

6 **㊀（保存）を押す。**

電話帳が保存されます。

> **シークレットデータの電話帳**
>
> ■シークレットデータとして登録している電話帳を編集するときは、あらかじめシークレットモード（☞P.11-14）を「On」に設定してください。

電話帳をコピーする

本体とUSIMカード間で、電話帳を1件または全件まとめてコピーできます。
- 本体とUSIMカードでは、電話帳に登録できる項目が異なります。（☞P.4-3）
そのため、本体からUSIMカードに電話帳をコピーすると、USIMカードに登録できない項目は削除されます。

1件ずつコピーする

本体⇔USIMカード間で、電話帳を1件ずつコピーします。

1 **Ⓖを押したあと、電話帳を呼び出す。**

2 **㊀（メニュー）を押す。**

3 **「電話帳管理」を選び、◉を押す。**

4 ***本体からUSIMカードにコピーする***

1「USIMカードにコピー」を選び、◉を押す。
2㊀（Yes）を押す。

USIMカードから本体にコピーする

1「本体にコピー」を選び、◉を押す。

全件コピーする

本体⇔USIMカード間で、電話帳をすべてコピーします。
- すべての電話帳をコピーするための空き容量が足りないときは、空き容量分のコピーを行います。

メニュー ▶ 電話帳 ➡ 電話帳管理 ➡ 全件コピー

1 **「USIM→本体」または「本体→USIM」を選び、◉を押す。**

2 **㊀（Yes）を押す。**

電話帳を削除する

1件ずつ削除する

1 ◎を押したあと、電話帳を呼び出す。

2 ⊝（メニュー）を押す。

3「削除」を選び、◉を押す。

4 ⊝（Yes）を押す。

注意▶ 着信音、フォトが設定されている電話帳を削除しても、データフォルダ内のサウンドや画像は削除されません。

全件削除する

本体またはUSIMカードの電話帳をすべて削除します。

メニュー ▶ 電話帳 ➡ 電話帳管理 ➡ 全件削除

1「本体」または「USIM」を選び、◉を押す。

2 ⊝（Yes）を押す。

3 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

4 ◉を押す。

グループ設定

電話帳で使用するグループ名を変更したり、グループごとに着信音を設定します。

● あらかじめ、「本体」の電話帳／「USIM」の電話帳のどちらを利用するかを設定してください。（☞P.4-7）

グループ名を変更する

メニュー ▶ 電話帳 ➡ グループ設定

1 グループ名を選び、⊝（メニュー）を押す。

2「編集」を選び、◉を押す。

3 新しいグループ名を入力する。

● 最大16文字まで入力できます。

4 ◉を押す。

■ 別のグループ名の変更：操作１～４をくり返す

グループ着信音を設定する

グループ別に着信時の着信音や動画を設定します。

- 個別に着信音を設定しているとき（☞P.4-5）は、ここでの設定より個別の着信音の設定が優先されます。
- USIMカードのグループには、着信音は設定できません。
- 動画を設定するときは、あらかじめ、ムービーフォルダ内に動画を登録してください。
- メモリカード内のデータは、利用できません。

メニュー ▶ 電話帳 ➡ グループ設定

1 **グループを選び、㊀（メニュー）を押す。**

2 **「着信音／ムービー」を選び、◉を押す。**

3 **着信の種類を選び、◉を押す。**

4 ***着信音の設定***

1「着信音選択」を選び、◉を押す。

■ 設定の解除：「**設定解除**」選択➡◉➡㊀（Yes）

2「固定データ」または「データフォルダ」を選び、◉を押す。

動画の設定

1「ムービー選択」を選び、◉を押す。

■ 設定の解除：「**設定解除**」選択➡◉➡㊀（Yes）

5 **サウンドまたはムービーを選び、◉を押す。**

固定の着信音を選んだときは、再生画面が表示されますので、㊀（**決定**）を押してください。

■ メール着信時の鳴動時間を設定する：操作５のあと◉➡「**鳴動時間**」選択➡◉➡時間入力➡◉

■ 待受画面に戻る：⦾➡㊀（Yes）

メールグループ登録

メールグループを登録すると、同じメールグループに登録した複数の宛先に、同じメールを一括で送信できます。（☞P.15-7）

メールグループを作成する

- メールグループは、５グループまで作成できます。

メニュー ▶ 電話帳 ➡ メールグループ登録 ➡ 新規グループ

1 **グループ名を入力し、◉を押す。**

メールグループの名前変更	メールグループの名前を変更します。

メニュー ▶ 電話帳 ➡ メールグループ登録

メールグループ選択➡㊀（メニュー）➡「グループ名編集」選択➡◉➡グループ名入力➡◉➡㊀（Yes）

メールグループを削除	メールグループをグループごと削除します。

メニュー ▶ 電話帳 ➡ メールグループ登録

メールグループ選択➡㊀（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡㊀（Yes）➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡㊀（OK）

メールグループに登録する

メールグループに、電話帳内の相手のE-mailアドレスを登録します。あらかじめ、電話帳に送信先のE-mailアドレス/ボーダフォン携帯電話の電話番号を登録してください。(☞P.4-4)

- あらかじめメールグループを作成しておいてください。
- 1グループは、20件まで登録できます。

メニュー ▶ 電話帳 ➡ メールグループ登録

1 **メールグループを選び、◉を押す。**

2 **「メンバー登録」を選び、◉を押す。**

3 **登録する電話帳を選び、◉を押す。**

4 **E-mailアドレス/ボーダフォン携帯電話の電話番号を選び、◉を押す。**

メールグループに登録されます。

- 電話帳に、E-mailアドレス/ボーダフォン携帯電話の電話番号を1件しか登録していないときは、操作4は必要ありません。

■ 他のE-mailアドレス/ボーダフォン携帯電話の電話番号を登録する:操作2~4をくり返す

メールグループを編集する

メールグループから削除	メールグループに登録されているE-mailアドレス/ボーダフォン携帯電話の電話番号を削除します。

メニュー ▶ 電話帳 ➡ メールグループ登録

メールグループ選択➡◉➡E-mailアドレス/ボーダフォン携帯電話の電話番号選択➡㋷(メニュー)➡「削除」選択➡◉➡㋷(Yes)

- ここで削除を行っても、電話帳のデータは変更されません。

メールグループの変更	メールグループに登録済のE-mailアドレス/ボーダフォン携帯電話の電話番号を変更します。

メニュー ▶ 電話帳 ➡ メールグループ登録

メールグループ選択➡◉➡E-mailアドレス/ボーダフォン携帯電話の電話番号選択➡㋷(メニュー)➡「変更」選択➡◉➡電話帳選択➡◉➡E-mailアドレス/ボーダフォン携帯電話の電話番号選択➡◉➡㋷(Yes)

補足▶ メールグループに登録した相手の電話帳を削除したり、電話番号やE-mailアドレスを編集したときは、登録した電話番号やE-mailアドレスはメールグループから削除されます。

スピードダイヤル設定

スピードダイヤルに設定する

スピードダイヤルに設定しておくと、簡単な操作で電話がかけられます。

メニュー ▶ 電話帳 ➡ スピードダイヤル設定

1 **2～9のいずれかを選び、●を押す。**

2 **電話帳リストから、相手を選ぶ。**

- 選んだ相手に電話番号が複数登録されているときは、電話番号を選びます。

3 **●を押す。**

■ 上書き登録時：上記操作のあと㊀（Yes）

電話帳からのスピードダイヤル設定

■スピードダイヤルに設定する相手の電話帳を表示している状態からでも、スピードダイヤルに設定できます。このときは、次の操作を行います。

㊀（メニュー）➡「スピードダイヤル追加」選択➡●➡2～9選択➡●

補足▶
- 2に登録した相手には、ステレオイヤホンマイクなどを利用して、ワンタッチで電話をかけられます。（☞P.2-21）
- スピードダイヤルに設定した相手の電話帳を削除したり、電話番号を編集したときは、設定した電話番号はスピードダイヤルから削除されます。

スピードダイヤルで電話をかける

スピードダイヤルに設定した電話帳は、簡単な操作で発信できます。

1 **2～9のいずれかを長く（1秒以上）押す。**

相手の名前と電話番号が表示され、ダイヤルされます。
- スピードダイヤルリストから相手を選び、㊂を押しても電話をかけられます。

注意▶ シークレットデータを利用して電話をかけるときは、あらかじめシークレットモードに設定しておいてください。（☞P.11-14）

1件削除	スピードダイヤルを1件ずつ削除します。

メニュー ▶ 電話帳 ➡ スピードダイヤル設定

削除する番号選択➡㊀（メニュー）➡「削除」選択➡●➡㊀（Yes）

設定リセット	スピードダイヤル設定をお買い上げ時の状態に戻します。

メニュー ▶ 電話帳 ➡ スピードダイヤル設定

㊀（メニュー）➡「設定リセット」選択➡●➡㊀（Yes）

オーナー情報

オーナー情報を確認する

ご使用のUSIMカードに登録されている電話番号を確認します。

- 903SHにオーナー情報（名前、電話番号、E-mailアドレス、住所など）を登録できます。

1 ◉を押す。

2「オーナー情報」を選び、◉を押す。

オーナー情報が表示されます。

- オーナー情報画面の見かたは、電話帳（☞P.4-8）と同様です。

3 確認を終わるときは、◎を押す。

補足▶ Bluetooth（☞P.10-2）や赤外線通信（☞P.10-9）を利用して、オーナー情報をやりとりできます。

オーナー情報の登録 オーナー情報を登録します。

メニュー ▶ **オーナー情報**

㊀（メニュー）➡「編集」選択➡◉➡編集項目選択➡◉

- このあとの入力方法は、電話帳の登録と同様です。（☞P.4-4）

オーナー情報の削除 登録したオーナー情報を削除します。

メニュー ▶ **オーナー情報**

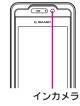
㊀（メニュー）➡「1件削除」選択➡◉➡㊀（Yes）

注意▶「電話番号1」は、変更／削除できません。

TVコール

TVコールをご利用になる前に

お客様ご自身と相手の画像（映像）を見ながら、通話できます。

- 相手には、インカメラで撮影したお客様の画像が送信されます。
- アウトカメラを利用することもできます。きれいな画像を送りたいときに便利です。

ディスプレイ

※1 相手の画像とお客様の画像を入れ替えるなど、画面の表示方法を変更できます。（☞P.5-4）

※2 相手の名前は、903SHの電話帳に登録されているときに表示されます。

TVコール利用時のご注意

- TVコールに対応している携帯電話との間で利用できます。
- ボーダフォンのTVコールと異なる方式の携帯電話と接続したときは、通話が切れることがあります。このときも、通話が切れるまでの通話料金が課金されます。
- 相手の携帯電話によっては、相手の画像が小さく表示されることがあります。また、相手の設定によっては、相手の画像が送信されてこないことがあります。
- 背景に動きがあると、相手に送信する画像がコマ送りになることや、ブロックノイズが発生することがあります。
- 周囲の騒音が大きい場所では、音声が途切れるなど、良好な通話ができないことがあります。このときは、ステレオイヤホンマイクのご利用をおすすめします。
- スピーカーホン（☞P.5-5）をご利用のときは、受話音量を大きくすると会話しづらくなることがあります。このときは、音量を下げて通話するか、ステレオイヤホンマイクのご利用をおすすめします。
- TVコール通話中は、ボタン操作部や電池カバーおよびカメラ周辺部の温度が上がりますが、故障ではありません。

TVコールをかける

1 電源が入っていることを確認して、電話番号を入力する。

●電話帳や発信履歴、着信履歴を利用することもできます。

2 ㊀（メニュー）を押す。

3「TVコール」を選び、◉を押す。

相手がTVコールを受けると、相手の画像が表示されます。

●相手が画像を送信しないなどの設定を行っているときは、相手の画像は表示されませんが、TVコール料金はかかります。

■通話中の操作：☞P.5-4

4 通話が終わったら、㊄を押す。

●903SHをクローズポジションにしても通話は切れます。（ステレオイヤホンマイクやBluetoothを利用して通話しているときは、クローズポジションにしても通話は切れません。）

補足▶ 電話番号を入力したあとは、㊂を長く（1秒以上）押してもTVコールをかけられます。

ビューアポジションでの発信 ビューアポジションでTVコールをかけます。

ビューアポジションの待受画面で（カメラ）➡「電話帳」選択➡（カメラ）➡「電話帳」選択➡（カメラ）➡電話帳呼出（☞P.4-8）➡電話番号選択➡（カメラ）➡「TVコール」選択➡（カメラ）

■通話終了：（サイドキー）（1秒以上）

TVコールを受ける

1 TVコール着信中に、903SHをオープンポジションにする。

TVコール着信時は、TVコール着信のグラフィックが表示されます。

2 *お客様の画像を送信する*

❶ ㊀（メニュー）を押す。

❷「自画像表示」を選び、◉を押す。

インカメラからの画像が相手に送信されます。

●㊂を押してもTVコールを受けられます。

■通話中の操作：☞P.5-4

お客様の画像を送信しない

❶ ㊀（メニュー）を押す。

❷「自画像非表示」を選び、◉を押す。

●お客様の画像は送信されませんが、相手にTVコール料金はかかります。

■通話中の操作：☞P.5-4

3 通話が終わったら、㊄を押す。

●903SHをクローズポジションにしても通話は切れます。（ステレオイヤホンマイクやBluetoothを利用して通話しているときは、クローズポジションにしても通話は切れません。）

着信を拒否／転送する

■TVコール着信中に次の操作を行うと、着信を拒否／転送できます。

㊀（メニュー）➡「着信拒否」／「着信転送」選択➡◉

ビューアポジションでの着信	ビューアポジションでTVコールを受けます。

お客様の画像を送信する

着信中に(カメラ)➡「自画像表示」選択➡(カメラ)

■通話終了：(終話)（1秒以上）

● 着信中に(カメラ)を長く（1秒以上）押してもTVコールを受けられます。

お客様の画像を送信しない

着信中に(カメラ)➡「自画像非表示」選択➡(カメラ)

■通話終了：(終話)（1秒以上）

TVコール通話中の操作

送信画像切替	相手に送信する画像（インカメラ／アウトカメラ／代替画像）を切り替えます。

お買い上げ時インカメラ

通話中に(右)（アウトカメラからの画像を送信）➡(右)（代替画像を送信）➡(右)（インカメラからの画像を送信）

● (左)を押すと逆順に切り替わります。

● 代替画像の設定については、P.5-6を参照してください。

注意▶ アウトカメラに切り替えたあと、903SHの温度が一定以上になると、温度上昇の警告メッセージが表示されます。さらに温度が上昇し一定の温度を超えると、自動的に代替画像に切り替わります。また、インカメラ使用中や、代替画像を表示中に903SHの温度が一定以上になったときは、アウトカメラに切り替えることはできません。

受話音量調節	相手の声の大きさを5段階（1～5）で調節します。

お買い上げ時音量3

通話中に(右)／(左)➡(右)（小さくする）／(左)（大きくする）

押すたびに受話音量が調節できます。

● 一度変更した音量は、電源を切っても保持されます。

画面表示方法切替	TVコール中の画面の表示方法を切り替えます。

お買い上げ時相手画像大

通話中に(●)

● (●)を押すたびに次のように画面が切り替わります。

● 相手の画像／お客様の画像だけを表示しているときは、画像を拡大することもできます。

■「**相手画像のみ**」／「**自画像のみ**」時：(メニュー)（**メニュー**）➡「**表示サイズ**」選択➡(●)➡「**等倍**」／「**拡大**」選択➡(●)

●「**相手画像のみ**」の画面表示時も、お客様の画像は相手に送信されています。

5 TVコール

ミュート 相手に声を送信しないようにします。

通話中に㊀（ミュート）

■ミュートの解除：㊀（**ミュート解除**）

通話の保留 送話（音声／発信画像）と受話（音声）を停止します。（相手には保留画像が送信されます。）

通話中に㊀（メニュー）➡「保留」➡◉

■通話の再開：㊀（**メニュー**）➡「**再開**」➡◉

光学ズーム アウトカメラ利用時、光学ズーム（☞P.6-6）の有効／無効を設定します。

通話中に㊀（メニュー）➡「光学ズーム有効」／「光学ズーム無効」選択➡◉

- 通話中に◎を押しても、光学ズームの有効／無効は設定できません。メニューからの操作だけで設定可能です。
- 「**有効**」に設定していても、インカメラ利用中は無効になり、メニューにも表示されません。

スピーカーホン スピーカーを使った通話を中止します。

通話中に㊀（メニュー）➡「スピーカーホンOff」選択➡◉

■スピーカーホンをOnに設定する：通話中に㊀（**メニュー**）➡「**スピーカーホンOn**」選択➡◉

電話帳 903SHに登録済の電話帳やオーナー情報を表示します。電話帳登録も行えます。

通話中に㊀（メニュー）➡「電話帳」選択➡◉➡表示する電話帳を選択➡◉

■電話帳に登録する：通話中に㊀（**メニュー**）➡「**電話帳**」選択➡◉➡㊀（**メニュー**）➡「**新規作成**」選択➡◉

▪ 電話帳登録の画面（☞P.4-4）になります。

自画像反転 インカメラ利用中のお客様の画像を左右に反転させます。

お買い上げ時 On

通話中に㊀（メニュー）➡「TVコール設定」選択➡◉➡「自画像反転」選択➡◉➡「On」／「Off」選択➡◉

- アウトカメラの画像、代替画像、相手の画像は反転できません。

明るさ調整 発信画像の明るさを5段階（-2～+2）で設定します。

お買い上げ時 明るさ0

通話中に㊀（メニュー）➡「TVコール設定」選択➡◉➡「明るさ調整」選択➡◉➡◎で明るさ選択➡◉

- 代替画像は、明るさを調整できません。

音声切替 ハンズフリー機器などを利用時の音声出力先を切り替えます。

通話中に㊀（メニュー）➡「TVコール設定」選択➡◉➡「音声切替」選択➡◉➡「本体」／「Bluetooth」選択➡◉

その他通話中にできること

■モバイルライトの利用：# （長押し）（アウトカメラ利用中に有効）

■ズームの利用：◎（ズームイン）／◎（ズームアウト）

▪ アウトカメラ利用中：最大18段階ズーム可能（光学ズーム分を含む）
▪ インカメラ利用中：2段階ズーム可能

■㊀（**メニュー**）を押すと、P.5-6「TVコール設定」の設定も行えます。

TVコール設定

●通話中に変更することもできます。

カメラ選択	TVコールでカメラを利用するように設定します。

お買い上げ時インカメラ

メニュー▶ 設定 ➡ TVコール設定 ➡ 発信画像

「カメラ選択」選択➡◉➡「インカメラ」選択➡◉

- 通話中は「**アウトカメラ**」に変更することもできます。

代替画像	TVコール開始時に代替画像を送信するように設定します。

メニュー▶ 設定 ➡ TVコール設定 ➡ 発信画像

「カメラ選択」選択➡◉➡「代替画像選択」選択➡◉

■送信する代替画像の設定：「**代替画像選択**」選択➡◉➡「**固定データ**」／「**データフォルダ**」選択➡◉➡画像選択➡◉➡◉

スピーカーホン	TVコール開始時にスピーカーホンにするかどうかを設定します。

お買い上げ時On

メニュー▶ 設定 ➡ TVコール設定 ➡ スピーカーホン

「On」／「Off」選択➡◉

受信画質設定	相手から受信する画像の画質を設定します。

お買い上げ時標準

メニュー▶ 設定 ➡ TVコール設定 ➡ 受信画質設定

「標準」／「画質優先」／「フレームレート優先」選択➡◉

- 「**フレームレート優先**」にすると、動きはなめらかになりますが、画質は「**標準**」より悪くなります。
- 「**画質優先**」にすると、画質は向上しますが、動きは「**標準**」より悪くなります。

送信画質設定	相手に送信する画像の画質を設定します。

お買い上げ時標準

メニュー▶ 設定 ➡ TVコール設定 ➡ 送信画質設定

「標準」／「画質優先」／「フレームレート優先」選択➡◉

- 「**フレームレート優先**」にすると、動きはなめらかになりますが、画質は「**標準**」より悪くなります。
- 「**画質優先**」にすると、画質は向上しますが、動きは「**標準**」より悪くなります。

バックライト	TVコール中のバックライトの状態を設定します。

お買い上げ時常にOn

メニュー▶ 設定 ➡ TVコール設定 ➡ バックライト

「常にOn」／「常にOff」／「通常設定に従う」選択➡◉

- 「**通常設定に従う**」に設定すると、ディスプレイのバックライト設定（☞P.11-7）の設定内容に従います。

マイクミュート	TVコール開始時にマイクミュートする（こちらの音声を消す）かどうかを設定します。

お買い上げ時Off

メニュー▶ 設定 ➡ TVコール設定 ➡ マイクミュート

「On」／「Off」選択➡◉

保留中ガイダンス表示	TVコールの保留中に送信する画像を設定します。

メニュー▶ 設定 ➡ TVコール設定 ➡ 保留中ガイダンス表示

「固定データ」／「データフォルダ」選択➡◉➡画像選択➡◉➡◉

カメラ

カメラについて

903SHはオートフォーカス対応の3.2メガピクセルCCDカメラを搭載し、静止画や動画の撮影が可能です。詳しくは、下記の機能のページを参照してください。

- 静止画（写真撮影モード：☞P.6-8）
- 動画（動画撮影モード：☞P.6-14）
- カメラで使用するボタン（☞P.6-4）
- 各種撮影方法（☞P.6-16）

※カメラはオープンポジション、ビューアポジションで利用できるため、操作方法は以下のように併記して説明しています。
　例：(📷●)または(●)、(📷●)／(●)

補足▶ 903SHでは、インカメラ（☞P.1-7）でも撮影できます。ここでは、ことわりがない限り、アウトカメラ（☞P.1-8）での操作を中心に説明しています。

カメラをご利用になる前に

静止画や動画の保存形式／保存場所は、下表のとおりです。

モード	保存形式	保存場所
写真撮影モード	JPEG（.jpg）	903SHまたはメモリカードのデータフォルダ（ピクチャー：☞P.9-2）
動画撮影モード	MPEG-4（.3gp）	903SHまたはメモリカードのデータフォルダ（ムービー：☞P.9-2）
	MPEG-4（.ASF）	メモリカードのSDビデオフォルダ

補足▶
- 903SHまたはメモリカードのどちらに保存するかは、あらかじめ設定できます。撮影のたびに保存先を選ぶようにすることもできます。（保存先設定：☞P.6-20）
- 撮影サイズ「480×640」以上の静止画の保存先には、メモリカードのDCIMフォルダ（デジタルカメラフォルダ）も選べます。

カメラ利用時のご注意

- レンズカバー（☞P.1-8）に指紋や油脂がつくとピントが合わなくなります。柔らかい布などでレンズカバーをきれいにしてください。
- 手ぶれにご注意ください。画像がぶれる原因となります。903SHが動かないようにしっかり持って撮影するか、安定した場所においてセルフタイマー（☞P.6-10）で撮影してください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や暗く見える画素もありますのでご了承ください。
- 電池残量が少ないときは、モバイルライト（☞P.6-17）を「On」や「**自動**」にしていても、撮影時にモバイルライトが点灯しないことがあります。
- 903SHを暖かい場所に長時間置いていたあとで、撮影したり画像を保存したときは、画質が劣化することがあります。
- カメラ部分に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。

カメラ撮影中の撮影音

■カメラ撮影時には、一定の音量でシャッター音が鳴ります。
- マナーモードやその他のモード設定にかかわらず、撮影時の音（シャッター音やセルフタイマー音）は鳴ります。音量も変更できません。
- 静止画撮影時のシャッター音のパターンは、変更できます。（☞P.6-16）

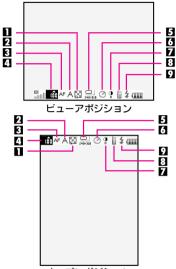
カメラ利用時に着信／アラーム動作があると

■撮影前に着信やアラーム動作があったときは、カメラは終了します。
■動画撮影中にアラームの設定時刻になっても、アラームは動作せず撮影を継続します。このときは、撮影後カメラを終了すると、アラームが動作します。
■撮影後（保存前）に着信やアラーム動作があったときは、撮影した静止画／動画は保護されています。通話などを終わると、撮影後の画面に戻ります。

自動終了

■カメラは、903SHが一定温度以上になると自動的に終了します。このときは、温度が下がるまでカメラは起動できません。
■カメラ起動後、画像を撮影する前に約５分間何も操作しないでおくと、自動的に終了し、待受画面へ戻ります。

外部出力

■ビデオ出力ケーブルを利用して、テレビやビデオなど他の機器に903SHの画面を表示できます。（☞P.11-7）

ディスプレイ

1 画質表示（☞P.6-19）

：ノーマル／：ファイン／：ハイクオリティ

2 シーン別表示（☞P.6-18）

A：標準／：夜景／：スポーツ／：文字／：ペット／：逆光／：人物／：人物（夜）

6 カメラ

3 フォーカス表示（☞P.6-17）
AF：オートフォーカス／MF：マニュアル／接写アイコン：接写

4 保存可能件数表示（☞P.6-8）
各モードでの撮影（保存）可能件数が表示されます。
- 101件以上撮影（保存）可能なときは、「100」が表示されます。
- 3件以下になると、背景が赤く表示されます。

5 撮影サイズ表示（☞P.6-18）／保存時間表示（☞P.6-19）

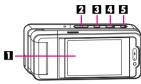
6 セルフタイマー表示（☞P.6-10）／連写モード表示（☞P.6-11）
セルフタイマーアイコン：セルフタイマーOn
連写アイコン～連写アイコン（枚数表示）：「**撮影済または表示中の枚数**」／「**連写枚数**」を表します。
連写アイコン：4枚連写Onモード／連写アイコン：9枚連写Onモード／
オーバーラップアイコン：オーバーラップ連写モード／ブラケットアイコン：ブラケット連写モード

7 明るさ表示（☞P.6-18）
-2 -1 0 +1 +2
暗い ◀標準▶ 明るい

8 保存先表示（☞P.6-20）
本体アイコン：本体（903SH）／メモリカードアイコン：メモリカード／デジタルカメラフォルダアイコン：デジタルカメラフォルダ／毎回確認アイコン：毎回確認

9 モバイルライト表示（☞P.6-17）
ライトアイコン：On／自動アイコン：自動／接写アイコン：接写

カメラで使用するボタン

ビューアポジションで使用するボタン

1 **ファインダー**
横向きの画面が表示されます。

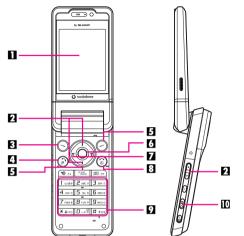
2 **ズーム**
▶（ズームアップ）、◀（ズームダウン）
- メニュー項目を選ぶときにも使います。

3 **メニュー表示**
メニューの選択項目はアイコンで表示されます。

4 **シャッター／カメラ起動**
軽く押すとフォーカスロック、押し切るとシャッターの役割をします。このほか、メニュー項目を選んだあとの決定などにも使います。
- 待受状態で長く（1秒以上）押すと、カメラが起動します。

5 **撮影モード切替／撮影のやり直し／カメラ終了**
撮影画面で軽く押すたびに、写真撮影モードと動画撮影モードが切り替わります。
- 撮影画面で長く（1秒以上）押すと、カメラが終了します。

オープンポジション／セルフショットポジションで使用するボタン

●利用できるボタン操作は、画面に表示できます。(☞P.6-20)

1 ファインダー
縦向きの画面が表示されます。

2 ズーム
◀／◉（ズームアップ）、▶／◉（ズームダウン）

3 メニュー表示

4 フォーカスロック（☞P.6-7）

5 撮影のやり直し

6 シャッター

7 撮影モード切替
◉（写真撮影モード）、◉（動画撮影モード）

8 カメラ終了

9 機能の簡単切替
カメラ起動後に下表のボタンを押すと、次の機能が簡単に利用できます。

●撮影モードによって利用できる機能は異なります。各モードで利用できる機能（☞P.6-9、P.6-15）などでご確認のうえ、ご利用ください。

1	最大／最小ズーム	押すたびに「最大ズーム」⇔「最小ズーム」切替
2	明るさ調整：☞P.6-18	2を押したあと◀▶、◉
3	フォーカス：☞P.6-17	押すたびに「マニュアル」→（「接写」）※1→「オートフォーカス」切替
4	保存先設定※2：☞P.6-20	押すたびに「メモリカード」→（「デジタルカメラフォルダ」）※1→「毎回確認」→「本体」切替
5	静止画撮影サイズ※2：☞P.6-18	押すたびに（「480×640」→「768×1024」→「960×1280」→「1200×1600」→「1536×2048」）※1→「120×160」→「240×320」切替
	録画画像サイズ切替※2：☞P.6-19	押すたびに「小（SubQCIF）」→（「QVGA（3gp）」）※1→「大（QCIF）」切替
6	シーン別撮影：☞P.6-18	押すたびに「夜景」→「スポーツ」→「文字」→「ペット」→「逆光」→「人物」→「人物（夜）」→「標準」切替
	マイクOn/Off：☞P.6-19	押すたびに「Off」⇔「On」切替
7	画質設定※2：☞P.6-19	押すたびに「ファイン」→「ハイクオリティ」→「ノーマル」切替（動画撮影モードは「ハイクオリティ」から順に切替）

※1 設定によっては、表示されないことがあります。
※2 一度設定を変更すると、次回は前回設定したものの次の項目から順に切り替わります。

キー	機能	操作
8	セルフタイマーOn／Off：☞P.6-10	押すたびに「On」⇔「Off」切替
*	アウト／インカメラの切替：☞P.6-20	押すたびに「**インカメラに切替**」⇔「**アウトカメラに切替**」切替
0	表示切替：☞P.6-16	押すたびに「**全画面表示**」⇔「**通常画面表示**」切替
#	モバイルライトOn／Off：☞P.6-17	押すたびに「On」→「**自動**」／「**自動点灯**」→（「**接写**」）※1→「Off」切替（点灯中は、9を押すたびにライト色切替）

※1 設定によっては、表示されないことがあります。
※2 一度設定を変更すると、次回は前回設定したものの次の項目から順に切り替わります。

⑩カメラ起動／シャッター

押すとフォーカスロック、押し切るとシャッターの役割をします。

- オープンポジション時、待受画面で長く（1秒以上）押すと、カメラが起動します。

光学ズーム

903SHではカメラのズーム機能として、光学ズームを利用できます。

- 光学ズームは、レンズを動かすことで被写体との焦点距離を変えています。実際に写る大きさも変わりますので、画質が劣化することはありません。
- 光学ズームを有効にすると、ズーム（☞P.6-5）のはじめの1段階が光学ズームとなります。

注意
- フォーカス（☞P.6-17）を「**接写**」にすると、光学ズームは無効となります。
- 光学ズームを有効にしているときは、近い距離（光学2倍時50cm、光学1倍時20cm）で焦点（ピント）を合わすことはできません。

オートフォーカス

903SHには自動的に被写体との距離を検知し焦点（ピント）を合わせる、「**オートフォーカス（AF）**」が搭載されています。シャッター（📷●または●）を押すと、ピントの自動調整を行ったあと、画像が撮影されます。

ピント自動調整中

- 被写体やまわりの状況に応じて、「**接写**」に切り替えたり、手動でフォーカスを合わせて撮影することもできます。（☞P.6-17）
- オートフォーカスを操作したときや、カメラを終了したときは、カメラのモーター音が鳴りますが、故障ではありません。

フォーカスロック

あらかじめピントを合わせた状態（フォーカスロック）で構図を変えて撮影できます。

	ビューアポジション	オープンポジション
フォーカスロックの操作	を軽く押し続ける。（押し続けているときだけフォーカスロックされます。）	を押す。
フォーカスロック操作後の動作	画面中央に白枠が表示されたあと、ピントの自動調整が行われます。ピントが合えば、枠が緑色に変わり、「**ピピ**」と鳴ったあと、フォーカスロックされます。	
フォーカスロック状態での撮影	を押し切る。	を押し切るか、を押す。

● フォーカスロック状態で撮影すると、ピントの自動調整の動作なしに、すぐに撮影されます。

● フォーカスロックを解除するときは、押したを離すか、もう一度を押します。

注意▶ 動いている被写体を撮影するとき、また、被写体との距離やまわりの明るさなどによっては、フォーカスロックができないことがあります。

マニュアル撮影

被写体に合わせ、手動でピントを調整して撮影できます。

● あらかじめ、フォーカスを「**マニュアル**」にしておいてください。（☞P.6-17）

	ビューアポジション	オープンポジション
ピント調整の操作	を押す。	を押す。
ピント調整後の操作	を軽く押す。	（OK）を押す。
ピント調整完了状態での撮影	を押し切る。	を押し切るか、を押す。

● ピント調整をやり直すときは、ピント調整後もう一度を軽く押すかを押したあと、ピント調整の操作をくり返します。

静止画の撮影

写真撮影モード

メール添付や壁紙登録など、用途にあわせ最大横1536×縦2048ドットの静止画が撮影できます。また、各種撮影方法や各種画像の設定など、目的に応じた設定を選んで撮影できます。

撮影サイズ	横1536×縦2048ドット（QXGA） 横1200×縦1600ドット（UXGA） 横960×縦1280ドット（Quad-VGA） 横768×縦1024ドット（XGA） 横480×縦640ドット（VGA） 横240×縦320ドット（QVGA） 横120×縦160ドット（QQVGA）
静止画の保存先	903SHまたはメモリカードのデータフォルダ（ピクチャー）※1
画質	ノーマル／ファイン／ハイクオリティ
ズーム	横1536×縦2048ドット：光学２倍 横1200×縦1600ドット：光学２倍×1～1.28倍 横960×縦1280ドット：光学２倍×1～1.6倍 横768×縦1024ドット：光学２倍×1～2.0倍 横480×縦640ドット：光学２倍×1～3.2倍 横240×縦320ドット：光学２倍×1～12.8倍 横120×縦160ドット：光学２倍×1～25.6倍
MMS添付	可能
ファイル形式	JPEG形式（.jpg）※2
保存可能数（目安）	約500ファイル※3

※1 撮影サイズ「480×640」以上の静止画は、メモリカードのDCIMフォルダ（デジタルカメラフォルダ）にも保存できます。

※2 撮影（保存）日時のファイル名が付きます。（例：2005年７月15日午後12時34分撮影→「05-07-15_12-34.jpg」）

※3 お買い上げ時の状態（撮影サイズ、画質）で撮影し、903SHに保存したときの画像数です。

補足
- 903SHのデータフォルダのメモリは、ムービーや着信メロディ&サウンド、Vアプリライブラリなどと共用しているため、他のデータの登録状況によって、撮影（保存）できる画像数は少なくなります。
- メモリの使用状況を確認するときは、P.9-2を参照してください。

静止画を撮影する

- 撮影後自動的に静止画を保存するようにできます。（自動保存設定：☞P.6-20）

ビューアポジションで撮影する

1 待受画面で、ビューアポジションにする。（☞P.1-12）

カメラが自動的に起動し、撮影できる状態になります。
- カメラが自動的に起動しないようにもできます。（☞P.6-20）

2 画像を画面に表示する。

- 動画撮影画面から静止画撮影画面に切り替える：（ボタン）
- ビューアポジションで使用するボタン：☞P.6-4
- 各種撮影方法：☞P.6-16
- マニュアル撮影：☞P.6-7
- フォーカスロック撮影：☞P.6-7

3 （カメラボタン）を押し切る。

ピントの自動調整を行ったあと、シャッター音が鳴り、撮影した静止画が表示されます。
- 自動保存設定を「On」にしているときは、静止画が保存されたあと、操作２の状態に戻ります。
- 撮影した静止画をメールに添付するときは、オープンポジションに変更してください。（☞P.6-21）
- 撮影のやり直し：（ボタン）

4 静止画を保存するときは、(📷●)を押す。

保存後、P.6-8操作２の状態に戻りますので、続けて撮影できます。

- 保存先設定を「**毎回確認**」にしているときは、保存先の選択画面が表示されます。
  保存先を選び、(📷●)を押してください。

5 カメラを終了するときは、(-●)を長く（１秒以上）押す。

オープンポジション／セルフショットポジションで撮影する

- 撮影時に利用できるボタン操作を画面に表示できます。（☞P.6-20）

メニュー ▶ カメラ

1 画像を画面に表示する。

- 動画撮影画面から静止画撮影画面に切り替える：⊙
- オープンポジション／セルフショットポジションで使用するボタン：☞P.6-5
- 各種撮影方法：☞P.6-16
- マニュアル撮影：☞P.6-7
- フォーカスロック撮影：☞P.6-7

2 (📷●)または◉を押す。

ピントの自動調整を行ったあと、シャッター音が鳴り、撮影した静止画が表示されます。

- 自動保存設定を「On」にしているときは、静止画が保存されたあと、操作１の状態に戻ります。

- 撮影のやり直し：⊖（**キャンセル**）／CLEAR/BACK
- メール添付：◉➡P.15-7操作３以降

3 静止画を保存するときは、⊖（保存）を押す。

保存後、操作１の状態に戻りますので、続けて撮影できます。

- 保存先設定を「**毎回確認**」にしているときは、保存先の選択画面が表示されます。
  保存先を選び、◉を押してください。

4 カメラを終了するときは、⊚を押す。

注意▶ セルフショットポジションで撮影するとき

撮影前の画面には、鏡で映したように反転した画像が表示されますが、撮影後の画面には反転していない画像が表示されます。

補足▶ 保存していない静止画があるとき

終了してもよいかどうかの確認画面が表示されます。

- ⊖（Yes）を押すと、撮影した静止画を保存せずに、待受画面に戻ります。
- ⊖（No）を押すと、撮影後の画面に戻ります。

静止画撮影で利用できる機能

撮影前に(⊖)または⊖（**メニュー**）を押すと、次の機能が利用できます。

明るさ調整	明るさを調整します。（☞P.6-18）
撮影サイズ	撮影する静止画のサイズを設定します。（☞P.6-18）
画質設定	画質を設定します。（☞P.6-19）
データフォルダ	903SHまたはメモリカード内の静止画を確認します。（☞P.6-21）

撮影モード	モバイルライト	モバイルライトの点灯モードと色を設定します。（☞P.6-17）
	シーン別撮影	シャッターを撮影環境に合わせて設定します。（☞P.6-18）
	セルフタイマー	セルフタイマーを設定します。（☞右記）
	フォーカス	被写体にあわせて撮影状態を設定します。（☞P.6-17）
	フレーム追加	静止画にフレームを付けて撮影します。（☞P.6-13）
	連写設定	静止画を連続して撮影します。（☞P.6-11）
	効果付き撮影	画面の装飾効果を確認しながら撮影します。（☞P.6-13）
設定	全画面表示／通常画面表示	画面の表示を切り替えます。（☞P.6-16）
	シャッター音	撮影時のシャッター音を設定します。（☞P.6-16）
	光学ズーム	光学ズームを有効にするかどうかを設定します。（☞P.6-17）
	保存先設定	静止画の保存先（903SH／メモリカード）を設定します。（☞P.6-20）
	自動保存設定	撮影後自動的に静止画を保存するかどうかを設定します。（☞P.6-20）
	カメラ自動起動設定	待受状態からビューアポジションにしたとき、カメラを自動的に起動するかどうかを設定します。（☞P.6-20）
ビデオカメラへ切替		動画撮影モードへ切り替えます。（☞P.6-20）
インカメラに切替		インカメラでの撮影に切り替えます。（☞P.6-20）
ヘルプ		オープンポジション／セルフショットポジションで利用できるボタン操作を、画面に表示します。（☞P.6-20）

セルフタイマーで撮影する

静止画や動画の撮影に、セルフタイマーを利用できます。

- 以下の操作は、次の撮影前の状態で行います。
  - ■ P.6-8「**ビューアポジションで撮影する**」操作2
  - ■ P.6-9「**オープンポジション／セルフショットポジションで撮影する**」操作1
  - ■ P.6-14「**動画を撮影する**」操作3
- インカメラでは、利用できません。
- お買い上げ時には、「Off」に設定されています。

1 [メニュー]または[メニュー]（メニュー）を押す。

2 「撮影モード」を選び、[カメラ]または●を押す。

3 「セルフタイマー」を選び、[カメラ]または●を押す。

4 「On」を選び、[カメラ]または●を押す。

「⏲」が表示され、タイマーが設定されます。

■ タイマー設定の解除：「Off」選択➡[カメラ]／●

5 画像を画面に表示し、[カメラ]を押し切るか●を押す。

タイマー音が鳴り、タイマーが動作します。

- 10秒後、静止画を撮影したときは撮影後の画像が表示され、動画を撮影したときは、録画が始まります。

■ セルフタイマー撮影のやり直し：タイマー動作中に[カメラ]／[クリア]（**キャンセル**）

- ■ タイマーが解除されないまま、撮影をやり直せる状態に戻ります。

6 *静止画を保存する*

1 **静止画を保存するときは、(カメラ)または(保存)を押す。**

タイマーは解除され、通常の静止画撮影画面に戻ります。

- 保存先設定を「**毎回確認**」にしているときは、保存先の選択画面が表示されます。
  保存先を選び、(カメラ)または(決定)を押してください。

動画を保存する

1 **撮影を終了するときは、(カメラ)または(決定)を押す。**

2 **動画を保存するときは、「保存」を選び、(カメラ)または(決定)を押す。**

タイマーは解除され、通常の動画撮影画面に戻ります。

- 保存先設定を「**毎回確認**」にしているときは、保存先の選択画面が表示されます。
  保存先を選び、(カメラ)または(決定)を押してください。

7 **カメラを終了するときは、(クリア) を長く（1秒以上）押すか、(終話)を押す。**

セルフタイマー撮影時のご注意

■タイマー動作中に(カメラ)または(決定)を押すと、その時点で撮影され、タイマーは解除されます。

■タイマー動作中に着信やアラーム動作があると、撮影は中止されます。（タイマーは解除され、待受画面に戻ります。）

■タイマー動作中は、ズーム以外の機能は利用できません。

注意▶ 連写スピードを「**マニュアル**」に設定しているときは、セルフタイマーは利用できません。

静止画を連続して撮影する

撮影前に連写モードを設定しておくと、静止画を連続して撮影できます。連写モードの種類は、次のとおりです。

連写モード	内容
4枚連写On※1	4枚の静止画を連続して撮影し、4枚の静止画と分割画像※2を作成します。
9枚連写On※3	9枚の静止画を連続して撮影し、9枚の静止画と分割画像※2を作成します。
オーバーラップ連写※3	連続して5枚の静止画を撮影し、5枚の静止画と合成画像を作成します。
ブラケット連写※3	画像の明るさやモバイルライトの色を変えて連続して撮影し、9枚の静止画と分割画像※2を作成します。

※1 撮影サイズ「480 × 640」以下で利用できます。（撮影サイズ「480×640」では、分割画像は作成されません。）

※2 分割画像とは、連続撮影したすべての静止画を縮小し、1枚の静止画内に配置したものです。連写画像の内容が一覧で確認できます。

※3 撮影サイズ「240×320」以下で利用できます。

- 連写モードでは、1枚目のシャッター（(カメラ)または(決定)）を押すと、あとは一定間隔で自動的に残りの回数分撮影されます。4枚／9枚連写では回数分シャッターを押す、「**マニュアル**」も設定できます。また、自動的に撮影される間隔（連写スピード）を設定できます。
- 以下の操作は、次の撮影前の状態で行います。
  - P.6-8「**ビューアポジションで撮影する**」操作2
  - P.6-9「**オープンポジション／セルフショットポジションで撮影する**」操作1

1 **(メニュー)または(メニュー)（メニュー）を押す。**

2 **「撮影モード」を選び、(カメラ)または(決定)を押す。**

3「連写設定」を選び、[カメラキー]または●を押す。

4「4枚連写On」〜「ブラケット連写」のいずれかを選び、[カメラキー]または●を押す。

■連写モードの解除：「Off」選択➡[カメラキー]／●（操作完了）

5 連写スピードを選び、[カメラキー]または●を押す。

連写モードアイコンが点灯し（☞P.6-3）、撮影画面に戻ります。

6 画像を画面に表示し、[カメラキー]を押し切るか、●を押す。

設定したスピードで連写撮影されます。

●手動（マニュアル）で撮影するときは、残りの回数分操作6をくり返してください。

■連写の中止：[キー]／[キー]（キャンセル）

■中止前に撮影した枚数分の連写画像の保存：上記操作のあと[カメラキー]／[キー]（保存）

■連写の取消：上記操作のあと[キー]／[キー]（キャンセル）（途中まで撮影した画像は消去され、連写撮影をやり直せる状態に戻ります。）

7 連写が終われば、分割画像または合成画像が表示される。

●撮影サイズ「480×640」のときは、1枚目に撮影した画像が表示されます。

■連写画像内の静止画の確認：[◀▶]／[キー]

■このあと、連写画像内の1枚だけを保存するときは、保存する画像を表示し、操作8へ進みます。

■メール添付：●➡P.15-7操作3以降

4枚連写の分割画像

8 連写画像を保存するときは、[カメラキー]または[キー]（保存）を押す。

●保存先設定を「**毎回確認**」にしているときは、保存先の選択画面が表示されます。
保存先を選び、[カメラキー]または●を押してください。

9 *すべての連写画像を保存する*

1「全画像」を選び、[カメラキー]または●を押す。

連写画像保存後、連写モードのままで撮影画面に戻ります。

1枚だけを保存する

1「表示画像」を選び、[カメラキー]または●を押す。

表示画像保存後、連写モードのままで連写撮影後の画面に戻ります。

10 カメラを終了するときは、[キー]を長く（1秒以上）押すか、[キー]を押す。

注意▶
●セルフタイマーで撮影するときは、「**マニュアル**」は利用できません。
●暗い所で撮影すると、明るい所で撮影するよりも連写スピードが遅くなることがあります。
●モバイルライト点灯時は、連写スピードが遅くなることがあります。

補足▶ 連写画像はMMSに添付して送信（☞P.6-21）できます。

6 カメラ

静止画にフレームを付けて撮影する

- Vodafone live!などで入手したフレーム［透過PNG形式の画像（40Kバイト以下）］も利用できます。
- 撮影サイズ「240×320」以下の静止画撮影で利用できます。
- 以下の操作は、次の撮影前の状態で行います。
  - ■P.6-8「ビューアポジションで撮影する」操作2
  - ■P.6-9「オープンポジション／セルフショットポジションで撮影する」操作1

1 **（）または（）（メニュー）を押す。**

2 **「撮影モード」を選び、（）または（）を押す。**

3 **「フレーム追加」を選び、（）または（）を押す。**

4 ***あらかじめ登録されているフレームを利用する***

1「固定データ」を選び、（）または（）を押す。

2 フレームを選び、（）または（）を押す。

■ フレームの変更：（）／（）（戻る）

3（）または（）を押す。

データフォルダ内のフレームを利用する

1「データフォルダ」を選び、（）または（）を押す。

- フレームに利用できない画像は、選択できません。

2 フレームを選び、（）または（）を押す。

■ フレームの変更：（）／（）（戻る）

3（）または（）を押す。

フレームを解除する

1「Off」を選び、（）または（）を押す。

5 **静止画を撮影する。**

■ ビューアポジションの静止画撮影方法：P.6-8操作3以降

■ オープンポジション／セルフショットポジションの静止画撮影方法：P.6-9操作2以降

補足▶ 連写モードで撮影すると、すべての静止画にフレームが付きます。

画面の装飾効果を確認しながら静止画を撮影する

画面に表示される装飾効果を確認しながら、静止画を撮影できます。（効果付き撮影）

- 撮影サイズ「240×320」以下の静止画撮影で利用できます。
- 以下の操作は、次の撮影前の状態で行います。
  - ■P.6-8「ビューアポジションで撮影する」操作2
  - ■P.6-9「オープンポジション／セルフショットポジションで撮影する」操作1

1 **（）または（）（メニュー）を押す。**

2 **「撮影モード」を選び、（）または（）を押す。**

3 **「効果付き撮影」を選び、（）または（）を押す。**

4 **装飾の種類を選び、（）または（）を押す。**

■ 効果付き撮影の解除：「Off」選択➡（）／（）

5 **（）または（）を押す。**

選んだ装飾効果で撮影できる状態になります。

6 **静止画を撮影する。**

■ ビューアポジションの静止画撮影方法：P.6-8操作3以降

■ オープンポジション／セルフショットポジションの静止画撮影方法：P.6-9操作2以降

動画の撮影

動画撮影モード

長時間（メモリカードの容量による）の動画や、メール添付用の短い動画を、用途に応じて撮影できます。

撮影サイズ		横176×縦144ドット（QCIF） 横128×縦96ドット（SubQCIF）	横240×縦320ドット（QVGA）	
保存形式		MPEG-4（.3gp）※1		MPEG-4（.ASF）※2
保存先		903SHまたはメモリカードのデータフォルダ（ムービー）※3	メモリカードのデータフォルダ（ムービー）	メモリカードのSDビデオフォルダ
最長撮影時間（1回あたり）	メール添付	約60秒（画質：ノーマル） 約50秒（画質：ファイン） 約30秒（画質：ハイクオリティ）	―	
	長時間撮影	30分		メモリカードの容量により変動
画質		ノーマル／ファイン／ハイクオリティ	―	
最大ズーム		光学2倍×4.23〜12倍		
MMS添付		可能		不可

※1 撮影（保存）日時のファイル名が付きます。（例：2005年7月15日午後12時34分撮影→「05-07-15_12-34.3gp」）
保存先に同じ名前のファイルがあるときは、ファイル名が変わることがあります。

※2「MOL001.ASF」、「MOL002.ASF」…の順にファイル名が付きます。

※3「**長時間撮影**」の保存先は、メモリカードだけです。

補足▶
- 動画を撮影するときは、明るい状態でなるべくカメラから1.5mまでの距離で、撮影することをおすすめします。
- 903SHのデータフォルダのメモリは、着信メロディ＆サウンド、Vアプリライブラリなどと共用しているため、他のデータの登録状況によって、撮影（保存）できる動画数は少なくなります。
- メモリの使用状況を確認するときは、P.9-2を参照してください。

動画を撮影する

- ご利用前に電池残量とメモリ容量をご確認ください。電池レベル表示が「▭」または「▯」のときは撮影できません。また、撮影中に電池残量やメモリ容量が不足すると、撮影が中止されます。

1 待受画面で、ビューアポジションにする。（☞P.1-12）

カメラが自動的に起動し、撮影できる状態になります。

■ オープンポジションでのカメラ起動：◉➡「**カメラ**」選択➡◉

- カメラが自動的に起動しないようにもできます。（☞P.6-20）

2 ⊖◉または◎を押す。

- 動画撮影画面が表示されているときは、⊖◉／◎を押す必要はありません。

3 画像を画面に表示する。

■ カメラで使用するボタン：☞P.6-4
■ 各種撮影方法：☞P.6-16
■ マニュアル撮影：☞P.6-7
■ フォーカスロック撮影：☞P.6-7

6 カメラ

4 を押し切るか、◉を押す。

ピントの自動調整を行ったあと、撮影開始音が鳴り、動画の撮影が始まります。（撮影開始まで、しばらく時間がかかることがあります。）

■撮影のやり直し：／（**キャンセル**）

5 撮影を終了するときは、もう一度または◉を押す。

撮影終了音が鳴り、動画の撮影が終了します。

- 記録可能時間を経過したり、録画中にメモリ容量が不足したときは、撮影は自動的に終了します。

■撮影した動画の再生：「**プレビュー**」選択➡／◉
　■再生中の表示切替：（☞P.7-13）
■撮影のやり直し：／（**戻る**）

6 動画を保存するときは、を押すか、「保存」を選び、◉を押す。

保存後、P.6-14操作3の状態に戻りますので、続けて撮影できます。

- 保存先設定を「**毎回確認**」にしているときは、保存先の選択画面が表示されます。
  保存先を選び、または◉を押してください。

7 カメラを終了するときは、を長く（1秒以上）押すか、を押す。

補足▶ **保存していない動画があるとき**
終了してもよいかどうかの確認画面が表示されます。
- （Yes）を押すと、撮影した動画を保存せずに、待受画面に戻ります。
- （No）を押すと、撮影後のメニュー画面に戻ります。

動画撮影で利用できる機能

撮影前

撮影前にまたは（**メニュー**）を押すと、次の機能が利用できます。

明るさ調整		明るさを調整します。（☞P.6-18）
撮影時間／サイズ		動画の撮影時間とサイズ（保存形式）を設定します。（☞P.6-19）
画質設定※1		画質を設定します。（☞P.6-19）
データフォルダ		903SHまたはメモリカード内の動画を確認します。（☞P.6-21）
撮影モード	モバイルライト	モバイルライトの点灯モードと色を設定します。（☞P.6-17）
	セルフタイマー	セルフタイマーを設定します。（☞P.6-10）
	フォーカス	被写体にあわせて撮影状態を設定します。（☞P.6-17）
設定	マイク設定	撮影時に音声も同時に録音するかどうかを設定します。（☞P.6-19）
	エンコード形式※1	ファイルの圧縮形式を設定します。（☞P.6-19）
	光学ズーム	光学ズームを有効にするかどうかを設定します。（☞P.6-17）
	保存先設定※2	動画の保存先（903SH／メモリカード）を指定します。（☞P.6-20）
	自動保存設定	撮影後自動的に動画を保存するかどうかを設定します。（☞P.6-20）
	カメラ自動起動設定	待受状態からビューアポジションにしたとき、カメラを自動的に起動するかどうかを設定します。（☞P.6-20）

※1 横240×縦320ドット（QVGA）以外の撮影で利用できます。
※2 撮影時間／サイズを「**メール添付**」にしているときだけ、利用できます。

フォトカメラへ切替	写真撮影モードへ切り替えます。（☞P.6-20）
インカメラに切替※1	インカメラでの撮影に切り替えます。（☞P.6-20）
ヘルプ	オープンポジション／セルフショットポジションで利用できるボタン操作を、画面に表示します。（☞P.6-20）

※1 横240×縦320ドット（QVGA）以外の撮影で利用できます。

撮影直後（動画保存前）

動画の撮影直後（保存前）には、メニュー画面が自動的に表示され、次の機能が利用できます。

- ビューアポジションの撮影後は、「**ムービー写メール（保存）**」のメニューは表示されません。動画をメールに添付するときは、オープンポジションに変更してください。

保存	撮影した動画を903SHまたはメモリカードに保存します。（☞P.6-15）
プレビュー	撮影した動画を再生します。（☞P.6-15）
ムービー写メール（保存）※	撮影した動画をメールに添付します。（☞P.6-22）

※撮影時間／サイズを「**メール添付**」にしているときだけ、利用できます。

画像／撮影に関する設定

撮影方法や画像など、静止画や動画を目的に応じて撮影するための機能を選んで利用できます。

- 利用できる機能は、撮影モードによって異なります。機能ごとの表でご確認のうえ、ご利用ください。
- ボタンを押して、簡単に切り替えられる機能もあります。（☞P.6-5～P.6-6）

各種撮影方法の設定

オートフォーカスや光学ズームなど、撮影時の状態に合わせて撮影方法を設定できます。

- 以下の操作は、次の撮影前の状態で行います。
  - ■P.6-8「**ビューアポジションで撮影する**」操作2
  - ■P.6-9「**オープンポジション／セルフショットポジションで撮影する**」操作1
  - ■P.6-14「**動画を撮影する**」操作3

  設定が完了すると、撮影できる状態へ自動的に戻りますので、操作2以降を行ってください。

表示切替 静止画撮影時の画面表示を切り替えます。

写真撮影モード	○	動画撮影モード	×

お買い上げ時 通常画面表示

（メニュー）/（メニュー）➡「**設定**」選択➡/➡「**全画面表示**」／「**通常画面表示**」選択➡/

シャッター音 撮影時のシャッター音を設定します。

写真撮影モード	○	動画撮影モード	×

お買い上げ時 パターン1

/（**メニュー**）➡「**設定**」選択➡/➡「**シャッター音**」選択➡/➡**パターン選択**➡/

- シャッター音の音量は変更できません。
- 連写撮影時のシャッター音は固定です。ここでの設定は、反映されません。

モバイルライト	モバイルライトの点灯（方法）を設定します。

写真撮影モード	○	動画撮影モード	※

※「接写」は設定できません。

お買い上げ時 Off／ホワイト

モバイルライト設定

(メニュー)➡「撮影モード」選択➡ / ➡「モバイルライト」選択➡ / ➡「On／Off設定」選択➡ / ➡点灯方法選択➡ /

- カメラを終了するたびに、お買い上げ時の設定に戻ります。
- 選べる点灯方法は、次のとおりです。

On	モバイルライトが点灯します。写真撮影モードで撮影時には、さらに強い光で発光します。
自動	周囲の明るさによって、自動的にモバイルライトが点灯します。写真撮影モードでシャッターを押したときには、さらに強い光で発光します。
接写	撮影時にも一定の強さでモバイルライトが点灯します。

カラー設定

(メニュー)➡「撮影モード」選択➡ / ➡「モバイルライト」選択➡ / ➡「カラー設定」選択➡ / ➡色選択➡ /

■撮影画面に戻る： /（戻る）➡ /（戻る）➡ /（戻る）

注意▶ モバイルライトを人の目に近づけて点灯させたり、発光部を直視したりしないでください。また、発光方向を確認してからご使用ください。

フォーカス	オートフォーカスの状態を設定したり、マニュアル撮影に切り替えます。

写真撮影モード	○	動画撮影モード	○

お買い上げ時 オートフォーカス

(メニュー)➡「撮影モード」選択➡ / ➡「フォーカス」選択➡ / ➡撮影状態選択➡ /

- カメラを終了するたびに、お買い上げ時の設定に戻ります。
- 切り替えられる撮影状態は、次のとおりです。

オートフォーカス	自動的に被写体との距離を感知し、ピントを合わせます。
マニュアル	手動でピントを合わせて撮影します。（☞P.6-7）
接写※	近い距離（目安10～20cm）を撮影するときに、すばやくピントを合わせます。

※「接写」にすると、光学ズームは無効となります。

光学ズーム	光学ズームを有効にするかどうかを設定します。

写真撮影モード	○	動画撮影モード	○

お買い上げ時 有効

(メニュー)➡「設定」選択➡ / ➡「光学ズーム」選択➡ / ➡「有効」／「無効」選択➡ /

- 光学ズームについて詳しくは、P.6-6を参照してください。

各種画像の設定

画像の明るさや画質など、撮影する画像に関する設定を変更できます。

- 以下の操作は、次の撮影前の状態で行います。
  - ■P.6-8「**ビューアポジションで撮影する**」操作2
  - ■P.6-9「**オープンポジション／セルフショットポジションで撮影する**」操作1
  - ■P.6-14「**動画を撮影する**」操作3

  設定が完了すると、撮影できる状態へ自動的に戻りますので、操作2以降を行ってください。

明るさ調整　静止画や動画の明るさを調整します。

写真撮影モード	○	動画撮影モード	○

お買い上げ時 0（標準）

⌒／⌒（メニュー）➡「明るさ調整」選択➡（📷●）／◉➡▷／◎（明るくする）、◁／◎（暗くする）➡（📷●）／◉

- カメラを終了するたびに、お買い上げ時の設定に戻ります。また、「**フォトカメラ／ビデオカメラ切替**」（☞P.6-20）や「**インカメラ／アウトカメラ切替**」（☞P.6-20）で、撮影モードなど切り替えたときも、お買い上げ時の設定に戻ります。

撮影サイズ　静止画の撮影サイズを変更します。

写真撮影モード	○	動画撮影モード	×

お買い上げ時 240×320

⌒／⌒（メニュー）➡「撮影サイズ」選択➡（📷●）／◉➡サイズ（☞P.6-8）選択➡（📷●）／◉

- インカメラで利用できる静止画の撮影サイズは、「240×320」／「120×160」です。
- 動画の撮影サイズは、「**撮影時間／サイズ**」（☞P.6-19）で変更できます。

シーン別撮影　静止画の撮影環境を変更します。

写真撮影モード	※	動画撮影モード	×

※インカメラでは、利用できません。

お買い上げ時 標準

⌒／⌒（メニュー）➡「撮影モード」選択➡（📷●）／◉➡「シーン別撮影」選択➡（📷●）／◉➡撮影環境選択➡（📷●）／◉

- カメラを終了するたびに、お買い上げ時の設定に戻ります。また、「**フォトカメラ／ビデオカメラ切替**」（☞P.6-20）や「**インカメラ／アウトカメラ切替**」（☞P.6-20）で、撮影モードなど切り替えたときも、お買い上げ時の設定に戻ります。
- 設定できる撮影環境は、次のとおりです。

撮影環境	説明
標準	周りの環境に応じて自動的に調整します。
夜景	夜景など光の少ない場所での撮影に適しています。
スポーツ	スポーツなど動きの多い被写体の撮影に適しています。
文字	白と黒などコントラストがはっきりとした被写体の撮影に適しています。
ペット	動きのある被写体を近い距離で撮影するときに適しています。
逆光	逆光で暗く写る被写体を、明るく撮影するときに適しています。
人物	人物を撮影するのに適しています。
人物（夜）	暗く光の少ない室内などで人物を撮影するのに適しています。

画質設定 画質を設定します。

写真撮影モード	○	動画撮影モード	※

※横240×縦320ドット（QVGA）以外の撮影で利用できます。

お買い上げ時 静止画：ノーマル、動画：ファイン

（メニュー）➡「画質設定」選択➡／●➡画質選択➡／●

補足▶「ノーマル」→「ファイン」→「ハイクオリティ」の順に画像はきれいになります。ただし、ファイル容量が大きくなるため、保存可能画像数や記録可能時間は減ります。

撮影時間／サイズ 動画の撮影時間とサイズ（保存形式）を設定します。

写真撮影モード	×	動画撮影モード	○

お買い上げ時 メール添付／大（QCIF）

（メニュー）➡「撮影時間／サイズ」選択➡／●➡「メール添付」／「長時間撮影」選択➡／●➡内容選択➡／●

■長時間撮影の内容選択時：上記操作のあと／●

●「長時間撮影」の保存先は、メモリカードだけです。

●設定できる内容は、次のとおりです。

QVGA（3gp）※	MPEG-4形式（.3gp）の横240×縦320ドットの動画を撮影します。
QVGA（ASF）※	MPEG-4形式（.ASF）の横240×縦320ドットの動画を撮影します。
大（QCIF）	3gpp形式（.3gp）の横176×縦144ドットの動画を撮影します。
小（SubQCIF）	3gpp形式（.3gp）の横128×縦96ドットの動画を撮影します。

※「長時間撮影」だけで利用できます。

補足▶「メール添付」にすると、撮影できるサイズが最大295Kバイトに制限されます。

マイク設定 動画の撮影時に、音声も同時に録音するかどうかを設定します。

写真撮影モード	×	動画撮影モード	○

お買い上げ時 On（録音する）

（メニュー）➡「設定」選択➡／●➡「マイク設定」選択➡／●➡「On」／「Off」選択➡／●

エンコード形式 動画のファイルの圧縮形式を設定します。

写真撮影モード	×	動画撮影モード	※

※横240×縦320ドット（QVGA）以外の撮影で利用できます。

お買い上げ時 MPEG4（日本）

（メニュー）➡「設定」選択➡／●➡「エンコード形式」選択➡／●➡「H.263（海外）」／「MPEG4（日本）」選択➡／●

その他の設定

撮影した画像の登録先を変更したり、撮影後操作なしで自動的に画像を保存できるようにするなど、各種撮影方法以外にもいろいろな機能を利用できます。

●以下の操作は、次の撮影前の状態で行います。

■P.6-8「ビューアポジションで撮影する」操作2

■P.6-9「オープンポジション／セルフショットポジションで撮影する」操作1

■P.6-14「動画を撮影する」操作3

設定が完了すると、撮影できる状態へ自動的に戻りますので、操作2以降を行ってください。

フォトカメラ／ビデオカメラ切替	カメラの撮影モードを切り替えます。

写真撮影モード	○	動画撮影モード	○

（メニュー）➡「ビデオカメラへ切替」／「フォトカメラへ切替」選択➡／

インカメラ／アウトカメラ切替	アウトカメラとインカメラのどちらで撮影するかを切り替えます。

写真撮影モード	○	動画撮影モード	○

お買い上げ時アウトカメラ

（メニュー）➡「アウトカメラに切替」／「インカメラに切替」選択➡／

- 「**インカメラに切替**」は、横240×縦320ドット（QVGA）の動画の撮影では利用できません。

保存先設定	静止画や動画の保存先を設定します。

写真撮影モード	○	動画撮影モード	※

※撮影時間／サイズを「**メール添付**」にしているときだけ、利用できます。

お買い上げ時本体

（メニュー）➡「設定」選択➡／➡「保存先設定」選択➡／➡「本体」／「メモリカード」／「デジタルカメラフォルダ」／「毎回確認」選択➡／

- 「**デジタルカメラフォルダ**」は、撮影サイズ「480×640」以上の静止画で利用できます。
- 「**毎回確認**」を選ぶと、新規保存のたびに保存先の選択画面が表示されるようになります。
- 自動保存設定（右記）を「On」にしているときは、「**毎回確認**」は利用できません。
- メモリカード内に保存するときや、「**毎回確認**」を利用するときは、メモリカードを取り付けておいてください。

自動保存設定	撮影後、静止画／動画を自動的に保存するかどうかを設定します。

写真撮影モード	○	動画撮影モード	○

お買い上げ時Off

（メニュー）➡「設定」選択➡／➡「自動保存設定」選択➡／➡「On」／「Off」選択➡／

- 保存先設定（左記）を「**毎回確認**」にしているときは、利用できません。

カメラ自動起動設定	待受状態からビューアポジションにしたとき、カメラを自動的に起動するかどうかを設定します。

写真撮影モード	○	動画撮影モード	○

お買い上げ時On（起動する）

（メニュー）➡「設定」選択➡／➡「カメラ自動起動設定」選択➡／➡「On」／「Off」選択➡／

ヘルプ	静止画／動画撮影時に、オープンポジション／セルフショットポジションでできるボタン操作を画面に表示します。

写真撮影モード	○	動画撮影モード	○

（メニュー）➡「ヘルプ」選択➡

- を押すと、隠れている操作内容を表示できます。
  - 撮影画面に戻る：（**戻る**）➡（**戻る**）

撮影した画像の確認

撮影した静止画／動画を確認します。

●データフォルダの操作でも確認できます。（☞P.9-4）

静止画の確認

メニュー ▶ カメラ ➡ ➡ メニュー（◯／◯）

1 「データフォルダ」を選び、[📷●]または◉を押す。

■ メモリカード取付時：「**ピクチャー**」／「**デジタルカメラ**」選択➡[📷●]／◉

■ 903SH／メモリカードの切替：◯

■ 新しく作成したフォルダ／デジタルカメラフォルダ選択時：フォルダ選択➡[📷●]／◉

2 静止画を選び、[📷●]または◉を押す。

■ 別の静止画の確認：◯／◯（**戻る**）➡静止画選択➡[📷●]／◉

動画の確認

メニュー ▶ カメラ ➡ 動画撮影画面を表示する ➡ メニュー（◯／◯）

1 「データフォルダ」を選び、[📷●]または◉を押す。

■ 903SH／メモリカードの切替：◯

■ 新しく作成したフォルダ選択時：フォルダ選択➡[📷●]／◉

2 動画を選び、[📷●]または◉を押す。

■ 別の動画の確認：◯／◯（**戻る**）➡動画選択➡[📷●]／◉

QVGA（ASF）サイズの動画の確認	横240×縦320ドットで撮影したASF形式の動画を確認します。

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ ムービー ➡ SDビデオ

動画選択➡[📷●]／◉

■ 別の動画の確認：◯／◯（**戻る**）➡動画選択➡[📷●]／◉

静止画／動画のメール添付

撮影した静止画を添付する

撮影した静止画を、撮影直後の画面から直接メール（MMS）に添付して送信します。

●連写画像を添付するときは、P.6-12 操作 7 のあと、◯で添付する静止画を選んでから行ってください。

●撮影した静止画を保存したあとは、データフォルダの操作で送信します。（☞P.9-5）

1 静止画を撮影する。

■ ビューアポジションの静止画撮影方法：☞P.6-8操作1～3

■ オープンポジション／セルフショットポジションの静止画撮影方法：☞P.6-9操作1～2

2 [📷●]または◉を押す。

静止画が保存されたあと、メール作成画面が表示されます。（静止画はあらかじめ添付されています。）

●保存先設定を「**毎回確認**」にしているときは、保存先の選択画面が表示されます。
保存先を選び、[📷●]または◉を押してください。

3 宛先など他の項目を入力し、メールを送信する。（☞P.15-7操作3以降）

補足▶ 送信先が添付した静止画を受信できるかなど、あらかじめご確認ください。相手機種のサービス対応状況については、「**3Gガイドブック**」の機能一覧でご確認ください。

6 カメラ

撮影した動画を添付する

撮影した動画を、撮影直後の画面から直接メール（MMS）に添付して送信します。

- MMSに添付できる動画のサイズ／形式など、P.6-14を参照してください。
- 撮影した動画を保存したあとは、データフォルダの操作で送信します。（☞P.9-5）

1 動画を撮影する。

■動画の撮影方法：☞P.6-14操作１～P.6-15操作５

2「ムービー写メール（保存）」を選び、◉を押す。

動画が保存されたあと、メール作成画面が表示されます。（動画はあらかじめ添付されています。）

- ビューアポジションでは、メールに添付できません。撮影した動画を添付するときは、オープンポジションにしてください。
- 保存先設定を「**毎回確認**」にしているときは、保存先の選択画面が表示されます。
  保存先を選び、◉を押してください。

3 宛先など他の項目を入力し、メールを送信する。（☞P.15-7操作３以降）

注意▶
- MMS、VGSメール非対応のボーダフォン携帯電話には動画は送信できません。
- 撮影した動画は、MPEG-4 対応機以外のボーダフォン携帯電話には送信できません。

補足▶ 相手機種のサービス対応状況については、「**3Gガイドブック**」の機能一覧でご確認ください。

メディアプレイヤー

メディアプレイヤーについて

メディアプレイヤーには、音楽を録音／再生するミュージックプレイヤーと、ダウンロードした動画などを再生するビデオプレイヤーがあります。動画／音楽は、保存場所（903SH内／メモリカード内／メモリカード専用領域内）ごとに管理されています。再生は、保存場所を指定して行います。

- 再生中に903SHの電池残量がなくなるなどして、再生が停止したときは、続きから再生できます。（続き再生：☞P.7-9、P.7-11）
- 動画や音楽をダウンロードしながら同時に再生できます。（ストリーミング再生：☞P.16-10）
- ミュージックのメニュー「**ミュージックダウンロード**」からは、Vodafone live!へ直接アクセスし、音楽をダウンロードできます。

マナーモード設定中にメディアプレイヤーを起動すると

■音声を出力するかどうかの確認画面が表示されます。

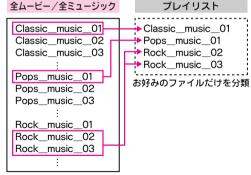
- ㊀（Yes）を押すと、メディアプレイヤーの設定音量で音声が出力されます。（メディアプレイヤーを終了すると、音声出力しない通常のマナーモードに戻ります。）
- 音声を出力せず、ステレオイヤホンマイクなどで聴くときは、㊀（No）を押します。

再生中に電話／メールなどの着信があると

■再生中に電話着信があったときや、アラームの設定時刻になったときは、再生は停止します。

- メール着信があったときは、再生は継続したまま、アイコンが表示されます。
- ストリーミング再生中に停止したとき、アクセス履歴は残ります。

プレイリストについて

動画／音楽の再生は、プレイリストから行います。
各プレイリスト内には、すべての動画を管理する「**全ムービー**」と、すべての音楽を管理する「**全ミュージック**」および、お好みでファイルを選び分類できる「**プレイリスト**」があります。

- プレイリストには、動画／音楽の保存場所情報が記憶されます。実際の動画や音楽は保存されません。
- お買い上げ時には、3つのプレイリストがそれぞれに登録されています。新しく作成することもできます。（☞P.7-17）

音楽の録音

903SHと、光出力端子の付いたオーディオ機器を接続して、音楽を録音できます。

- 903SHにはSDMI（Secure Digital Music Initiative）の取り決めに従い、著作権保護のための暗号技術が組み込まれています。データを記録する際にメモリカードとの間でデータの暗号化／認証の処理を行うことで、データの不正な複製や再生ができなくなっています。認証された機器以外ではこの暗号化されたデータは再生できません。また、SDMIの取り決めに従い、コピーが禁止されているデータは録音できません。
- アナログ入力録音はできません。

オーディオ機器から録音するために必要なもの

- オプション品の光デジタル変換ケーブルのご購入
- 市販の光接続ケーブルのご購入

録音時のご注意

充電しながら録音してください。

- 録音中に電池が切れることを防ぐため、必ず急速充電器を使用して、充電しながら録音してください。
- 電池レベル表示が「▭」または「▯」のときは録音できません。また、録音中に電池レベル表示が「▯」になると、録音が中止されます。

音楽データは、メモリカードに保存されます。

- あらかじめ、903SHでフォーマット（初期化）したメモリカードを取り付けておいてください。（☞P.8-3、P.8-4）

録音中は、オフラインモードに設定することをおすすめします。（☞P.7-6）

- 録音中に電話の着信やメールの受信があると、オーディオ機器の出力端子を傷める恐れがあります。また、録音が正常に行えないことがあります。（録音が途中で終了します。）
  オフラインモードにすると、電話やメールの発着信はできなくなります。

録音中は、絶対にメモリカードを取り出さないでください。

- 録音データが消えたり、メモリカードが故障する原因となります。

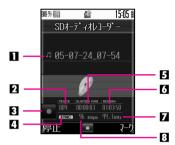
注意▶
- お客様が録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 録音した内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 録音したデータを、別のメモリカードなど他のメディアにデジタル録音（コピー）することはできません。

録音時間

データが何も保存されていないメモリカードの録音時間の目安は、次のとおりです。

メモリカード容量	ビットレート	録音時間
64Mバイト	96kbps	約80分
	128kbps	約60分

- 録音できる時間は、メモリカードの容量やビットレートの設定によって異なります。
- ビットレートとは、音楽データを記録する際の1秒あたりのデータ量を示す単位です。数字が大きいほどデータ量が多く、音の再現性がよくなります。

ディスプレイ

1 タイトル

2 トラック番号

3 動作状態表示

●：録音中／■：停止中

4 シンクロ録音表示（☞P.7-7）

シンクロ録音を「ON」にしているときに表示されます。

5 現在の録音経過時間

6 録音可能な残り時間

1トラックごとに変化します。

7 サンプリング周波数表示（☞P.7-5）

8 ビットレート設定表示（☞P.7-7）

トラックマーク

トラックマークとは、プレイリスト内のトラック（曲）にトラック番号を付ける機能です。リピート再生やランダム再生は、このトラック単位で行います。録音開始後、曲間の無音データを検知すると、トラックマークが自動的に付きます。

- CDやMDなどのトラック情報を含むデータは、録音元のトラックに従ってトラックマークが付きます。
- 曲間の無音データが正しく検知できないときは、1つのトラックとして扱われます。
- シンクロ録音設定を「ON」にしているときは、曲間の無音データが検知されると、録音一時停止状態になります。次のデータ（または音）を検知すると録音を再開します。
  - ■シンクロ録音設定を「ON」にしているときは、録音一時停止状態が約15秒間続くと、録音を終了します。
- トラックマークを付けると、音が一瞬途切れます。
- 接続した機器によっては、トラックマークが自動的に付かないことがあります。このときは、手動でトラックマークを付けてください。（☞P.7-6）

注意▶ 無音（または音量レベルの低い音）が続く曲を録音すると、無音（または音量レベルの低い音）だけのトラックが作られることがあります。

サンプリング周波数

サンプリング周波数とは、1秒間に何回データ量（音の強さ）を記録するかを示すものです。ビットレートと同様に録音時の音質を左右し、数字が大きいほど記録回数が増え、音の再現性がよくなります。903SHでは、録音方法や再生側の機器によって、自動的にサンプリング周波数が32kHz／44.1kHz／48kHzのいずれかに設定されます。

- DVDプレーヤー出力では、DTSを「**OFF**」に設定してください。

注意▶ 信号形式の内容によっては、うまく録音できないことがあります。

オーディオ機器と接続する

接続時のご注意

オプション品の光デジタル変換ケーブルは、市販の光接続ケーブルを取り付けたあと、903SHへゆっくりと確実に差し込んでください。

また、抜くときは、光デジタル変換ケーブルと903SHを持って、まっすぐに引き抜いてください。

- ケーブルを強くひっぱったり、無理な力を加えると、903SHの光デジタル・ライン入力端子が破損する恐れがあります。

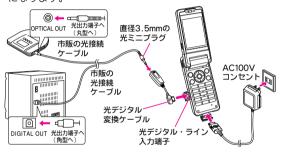
光デジタル変換ケーブルは、指定されたオプション品以外は使用しないでください。

- 指定品以外のものを使用すると、正常に動作しなかったり、903SHや接続先のオーディオ機器を傷める恐れがあります。

接続方法

光接続ケーブルと光デジタル変換ケーブルを利用して、オーディオ機器の「**光出力端子**」と903SHの「**光デジタル・ライン入力端子**」を接続します。

- 光デジタル変換ケーブルは、音楽を録音するとき以外は接続しないでください。
- 光デジタル変換ケーブルは、903SHや指定のボーダフォン携帯電話以外には接続しないでください。誤動作や故障の原因になります。

7 メディアプレイヤー

録音する

接続したオーディオ機器で音楽を再生し、903SHで録音します。

- シンクロ録音設定を「On」にしているとき（お買い上げ時の状態）を中心に説明します。
- 録音の前に、録音時のご注意（☞P.7-3）をご確認ください。
- 録音中の音を聞きながら録音することができます。（録音モニター：☞P.7-7）
  このときの録音モニター音量は、録音前に設定します。
- 再生側のオーディオ機器は、あらかじめ電源を入れ、再生する曲の頭出しを行ったうえで、一時停止状態にしておいてください。

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ ミュージック

1 「SDオーディオレコーダー」を選び、◉を押す。

オフラインモードの設定画面が表示されます。

- 通常はオフラインモードにする（㊀（No）を押す）ことをおすすめします。（☞P.2-20）
- すでにオフラインモードを「On」にしているときは、操作3へ進みます。

2 ㊀（No）を押す。

録音画面が表示されます。

- 録音前に、「**音楽録音に関する設定**」（☞P.7-7）で録音状態を設定できます。

■ オフラインモードにせずに録音する：㊀（Yes）

3 ◉を押す。

シンクロ録音（☞P.7-7）の待機状態になります。

■ シンクロ録音「Off」設定時：上記操作のあと◉➡オーディオ機器で音楽再生

4 接続したオーディオ機器で、音楽を再生する。

接続した機器のデータ（音）を検知して、自動的に録音が始まります。

■ 録音中にトラックマーク（☞P.7-4）を手動で付けるとき：トラックマークを付ける位置で㊀（**マーク**）

5 録音を終了するときは、◉を押す。

■ シンクロ録音「On」設定時：オーディオ機器で再生終了➡録音一時停止➡約15秒後に録音終了

- 操作２で㊀（No）を押してオフラインモードを設定していたときは、録音終了後自動的に、オフラインモードは解除されます。

注意

- 録音中は、録音が終了するまで、絶対にメモリカードを取り出したり、電池パックを外さないでください。録音データが消えたり、メモリカードが故障する原因となります。
- 録音中は、接続ケーブルや変換プラグに触れないでください。雑音や音とびの原因となります。
- パソコンやサウンドボード、BS／CSデジタルチューナーで再生すると、録音レベルが低くなることがあります。
- 録音未チェック曲が入ってるメモリカードを、903SHに取り付けてミュージックプレイヤーを利用すると、録音未チェック曲は削除されます。
  （録音未チェック曲は、J-SH51またはJ-SH52で録音時、チェックせずに録音モードを終了したときに作成されます。）

補足

- 録音中にアラームなどの設定時刻になっても、アラーム音は鳴りません。このときは、録音モード終了後、待受画面に戻るとアラームが動作します。
- 903SHで録音（保存）した音楽データには、自動的に録音日時のタイトルが付きます。タイトルは、あとで変更することができます。（☞P.7-19）

音楽録音に関する設定

- 音楽録音に関する設定の操作は、P.7-6操作2のあとの録音画面で行います。

録音モニター音量設定	録音中の音を聞きながら録音するときの音量を設定します。

お買い上げ時 音量3

（メニュー）➡「録音モニター音量設定」選択➡◉➡（音量選択）➡◉

シンクロ録音設定	オーディオ機器の再生と同時に録音を開始するかどうかを設定します。

お買い上げ時 On

（メニュー）➡「シンクロ録音」選択➡◉➡「On」／「Off」選択➡◉

録音ビットレート設定	録音時のビットレート（☞P.7-3）を設定します。

お買い上げ時 標準（96kbps）

（メニュー）➡「録音ビットレート設定」選択➡◉➡「標準（96kbps）」／「高音質（128kbps）」選択➡◉

- 数字が大きいほど音質はよくなりますが、データ量が多くなるため、録音可能時間は短くなります。

無音検出レベル設定	自動的にトラックマークを付けるとき、無音部分として判別するレベルを設定します。

お買い上げ時 -41dB

（メニュー）➡「無音検出レベル設定」選択➡◉➡「-41dB」／「-59dB」選択➡◉

- 音量レベルの低い状態が続く曲で「-59dB」に設定すると、トラックマークを付きにくくできます。

音楽の再生

パソコンなどでメモリカードに保存した音楽データ（SD-Audio規格で保存されたセキュアMP3データおよびAACデータ）を、903SHで再生できます。

- ダウンロードした音楽も再生できます。
- 音楽データの形式やメモリカードの状態、保存方法などにより、再生できないことがあります。
- 再生音は、ステレオイヤホンマイクを利用して聞くことができます。下の図を参考に差し込んでください。
- 903SHのスピーカーから聞くこともできます。

再生時のご注意

- ステレオイヤホンマイクを取り付けたり、取り外すときは、接続プラグを持って行ってください。903SHのイヤホンマイク端子が破損したり、コードが切れたりする恐れがあります。
- 903SHに接続するときは、ステレオイヤホンマイクや指定されたオプション品以外は、使用しないでください。指定品以外のものを使用すると、正常に動作しなかったり、903SHのイヤホンマイク端子が破損する恐れがあります。
- 電池レベル表示が「」または「」のときは再生できません。また、再生中に電池レベル表示が「」になると、再生が中止され、待受画面に戻ります。

補足▶
- ステレオイヤホンマイク（スイッチ付き）を取り付けて再生している場合に、電話をかけてきた相手と通話するときは、ステレオイヤホンマイクのスイッチを長く（1秒以上）押すと通話できます。
- スピーカーでの再生時に、曲や再生音量によっては、ひずんだように聞こえることがあります。このときは、再生音量を下げてください。

パソコンでの音楽データ利用時のご注意

お客様が購入したCDなどを、パソコンを利用してメモリカードに保存／利用するときは、次の点にご注意ください。

■著作権などにご注意ください

- ご利用にあたっては、著作権などの第三者知的財産権その他の権利を侵害しないようご注意ください。
- メモリカード内に保存した音楽は、個人使用の範囲だけでご使用ください。

■AACデータ変換に対応したソフトウェアが必要です

- ソフトウェアの仕様や使用方法については、ソフトウェア提供各社のホームページなどでご確認ください。
- ご使用になるソフトウェアによっては、903SHで音楽を正しく再生できないことがあります。

■保存場所が決められています

- メモリカードには、次の保存場所（フォルダ）へ保存してください。
  PRIVATE/VODAFONE/My Items/Sounds & Ringtones

ディスプレイ（ミュージックプレイヤー）

1 再生中表示
2 プレイリスト名
3 タイトル
4 アーティスト名
- アーティスト名がないときは、「**アーティスト名なし**」と表示されます。

5 再生中のトラック番号
6 動作状態表示
▶：再生中／⏸：一時停止中／⏩：早送り中／⏪：早戻し中
7 再生モード表示（☞P.7-10）
⊂1：1トラックリピート／⊂：全トラックリピート／
⇄：ランダム
- 何も表示されないときは、「**リピートOff**」です。

8 現在の再生経過時間
9 音量
10 サウンド効果表示（☞P.7-10）
BASS：BASS／サラウンド：サラウンド／サラウンドBASS：サラウンドBASS
- 何も表示されないときは、「**標準**」です。

再生する

ミュージックプレイヤーで音楽を再生します。
- 曲をくり返し再生したり、曲を無作為に選び再生することもできます。（☞P.7-10）

メニュー ▶ メディアプレイヤー ▶ ミュージック

プレイリスト一覧

1 「プレイリスト」または「SDオーディオ」を選び、◉を押す。

■ 前回再生した音楽の続きを再生：「**続き再生**」選択➡◉

2 プレイリストを選び、◉を押す。

■ 音楽の検索：☰（**メニュー**）➡「**検索**」選択➡◉➡検索文字入力➡◉
- 該当する曲がなかったときは、確認画面が表示されます。◉を押したあと、検索文字を入力し直してください。

■ リストの並べ替え：☰（**メニュー**）➡「**並べ替え**」選択➡◉➡並べ替え方法選択➡◉
- SDオーディオのリストは、並べ替えできません。

■ 曲／プレイリストの情報表示：曲／プレイリスト選択➡☰（**メニュー**）➡「**プロパティ**」選択➡◉（◎を押すと、隠れている内容を表示できます。）
- 曲／プレイリスト一覧に戻る：上記操作のあと☰（**戻る**）➡☰（**戻る**）

3 トラック（曲）を選び、◉を押す。

- 最後のトラック（曲）まで再生すると、自動的に止まります。（再生モード「**リピートOff**」時：☞右記）

■ 再生の一時停止：◉

■ 音量の調節：◎（上げる）／◎（下げる）

- ■ 変更した音量は、次回ミュージックプレイヤーを起動するときも保持されます。

■ 音声ミュート：◎（1秒以上）

- ■ このあと◎で音量を操作すると、音声ミュートは解除されます。

再生中にできること

再生中の曲をはじめから再生する	◎を押します。 くり返し押すと、前の曲を再生します。※1
次の曲を再生する	◎を押します。 くり返し押すと、次の曲を再生します。※2
早送りする	◎を押し続けます。 ◎から手を離すと、その時点から再生します。
早戻しする	◎を押し続けます。 ◎から手を離すと、その時点から再生します。
一時停止する	◉を押します。 もう一度◉を押すと、再生が再開します。

※1 ランダム再生中は、◎をくり返し押しても再生中の曲をはじめから再生します。

※2 リピートOff再生中は、最後の曲の再生中に押しても無効となります。

補足▶
- 再生中に◎を押すと、音楽を再生しながら電話帳やメール作成など、他の機能を操作できます。ただし、機能によっては、同時に操作できないことがあります。
- 待受画面のバックグラウンドでメディアプレイヤーを再生しているとき、再生中の待受画面で◎を押すと、再生を終了するかどうかの確認画面が表示されます。
画面に従って操作してください。

音楽再生に関する設定

- 音楽再生に関する設定の操作は、左記操作3のあとに行います。

サウンド効果 サラウンドで再生したり、ステレオイヤホンマイク利用時に低音を強調し迫力のある音にできます。

お買い上げ時 標準

再生中／一時停止中に◎（メニュー）➡「サウンド効果」選択➡◉➡音質選択➡◉

- 音質の種類は、次のとおりです。

標準	音楽データそのまま再生します。
BASS	低音を強調します。
サラウンド	サラウンド効果が得られます。
サラウンドBASS	サラウンド＋BASSの効果が得られます。

再生モード 曲を再生するときの再生方法を設定します。

お買い上げ時 リピートOff

再生中／一時停止中に◎（メニュー）➡「再生モード」選択➡◉➡再生モード選択➡◉

- 再生モードの種類は、次のとおりです。

リピートOff	並び順に再生し、最後の曲まで再生したあとは、自動的に止まります。
1トラックリピート	選んだ1曲をくり返し再生します。
全トラックリピート	プレイリスト内のすべての曲をくり返し再生します。
ランダム	プレイリスト内の曲を無作為に選び再生します。

動画の再生

カメラで撮影した動画、Vodafone live!で入手した動画などが再生できます。
- 再生音は、903SHのスピーカーから聞こえます。
- ステレオイヤホンマイクを利用して聞くこともできます。（☞P.7-7）

ディスプレイ（ビデオプレイヤー）

1 プレイリスト名
2 動画再生領域／テロップ表示領域
3 クリップ番号
4 動作状態表示
  ▶：再生中／⏸：一時停止中／▶|：コマ送り中／
  ⏩：早送り中／⏪：早戻し中
5 再生モード表示（☞P.7-12）
  ⊂1：1クリップリピート／⊂：全クリップリピート／
  ⇄：ランダム
  - 何も表示されないときは、「リピートOff」です。
6 音量
7 現在の再生経過時間

再生する

ビデオプレイヤーで動画を再生します。
- 動画の再生方法や、再生中のパネル照明の点灯方法／表示サイズは変更できます。（☞P.7-12）
  また、動画の再生にあわせて、文字（テロップ）を流すこともできます。（☞P.7-13）

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ ムービー

1 「プレイリスト」または「SDビデオ」を選び、◉を押す。

- 「SDビデオ」を選んだときは、このあとP.7-12操作4へ進みます。

■ 前回再生した動画の続きを再生：「**続き再生**」選択➡◉

2 「本体」または「メモリカード」を選び、◉を押す。

3 プレイリストを選び、◉を押す。

全ムービーのクリップ一覧

■ 動画の検索：⊖（**メニュー**）➡「**検索**」選択➡◉➡検索文字入力➡◉
- ■ 該当する動画がなかったときは、検索文字の入力画面に戻ります。検索文字を入力し直してください。

■ リストの並べ替え：⊖（**メニュー**）➡「**並べ替え**」選択➡◉➡並べ替え方法選択➡◉
- ■ SDビデオのリストは並べ替えできません。

■ 動画／プレイリストの情報表示：動画／プレイリスト選択➡⊖（**メニュー**）➡「**プロパティ**」選択➡◉（◎を押すと、隠れている内容を表示できます。）
- ■ 動画／プレイリスト一覧に戻る：上記操作のあと ⊖（**戻る**）➡⊖（**戻る**）

7 メディアプレイヤー

4 クリップ（動画）を選び、◉を押す。

ビデオプレイヤーの画面（再生画面）が表示され、再生が始まります。

- ●最後のクリップ（動画）まで再生すると、自動的に止まります。（再生モード「**リピートOff**」時：☞右記）

■動画再生に関する設定：再生中／一時停止中に㊀（**メニュー**）➡「**設定**」選択➡◉➡右記

■動画の編集：☞P.7-13

■再生の一時停止：◉

- ■一時停止中に◎を長く（1秒以上）押すとコマ送りができます。

■音量の調節：◎（上げる）／◎（下げる）

- ■変更した音量は、次回ビデオプレイヤーを起動するときも保持されます。

■音声ミュート：◎（1秒以上）

- ■このあと◎で音量を調節すると、音声ミュートは解除されます。

■再生中の表示切替：0（☞P.7-13）

- ■動画に文字（テロップ）を設定しているときは、表示サイズ「**等倍**」で再生しているときだけ、文字（テロップ）が表示されます。

■再生中にできること：☞P.7-10

動画再生に関する設定

- ●SDビデオ内の動画は、設定できません。

再生モード 動画を再生するときの再生方法を設定します。

お買い上げ時 リピートOff

メニュー ▶ **メディアプレイヤー** ➡ **ムービー** ➡ **設定**

「**再生モード**」選択➡◉➡**再生モード選択**➡◉

- ●再生モードの種類は、次のとおりです。

リピートOff	並び順に再生し、最後の動画まで再生したあとは、自動的に止まります。
1クリップリピート	選んだ1つの動画をくり返し再生します。
全クリップリピート	プレイリスト内のすべての動画をくり返し再生します。
ランダム	プレイリスト内の動画を無作為に選び再生します。

バックライト 動画を再生するときのパネル照明の点灯方法を設定します。

お買い上げ時 常にOn

メニュー ▶ **メディアプレイヤー** ➡ **ムービー** ➡ **設定**

「**バックライト**」選択➡◉➡**点灯方法選択**➡◉

- ●設定できる点灯方法は、次のとおりです。

常にOn	再生中は、常に点灯します。
常にOff	再生中は、ボタンを押しても点灯しません。
通常設定に従う	ディスプレイ設定のバックライト（☞P.11-7）と連動します。

表示サイズ	動画を再生するときの表示サイズを設定します。

お買い上げ時 拡大

メニュー ▶ メディアプレイヤー ▶ ムービー ▶ 設定

「表示サイズ」選択➡◉➡「等倍」／「拡大」／「全画面表示」選択➡◉

- 再生画面で[0]を押しても、次の順に切り替えられます。
  「全画面表示（アイコンなし）」→「全画面表示（アイコンあり）」→「等倍」→「拡大」…
  - ■ 表示サイズの設定を変更すると、次回は設定したものの次の内容から順に切り替わります。
  - ■ 全画面表示で一時停止中は、押すたびに「全画面表示（アイコンなし）」⇔「全画面表示（アイコンあり）」の切替だけとなります。

動画の編集

次の編集が行えます。

- QVGAサイズの動画は、編集できません。

動画切り取り	部分切り取り	指定した2点間の動画を切り出します。
	前部分削除	指定したコマより前の部分を削除して、残った部分を新しい動画として保存します。
	後部分削除	指定したコマより後の部分を削除して、残った部分を新しい動画として保存します。
テロップ編集		画像の再生に合わせて、文字（テロップ）を流します。

注意▶
- 動画のデータ内容によっては、編集できないことがあります。
- メモリカードに保存されている動画を編集する場合に、903SH以外でフォーマットしたメモリカードを使用しているときは、編集した動画が正しく再生されないことがあります。
- メモリカードに保存するときは、ファイルの容量以外に最大で約300Kバイトの空き容量が必要です。

指定した2点間の動画を切り出す

- 以下の操作は、P.7-12操作4のあとで行います。

1 **一時停止中または再生中に、⌒（メニュー）を押す。**

2 **「編集」を選び、◉を押す。**

3 **⌒（Yes）を押す。**

- 編集中は着信できません。

4 **「動画切り取り」を選び、◉を押す。**

5 **「部分切り取り」を選び、◉を押す。**

動画が再生されます。

- このあと◉を押して「一時停止」⇔「再生」するなどして、切り出しの開始／終了位置を指定してください。

6 **切り出す最初のコマで、⌒（開始）を押す。**

切り出しの開始点が指定され、再生が再開されます。

7 **切り出す最後のコマで、⌒（終了）を押す。**

切り出した動画が保存されます。

注意▶
- 操作7で⌒（終了）を押す前に動画の再生が終わったときは、操作6に戻ります。切り出しの開始点から、指定し直してください。
- 再生時間が30分を超えると、保存できないことがあります。

動画の一部を削除する

指定したコマから、前または後ろの部分を削除して、残った部分を新しい動画として保存します。

●以下の操作は、P.7-12操作４のあとで行います。

1 一時停止中または再生中に、㊀（メニュー）を押す。

2「編集」を選び、◉を押す。

3 ㊀（Yes）を押す。

●編集中は着信できません。

4「動画切り取り」を選び、◉を押す。

5「前部分削除」または「後部分削除」を選び、◉を押す。

動画が再生されます。

●このあと◉を押して「**一時停止**」⇔「**再生**」するなどして、削除の開始位置を指定してください。

6 削除の開始位置で、㊀（切取）を押す。

●前部分削除は、ここで表示したコマから前の動画をすべて削除したあと、保存されます。また、後部分削除は、ここで表示したコマから後の動画をすべて削除したあと、保存されます。

■削除の取消：㊀（**戻る**）

注意▶ 再生時間が30分を超えると、保存できないことがあります。

テロップを編集する

動画の再生に合わせて、文字（テロップ）を流します。

●表示位置を変更したり、文字を装飾することもできます。

テロップを入力する

テロップ用の文字を入力し、動画のどの位置に表示するか（表示間隔／表示位置）を指定することで、テロップを設定できます。

●テロップは最大10件まで、１件あたり最大全角24文字（半角48文字）まで登録できます。

●テロップの入力は、P.7-12操作４のあとで行います。

1 一時停止中または再生中に、㊀（メニュー）を押す。

2「編集」を選び、◉を押す。

3 ㊀（Yes）を押す。

●編集中は着信できません。

4「テロップ」を選び、◉を押す。

5「テロップ編集」を選び、◉を押す。

■入力済のテロップの消去：「**テロップ消去**」選択 ➡◉➡㊀（Yes）

6 番号を選び、◉を押す。

7 文字を入力し、◉を押す。

●このあと◉を押して「**一時停止**」⇔「**再生**」するなどして、テロップを流す位置を指定してください。

8 **テロップを表示する最初の位置で、◯（開始）を押す。**

9 **テロップを表示する最後の位置で、◯（終了）を押す。**

テロップの編集画面が表示されます。

- このあと、テロップの表示設定／文字装飾を行わずにテロップの作成を終わるときは、操作11へ進みます。

■テロップ文字の変更：「**テロップ文字**」選択➡◉➡文字修正➡◉

テロップの編集画面

10 **テロップの表示設定／文字の装飾を行う。**

■テロップの表示設定：「**表示設定**」選択➡◉➡右記

■テロップの文字の装飾：「**文字装飾**」選択➡◉➡P.7-16

■文字装飾の解除：「**文字装飾リセット**」選択➡◉➡◯（Yes）

11 **テロップの設定が終われば、◯（設定）を押す。**

- テロップを追加するときは、P.7-14操作6～11をくり返します。

■入力済のテロップの編集：番号選択➡「**編集**」選択➡◉➡「**テロップ文字**」選択➡◉➡P.7-14操作7からやり直す

■入力済のテロップの削除：番号選択➡◉➡「**削除**」選択➡◉

12 **◯（終了）を押す。**

13 **「上書き」または「新規作成」を選び、◉を押す。**

注意▶ 操作9で◯（**終了**）を押す前に動画の再生が終わったときは、操作8に戻ります。テロップ表示の開始位置から指定し直してください。

テロップの表示を設定する

入力したテロップは、文字サイズや背景色、テロップが流れる方向を変更することで、いろいろな装飾効果を楽しめます。

- 文字色を変えたり、文字を点滅させることもできます。（☞P.7-16）
- 1件のテロップに複数の機能を組み合わせて設定できます。ただし、2つを超える文字装飾は設定できません。
- 表示設定の操作は、左記操作10で行います。設定後、操作11以降を行い、テロップの作成を完了してください。

表示間隔	テロップをどの場面で表示するかを設定します。

「表示間隔」選択➡◉➡開始位置で◯（開始）➡終了位置で◯（終了）

■設定終了：◯（**戻る**）➡左記操作11以降

表示位置	テロップを表示する位置を設定します。

「表示位置」選択➡◉➡◈で表示位置選択➡◉

■設定終了：◯（**戻る**）➡左記操作11以降

文字サイズ	テロップの文字サイズを設定します。

お買い上げ時標準

「文字サイズ」選択➡◉➡「標準」／「小さい」選択➡◉

■設定終了：◯（**戻る**）➡左記操作11以降

スクロール	テロップの流れる方向や、表示効果などを設定します。

お買い上げ時 方向：左から右へ、効果：フレームイン

方向の設定

「スクロール」選択➡◉➡「方向」選択➡◉➡「左から右へ」／「右から左へ」選択➡◉

■設定終了：⊖（戻る）➡⊖（戻る）➡P.7-15操作11以降

効果の設定

「スクロール」選択➡◉➡「効果」選択➡◉➡効果選択➡◉

フレームイン	画面の外から中へテロップが流れます。
フレームアウト	画面の中から外へテロップが流れます。
ローリング	画面の外から中へ、そして画面の外へテロップが流れます。

■設定終了：⊖（戻る）➡⊖（戻る）➡P.7-15操作11以降

停止時間の設定

「スクロール」選択➡◉➡「停止時間」選択➡◉➡時間（秒）入力➡◉

■設定終了：⊖（戻る）➡⊖（戻る）➡P.7-15操作11以降

背景色	文字の背景色を7色（クリア含む）の中から選びます。

お買い上げ時 ブラック

「背景色」選択➡◉➡色選択➡◉

■設定終了：⊖（戻る）➡P.7-15操作11以降

文字を装飾する

入力したテロップの文字全体、または一部分を指定して文字色を変更できます。また、文字を強調したり、点滅させることもできます。

- 文字サイズや背景色、テロップが流れる方向を変更することもできます。（☞P.7-15）
- 1件のテロップに複数の機能を組み合わせて設定できます。ただし、2つを超える文字装飾は設定できません。
- 文字装飾の操作は、P.7-15操作10で行います。設定後、操作11以降を行い、テロップの作成を完了してください。

文字色	文字全体や文字の一部の色を変えます。

お買い上げ時 ホワイト

すべての文字色の変更

「文字色」選択➡◉➡「全テロップ文字」選択➡◉➡色選択➡◉

■設定終了：⊖（戻る）➡P.7-15操作11以降

一部分の文字色の変更

「文字色」選択➡◉➡「文字部分指定」選択➡◉➡◈で開始文字選択➡◉➡◈で終了文字選択➡◉➡色選択➡◉

■設定終了：⊖（戻る）➡P.7-15操作11以降

ハイライト	文字の一部や全部を強調します。

「ハイライト」選択➡◉➡◈で開始文字選択➡◉➡◈で終了文字選択➡◉➡色選択➡◉

■設定終了：⊖（戻る）➡P.7-15操作11以降

点滅	文字を点滅させます。

「点滅」選択➡◉➡◎で開始文字選択➡◉➡◎で終了文字選択➡◉

■設定終了：㊀（戻る）➡P.7-15操作11以降

動画／音楽の管理

903SH内の動画や音楽はプレイリストで管理されています。

- あらかじめ「**全ムービー**」と「**全ミュージック**」が登録されており、このプレイリストからすべての動画や音楽を利用することができます。
- プレイリストは、新しく作成することもできます。一連の動画をまとめて管理したり、音楽をジャンルごとに分類したりするときに使うと便利です。
- メモリカードに保存するときは、ファイルの容量以外に動画では最大で約300Kバイト、音楽では最大で約96Kバイトの空き容量が必要です。

新しいプレイリストを作成する

動画のプレイリストを作成する

「**プレイリスト**」内に、新しいプレイリストを作成します。

- 「**SDビデオ**」内には、作成できません。
- お買い上げ時には、「**プレイリスト1**」～「**プレイリスト3**」が登録されています。

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ ムービー ➡ プレイリスト

1 **「本体」または「メモリカード」を選び、◉を押す。**

プレイリストの一覧画面が表示されます。

■プレイリストの削除：プレイリスト選択➡㊀（**メニュー**）➡「**プレイリスト削除**」選択➡◉➡㊀（**Yes**）

■プレイリスト名の変更：プレイリスト選択➡㊀（**メニュー**）➡「**リスト名編集**」選択➡◉➡リスト名入力➡◉

プレイリスト一覧

2 **㊀（メニュー）を押す。**

3 **「リスト作成」を選び、◉を押す。**

4 **リスト名を入力し、◉を押す。**

音楽のプレイリストを作成する

「**プレイリスト**」と「**SDオーディオ**」内に、新しいプレイリストを作成します。

- お買い上げ時「**プレイリスト**」には、「**プレイリスト１**」～「**プレイリスト３**」が登録されています。

メニュー ▶ メディアプレイヤー ▶ ミュージック

1 「プレイリスト」または「SD オーディオ」を選び、◉を押す。

プレイリストの一覧画面が表示されます。

■ プレイリストの削除：プレイリスト選択 ➡㊀（**メニュー**）➡「**プレイリスト削除**」選択➡◉➡㊀（Yes）

■ プレイリスト名の変更：プレイリスト選択➡㊀（**メニュー**）➡「**リスト名編集**」選択➡◉➡リスト名入力➡◉

2 ㊀（メニュー）を押す。

3 「リスト作成」を選び、◉を押す。

4 リスト名を入力し、◉を押す。

プレイリストに動画／音楽を追加する

「**全ムービー**」／「**全ミュージック**」内の動画／音楽を、作成したプレイリストに追加します。

- プレイリストに追加されるのは、動画／音楽の保存場所情報だけです。実際の動画／音楽はコピーされません。

動画を追加する

「**プレイリスト**」の「**全ムービー**」内の動画を、他のプレイリストに追加します。

- 「**SDビデオ**」内の動画は、追加できません。

メニュー ▶ メディアプレイヤー ▶ ムービー ▶ プレイリスト

1 「本体」または「メモリカード」を選び、◉を押す。

■ 追加済のクリップ（動画）の削除：プレイリスト選択➡◉➡動画選択 ➡㊀（**メニュー**）➡「**リストから削除**」選択➡◉➡㊀（Yes）

■ リスト内の動画の位置移動：プレイリスト選択➡◉➡動画選択➡㊀（**メニュー**）➡「**リスト内移動**」選択➡◉➡◎で位置選択➡◉

2 「全ムービー」を選び、◉を押す。

3 クリップ（動画）を選び、㊀（メニュー）を押す。

4 「リストに追加」を選び、◉を押す。

5 追加先のプレイリストを選び、◉を押す。

指定したプレイリストの最下部に、動画が追加されます。

音楽を追加する

「プレイリスト」／「SDオーディオ」の「全ミュージック」内の音楽を、他のプレイリストに追加します。

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ ミュージック

1 「プレイリスト」または「SD オーディオ」を選び、◉を押す。

■追加済のトラック（曲）の削除：プレイリスト選択➡◉➡曲選択➡㊀（メニュー）➡「リストから削除」選択➡◉➡㊀（Yes）

■リスト内の音楽の位置移動：プレイリスト選択➡◉➡曲選択➡㊀（メニュー）➡「リスト内移動」選択➡◉➡◎で位置選択➡◉

2 「全ミュージック」を選び、◉を押す。

3 トラック（曲）を選び、㊀（メニュー）を押す。

4 「リストに追加」を選び、◉を押す。

5 追加先のプレイリストを選び、◉を押す。

指定したプレイリストの最下部に、曲が追加されます。

SDオーディオ内の情報を編集する

SDオーディオで録音した音楽のタイトル／アーティスト名を変更します。

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ ミュージック ➡ SDオーディオ

1 プレイリストを選び、◉を押す。

2 トラック（曲）を選び、㊀（メニュー）を押す。

3 「トラック情報編集」を選び、◉を押す。

4 ***タイトルを変更する***

1「タイトル」を選び、◉を押す。

2 タイトルを入力し、◉を押す。

アーティスト名を変更する

1「アーティスト」を選び、◉を押す。

2 アーティスト名を入力し、◉を押す。

動画／音楽を削除する

「SDビデオ」、「SDオーディオ」の「全ミュージック」内の動画／音楽を削除します。ファイルそのものが削除されますので、削除してもよいかどうかを十分ご確認のうえ、操作してください。

- 「プレイリスト」の「全ムービー」／「全ミュージック」内の動画／音楽を削除するときは、データフォルダの「ムービー」／「着信メロディ＆サウンド」から行います。（☞P.9-15）

動画を削除する

「SDビデオ」内の動画を削除します。

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ ムービー ➡ SDビデオ

1 **クリップ（動画）を選び、㊀（メニュー）を押す。**

2 **「クリップ削除」を選び、◉を押す。**

3 **㊀（Yes）を押す。**

音楽を削除する

「SDオーディオ」の「全ミュージック」内の音楽を削除します。

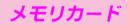
メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ ミュージック ➡ SDオーディオ

1 *1曲ずつ削除する*

1「全ミュージック」を選び、◉を押す。
2 トラック（曲）を選び、㊀（メニュー）を押す。
3「1トラック削除」を選び、◉を押す。

全曲削除する

1 ㊀（メニュー）を押す。
2「全トラック削除」を選び、◉を押す。
3 ㊀（Yes）を押す。

2 **㊀（Yes）を押す。**

メモリカードについて

903SHはminiSD™メモリカードに対応しています。
- 市販のminiSD™メモリカードを使用するときは、903SHでフォーマットしてください。（☞P.8-4）
- メモリカードへのデータの保存方法については、各機能の説明部分を参照してください。
- miniSD™メモリカードアダプタ（☞P.8-4）を利用すると、miniSD™メモリカードをSDメモリカード対応パソコンやプリンタなどでも利用できます。

メモリカード内のメモリ使用状況の確認

■次の操作を行います。

◉➡「データフォルダ」選択➡◉➡「メモリ確認」選択➡◉➡「メモリカード」選択➡◉

- メモリカードのメモリは、お客様が直接ご利用できる部分（ユーザー領域）と、著作権保護などで自動的に使用される部分があります。
- 64Mバイトのメモリカードのユーザー領域は、約60.6Mバイトです。

メモリカードの取り扱いについて

miniSD™メモリカードをお使いになるときは、次のことにご注意ください。
- メモリカードは、推奨のものをご使用ください。
  推奨以外のメモリカードは使用できないことや正しく動作しないことがあります。
- 903SHの電源を入れた状態でメモリカードを取り付けたり、取り外したりしないでください。
- ラベルやシールを貼らないでください。メモリカードは非常に薄く、精密に作られているため、ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因となることがあります。（miniSD™メモリカードアダプタも同様です。）
- 文字を書くときは、フェルトペン（油性）をご使用ください。鉛筆やボールペンは、ご使用にならないでください。
  メモリカードに損傷を与えたり、データが破壊されることがあります。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水にぬらしたりしないでください。
- 金属端子部分を手や金属で触れないでください。
- 高温になる車の中や直射日光の当たる所など、温度が高くなる所には置かないでください。
- 湿度の高い所やほこりが多い所には置かないでください。
- 腐食性のガスなどが発生する所には置かないでください。
- メモリカードを火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。
- メモリカードには寿命があります。長期間ご使用になると、新しくデータを書き込めなくなることがあります。

注意▶
- メモリカードの登録内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておかれることをおすすめします。
  なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- miniSD™メモリカードには、書き込み禁止スイッチはありません。データの消去や上書きなどにご注意ください。

補足▶ 903SHで推奨するのは、32Mバイト／64Mバイト／128Mバイト／256MバイトのminiSD™メモリカードです。

メモリカードを取り付ける／取り外す

取り付ける

●必ず903SHの電源を切った状態で取り付けてください。

1 メモリカードスロットのカバーを開く。

2 端子面を下に向けて、「カチッ」と音がするまでメモリカードをゆっくり奥まで入れる。

3 カバーを閉じる。

注意▶ miniSD™メモリカード以外のものを挿入しないでください。メモリカードや903SHが破損する恐れがあります。

取り外す

●必ず903SHの電源を切った状態で取り外してください。

1 メモリカードスロットのカバーを開き、メモリカードを軽く押し込む。

●メモリカードは、軽く押し込んで手を離すと少し飛び出てきますので、指で軽く押さえてください。

2 メモリカードを取り出す。

●ゆっくりとまっすぐ引き抜いてください。メモリカードを取り出したあと、カバーを閉じます。

注意▶ データの読み出し中や書き込み中は、絶対にメモリカードを取り外したり、電池パックを取り外さないでください。メモリカードまたは903SHが破損する恐れがあります。

補足▶ 903SHにメモリカードを取り付け、電源を入れたときは、メモリカード内の情報確認のため、待受画面が表示されるまでに時間がかかることがあります。
（メモリカードの容量や書き込まれているデータ量により、待受画面が表示されるまでの時間は異なります。）

miniSD™メモリカードアダプタの使いかた

■取り付けるとき

miniSD™メモリカードアダプタとminiSD™メモリカードの印刷面を合わせて、矢印の方向に押し込みます。

■取り外すとき

miniSD™メモリカードアダプタの切り欠き部を持って、miniSD™メモリカードをつまんで挿入方向と反対の方向へ引き出します。

注意▶
- miniSD™メモリカードアダプタを持つときは、切り欠き部を利用してください。miniSD™メモリカードアダプタの印刷面を持つと、miniSD™メモリカードアダプタが破損する恐れがあります。
- miniSD™メモリカードアダプタにminiSD™メモリカードを装着していない状態で、パソコン等に装着しないでください。機器やアダプタを破損する恐れがあります。また、パソコンなどの機器にminiSD™メモリカードアダプタを装着したままの状態でminiSD™メモリカードだけを抜かないでください。機器が誤動作する恐れがあります。
- 装着する機器によっては、miniSD™メモリカードアダプタに装着したminiSD™メモリカードを利用できないことがあります。

メモリカードをフォーマット（初期化）する

フォーマットされていないメモリカードを使うときは、必ず903SHでフォーマットしてください。

- フォーマットすると、メモリカード内のすべてのデータが消去されます。
- フォーマット中は、絶対にメモリカードや電池パックを抜かないでください。メモリカードまたは903SHが破損する恐れがあります。
- 他の機器でフォーマットしたメモリカードは、903SHでは正常に使用できないことがあります。
（動作が遅くなったり、利用できない機能があります。）

メニュー ▶ 外部接続 ➡ メモリカード ➡ フォーマット

1 ⌒（Yes）を押す。
オフラインモードに設定されます。
■ メール／ウェブ接続時：◉

2 操作用暗証番号（４ケタ）を入力し、◉を押す。

3 ⌒（Yes）を押す。
■ フォーマットの中止：⌒（No）

メモリカードバックアップ

903SHとメモリカード間で、データを種類ごとに一括して転送できます。転送できるデータは、次のとおりです。

■電話帳　■カレンダー　■予定リスト
■定型文　■ブックマーク

- メモリカードにデータを一括して転送すると、データの種類ごとに１つのバックアップファイルとして保存されます。（転送日のファイル名が付きます。）
- メモリカードにバックアップファイルとして保存されたあとは、903SHから確認できません。

メモリカードバックアップ時のご注意

- 電池残量が少ないときは、利用できません。
- 一時停止中のVアプリがあるときは、Vアプリを終了するかどうかの確認画面が表示されます。バックアップを行うときは、◯（Yes）を押して、Vアプリを終了させてください。
- 903SHまたはメモリカードの空き容量が少ないときは、バックアップが正常に行えないことがあります。
- データの内容によっては、903SHからメモリカードに一括転送できないことがあります。また、一括転送されたデータの内容によっては、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用できないことがあります。
- 903SHに保存できるのは、カレンダーと予定リストをあわせて最大300件です。メモリカードから一括転送中、300件に達すると確認メッセージが表示され、超過分は転送できません。
- バックアップは、個人データの保存や同機種間（miniSD™メモリカード対応機）での情報共有、または機種交換時の個人データの移動などの目的で行うことをおすすめします。

メモリカードに一括転送する

- ご利用の前に、「**メモリカードバックアップ時のご注意**」（☞上記）をご確認ください。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ メモリカード ➡ バックアップ ➡ メモリカードへ保存

1 操作用暗証番号（４ケタ）を入力し、◉を押す。

2 ◯（Yes）を押す。

オフラインモードに設定されます。

■ メール／ウェブ接続時：◉

3 データの種類を選び、◉を押す。

■「全選択」、「電話帳」選択時：◯（Yes）／◯（No）

■ 一括転送中止：◯（キャンセル）

メモリカードから読み込む

- メモリカードからデータを読み込むと、903SH内の同じ種類のデータは消去されます。
- ご利用の前に、「**メモリカードバックアップ時のご注意**」（☞左記）をご確認ください。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ メモリカード ➡ バックアップ ➡ メモリカードから読込み

1 操作用暗証番号（４ケタ）を入力し、◉を押す。

2 ◯（Yes）を押す。

オフラインモードに設定されます。

■ メール／ウェブ接続時：◉

3 データの種類を選び、◉を押す。

- 選択できないデータの種類は、転送できません。

4 ファイルを選び、◉を押す。

- ファイルが複数あるときは、ファイル名の転送日を確認して選んでください。

例：2005年７月15日に一括転送したときのファイル名「050715XX」（XXは、00〜99、aa〜zzの２ケタの数字、英字）

- 「全選択」を選んだときは、データの種類ごとに操作４をくり返します。

■ ファイル削除：ファイル選択 ➡◯（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡◯（Yes）

5 ◯（Yes）を押す。

■ 読み込み中止：◯（キャンセル）

補足▶ 903SHで設定できない開始日時／期限日時が設定されているカレンダー／予定リストのバックアップデータをメモリカードから読み込んだときは、読み込んだ日時が開始日時／期限日時に設定されます。

8 メモリカード

静止画のプリント指定（DPOF）

DPOF（「Digital Print Order Format」の略称）とは、デジタルカメラで撮影した静止画のプリント指定形式です。メモリカード内の静止画の中から、プリントしたい静止画とその枚数を指定しておけば、DPOF対応のデジタルカメラプリントショップやプリンタで、指定した情報に沿ってプリントを行えます。

- Vodafone live!などから入手した静止画はプリント指定できません。
- 操作中にメモリカードの容量が不足すると、容量不足の確認メッセージが表示されます。このときは、一旦操作を終了し、不要なデータを削除したあとやり直してください。
- プリント時の操作など、詳しくはプリントする機器の操作説明書を参照してください。

プリントする静止画と枚数を指定する

- メモリカード内のすべての静止画（DCF形式）に同じプリント枚数を指定することもできます。（☞P.8-7）

メニュー ▶ 外部接続 ➡ メモリカード ➡ プリント指定（DPOF）➡ 枚数個別設定

1 フォルダを選び、◉を押す。

選んだフォルダ内の静止画のサムネイルが表示されます。（この画面がプリントの指定画面となります。）

2 ◈で静止画を選び、㊀（枚数）を押す。

■ 静止画の確認：静止画選択➡◉
- ■ プリントの指定画面に戻る：㊀（戻る）

3 プリント枚数（00〜99枚）を入力し、◉を押す。

- 最大99枚まで指定できます。

■ 静止画の選択画面に戻る：㊀（戻る）
■ 指定の解除：「00」入力➡◉

4 操作2〜3をくり返し、静止画と枚数を指定する。

5 ㊀（完了）を押す。

プリント枚数が指定されます。

注意▶
- 903SHでは、他のデジタルカメラなどで設定されたプリント指定（DPOF）は変更できません。
- 他のデジタルカメラなどで設定されたプリント指定（DPOF）がある場合に、903SHで新しくプリント指定を行ったときは、以前設定されていたプリント指定は消去されます。
- デジタルカメラプリントショップまたはプリンタによっては、機能が一部制限されることがあります。
- プリント指定する画像数が多いと、プリント指定に時間がかかることがあります。
- パソコンなどでメモリカード内の画像を削除したり名前を変更すると、プリント指定が正しく行われなくなります。このときは、全設定リセット（☞P.8-7）を行ったあとプリント指定し直してください。

DPOFの便利な機能

枚数一括設定	デジタルカメラフォルダ内のすべての静止画（DCF形式）に同じプリント枚数を指定できます。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ メモリカード ➡ プリント指定（DPOF）

「全ピクチャー共通設定」選択➡◉➡「枚数一括設定」選択➡◉➡プリント枚数（01～99枚）入力➡◉

- 最大99枚まで指定できます。
  - すべての設定の解除：「全設定リセット」選択➡◉➡㊀（Yes）

日付付加指定	デジタルカメラフォルダ内の静止画をプリントするときに日付を付けるかどうかを設定します。

お買い上げ時 Off（日付なし）

メニュー ▶ 外部接続 ➡ メモリカード ➡ プリント指定（DPOF）

「全ピクチャー共通設定」選択➡◉➡「日付付加指定」選択➡◉➡「On」／「Off」選択➡◉

インデックスプリント指定	静止画の画像一覧を並べたインデックスプリントが必要かどうかを設定します。

お買い上げ時 Off（不要）

メニュー ▶ 外部接続 ➡ メモリカード ➡ プリント指定（DPOF）

「全ピクチャー共通設定」選択➡◉➡「インデックスプリント指定」選択➡◉➡「On」／「Off」選択➡◉

プリント指定状況の確認	印刷画像枚数や総印刷枚数などのプリントの指定状況を確認します。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ メモリカード ➡ プリント指定（DPOF）

「全ピクチャー共通設定」選択➡◉➡「プリント指定状況確認」選択➡◉

- 登録が終わっていない枚数設定があると「印刷画像枚数」、「総印刷枚数」に「✱✱✱」が表示されます。

その他のメモリカード機能

SDローカルコンテンツ	HTMLファイルを表示して、メモリカード内のファイルやインターネットにアクセスします。

■メモリカードにHTMLファイルがないときは、利用できません。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ メモリカード ➡ SDローカルコンテンツ

タイトル選択➡◉

- パソコンでメモリカードを確認したとき、ローカルコンテンツは「PRIVATE/VODAFONE/Local Contents」フォルダに保存されています。

補足▶

- 付属のminiSD™メモリカードには、体験コンテンツ「mini SDカードローカルコンテンツ for Vodafone 903SH」（動画データ）が保存されています。ご利用になるときは、同梱の「miniSDカードローカルコンテンツとは？」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 体験コンテンツの再生には、別途パケット通信料が必要です。また、コンテンツによっては、別途情報料が必要なことがあります。
- パソコンでメモリカードを確認したとき、体験コンテンツは「PRIVATE/VODAFONE/My Items/Videos」フォルダに保存されています。

データフォルダ

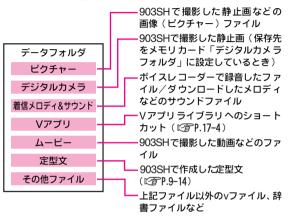
データフォルダについて

データフォルダには、いくつかのフォルダがあらかじめ登録されており、各機能でデータを作成したり、メールやウェブなどでデータを入手すると、ファイル形式に応じて該当するフォルダに保存されるようになっています。また、撮影した画像や動画などをメモリカード内に直接保存したり、903SHとメモリカード間でデータをコピー／移動することもできます。

●「**ピクチャー**」、「**着信メロディ＆サウンド**」、「**Vアプリ**」、「**ムービー**」のフォルダからは、Vodafone live!へ直接アクセスし、データをダウンロードできます。

補足▶ Bluetooth（☞P.10-2）や赤外線通信（☞P.10-9）を利用して、他の機器との間で、データフォルダ内のデータをやりとりできます。

データフォルダの構成

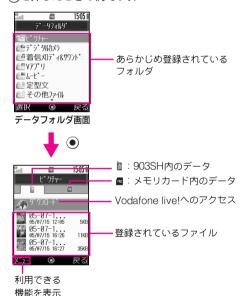
データフォルダにあらかじめ登録されているフォルダ名、各フォルダに保存されるファイルは、下図のとおりです。

メモリ使用状況の確認

■データフォルダのメモリの使用状況を確認するときは、次の操作を行います。

◉➡「データフォルダ」選択➡◉➡「メモリ確認」選択➡◉➡「本体」／「メモリカード」選択➡◉

9 データフォルダ

ディスプレイ

データフォルダ画面は、待受画面で◉を押したあと、「**データフォルダ**」を選び、◉を押すと表示されます。
データフォルダ画面で、フォルダを選び◉を押すと、ファイルのリスト画面が表示されます。
（下の画面は、データフォルダ画面で「**ピクチャー**」を選び、◉を押したときの例です。）

各種アイコンについて

■おもな静止画やアニメーションファイルのアイコン

アイコン	ファイル形式（拡張子）	内容
（静止画アイコン）	JPEGファイル（.jpg）	JPEG形式の静止画像
	PNGファイル（.png）	PNG形式の静止画像
（NVAアイコン）	E-アニメータファイル（NEVAファイル）（.nva）	アニメーション（サウンド付きもあり）

■おもな動画ファイルのアイコン

アイコン	ファイル形式（拡張子）	内容
（動画アイコン）	MPEG-4ファイル（.3gp）	3gpp形式のムービー画像
	MPEG-4／H.263ファイル（.3gp／.mp4）	3gpp形式のムービー画像

■おもなサウンドファイルのアイコン

アイコン	ファイル形式（拡張子）	内容
（サウンドアイコン）	SMAFファイル（.mmf）	Vodafone live!で入手したメロディ（画像付きもあり）
	オーディオファイル（.mp4）	ダウンロードした着うた®
	音声ファイル（.amr）	ボイスレコーダーで録音したファイル

補足▶ 鍵アイコンのあるファイル（⊸／⊸）は、著作権保護されたファイルです。「⊸」のアイコンは、権利の切れた状態です。

9 データフォルダ

データフォルダの表示方法を設定する

ファイルを並べ替える

データフォルダ内のファイルを、ファイル名、日付、サイズ、データ形式のいずれかの順番に並べ替えます。

- ここでの設定は、選んだフォルダだけでなく、データフォルダ内のすべてのフォルダで有効になります。

メニュー ▶ データフォルダ

1 「ピクチャー」、「デジタルカメラ」、「着信メロディ&サウンド」、「ムービー」、「その他ファイル」のいずれかを選び、◉を押す。

■ 新しく作成したフォルダ／デジタルカメラフォルダ選択時：フォルダ選択➡◉

2 ⊝（メニュー）を押す。

- 「ダウンロード」にカーソルがあるときは、操作4へ進みます。

3 「その他」を選び、◉を押す。

4 「並べ替え」を選び、◉を押す。

5 並べ替え方法を選び、◉を押す。

注意▶ フォルダ内のファイル数が多いときに並べ替えを行うと、フォルダ内のファイル表示に時間がかかることがあります。

保存されているファイルの確認

データフォルダ内のファイルを確認する

メニュー ▶ データフォルダ

1 フォルダを選び、◉を押す。

フォルダ内のファイルのリスト画面が表示されます。

■ 903SH／メモリカードの切替：◎

■ 新しく作成したフォルダ／デジタルカメラフォルダ選択時：フォルダ選択➡◉

- フォルダ内のファイルは、日付順やファイル名順などに並べ替えることができます。（☞左記）

ファイルのリスト画面（ピクチャーフォルダ）

2 ファイルを選び、◉を押す。

選んだファイルのファイル形式に応じて、再生または表示されます。

■ サウンド再生時の音量調節：◎（上げる）／◎（下げる）

■ サウンドファイルの表示切替：サウンド選択➡⊝（**メニュー**）➡「**表示切替**」選択➡◉➡「**ファイル名**」／「**タイトル**」（お買い上げ時）選択➡◉

■ 静止画／アニメーションの拡大表示：⊝（**メニュー**）➡「**拡大**」選択➡◉（くり返すたびに、拡大表示されます。）

- ピクチャーフォルダ内の静止画を表示しているときは、◉を押すたびに拡大表示できます。
- 拡大表示中は、それ以上拡大表示できないサイズになると、通常表示に戻ります。
- 通常表示に戻す：⊝（**メニュー**）➡「**縮小**」選択➡◉

■ 静止画の全画面表示：⊝（**メニュー**）➡「**全画面表示**」選択➡◉

3 データフォルダ画面に戻るときは、CLEAR/BACKを押す。

データフォルダからのカメラ起動

■ピクチャーフォルダ／デジタルカメラフォルダ／ムービーフォルダのリスト画面で以下の操作を行うと、ピクチャーフォルダ／デジタルカメラフォルダからは写真撮影モード、ムービーフォルダからは動画撮影モードが起動できます。

㊀（**メニュー**）➡「**カメラ起動**」／「**ビデオカメラ起動**」**選択**➡◉

- ■「**ダウンロード**」にカーソルがあるときは、ファイルを選択したあと、操作してください。
- ■ 静止画の撮影方法：☞P.6-8操作１以降
- ■ 動画の撮影方法：☞P.6-14操作１以降

● リスト画面にファイルがないときは、起動できません。

データフォルダからのボイスレコーダー起動

■着信メロディ＆サウンドフォルダのリスト画面で以下の操作を行うと、ボイスレコーダーが起動できます。

㊀（**メニュー**）➡「**ボイスレコーダー起動**」**選択**➡◉

- ■「**ダウンロード**」にカーソルがあるときは、ファイルを選択したあと、操作してください。
- ■ ボイスレコーダーの録音方法：☞P.12-13操作２以降

● リスト画面にファイルがないときは、起動できません。

ファイルのメール添付

データフォルダから、各種ファイルを直接メールに添付して送信します。

●定型文フォルダ内のファイルを添付すると、メールの本文として挿入されます。

メニュー ▶ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ

1 ファイルを選び、㊀（メニュー）を押す。

2「送信」を選び、◉を押す。

■ 定型文フォルダのファイル送信：「**定型文メール送信**」選択➡◉➡操作４へ

3「メール」を選び、◉を押す。

■ データサイズの大きいJPEG画像選択時：圧縮サイズ選択➡◉

4 宛先など他の項目を入力し、メールを送信する。（☞P.15-7操作３以降）

ファイルの詳細情報を確認する

メニュー ▶ データフォルダ

1「ピクチャー」、「デジタルカメラ」、「着信メロディ&サウンド」、「Vアプリ」、「ムービー」、「その他ファイル」のいずれかを選び、◉を押す。

■ 新しく作成したフォルダ／デジタルカメラフォルダ選択時：フォルダ選択➡◉

2 ファイルを選び、㊀（メニュー）を押す。

3「プロパティ」を選び、◉を押す。

◎を押すと、隠れている項目が表示されます。

● 各項目の内容は以下のとおりです。
ファイルのタイトル名、ファイルのタイプ、データサイズ、更新日時、販売元、説明、転送／コピー不可情報、その他権利情報（表示可能回数、期間）など

■ファイルによって、表示される内容は異なります。

SVGファイルについて

903SHでは、ベクトルグラフィックフォーマット「SVG-T」（Scalable Vector Graphics-Tiny）のファイルが表示できます。SVGファイルの表やグラフ、地図などの画像が閲覧できます。

- 「SVG-T」の詳細について詳しくは、「http://www.sharp.co.jp/j/」でご案内しています。
- おもな操作方法は、次のとおりです。

上下左右スクロール	2（上）／4（左）／6（右）／8（下）
拡大／縮小	1（縮小）／3（拡大）／5（元に戻る）
回転	7（左回転）／9（右回転）
キーアクションモード	0

補足▶ SVGファイルによっては、動作しない機能もあります。

ファイルの利用

データフォルダに登録されているファイルを、壁紙や電話帳の画像、着信パターンとして利用できます。

- 「**壁紙登録**」、「**電話帳登録**」、「**着信ビデオ設定**」、「**着信音設定**」のメニューが表示されるファイルで利用できます。
- ファイルサイズが大きいと登録できないことがあります。

注意▶ 著作権保護されているファイル（「」、「」表示）は、「**壁紙登録**」、「**電話帳登録**」、「**着信ビデオ設定**」のメニューが表示されていても、利用できないことがあります。

壁紙に登録する

メニュー▶データフォルダ

1 **「ピクチャー」または「その他ファイル」を選び、●を押す。**

2 **ファイルを選び、（メニュー）を押す。**

3 **「壁紙登録」を選び、●を押す。**

4 **●を押す。**

選んだファイルが壁紙に設定されます。

電話帳に登録する

メニュー▶データフォルダ

1 **「ピクチャー」、「着信メロディ＆サウンド」、「ムービー」、「その他ファイル」のいずれかを選び、●を押す。**

2 **ファイルを選び、（メニュー）を押す。**

3 **「電話帳登録」を選び、●を押す。**

- 以降の操作：P.4-7「発信履歴／着信履歴の電話番号を登録する」操作4

9 データフォルダ

着信パターンに設定する

音声着信（☞P.11-2）に、動画（ムービー）／サウンド（着信音）を設定します。
- TVコール着信、メール着信には、設定できません。
- メモリカード内のデータは、利用できません。

動画を設定する

メニュー ▶ データフォルダ ➡ ムービー

1 ファイルを選び、◯（メニュー）を押す。
2「着信ビデオ設定」を選び、◉を押す。

サウンドを設定する

メニュー ▶ データフォルダ ➡ 着信メロディ&サウンド

1 ファイルを選び、◯（メニュー）を押す。
2「着信音設定」を選び、◉を押す。

静止画の加工

ピクチャーフォルダのファイル（静止画）は、装飾や合成などの加工ができます。

サイズを変更する

ファイルを、壁紙用やアラーム用などのサイズに変更します。
- 固定のサイズに変更するほか、お好みのサイズに切り出したり、拡大／縮小ができます。（サイズを変更すると、データサイズも変更されます。）
- 「サイズ変更」、「画像加工」のメニューが表示されるファイルで、利用できます。

固定サイズに変更する

メニュー ▶ データフォルダ ➡ ピクチャー ➡ ファイルを選ぶ

1 ◯（メニュー）を押す。
2「サイズ変更」を選び、◉を押す。
3「壁紙」～「アラーム」のいずれかを選び、◉を押す。

選んだ画像とサイズを示す枠が表示されます。（「壁紙」、「電源On／Off」を選んだときを除く）
- 画像の表示範囲を変更するときは、このあと◎で範囲を指定します。（画像サイズによっては、表示範囲は変更できません。）

着信画像のとき

壁紙	横240×縦320ドット
電源On／Off	横240×縦320ドット
着信画像	横176×縦144ドット
アラーム	横240×縦104ドット

■ 画像サイズ選択のやり直し：◯（戻る）

4 ◉を押す。
5 ◉を押す。

サイズ変更後の画像が新しい画像としてデータフォルダに保存され、登録日時のファイル名が付きます。

サイズを自由に変更する

メニュー ▶ データフォルダ ➡ ピクチャー ➡ ファイルを選ぶ

1 ㊀（メニュー）を押す。

2「サイズ変更」を選び、◉を押す。

3「自由切出」を選び、◉を押す。

4 ⊕で「＋」を切り出す部分の左上に移動し、◉を押す。

5 ⊕で「＋」を切り出す部分の右下に移動し、◉を押す。

■ サイズ選択のやり直し：㊀（**メニュー**）➡「**サイズ選択**」選択➡◉➡操作3からやり直す

■ 拡大／縮小する：㊀（**メニュー**）➡「**サイズ変更**」選択➡◉➡⊕（拡大）／⊕（縮小）

6 ◉を押す。

7 ◉を押す。

サイズ変更後の画像が新しい画像としてデータフォルダに保存され、登録日時のファイル名が付きます。

拡大／縮小する

画面の中心を基点にして拡大／縮小します。中心となる位置を変えて拡大／縮小することもできます。

メニュー ▶ データフォルダ ➡ ピクチャー ➡ ファイルを選ぶ

1 ㊀（メニュー）を押す。

2「画像加工」を選び、◉を押す。

3「拡大／縮小」を選び、◉を押す。

4 ⊕（拡大）または ⊕（縮小）で、画像のサイズを変更する。

ボタンを押している間、画像が拡大／縮小されます。ボタンから手を離すと、止まります。（それ以上拡大／縮小できないサイズになると、ボタンを押し続けていても、止まります。）

■ 画像の中心位置の変更：㊀（**メニュー**）➡「**移動**」選択➡◉➡⊕で画面の中央部へ中心にする位置を移動

- 拡大／縮小のやり直し：上記の操作のあと ㊀（**メニュー**）➡「**サイズ変更**」選択➡◉

■ 画像をなめらかにする：㊀（**メニュー**）➡「**ソフト**」選択➡◉

5 ◉を押す。

サイズ変更後の画像が新しい画像としてデータフォルダに保存され、登録日時のファイル名が付きます。

静止画を装飾する

画像の色あいやタッチを変更できます。

- 画像装飾に利用できるのは、横52×縦52ドット以上のJPEG画像です。連写画像も装飾できます。
- 「**画像装飾**」のメニューが表示されるファイルで、利用できます。

メニュー ▶ データフォルダ ➡ ピクチャー ➡ ファイルを選ぶ

1 **㊀（メニュー）を押す。**

2 **「画像加工」を選び、◉を押す。**

3 **「画像装飾」を選び、◉を押す。**

4 **装飾の種類を選び、◉を押す。**

セピア	セピア色で濃淡を表現
きらめき	光る部分を十字に輝かせる効果を表現
波紋	輪の形に広がる波の効果を表現
タイル	周りにタイル調の効果を表現
浮彫りタッチ	メタル系シルバーで立体感を表現
油絵タッチ	ルノワール風油絵タッチ
クリアフレーム	周りに透明なふちを描くフレーム調
円ソフトフレーム	周りを丸くぼかすフレーム調
ソフトフレーム	周りをぼかすフレーム調
ちぎりフレーム	周りを手でちぎった感じのフレーム調

5 **◉を押す。**

装飾後の画像が新しい画像としてデータフォルダに保存され、登録日時のファイル名が付きます。

注意▶ 画像を装飾すると、画像データサイズが変わるため、装飾された画像の登録や、メール送信ができないことがあります。

顔写真を加工する

画像内の顔を笑い顔や怒った顔、泣き顔などに加工できます。（フェイスアレンジ）

- フェイスアレンジに利用できるのは、JPEG画像です。
- フェイスアレンジは、顔パーツ（輪郭、目、口）の位置や大きさを元に加工します。顔が正面を向き、大きく中央に写っているファイルを利用してください。また、次のようなときは、うまく加工できないことがあります。
  - ■ピントが合っていない／首を傾けている／暗い／目が髪で隠れている／画面の中央に写っていない／口が開いている／メガネをかけている／ヒゲを生やしている　など
- 顔パーツの位置や大きさを指定し直して加工することもできます。（☞P.9-10）
- 「**フェイスアレンジ**」のメニューが表示されるファイルで、利用できます。

メニュー ▶ データフォルダ ➡ ピクチャー ➡ ファイルを選ぶ

1 **㊀（メニュー）を押す。**

2 **「画像加工」を選び、◉を押す。**

3 **「フェイスアレンジ」を選び、◉を押す。**

4 **アレンジの種類を選び、◉を押す。**

右顔合成	顔の右半分をもとにした左右対称の顔
左顔合成	顔の左半分をもとにした左右対称の顔
微笑む	目、口が微笑んでいる顔
怒る	目、口が怒っている顔
悲しむ	目、口が悲しんでいる顔
パッチリ目	パッチリ目を合成
炎	炎の目を合成
なみだ	なみだ目を合成
伯爵	めがねとヒゲを合成
カチン	怒りマークを合成

■顔パーツの位置や大きさの確認：「**顔抽出確認**」選択➡◉
- 顔パーツの位置／大きさの調整：上記操作のあと、右記操作2以降
- フェイスアレンジ画面に戻る：顔抽出確認後㊀（**戻る**）

■アレンジのやり直し：㊀（**戻る**）

5 **◉を押す。**

アレンジ後の画像が新しい画像としてデータフォルダに保存され、登録日時のファイル名が付きます。

注意▶ フェイスアレンジを行った画像をMMSに添付したり、壁紙などに設定して楽しまれるときは、人格権、肖像権を尊重し、他の方の中傷などにご配慮ください。

顔パーツの位置／大きさを調整する

フェイスアレンジ（P.9-9「**顔写真を加工する**」操作1～左記操作4）を行うと、認識した顔パーツの位置が、加工する顔の位置とずれていることがあります。このときは、以下の操作で位置や大きさを調整できます。
- 顔パーツは画像ごとに調整して登録します。

1 **左記操作4で、「顔抽出確認」を選び、◉を押す。**

2 **㊀（修正）を押す。**

顔輪郭の枠の左上に「＋」が表示されます。

3 **顔の輪郭を指定する。**

Ⓢで顔の輪郭の左上に「＋」を移動 ◉➡ Ⓢで顔の輪郭の右下に「＋」を移動 ◉➡ 顔の輪郭の位置が指定完了

■指定のやり直し：㊀（**戻る**）

9 データフォルダ

4 **右目→左目→口の順に、それぞれの顔パーツを指定する。**

●画面上部のガイドに従って、P.9-10操作3と同様に操作します。

右目の位置を指定

左目の位置を指定

口の位置を指定

5 **指定が終われば、◉を押す。**

指定した顔パーツがすべて表示されます。

●顔パーツの指定をやり直すときは、P.9-10操作2以降をくり返してください。

■あらかじめ設定されている顔パーツに戻す：㊀（**戻る**）

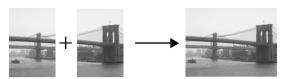
6 **◉を押す。**

7 **㊀（Yes）を押す。**

指定した顔パーツを付加した画像が新しい画像としてデータフォルダに登録され、フェイスアレンジの画面に戻ります。

●このあと、この画像を使ってフェイスアレンジの操作を行うと、指定した顔パーツで画像を加工できます。

２枚の静止画をパノラマ合成する

２枚のファイル（静止画）を横に並べて、１枚の画像にします。

２枚の静止画を選択　　パノラマ合成

パノラマ合成で選べる効果は、次のとおりです。

標準	近距離で撮影した静止画、遠距離で撮影した静止画のどちらの合成にも適しています。
近景	近づいて撮影したときに生じる視差の影響を補正します。近距離で撮影した静止画の合成に適しています。
ドキュメント	説明板などの文字のある静止画の合成に適しています。

●パノラマ合成に利用できるのは、横48×縦64ドット以上、横120×縦160ドットまたは横160×縦120ドット以下のJPEG画像です。

●２枚のファイルサイズが異なるときは、同じサイズになるよう、自動的に一部を切り出して合成します。

●色あいが異なる２枚の静止画をパノラマ合成すると、うまく合成されないことがあります。

●「**パノラマ合成**」のメニューが表示されるファイルで、利用できます。

メニュー ▶ データフォルダ ▶ ピクチャー

1 **1枚目のファイルを選び、㊀（メニュー）を押す。**
- ここで選んだファイルは、左側に表示されます。

2 **「画像加工」を選び、◉を押す。**

3 **「パノラマ合成」を選び、◉を押す。**
選んだファイルが1枚目の画像として指定されます。
- 利用できない画像サイズのときは、リスト画面に戻ります。ファイルを選び直してください。

4 **「2枚目の画像」を選び、◉を押す。**

5 **もう1枚のファイルを選び、◉を押す。**
選んだファイルが2枚目の画像として指定されます。
- 利用できない画像サイズのときは、リスト画面に戻ります。ファイルを選び直してください。

6 **◉を押す。**

7 **「効果選択」を選び、◉を押す。**

8 **「標準」〜「ドキュメント」のいずれかを選び、◉を押す。**
■ 画像の確認：画像選択➡◉
　■ パノラマ合成画面に戻る：上記操作のあと㊀（戻る）
■ 画像の変更：画像選択 ➡◉➡㊀（メニュー）➡「変更」選択➡◉➡画像選択➡◉➡◉

パノラマ合成画面

9 **画像の指定が終われば、㊀（メニュー）を押す。**

10 **「保存」を選び、◉を押す。**

11 **◉を押す。**
合成後の画像が新しい画像としてデータフォルダに保存され、登録日時のファイル名が付きます。

分割画像を作成する

最大4枚の静止画を縮小し、1枚の画像内に配置して分割画像を作成できます。
- 分割画像で利用できるのは、JPEG画像とPNG画像です。
- あらかじめ、空きメモリがあることを確認して、分割画像を作成してください。
- 1〜4枚目の順に、分割画像の左上、右上、左下、右下に配置されます。

分割画像

メニュー ▶ データフォルダ ▶ ピクチャー

1 **左上に配置するファイルを選び、㊀（メニュー）を押す。**

2 **「画像加工」を選び、◉を押す。**

3 **「分割画像」を選び、◉を押す。**

4 **「120×160サイズ作成」または「240×320サイズ作成」を選び、◉を押す。**

5 **ファイル名を入力し、◉を押す。**
- 最大24文字以内で、必ず入力してください。

6 **「2枚目の画像」を選び、◉を押す。**

7 **ファイルを選び、◉を押す。**
選んだファイルが表示されます。
■ 画像の変更：㊀（メニュー）➡「変更」選択➡◉

8 ◉を押す。

分割画像用の画像として指定されます。

9 操作6～8をくり返す。

分割画像作成画面

- このとき操作6では、「**3枚目の画像**」、「**4枚目の画像**」を選び、◉を押してください。

■分割画像の確認：㊀（**メニュー**）➡「**表示**」選択➡◉
  - ■確認の終了：㊀（**戻る**）
  - ■確認後の画像を保存するときは、このあと操作11へ進みます。分割画像作成画面に戻るときは、㊀（**戻る**）を押します。

■画像の変更：画像選択➡◉➡㊀（**メニュー**）➡「**変更**」選択➡◉➡操作7～8をやり直す

■画像の削除：画像選択➡㊀（**メニュー**）➡「**削除**」選択➡◉➡㊀（Yes）

10 画像の指定が終われば、㊀（メニュー）を押す。

■登録中止：㊀（**戻る**）

11 「保存」を選び、◉を押す。

その他の画像編集

- 「**保存形式変更**」、「**フレーム追加**」、「**画像回転**」のメニューが表示されるファイルで、利用できます。

保存形式の変換	JPEG形式のファイルをPNG形式（ノーマル／ソフト）に、PNG形式のファイルをJPEG形式に変換します。

メニュー ▶ データフォルダ ➡ ピクチャー ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（㊀） ➡ 画像加工 ➡ 保存形式変更

保存形式選択➡◉

- 変換前と同じ保存形式は、選択できません。
- 保存形式を変換すると、データサイズや画質が変わることがあります。

フレーム	JPEG画像にフレーム（囲み）を付けることができます。

メニュー ▶ データフォルダ ➡ ピクチャー ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（㊀） ➡ 画像加工 ➡ フレーム追加

フレーム選択➡◉➡◉

■フレーム選択のやり直し：㊀（**戻る**）

画像回転	画像の向きを回転させることができます。

メニュー ▶ データフォルダ ➡ ピクチャー ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（㊀） ➡ 画像加工

「画像回転」選択➡◉➡◉

- 画像回転中は、㊀（**画像回転**）を押すたびに、画像が時計まわりに90度ずつ回転します。

定型文の利用

よく使う文章を登録し、メッセージの本文入力などで利用できます。

● 1件につき最大256文字、50件まで登録できます。

定型文に文章を登録する

メニュー ▶ データフォルダ ➡ 定型文 ➡ 新規作成

1 本文を入力し、◉を押す。

補足▶ 登録した定型文を文字入力画面に挿入するときは、「**定型文を利用する**」(☞P.3-14)を参照してください。
登録した定型文を直接呼び出して、メールに挿入することもできます。(☞P.9-5)

定型文を修正する

メニュー ▶ データフォルダ ➡ 定型文 ➡ 定型文を選ぶ ➡ メニュー(㊀) ➡ 編集

1 内容を修正し、◉を押す。

上書き保存されます。

定型文を削除する

登録した定型文を1件ずつ削除します。

メニュー ▶ データフォルダ ➡ 定型文 ➡ 定型文を選ぶ ➡ メニュー(㊀) ➡ 削除

1 ㊀(Yes)を押す。

フォルダ/ファイルの管理

新しいフォルダを作成する

● 同じ階層に、同じフォルダ名では作成できません。
● デジタルカメラフォルダ、Vアプリフォルダ、定型文フォルダには、新しいフォルダは作成できません。

メニュー ▶ データフォルダ

1 「ピクチャー」、「着信メロディ&サウンド」、「ムービー」、「その他ファイル」のいずれかを選び、◉を押す。

2 ㊀(メニュー)を押す。

■ その他ファイルフォルダ選択時:「**その他**」選択➡◉

■ その他ファイルフォルダにファイルがないときは、上記の操作は必要ありません。

3 「フォルダ作成」を選び、◉を押す。

4 フォルダ名を入力し、◉を押す。

5 ◉を押す。

9 データフォルダ

フォルダ名／ファイル名を変更する

- ファイルの拡張子は変更できません。
- 同じ階層に、同じフォルダ名／ファイル名は使えません。
  また、次の文字は使用できません。
  ■半角の「¥」／「/」／「:」／「;」／「.」／「<」／「>」／「|」／「?」／「*」／「"」
- メモリの空き容量が少ないときは、変更できません。
- デジタルカメラフォルダのフォルダ名／ファイル名は、変更できません。

メニュー ▶ データフォルダ

1 「ピクチャー」、「着信メロディ＆サウンド」、「ムービー」、「その他ファイル」のいずれかを選び、◉を押す。

2 フォルダまたはファイルを選び、㊀（メニュー）を押す。

3 「フォルダ名変更」または「ファイル名変更」を選び、◉を押す。

4 フォルダ名／ファイル名を修正し、◉を押す。

5 ◉を押す。

フォルダ／ファイルを削除する

新規作成したフォルダや、データフォルダ内に保存されているファイルを削除します。

- フォルダを選択したときに、フォルダ内にファイルがあるとフォルダは削除できません。
- 定型文フォルダ内のファイルの削除は、「**定型文を削除する**」（☞P.9-14）を、Vアプリフォルダ内のファイルの削除は、「**Vアプリを削除する**」（☞P.17-6）を参照してください。

メニュー ▶ データフォルダ

1 「ピクチャー」、「デジタルカメラ」、「着信メロディ＆サウンド」、「ムービー」、「その他ファイル」のいずれかを選び、◉を押す。

2 *フォルダを削除する*

1 フォルダを選び、㊀（メニュー）を押す。

ファイルを1件削除する

1 ファイルを選び、㊀（メニュー）を押す。

複数のファイルを削除する

1 ㊀（メニュー）を押す。
- 「ダウンロード」にカーソルがあるときは、操作**3**へ進みます。

2 「その他」を選び、◉を押す。

3 「複数選択」を選び、◉を押す。

4 ファイルを選び、◉を押す。
ファイル名の右端に「✓」が表示されます。
■選択の解除:「✓」が表示されているファイル選択➡◉

5 操作**4**をくり返す。
■すべてのファイル選択：㊀（メニュー）➡「全選択」選択➡◉
■全選択の解除：㊀（メニュー）➡「全選択解除」選択➡◉

6 ㊀（メニュー）を押す。

3 「削除」を選び、◉を押す。

4 ㊀（Yes）を押す。

5 ◉を押す。

ファイルをコピー／移動する

データフォルダ内のファイルを、新しく作成したフォルダや、メモリカードへコピー／移動します。

- デジタルカメラフォルダ内のファイルは、ピクチャーフォルダ（903SH／メモリカード）へコピー／移動できます。
- コピー／転送不可ファイルは、コピーできません。
- ファイルの種類やデータの内容によっては、コピー／移動できないことがあります。

注意▶
- メモリカードへコピー／移動したファイルの種類やデータの内容によっては、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用できないことがあります。
- 複数のファイルをまとめてコピーする場合に、コピー／転送不可ファイルが含まれていたときは、そのファイルでコピーは中断し、以降のファイルはコピーできません。
- 同じ名前のファイルがあるフォルダに、ファイルをコピー／移動すると、ファイル名が変わることがあります。
- Vアプリフォルダ、定型文フォルダのファイルは、コピー／移動できません。

1件ずつコピー／移動する

メニュー ▶ データフォルダ

1 「ピクチャー」、「デジタルカメラ」、「着信メロディ&サウンド」、「ムービー」、「その他ファイル」のいずれかを選び、◉を押す。

■ 新しく作成したフォルダ／デジタルカメラフォルダ選択時：フォルダ選択➡◉

2 ファイルを選び、㊀（メニュー）を押す。

3 「その他」を選び、◉を押す。

4 「コピー」または「移動」を選び、◉を押す。

5 コピー／移動先を選び、◉を押す。

複数のファイルをコピー／移動する

メニュー ▶ データフォルダ

1 「ピクチャー」、「デジタルカメラ」、「着信メロディ&サウンド」、「ムービー」、「その他ファイル」のいずれかを選び、◉を押す

■ 新しく作成したフォルダ／デジタルカメラフォルダ選択時：フォルダ選択➡◉

2 ㊀（メニュー）を押す。

- 「ダウンロード」にカーソルがあるときは、操作4へ進みます。

3 「その他」を選び、◉を押す。

4 「複数選択」を選び、◉を押す。

5 ファイルを選び、◉を押す。

ファイル名の右端に「✓」が表示されます。

■ 選択解除：「✓」が表示されているファイル選択➡◉

6 操作5をくり返す。

■ すべてのファイル選択：㊀（メニュー）➡「全選択」選択➡◉
■ 全選択の解除：㊀（メニュー）➡「全選択解除」選択➡◉

7 ㊀（メニュー）を押す。

8 「コピー」または「移動」を選び、◉を押す。

9 コピー／移動先を選び、◉を押す。

外部接続

Bluetooth

Bluetoothをご利用になる前に

「Bluetooth」とは、10m以内にある903SHどうしや他のBluetooth対応機器（パソコンや携帯電話、ハンズフリー機器など）とワイヤレスで接続するための方式です。

Bluetooth利用時のご注意

903SHのBluetoothの仕様は、次のとおりです。

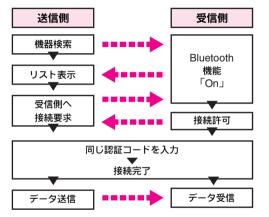
通信方式	Bluetooth標準規格 Ver 1.1
対応Bluetoothプロファイル	Headset Profile、 Hands-Free Profile、 Dial-up Networking Profile、 ObjectPush Profile
出力	Bluetooth Power Class2

- Bluetoothを利用して無線で接続するには、相手機器もBluetooth対応機器であり、同じプロファイルに対応している必要があります。
- 903SHどうしで通信を行うとき、通信距離は最大10mまでです。機器間の距離や障害物、電波状況、相手機器などによって、通信速度／通信距離は異なります。
- Bluetooth対応機器が使用する電波帯（2.4GHz帯）は、さまざまな機器が共有しています。それらの影響によって、通信速度／通信距離が低下したり、通信が切断されることがあります。
- 903SHのBluetooth機能では、同時に2台以上の機器を接続することはできません。

注意▶ **903SHは、すべてのBluetooth機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。**

- 接続するBluetooth機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
- 接続するBluetooth機器が上記Bluetooth標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できない、操作方法や表示・動作が異なる、データのやりとりができないなどの現象が発生することがあります。
- ワイヤレス通話やハンズフリー通話をするとき、接続機器や通信環境により、雑音が入ることがあります。
- ヘッドセット機器／ハンズフリー機器の使い方については、各機器の取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth接続について

２台のBluetooth対応機器を接続するときは、受信側のBluetooth機能を「On」に設定（☞右記）した状態で、送信側からの接続要求を受け、接続します。接続時に認証コードが必要なことがあります。

- すでに登録してある機器のときは、認証コードの入力が不要です。

認証コードについて

「**認証コード**」は、Bluetooth対応機器どうしを接続するための専用コード（最小４ケタ～最大16ケタ）です。機器登録を行うときには、受信側／送信側とも同じ認証コードを入力する必要があります。

- 認証コードは、あらかじめ設定されていません。

Bluetooth機能を有効にする

Bluetooth機能を有効（On）にします。データを受信するときやハンズフリー機器などと接続するときには、「On」に設定してください。

- お買い上げ時には、「Off」に設定されています。

1 「On」を選び、◉を押す。

待受画面に戻り、「ʙ」が表示されます。

無効にする：「Off」選択➡◉

■ 機器接続時：㊀（Yes）

補足▶ 相手機器からの認証要求は、待受画面またはメインメニュー画面以外では受け付けられません。また、受信動作は待受画面以外では受け付けられません。

903SHを公開する

他のBluetooth対応機器での周辺機器検索時に、903SHの機器名を通知するかどうかを設定します。

- 「Off」に設定すると、他のBluetooth対応機器で周辺機器検索を行っても、903SHは検索されません。
- お買い上げ時には、「On」に設定されています。

1 「On」を選び、◉を押す。

通知しない：「Off」選択➡◉

機器を検索／登録する

Bluetooth対応機器を検索し、登録します。

- 登録した機器は、次回から認証コードの入力の必要がなくなります。
- 一度に最大16件まで検索できます。
- あらかじめ登録する機器のBluetooth機能を「On」に設定しておいてください。

メニュー ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth

1 「周辺機器検索」を選び、◉を押す。

検索が開始され、Bluetooth対応機器のリストが表示されます。（前回の検索結果が記憶されているときは、記憶されている検索結果のリストが表示されます。）

■ 他の機器と接続時：㊀（Yes）
■ 検索中止：検索中に㊀（キャンセル）

2 機器を選び、◉を押す。

3 送信側と受信側で同じ認証コード（最小4ケタ～最大16ケタの任意の数字）を入力し、◉を押す。

認証に成功すると、確認メッセージが表示され、待受画面に戻ります。

- 認証コードとして入力できるのは「0」～「9」です。
- 相手がハンズフリー機器などのときは、ハンズフリー機器側で決められている認証コードを入力します。
- 受信側の認証コードは、送信側で認証コードを入力してから30秒以内に入力してください。

注意▶ 「登録済み機器」として登録されるのは、最大32件までです。32件登録されているときは、機器検索できません。

アイコンの意味

■機器名の前には、次のようなアイコンが表示されます。

[icon]	パソコン	[icon]	ヘッドセット
[icon]	PDA	[icon]	ハンズフリー
[icon]	携帯電話など	[icon]	その他

登録した機器名の変更

■次の操作を行います。

◉➡「外部接続」選択➡◉➡「Bluetooth」選択➡◉➡「登録済み機器」選択➡◉➡機器選択※➡◉➡名前入力➡◉

※◎を押すと、ハンズフリー機器だけのリストが表示されます。

- 最大16文字まで入力できます。

登録した機器の削除

■次の操作を行います。

◉➡「外部接続」選択➡◉➡「Bluetooth」選択➡◉➡「登録済み機器」選択➡◉➡機器選択➡㊀（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡㊀（Yes）

ハンズフリー機器などからの機器登録

■ハンズフリー機器などを送信側として、903SHに登録するときは、次の操作を行います。

送信側から接続要求➡㊀（Yes）➡認証コード入力➡◉

- あらかじめ903SHのBluetooth機能を「On」に設定しておいてください。（☞P.10-3）
  また、あらかじめ「**機器の公開**」を「On」に設定しておいてください。（☞P.10-3）

Bluetoothを利用してデータを送受信する

データの送受信方法

Bluetoothを利用したデータの送受信には、次の方法があります。

1件データ送受信	データを1件ずつ送信します。受信側は、自動的に該当する機能のデータとして追加します。
一括データ送受信	機能ごとのデータを一括で送受信します。

注意▶
- Bluetoothでのデータ送受信時は、オフラインモードに設定されます。そのため、着信、通話、Vodafone live!、メディアプレイヤー、メールやデータの編集中などには、Bluetoothでのデータ送受信は行えません。データの送受信が終わると、自動的にオフラインモードが解除されます。
- 電話帳、カレンダー、予定リスト、定型文、ブックマークを903SHに登録するとき、データの内容によっては、登録できないことや、一部登録できないことがあります。

送受信できるデータ

機能	1件	一括	備考
電話帳	○	○	1件データ送受信では、グループ設定、着信音、シークレットの設定内容は無効になります。また、一括データ送受信では、オーナー情報も転送されます。また、フォトに設定している画像によっては、設定が無効になることがあります。
カレンダー	○	※1	1件データ送受信では、アラーム音、シークレットの設定内容は無効になります。903SHで設定できない開始日時が設定されているデータを受信したときは、カレンダーに保存した日時が開始日時として設定されます。
予定リスト	○	※1	1件データ送受信では、アラーム音、シークレットの設定内容は無効になります。903SHで設定できない期限日時が設定されているデータを受信したときは、予定リストに保存した日時が期限日時として設定されます。
定型文	※2	○	
データフォルダ	○	—	著作権で保護されているファイルは、送受信できません。また、「**デジタルカメラ**」内のファイルやフォルダは送受信できません。
ブックマーク	※2	○	1件データ受信を行うと、「**その他ファイル**」に不明ファイルとして保存されます。

※1 一括データ送受信時は、「**カレンダー／予定リスト**」として、まとめて送受信されます。
※2 1件データ送信はできません。1件データ受信だけ可能です。

補足▶
- 903SHには、カレンダーと予定リストをあわせて最大300件まで保存できます。データ受信中、300件に達すると確認メッセージが表示され、超過分は受信されません。
- メモリカードのデータフォルダ内のデータは、1件データ送信を行えます。ただし、「**デジタルカメラ**」内のファイルは、送受信できません。

データを1件ずつ送受信する

■送信側の操作

Bluetoothを利用した1件データ送信は、P.10-5「送受信できるデータ」表内の各機能のリスト画面から行います。

1 各機能のリスト画面で、送信するデータを選び、⊖（メニュー）を押す。

2「送信」を選び、◉を押す。

3「Bluetooth」を選び、◉を押す。

- ●「登録済み機器」に1件も登録されていないときは、自動的に機器検索が行われます。
- ■登録していない機器に送信：「周辺機器検索」選択➡◉➡機器検索
- ■他の機器と接続時：⊖（Yes）

4 機器を選び、◉を押す。

5 受信側をデータ受信の待機状態にする。

6 ⊖（Yes）を押す。

オフラインモードに設定後、接続が開始され、データを送信します。

- ■受信側より認証要求時：認証コード入力➡◉

■受信側の操作

メニュー ▶ 外部接続 ➡ Bluetooth ➡ On／Off設定

1「On」を選び、◉を押す。

待機状態になります。

2 送信側から接続要求されると、オフラインモードの確認画面が表示される。

- ■登録していない機器からの接続要求時：⊖（Yes）➡認証コード入力➡◉➡オフラインモードの確認画面表示

3 ⊖（Yes）を押す。

オフラインモードに設定され、受信が開始されます。

- ■受信中止：⊖（キャンセル）
- ■受信強制終了：◎

4 受信が終われば、データ登録の確認画面が表示される。

5 ⊖（Yes）を押す。

- ■登録しない：⊖（No）➡⊖（Yes）

データを一括送受信する

■送信側の操作

メニュー ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth

1 「一括データ送信」を選び、◉を押す。

●「**登録済み機器**」に1件も登録されていないときは、自動的に機器検索が行われます。

■ 登録していない機器に送信：「**周辺機器検索**」選択➡◉➡機器検索

■ 他の機器と接続時：⌒（Yes）

2 機器を選び、◉を押す。

3 ⌒（Yes）を押す。

オフラインモードに設定されます。

4 操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、◉を押す。

5 受信側をデータ受信の待機状態にする。

6 データの種類を選び、◉を押す。

接続が開始され、データを送信します。

■ 受信側より認証要求時：認証コード入力➡◉

■ 電話帳選択時：⌒（Yes）／⌒（No）

■受信側の操作

メニュー ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth ▶ On／Off設定

1 「On」を選び、◉を押す。

待機状態になります。

2 送信側から接続要求されると、オフラインモードの確認画面が表示される。

■ 登録していない機器からの接続要求時：⌒（Yes）➡ 認証コード入力➡◉➡オフラインモードの確認画面表示

3 ⌒（Yes）を押す。

オフラインモードに設定されます。

4 受信が開始されると、データ登録の確認画面が表示される。

■ 受信中止：⌒（**キャンセル**）

■ 受信強制終了：⓪

5 ***追加登録する***

1「追加登録」を選び、◉を押す。

データ受信を開始します。受信完了後、待受画面に戻ります。

■ 受信中止：⌒（**キャンセル**）

■ 受信強制終了：⓪

すべてのデータを消して登録する

1「全件削除して登録」を選び、◉を押す。

2 ⌒（Yes）を押す。

3 操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、◉を押す。

データ受信を開始します。受信完了後、待受画面に戻ります。

●電話帳のときは、お客様の自局番号以外のオーナー情報は消去されます。

■ 受信中止：⌒（**キャンセル**）

■ 受信強制終了：⓪

Bluetoothを利用してハンズフリー機器などを接続する

●あらかじめハンズフリー機器などを登録しておいてください。（☞P.10-4）

メニュー ▶ 外部接続 ➡ Bluetooth ➡ 登録済み機器

1 **◎を押す。**

すでに登録したハンズフリー機器のリストが表示されます。

2 **機器を選び、◉を押す。**

接続され、「☑」（選択状態）が表示されます。

■他の機器と接続時：⊖（Yes）

■切断：接続されている機器選択➡◉

■名前の変更：機器選択 ➡⊖（メニュー）➡「機器名変更」選択➡◉➡名前入力➡◉

ハンズフリー機器などと903SHとの音声出力先切替

■ハンズフリー機器などが接続されている状態で、通話中に次の操作を行うと、音声出力先を切り替えられます。

通話中に⊖（メニュー）➡「音声切替」選択➡◉
➡「本体」／「Bluetooth」選択➡◉

●「本体」に設定すると、903SHで通話できます。

●ハンズフリー機器などが接続されていない状態で、「Bluetooth」を選択すると登録済みのハンズフリー機器のリストが表示されます。

注意▶
●ハンズフリー機器などでの音声通話中は、903SHで受話音量を調節できません。ハンズフリー側で調節してください。
●ハンズフリー機器からの発信動作は、待受画面が表示されているときだけできます。

補足▶
●「☑」が表示されている機器は、切断されていても、発信／着信すると自動的に再接続されます。
●「□」は非選択状態を表しています。接続中の機器を「□」にすると、切断確認画面が表示されます。

Bluetooth関連の設定

機器名の変更 Bluetooth接続時、相手機器に表示される機器名を変更します。

お買い上げ時 903SH

メニュー ▶ 外部接続 ➡ Bluetooth ➡ Bluetooth設定
➡ 機器名

新しい機器名入力➡◉

●最大16文字まで入力できます。（絵文字は入力できません。）

タイムアウト時間の設定 設定した時間内にBluetoothが利用されないとき、自動的にBluetooth機能を「Off」に設定します。

お買い上げ時 タイムアウトなし

メニュー ▶ 外部接続 ➡ Bluetooth ➡ Bluetooth設定
➡ タイムアウト時間

タイムアウト時間選択➡◉

■自動的に「Off」に設定しない：タイムアウト時間選択時に「タイムアウトなし」選択➡◉

ハンズフリー通話設定 ハンズフリー機器接続時に、903SHの操作により通話を開始した場合の通話方法を設定します。

お買い上げ時 ハンズフリーで通話

メニュー ▶ 外部接続 ➡ Bluetooth ➡ Bluetooth設定
➡ ハンズフリー通話設定

「本体で通話」／「ハンズフリーで通話」選択➡◉

●ハンズフリー機器の操作により通話を開始したときは、上記の設定内容にかかわらず、ハンズフリー機器での通話となります。

認証	データ送受信時に認証を必要とするかどうかを設定します。

お買い上げ時On

メニュー ▶ 外部接続 ➡ Bluetooth ➡ Bluetooth設定 ➡ 認証

「On」／「Off」選択➡◉

電話帳送信設定	Bluetooth経由での電話帳送信時にエンコード（符号化）を行うかどうかを設定します。

お買い上げ時エンコードあり

メニュー ▶ 外部接続 ➡ Bluetooth ➡ Bluetooth設定 ➡ 電話帳送信設定

「エンコードあり」／「エンコードなし」選択➡◉

プロパティ	903SHのBluetooth機能の詳細を確認します。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ Bluetooth ➡ Bluetooth設定

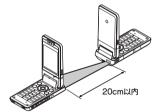
「プロパティ」選択➡◉

赤外線通信

「**赤外線通信**」とは、903SHどうしや他の赤外線通信対応機器（パソコンや携帯電話など）とワイヤレスで接続するための方式です。

赤外線通信をご利用になる前に

赤外線通信利用時のご注意

- 受信側、送信側のボーダフォン携帯電話（または赤外線通信対応機器）を、20cm以内に近づけます。このとき、両方の赤外線ポートがまっすぐに向き合うようにします。また、間に物を置かないようにしてください。

- データの送受信が終わるまで、お互いの赤外線ポートが向き合ったままにして動かさないでください。
- 直接日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できない場合があります。
- 赤外線ポートが汚れていると通信しにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布でふき取ってください。
- 通信中やVodafone live!の利用中（メールや情報の送受信中）は、赤外線通信は行えません。

●903SHの赤外線通信機能は、IrMC1.1に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC1.1に準拠していても、機能によっては送受信できないデータがあります。

補足▶ 正常に通信できないときは、再接続の確認画面が表示されます。「**赤外線通信利用時のご注意**」を確認していただいたあと、㋛（Yes）を押して、再接続してください。

認証コードについて

「**認証コード**」は赤外線通信のための専用コード（4ケタ）です。データの一括送受信では、受信側／送信側とも同じ認証コードを入力する必要があります。

●認証コードは、あらかじめ設定されていません。

赤外線通信を有効にする

赤外線通信を有効（On）にします。データを受信するときには、「On（5分）」に設定してください。

●お買い上げ時には、「Off」に設定されています。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ 赤外線通信 ➡ On／Off設定

1 「On（5分）」を選び、◉を押す。

待受画面に戻ります。［「📱」（矢印グレー）表示］

●このあと、赤外線通信を使わない状態が5分間続くと、赤外線通信は解除されます。

■解除：「Off」選択➡◉

赤外線通信を利用してデータを送受信する

データの送受信方法

赤外線通信を利用したデータの送受信には、次の方法があります。

1件データ送受信	データを1件ずつ送信します。受信側は、自動的に該当する機能のデータとして追加します。
一括データ送受信	機能ごとのデータを一括で送受信します。
フォルダ単位受信	赤外線通信を利用して、903SH本体のデータフォルダ内へフォルダ単位でデータを受信します。（送信はできません。）

注意▶

●赤外線通信利用時は、オフラインモードに設定されます。そのため、着信、通話、Vodafone live!、メディアプレイヤー、メールやデータの編集中などには、赤外線通信は行えません。データの送受信が終わると、自動的にオフラインモードが解除されます。

●電話帳、カレンダー、予定リスト、定型文、ブックマークを903SHに登録するとき、データの内容によっては、登録できないことや、一部登録できないことがあります。

送受信できるデータ

機能	1件	一括	備考
電話帳	○	○	1件データ送受信では、グループ設定、着信音、シークレットの設定内容は無効になります。また、一括データ送受信では、オーナー情報も転送されます。また、フォトに設定している画像によっては、設定が無効になることがあります。
カレンダー	○	※1	1件データ送受信では、アラーム音、シークレットの設定内容は無効になります。903SHで設定できない開始日時が設定されているデータを受信したときは、カレンダーに保存した日時が開始日時として設定されます。
予定リスト	○	※1	1件データ送受信では、アラーム音、シークレットの設定内容は無効になります。903SHで設定できない期限日時が設定されているデータを受信したときは、予定リストに保存した日時が期限日時として設定されます。
定型文	※2	○	
データフォルダ	○	※3	著作権で保護されているファイルは、送受信できません。また、「**デジタルカメラ**」内のファイルやフォルダは送受信できません。
ブックマーク	※2	○	1件データ受信を行うと、「**その他ファイル**」に不明ファイルとして保存されます。

※1 一括データ送受信時は、「**カレンダー/予定リスト**」として、まとめて送受信されます。
※2 1件データ送信はできません。1件データ受信だけ可能です。
※3 赤外線通信を利用して、903SH本体のデータフォルダ内へフォルダ単位での受信は可能です。

補足▶
- 903SHには、カレンダーと予定リストをあわせて最大300件まで保存できます。データ受信中、300件に達すると確認メッセージが表示され、超過分は受信されません。
- メモリカードのデータフォルダ内のデータは、1件データ送信を行えます。ただし、「**デジタルカメラ**」内のファイルは、送受信できません。

データを1件ずつ送受信する

■送信側の操作

赤外線通信を利用した1件データ送信は、左記「**送受信できるデータ**」表内の各機能のリスト画面から行います。

1 各機能のリスト画面で、送信するデータを選び、㊀（メニュー）を押す。

2 「送信」を選び、◉を押す。

3 「赤外線通信」を選び、◉を押す。

4 受信側をデータ受信の待機状態にする。

5 ㊀（Yes）を押す。

オフラインモードに設定後、送信を開始します。送信が完了すると、各機能のリスト画面に戻ります。（カレンダーおよび予定リストのときは、メニュー画面に戻ります。）

■受信側の操作

メニュー ▶ 外部接続 ➡ 赤外線通信 ➡ On／Off設定

1 「On（５分）」を選び、◉を押す。

待機状態になります。

● 5分以内に送信側からデータを送信してください。

2 送信側からデータが送信されると、オフラインモードの確認画面が表示される。

3 ㊀（Yes）を押す。

オフラインモードに設定され、受信が開始されます。

■受信中止：㊀（キャンセル）

■受信強制終了：◎

4 受信が終われば、データ登録の確認画面が表示される。

5 ㊀（Yes）を押す。

■登録しない：㊀（No）➡㊀（Yes）

データを一括送受信する

■送信側の操作

メニュー ▶ 外部接続 ➡ 赤外線通信

1 「一括データ送信」を選び、◉を押す。

2 ㊀（Yes）を押す。

オフラインモードに設定されます。

3 操作用暗証番号（４ケタ）を入力し、◉を押す。

4 データの種類を選び、◉を押す。

5 受信側をデータ受信の待機状態にする。

6 認証コード（４ケタ）を入力し、◉を押す。

送信を開始します。送信が完了すると、データの種類の選択画面に戻ります。

■電話帳選択時：㊀（Yes）／㊀（No）

■受信側の操作

メニュー ▶ 外部接続 ➡ 赤外線通信 ➡ On／Off設定

1 「On（５分）」を選び、◉を押す。

待機状態になります。

● 5分以内に送信側からデータを送信してください。

2 送信側からデータが送信されると、オフラインモードの確認画面が表示される。

3 ㊀（Yes）を押す。

オフラインモードに設定されます。

4 認証コード（４ケタ）を入力し、◉を押す。

● 送信側と同じ認証コードを入力してください。

5 受信が開始されると､データ登録の確認画面が表示される。

■受信中止：Ⓐ（キャンセル）
■受信強制終了：Ⓑ

6 *追加登録する*

1「追加登録」を選び、●を押す。

データ受信を開始します。受信完了後、待受画面に戻ります。

■受信中止：Ⓐ（キャンセル）
■受信強制終了：Ⓑ

すべてのデータを消して登録する

1「全件削除して登録」を選び、●を押す。

2 Ⓐ（Yes）を押す。

3 操作用暗証番号(４ケタ)を入力し､●を押す。

データ受信を開始します。受信完了後、待受画面に戻ります。

- 電話帳のときは､お客様の電話番号以外のオーナー情報は消去されます。

■受信中止：Ⓐ（キャンセル）
■受信強制終了：Ⓑ

フォルダ単位でデータを受信する

フォルダ単位でデータを送信できる機器からデータを受信し、903SHのデータフォルダ内に登録します。

- 903SHは、フォルダ単位でのデータ送信はできません。
- 903SHで受信できるのは、送信されてきたフォルダを送信側と同じ階層に作成できる（または、同じ階層にすでに同名のフォルダがある）ときだけです。
- 送信側の操作方法については、送信する機器の取扱説明書をご参照ください。

メニュー ▶ 外部接続 ▶ 赤外線通信 ▶ On／Off設定

1「On（５分）」を選び、●を押す。

待機状態になります。

- ５分以内に送信側からデータを送信してください。

2 送信側からデータが送信されると、オフラインモードの確認画面が表示される。

3 Ⓐ（Yes）を押す。

オフラインモードに設定され、受信が開始されます。受信完了後、待受画面に戻ります。

■同名のフォルダあり：Ⓐ（Yes）／Ⓑ（No）

パソコン接続

903SHとパソコンで、次の機能を利用します。

3G/GSM Modem	903SHをモデムとして、パケット通信方式のデータ通信を行います。(☞P.10-14)
ハンドセットマネージャー	903SHとパソコンとの間でデータフォルダや電話帳などのデータをやりとりします。(☞P.10-15)
SD-MiniSD転送ソフト	SDメモリカードに保存していたデータをminiSD™メモリカードに移行します。(☞P.10-15)

- 上記の機能を利用するには、「**ユーティリティーソフトウェア**」からソフトウェアをパソコンにインストールする必要があります。(☞右記)

※「**ユーティリティーソフトウェア**」は、903SH／703SH専用です。これ以外の携帯電話では、ご利用になれません。

パソコン動作環境

3G/GSM Modemやハンドセットマネージャーの機能は、以下の動作環境で動作します。

パソコン本体	●PC/AT互換機でCD-ROMドライブが使用できる機器 ●Bluetoothポート／赤外線ポート※1／USBポートのいずれか
OS	Windows 98 SE / ME / 2000※2 / XP※3
CPU	Pentium 266MHz以上のプロセッサ
メモリ	64Mバイト以上（256Mバイト以上推奨）

※1 3G/GSM Modemでは、利用できません。
※2 Service Pack 4以降
※3 Service Pack 2以降

- Apple社製Macintoshコンピュータ（Mac OS搭載機種）では、ご利用になれません。

ソフトウェアをインストールする

「**ユーティリティーソフトウェア**」から、ソフトウェアをパソコンにインストールします。

1 「ユーティリティーソフトウェア」をパソコンのCD-ROMドライブにセットする。

自動的にCD-ROMの画面が表示されます。

- CD-ROMの画面が表示されないときは、CD-ROM内の“Launcher.exe”をダブルクリックします。

2 インストールするソフトウェアを選び、クリックする。

インストールが開始されます。

- 以降は、画面の指示に従って、操作してください。

3G/GSM Modemを利用する

903SHをBluetoothやUSBケーブルを介してパソコンと接続し、パケット通信方式のデータ通信を行います。

- あらかじめ「**ユーティリティーソフトウェア**」から、3G/GSM Modemをパソコンにインストールしておいてください。
- 3G/GSM Modemは、赤外線通信では利用できません。
- パソコンの通信設定などについては、ご契約されたプロバイダの説明書、またはお手持ちのパソコンの取扱説明書を参照してください。
- カメラ利用中はご利用になれません。

■Bluetooth利用時

あらかじめBluetooth機能を「On」に設定してください。(☞P.10-3)

■USBケーブル利用時

あらかじめ「**ユーティリティーソフトウェア**」から、ドライバーをパソコンにインストールしておいてください。また、USBケーブルに同梱のインストールマニュアルを参照して、903SHとパソコンをUSBケーブルで接続してください。

注意▶
- データ通信は、電波の安定した環境で行ってください。
- ハンドセットマネージャー利用中は、データ通信を行えません。
- USBケーブルを接続しているときは、データ通信を行っていない状態でもパソコンのバッテリーが消耗します。

補足▶ 卓上ホルダーを使って、充電しながらデータ通信が行えます。

ハンドセットマネージャーを利用する

903SHをBluetoothや赤外線通信、USBケーブルを介してパソコンと接続し、データフォルダや電話帳などのデータをやりとりします。ハンドセットマネージャーでやりとりできるデータは次のとおりです。

データフォルダ内のファイル	ピクチャー、ムービー、着信メロディ＆サウンド、その他ファイル内のデータをやりとりできます。
電話帳	電話帳のデータをやりとりできます。
カレンダー	カレンダーのデータをやりとりできます。

- あらかじめ「**ユーティリティーソフトウェア**」から、ハンドセットマネージャーをパソコンにインストールしておいてください。（☞P.10-14）

■Bluetooth／赤外線通信利用時

903SHのBluetooth機能または赤外線通信を「On」に設定（☞P.10-3、P.10-10）したあと、パソコン側の操作で接続し、データをやりとりします。

■USBケーブル利用時

あらかじめ「**ユーティリティーソフトウェア**」からドライバーをパソコンにインストールしておいてください。また、USBケーブルに同梱のインストールマニュアルを参照して、903SHとパソコンをUSBケーブルで接続してください。このあと、パソコン側で操作し、データをやりとりします。

注意▶ 903SHとハンドセットマネージャーとの通信ができないときは、「**故障かな？と思ったら**」のハンドセットマネージャーの項目（☞P.19-6）を参照してください。

補足▶ ハンドセットマネージャーをご利用の際には、マウスなどのポインティングデバイスをご使用ください。

SD-MiniSD転送ソフトを利用する

「**SD-MiniSD転送ソフト**」は、シャープ製SDメモリカードスロット搭載ボーダフォン携帯電話のSDメモリカードデータを903SHのminiSD™メモリカードに移行するためのソフトウェアです。
SD-MiniSD転送ソフトの起動は、次の手順で行ってください。なお、このソフトウェアはインストールする必要はありません。

1 **「ユーティリティーソフトウェア」をパソコンのCD-ROMドライブにセットする。**
自動的にCD-ROM画面が表示されます。

2 **「スタート」⇒「ファイル名を指定して実行」⇒「参照」からCD-ROMドライブを選ぶ。**

3 **「SDtoMiniSD」フォルダ内の“SDtoMiniSD.exe”を実行する。**

補足▶ 移行対象外のファイル、機能の制限や動作環境などの詳細は「readme.txt」でお確かめください。「readme.txt」は「SDtoMiniSD」フォルダ内にあります。

ネットワーク設定

「3G／GSM設定」については、P.2-16を参照してください。

ネットワーク選択 接続するネットワークを選択します。

お買い上げ時 自動

メニュー ▶ 外部接続 ▶ ネットワーク設定 ▶ ネットワーク選択

「手動」選択 ▶ ◉ ▶ 接続するネットワーク選択 ▶ ◉

■ 自動的に選択：「**自動**」選択 ▶ ◉

- 通常は、お買い上げ時の設定（「**自動**」）で使用できます。特定のネットワークに接続される場合、「**手動**」に設定してください。

優先設定 ネットワーク設定を「**自動**」に設定したときに、優先選択されるネットワークを設定します。

メニュー ▶ 外部接続 ▶ ネットワーク設定 ▶ ネットワーク選択 ▶ 優先設定

ネットワークを挿入

挿入場所選択 ▶ ◉ ▶ 「挿入」選択 ▶ ◉ ▶ ネットワーク選択 ▶ ◉

- 選んだ項目のうえに挿入されます。

ネットワークを末尾に追加

◉ ▶ 「末尾に追加」選択 ▶ ◉ ▶ ネットワーク選択 ▶ ◉

ネットワークの削除

ネットワーク選択 ▶ ◉ ▶ 「削除」選択 ▶ ◉

ネットワークの追加／変更／削除 ネットワークを新規で追加したり、設定内容を変更します。また、追加したネットワークを削除します。

メニュー ▶ 外部接続 ▶ ネットワーク設定 ▶ ネットワーク選択 ▶ 新規追加

ネットワークの追加

「追加」選択 ▶ ◉ ▶ 国コード入力 ▶ ◉ ▶ ネットワークコード入力 ▶ ◉ ▶ 名前入力 ▶ ◉ ▶ 「ネットワークタイプ選択」選択 ▶ ◉ ▶ ネットワークタイプ選択 ▶ ◉

- ネットワークは最大５件まで、追加できます。
- すでにネットワークを追加しているときに「**新規追加**」を選んで◉を押すと、追加したネットワークのリストが表示されます。このときは、再度◉を押したあと、上記の操作を行ってください。
- 「**国コード**」、「**ネットワークコード**」には、最大３ケタまで入力できます。また「**名前**」には、最大半角25文字（半角英数字だけ入力可能）まで入力できます。

追加したネットワークの設定内容の変更

追加したネットワーク選択 ▶ ◉ ▶ 「変更」選択 ▶ ◉ ▶ 設定内容変更

- 設定方法は、上記「**ネットワークの追加**」と同様です。

追加したネットワークの削除

追加したネットワーク選択 ▶ ◉ ▶ 「削除」選択 ▶ ◉

ネットワーク状態表示 ネットワークの状態を確認します。

メニュー ▶ 外部接続 ▶ ネットワーク設定

「ネットワーク状態表示」選択 ▶ ◉

インターネット設定

●通常、設定を変更する必要はありません。特定の接続先に接続するときなどに、設定してください。

新規プロファイルの設定項目

サービス別接続設定

設定方法は、P.10-18を参照してください。

■ブラウザ設定

設定項目	備考
アカウント名	最大全角20文字 (半角カタカナ20文字、半角英数字60文字)
プロキシ選択	リストから選択 (プロキシ使用が「On」のとき)
プロキシ使用	On/Offを設定
アクセスポイント選択	リストから選択 (プロキシ使用が「Off」のとき)
ホームページ	最大半角128文字 (プロキシ使用が「Off」のとき)

■MMSアカウント

設定項目	備考
アカウント名	最大全角20文字 (半角カタカナ20文字、半角英数字60文字)
プロキシ選択	リストから選択
メールサーバーアドレス	最大半角128文字

■ストリーミング設定

設定項目	備考
アカウント名	最大全角20文字 (半角カタカナ20文字、半角英数字60文字)
プロキシアドレス	最大64ケタ
プロキシポート番号	1～65535
アクセスポイント選択	リストから選択

プロキシ設定

●設定方法は、P.10-19を参照してください。

設定項目	備考
プロキシ名	最大全角20文字 (半角カタカナ20文字、半角英数字60文字)
プロキシアドレス	最大64ケタ
アクセスポイント選択	リストから選択
ホームページ	最大半角128文字
ポート番号	1～65535
認証タイプ	認証ID/認証パスワード
ユーザー名	最大半角16文字
パスワード	最大半角16文字

アクセスポイント設定

●設定方法は、P.10-19を参照してください。

設定項目	備考
アクセスポイント名	最大全角20文字 (半角カタカナ20文字、半角英数字60文字)
アクセスポイントアドレス	最大64ケタ
認証タイプ	認証なし/PAP/CHAP
ユーザー名	最大半角32文字
パスワード	最大半角16文字
DNSサーバー	最大15ケタ
リンガータイマー	1～99999秒

設定方法

ブラウザ設定／ストリーミング設定

設定できる項目は、P.10-17を参照してください。

新規プロファイル作成	ブラウザ／ストリーミングの新しい接続先を作成します。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ インターネット設定
「ブラウザ設定」／「ストリーミング設定」選択➡◉➡「新規プロファイル入力」選択➡◉➡設定項目（☞P.10-17）選択➡◉➡設定内容入力／選択➡◉➡㊀（メニュー）➡「登録」選択➡◉

接続先の選択	ブラウザ／ストリーミングの接続先を選択します。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ インターネット設定
「ブラウザ設定」／「ストリーミング設定」選択➡◉➡接続先選択➡◉

接続先の編集	ブラウザ／ストリーミングの接続先を編集します。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ インターネット設定
「ブラウザ設定」／「ストリーミング設定」選択➡◉➡接続先選択➡㊀（メニュー）➡「編集」選択➡◉➡設定項目（☞P.10-17）選択➡◉➡設定内容編集➡◉➡㊀（メニュー）➡「登録」選択➡◉➡㊀（Yes）

接続先のコピー	ブラウザ／ストリーミングの接続先をコピーします。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ インターネット設定
「ブラウザ設定」／「ストリーミング設定」選択➡◉➡接続先選択➡㊀（メニュー）➡「コピー」選択➡◉➡アカウント名（☞P.10-17）入力➡◉

接続先の削除	ブラウザ／ストリーミングの接続先を削除します。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ インターネット設定
「ブラウザ設定」／「ストリーミング設定」選択➡◉➡接続先選択➡㊀（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡㊀（Yes）

MMSアカウント

設定できる項目は、P.10-17を参照してください。

新規プロファイル作成	メールの新しい接続先を作成します。

メニュー ▶ メール ➡ メール設定 ➡ MMS設定 ➡ MMSアカウント ➡ 新規プロファイル入力
設定項目（☞P.10-17）選択➡◉➡設定内容入力／選択➡◉➡㊀（メニュー）➡「登録」選択➡◉

接続先の選択	メールの接続先を選択します。

メニュー ▶ メール ➡ メール設定 ➡ MMS設定 ➡ MMSアカウント
接続先選択➡◉

接続先の編集 メールの接続先を編集します。

メニュー ▶ メール ➡ メール設定 ➡ MMS設定 ➡ MMSアカウント

接続先選択➡㊀（メニュー）➡「編集」選択➡◉➡設定項目（☞P.10-17）選択➡◉➡設定内容編集➡◉➡㊀（メニュー）➡「登録」選択➡◉➡㊀（Yes）

接続先のコピー メールの接続先をコピーします。

メニュー ▶ メール ➡ メール設定 ➡ MMS設定 ➡ MMSアカウント

接続先選択➡㊀（メニュー）➡「コピー」選択➡◉➡アカウント名（☞P.10-17）入力➡◉

接続先の削除 メールの接続先を削除します。

メニュー ▶ メール ➡ メール設定 ➡ MMS設定 ➡ MMSアカウント

接続先選択➡㊀（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡㊀（Yes）

プロキシ設定／アクセスポイント設定

設定できる項目は、P.10-17を参照してください。

プロキシ/アクセスポイントの作成 新しいプロキシ／アクセスポイントを作成します。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ インターネット設定

「プロキシ設定」／「アクセスポイント設定」選択➡◉➡「新規プロファイル入力」選択➡◉➡設定項目（☞P.10-17）選択➡◉➡設定内容入力／選択➡◉➡㊀（メニュー）➡「登録」選択➡◉

プロキシ/アクセスポイントの編集 プロキシ／アクセスポイントを編集します。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ インターネット設定

「プロキシ設定」／「アクセスポイント設定」選択➡◉➡プロキシ／アクセスポイント選択➡◉➡設定項目（☞P.10-17）選択➡◉➡設定内容編集➡◉➡㊀（メニュー）➡「登録」選択➡◉➡㊀（Yes）

プロキシ/アクセスポイントのコピー プロキシ／アクセスポイントをコピーします。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ インターネット設定

「プロキシ設定」／「アクセスポイント設定」選択➡◉➡プロキシ／アクセスポイント選択➡㊀（メニュー）➡「コピー」選択➡◉➡名前（☞P.10-17）入力➡◉

プロキシ/アクセスポイントの削除 プロキシ／アクセスポイントを削除します。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ インターネット設定

「プロキシ設定」／「アクセスポイント設定」選択➡◉➡プロキシ／アクセスポイント選択➡㊀（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡㊀（Yes）

その他の設定

再設定	接続先を変更したときに、ネットワーク自動調整などを行い、設定内容を反映します。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ インターネット設定 ➡ 再設定

ネットワーク自動調整

「ネットワーク自動調整」選択➡◉➡㊀（Yes）

設定を反映

「設定反映」選択➡◉➡設定選択➡◉➡◉

- このあと、必要に応じて、指定された暗証番号を入力し、◉を押してください。

DNSキャッシュクリア	903SHに保持されているVodafone live!のサーバーのアドレスを消去します。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ インターネット設定

「DNSキャッシュクリア」選択➡◉

ホワイトリストの作成／削除	ホワイトリストを作成／削除します。

メニュー ▶ 外部接続 ➡ インターネット設定 ➡ ホワイトリスト

ホワイトリストの作成

確認画面表示➡㊀（Yes）➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡◉➡「新規プロファイル入力」選択➡◉➡「SMSCアドレス」／「SM送信者アドレス」選択➡◉➡アドレス入力➡◉➡㊀（メニュー）➡「登録」選択➡◉

- SMSCアドレス、SM送信者アドレスとも最大18ケタまで入力できます。

ホワイトリストの削除

確認画面表示➡㊀（Yes）➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡◉➡番号選択➡㊀（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡㊀（Yes）

その他の設定

モード設定

お使いになる状況に応じて、着信時の動作や各種効果音などを設定します。

- 着信時の動作や各種効果音などは、あらかじめ登録されている次の６種類のモードごとに設定できます。
  - ■通常モード ■ミーティングモード
  - ■アクティブモード ■運転中モード
  - ■ヘッドセットモード ■マナーモード

着信時の動作を設定する

- P.11-2～P.11-3内の次の操作は、「**設定**」内の「**サウンド設定**」からでもできます。
  - ■音量 ■着信音／ムービー ■バイブ
  - ■着信ライト設定 ■インフォメーションライト設定

音量	着信音量やメール着信音量などを設定します。

お買い上げ時 通常モード／ヘッドセットモード：音量３、アクティブモード：音量５、ミーティングモード／運転中モード／マナーモード：サイレント

メニュー ▶ 設定 ➡ モード設定

モード選択➡㊀（メニュー）➡「設定変更」選択➡◉➡「音量」選択➡◉➡「着信音量」／「メール着信」／「効果音／サウンド再生」選択➡◉➡◈（音量選択）➡◉

- 「**音量５**」が最大です。「**ステップトーン**」に設定すると、約４秒ごとに、「**音量１**」～「**音量５**」の順に音が大きくなります。
- 音量に設定できる「**着信音量**」、「**効果音／サウンド再生**」の種類は次のとおりです。

着信音量	音声着信、TVコール着信
効果音／サウンド再生	効果音、データフォルダ内のサウンド再生

着信音／ムービー	着信音／ムービーを着信の種類（音声着信、TVコール着信、メール着信）別に設定できます。

メニュー ▶ 設定 ➡ モード設定

着信音の設定

モード選択➡㊀（メニュー）➡「設定変更」選択➡◉➡「着信音／ムービー」選択➡◉➡着信の種類選択➡◉➡「着信音選択」選択➡◉➡「固定データ」／「データフォルダ」選択➡◉➡着信音選択➡㊀（メニュー）➡「決定」選択➡◉

■ データフォルダ内のデータを設定：着信音選択後㊀（**メニュー**）➡「**選択**」選択➡◉

■ 再生：着信音選択後㊀（**メニュー**）➡「**再生**」選択➡◉

ムービーの設定

モード選択➡㊀（メニュー）➡「設定変更」選択➡◉➡「着信音／ムービー」選択➡◉➡着信の種類選択➡◉➡「ムービー選択」選択➡◉➡ムービー選択➡◉

■ 再生：ムービー選択後㊀（**メニュー**）➡「**再生**」選択➡◉

呼出時間の設定（メール着信）

モード選択➡㊀（メニュー）➡「設定変更」選択➡◉➡「着信音／ムービー」選択➡◉➡「メール着信」選択➡◉➡「鳴動時間」選択➡◉➡着信鳴動時間入力（01～15秒）➡◉

注意▶
- 音声やサウンドのデータ内容などによっては、着信音として登録できないことがあります。
- ウェブでファイルをダウンロードしているときや、ストリーミング再生しているときなどに音声着信があると、お買い上げ時の設定音が鳴ることがあります。

補足▶
- 着信と連動するタイプのVアプリをVアプリ待受に設定しているときは、ここで設定した着信音／ムービーが動作しないことがあります。
- 着信音に3Mバイト以上のvideo/3gpp形式などの動画ファイルを設定すると、着信時、約3秒たってから再生が開始されます。

バイブ	着信時のバイブレータを設定します。SMAFファイルに連動するように設定することもできます。

お買い上げ時 ミーティングモード／アクティブモード／ヘッドセットモード／マナーモード：On、通常モード／運転中モード：Off

メニュー ▶ 設定 ▶ モード設定

モード選択➡㊀（メニュー）➡「設定変更」選択➡◉➡「バイブ」選択➡◉➡「On」／「音連動」／「Off」選択➡◉

- 「音連動」は、着信音に設定したメロディ（SMAFファイル）にバイブレータが設定されているとき、メロディ内のバイブレータを動作させるときに選びます。バイブレータが設定されていないメロディ（SMAFファイル）には無効です。

注意▶ バイブレータを設定中、903SHを机の上などに置いておくと、着信があったとき振動により落下することがあります。充電するときは、落下防止のためにも「Off」にすることをおすすめします。

着信ライト設定	着信時にモバイルライトを点滅してお知らせしたり、点滅する色を設定します。

お買い上げ時 グリーン

メニュー ▶ 設定 ▶ モード設定

On／Off設定

モード選択➡㊀（メニュー）➡「設定変更」選択➡◉➡「着信ライト設定」選択➡◉➡着信の種類選択➡◉➡「On／Off設定」選択➡◉➡「On」／「Off」選択➡◉

ライト色設定

モード選択➡㊀（メニュー）➡「設定変更」選択➡◉➡「着信ライト設定」選択➡◉➡着信の種類選択➡◉➡「ライト色設定」選択➡◉➡色選択➡㊀（メニュー）➡「決定」選択➡◉

■ ライト色の確認：上記「決定」選択時に「再生」選択➡◉
■ 確認の終了：上記操作のあと◉

インフォメーションライト設定	不在着信時などにモバイルライト（スモールライト）を点滅してお知らせしたり、点滅する色を設定します。

お買い上げ時 On（モバイルライト）

メニュー ▶ 設定 ▶ モード設定

On／Off設定

モード選択➡㊀（メニュー）➡「設定変更」選択➡◉➡「インフォメーションライト設定」選択➡◉➡「不在着信」／「メール着信」／「簡易留守録」選択➡◉➡「On／Off設定」選択➡◉➡「On（モバイルライト）」／「On（スモールライト）」／「Off」選択➡◉

モバイルライト色設定

モード選択➡㊀（メニュー）➡「設定変更」選択➡◉➡「インフォメーションライト設定」選択➡◉➡「不在着信」／「メール着信」／「簡易留守録」選択➡◉➡「モバイルライト色設定」選択➡◉➡色選択➡㊀（メニュー）➡「決定」選択➡◉

■ ライト色の確認：上記「決定」選択時に「再生」選択➡◉
■ 確認の終了：上記操作のあと◉

エニーキーアンサー	エニーキーアンサー（☞P.2-6）を有効にするかどうかを設定します。

お買い上げ時 通常モード／ミーティングモード／アクティブモード／マナーモード：Off、運転中モード／ヘッドセットモード：On

メニュー ▶ 設定 ▶ モード設定

モード選択 ➡ ㊀（メニュー）➡「設定変更」選択 ➡ ◉ ➡「エニーキーアンサー」選択 ➡ ◉ ➡「On」／「Off」選択 ➡ ◉

簡易留守録	マナーモード中の着信に対して簡易留守録するかどうかを設定します。

■モード設定内の「マナーモード」選択時だけ、設定できます。

お買い上げ時 On

メニュー ▶ 設定 ▶ モード設定

「マナーモード」選択 ➡ ㊀（メニュー）➡「設定変更」選択 ➡ ◉ ➡「簡易留守録設定」➡ ◉ ➡「On」／「Off」選択 ➡ ◉

注意▶「簡易留守録設定」を「On」にしているときは、「通話履歴」内の「簡易留守録」（☞P.2-9）を「Off」にしても、簡易留守録設定は「On」のままです。

各種効果音を設定する

- 下記の操作は、「**設定**」内の「**サウンド設定**」からでもできます。
  - ■ボタン確認音　■エラー音／電源On音／電源Off音

ボタン確認音	ボタンを押したときの音を設定します。

お買い上げ時 プッシュトーン

メニュー ▶ 設定 ▶ モード設定

パターン音の設定

モード選択 ➡ ㊀（メニュー）➡「設定変更」選択 ➡ ◉ ➡「効果音」選択 ➡ ◉ ➡「ボタン確認音」選択 ➡ ◉ ➡「パターン１」／「パターン２」／「パターン３」選択 ➡ ㊀（メニュー）➡「決定」選択 ➡ ◉

■ 再生：音選択後㊀（メニュー）➡「再生」選択 ➡ ◉

プッシュトーンの設定

モード選択 ➡ ㊀（メニュー）➡「設定変更」選択 ➡ ◉ ➡「効果音」選択 ➡ ◉ ➡「ボタン確認音」選択 ➡ ◉ ➡「プッシュトーン」選択 ➡ ◉

ボタン確認音の消去

モード選択 ➡ ㊀（メニュー）➡「設定変更」選択 ➡ ◉ ➡「効果音」選択 ➡ ◉ ➡「ボタン確認音」選択 ➡ ◉ ➡「Off」選択 ➡ ◉

エラー音／電源On音／電源Off音	エラー時や電源On／Off時の音と鳴動時間を設定します。

お買い上げ時 エラー音：エラー1／鳴動時間0.5秒、電源On音／電源Off音：オープニング&エンディング1／鳴動時間3秒

メニュー ▶ 設定 ▶ モード設定

エラー音／電源On音／電源Off音の設定

モード選択 ➡ ㊀（メニュー）➡「設定変更」選択 ➡ ◉ ➡「効果音」選択 ➡ ◉ ➡「エラー音」／「電源On音」／「電源Off音」選択 ➡ ◉ ➡「音選択」選択 ➡ ◉ ➡「固定データ」／「データフォルダ」選択 ➡ ◉ ➡ 音選択 ➡ ㊀（メニュー）➡「決定」選択 ➡ ◉

- データフォルダ内のデータを設定：音選択後㊀（**メニュー**）➡「**選択**」選択 ➡ ◉
- 再生：音選択後㊀（**メニュー**）➡「**再生**」選択 ➡ ◉
- 音を消す：「Off」選択 ➡ ◉

鳴動時間の設定

モード選択 ➡ ㊀（メニュー）➡「設定変更」選択 ➡ ◉ ➡「効果音」選択 ➡ ◉ ➡「エラー音」／「電源On音」／「電源Off音」選択 ➡ ◉ ➡「鳴動時間」選択 ➡ ◉ ➡ 時間選択／時間入力 ➡ ◉

モードを選択する

利用するモードの選択	利用するモードを選びます。

お買い上げ時 通常モード

メニュー ▶ 設定 ▶ モード設定

モード選択 ➡ ◉

各モードの設定をお買い上げ時の状態に戻す

設定リセット	各モードの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

メニュー ▶ 設定 ▶ モード設定

モード選択 ➡ ㊀（メニュー）➡「設定リセット」選択 ➡ ◉ ➡ 操作用暗証番号（4ケタ）入力 ➡ ◉ ➡ ㊀（Yes）

ディスプレイ設定

ディスプレイ表示を設定する

壁紙	お好みの画像を待受画面の壁紙として設定します。

お買い上げ時 ひまわり

メニュー ▶ 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ 壁紙

「固定データ」／「ピクチャー」／「その他ファイル」選択 ➡ ◉ ➡ 画像選択 ➡ ◉ ➡ ◉

- 壁紙解除：「Off」選択 ➡ ◉

- 「**ピクチャー**」を選ぶとピクチャーフォルダ内の画像が表示されます。
- データフォルダの画像が壁紙に設定されているときに「**ピクチャー**」または「**その他ファイル**」を選び◉を押すと、設定されている画像が表示されます。このときは、㊀（**変更**）を押すと、選択されたフォルダ内の画像が表示されます。

注意▶ 画像によっては、うまく表示されなかったり、設定できないこともあります。

補足▶
- Vアプリ待受を設定していると、壁紙を設定しても表示されないことがあります。
- 壁紙を設定すると、「Off」に設定しているときに比べて、電池パックの利用可能時間が短くなります。

画面ピクチャー	お好みの画像を、各表示場面（電源On／電源Off時、アラーム動作時、着信中）で表示します。

お買い上げ時 電源On／Off：固定データ、アラーム／音声／TVコール着信：パターン1

メニュー ▶ 設定 ➡ ディスプレイ設定 ➡ 画面ピクチャー

電源On／電源Off時

「電源On」／「電源Off」選択➡◉➡「固定データ」／「ピクチャー」／「その他ファイル」選択➡◉

■「ピクチャー」／「その他ファイル」選択時：画像選択➡◉➡◉

アラーム動作時／着信中

「アラーム」／「音声／TVコール着信」選択➡◉➡「パターン１」～「パターン３」／「ピクチャー」／「その他ファイル」選択➡◉➡◉

■「ピクチャー」／「その他ファイル」選択時：画像選択➡◉➡◉

- 「ピクチャー」を選ぶとピクチャーフォルダ内の画像が表示されます。
- 「ピクチャー」または「その他ファイル」を選んだ場合、選択した画像によっては、表示範囲指定画面が表示されます。◈で表示範囲を指定したあと、◉を押します。
- データフォルダの画像が画面ピクチャーに設定されているときに「ピクチャー」または「その他ファイル」を選び◉を押すと、設定されている画像が表示されます。このときは、㊀（変更）を押すと、選択されたフォルダ内の画像が表示されます。

注意▶
- 選択しているモードに登録している着信音／ムービーによっては、画面ピクチャーの設定が無効になることがあります。
- 電話帳の着信音／ムービーまたはフォトを登録している相手から電話番号が通知されて電話がかかってきたときは、電話帳に登録されている画像が表示されます。

カスタムスクリーン	メインメニュー画面や、画面上部のタイトル表示行、最下部のガイダンス表示行などが変更できます。

お買い上げ時 Vodafone

メニュー ▶ 設定 ➡ ディスプレイ設定 ➡ カスタムスクリーン

「Vodafone」／「オリジナル１」／「オリジナル２」選択➡◉

文字表示	画面に表示される文字の太さを設定します。

お買い上げ時 普通

メニュー ▶ 設定 ➡ ディスプレイ設定 ➡ 文字表示

太さ選択➡◉

電源Onメッセージ	電源を入れたときに、画面にメッセージを表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 Off

メニュー ▶ 設定 ➡ ディスプレイ設定 ➡ 電源Onメッセージ

電源OnメッセージのOn／Off

「On／Off設定」選択➡◉➡「On」／「Off」選択➡◉

表示内容の設定

「メッセージ編集」選択➡◉➡メッセージ入力➡◉

- 最大10文字まで入力できます。

ネットワークオペレータ名表示	待受画面に、ご利用の通信会社の情報を表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 Off

メニュー ▶ 設定 ➡ ディスプレイ設定 ➡ ネットワークオペレータ名表示

「On」／「Off」選択➡◉

日本語／英語切替（Language）	画面の表示を、日本語または英語に設定します。

お買い上げ時 自動

メニュー ▶ 設定 ➡ Language

「自動」／「English」／「日本語」選択➡◉

●「自動」に設定すると、モード選択（☞P.2-16）の設定に従って表示が切り替わります。

ディスプレイ／ボタンの照明を設定する

バックライト	画面照明の点灯時間（自動的に消えるまでの時間）の設定や、明るさの調整をします。

お買い上げ時 点灯時間：15秒、明るさ：明るさ３

メニュー ▶ 設定 ➡ ディスプレイ設定 ➡ バックライト

点灯時間の設定

「点灯時間」選択➡◉➡時間選択➡◉

■ 点灯しないようにする：時間選択時に「Off」選択➡◉

明るさ調整

「明るさ調整」選択➡◉➡◎（明）／◎（暗）➡◉

パネル点灯時間	画面の点灯時間（自動的に消えるまでの時間）を設定します。

お買い上げ時 ２分

メニュー ▶ 設定 ➡ ディスプレイ設定 ➡ パネル点灯時間

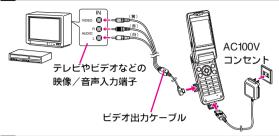
時間選択➡◉

外部出力を利用する

テレビやビデオなど他の機器と903SHを接続し、他の機器に903SHの画面を出力できます。

●903SHと他の機器は、ビデオ出力ケーブルで接続します。
●外部出力できる画面は次のとおりです。
■Vアプリ　■Picture Viewer
■ビデオプレイヤー
●画像や音声によっては、外部出力できないものがあります。
●903SHに取り付けたメモリカード内のデータも見ることができます。
●外部出力に対応したVアプリもテレビやビデオなどの他の機器で表示することができます。
●Vアプリなどを外部出力しているときは､903SHの画面では表示されません。
●クローズポジションのときは、外部出力できません。

注意 ▶
●テレビなどと接続するときやプラグを抜くときは、次の点にご注意ください。
■接続するときやプラグを抜くときは、接続する機器側の電源を一旦「切」にしてください。
■ビデオ出力ケーブルはテレビ側のビデオ入力に接続してください。誤ってビデオ出力端子など他の端子に接続すると、故障することがあります。また、ビデオ出力ケーブルは903SH以外へは接続しないでください。
■ビデオ出力ケーブルのプラグは、ゆっくりと確実に差し込んでください。また、抜くときは、プラグを持ってゆっくり抜いてください。
■ビデオ出力ケーブルを強くひっぱったり、プラグ付近をねじったり、無理な力を加えないでください。903SHのVIDEO OUT端子やビデオ出力ケーブルが破損する恐れがあります。

テレビなどの接続方法

外部出力の設定

あらかじめ、903SHと他の機器を接続しておいてください。
●お買い上げ時には、「Off」に設定されています。

メニュー ▶ 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ 外部出力

1「On／Off設定」を選び、◉を押す。

2「On」を選び、◉を押す。
他の機器に903SHの画面が出力されます。
■ 他の機器への出力をしない：「Off」選択➡◉

表示サイズ切替／画像回転／出力方式切替

■「On／Off設定」を「On」にしたあと、次の操作を行います。
表示サイズ切替：「表示サイズ」選択➡◉➡「等倍」／「拡大」選択➡◉
動画の回転：「回転表示」選択➡◉➡「回転なし」～「180°」選択➡◉
出力方式切替：「テレビシステム」選択➡◉➡「NTSC」／「PAL」選択➡◉
▪「ピクチャー」フォルダの画像やVアプリの画面は回転できません。

全画面表示

■他の機器の画面全体に、画像を表示できます。（全画面表示）
全画面表示するときは、外部出力中に次の操作を行います。
㊀（メニュー）➡「全画面表示」選択➡◉
● 画像によっては全画面表示できないことがあります。

注意▶
●外部出力をご利用になる際には､903SHと接続したテレビなどの機器で、音量調節を行ってください。また、903SHを抜く前にはテレビなどの音量が大きくなりすぎていないことをご確認のうえ、テレビなどの電源を切ってください。
●お使いのテレビなどによっては、画面にノイズが出たり画像が乱れることがあります。また、表示サイズ切替を「拡大」にしているときは、画像の一部（上下）が表示されないことがあります。

補足▶
●「外部出力」を「On」にすると､「Off」に設定しているときに比べて、電池の利用時間が短くなります。
●動画を外部出力しているとき、再生中に[文字]を押すと、他の機器への出力を中止し、903SHの画面で最初から再生されます。
●外部出力中に、ステレオイヤホンマイクなどを接続したときや、㊀（メニュー）を押してプロパティ画面などを表示したときは、外部出力が停止します。
●日本で外部出力をご利用のときは、出力方式を「NTSC」に設定してください｡その他の地域では､その地域に合ったテレビシステムに合わせて、出力方式を設定してください。

サウンド設定

サウンド設定内の下記の項目は、別のページで説明しています。それぞれのページを参照してください。

音量	☞P.11-2	バイブ	☞P.11-3
着信音／ムービー	☞P.11-2	着信ライト設定	☞P.11-3
効果音	☞P.11-4	インフォメーションライト設定	☞P.11-3

サラウンド スピーカーのサラウンド効果（奥行き感）を出すかどうかを設定します。

お買い上げ時 On

メニュー ▶ 設定 ➡ サウンド設定 ➡ サラウンド

「On」／「音連動」／「Off」選択➡◉

注意▶ 「サラウンド」を「On」にしている場合、着うた®やメディアプレイヤーを再生しているときにクローズポジションからオープンポジションにすると、瞬間的に音が途切れますが、故障ではありません。

日時設定

日時設定内の「世界時計」は、P.12-11を参照してください。

日付時刻設定 903SHの日付／時刻を設定します。（曜日は自動的に設定されます。）

メニュー ▶ 設定 ➡ 日時設定 ➡ 日付時刻設定

西暦入力（４ケタ）➡月入力（２ケタ）➡日入力（２ケタ）➡◉➡時入力（２ケタ：24時間制）➡分入力（２ケタ）➡◉

注意▶ 設定した時刻は、電池パックを交換するときにも保持されますが、約１週間程度電池パックを外しているか、空の状態で放置していると、記憶が消えることがあります。そのときは、日付／時刻を再設定してください。

補足▶
- 日付／時刻を合わせていないとき、着信履歴や発信履歴などの日時表示は「--/--/-- --:--」と表示されます。
- ボタンを押し間違えたときは、◎を押しカーソルを移動したあと、正しい数字を入力してください。
- 待受画面に表示される時計の表示方法を設定したり、カレンダーを表示することもできます。（☞P.11-10）

タイムゾーン／サマータイム設定 お使いの地域（タイムゾーン）を設定します。また、サマータイムの設定も行えます。

お買い上げ時 地域：東京、サマータイム：Off

メニュー ▶ 設定 ➡ 日時設定

地域（都市）の設定

「タイムゾーン設定」選択➡◉➡◎で地域選択➡◉

■ お使いの地域が未登録：タイムゾーン設定画面で ㊀（メニュー）➡「オリジナルゾーン設定」選択➡◉➡都市名入力➡◉➡時差入力➡◉

サマータイムの設定

「サマータイム設定」選択➡◉➡「On」／「Off」選択➡◉

- サマータイムを「On」に設定すると、設定した都市の時刻が、１時間進んだ状態で表示されます。

時計／カレンダー表示	時計やカレンダーの表示形式を設定します。

お買い上げ時 時計表示：大、カレンダー表示：Off

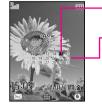
メニュー ▶ 設定 ➡ 日時設定 ➡ 時計／カレンダー表示

時計表示形式の設定

「時計表示」選択➡◉➡「大」／「小」／「世界時計」／「Off」選択➡◉

カレンダー表示形式の設定

「カレンダー表示」選択➡◉➡「１ヶ月」／「２ヶ月」／「Off」選択➡◉

■カレンダーの見かた

現在の日付
- 現在の日付は､反転表示されています。

予定が設定されている日付
- 予定（☞P.12-2）が設定されている日付には、アンダーラインが表示されます。

補足▶
- 壁紙を設定しているときは、壁紙の画像の上にカレンダーが表示されます。
- Vアプリ待受を設定していると、カレンダーが表示されないことがあります。

日付／時刻フォーマット	時刻の時間制（24時間制／12時間制）や日付の表示書式を設定します。

お買い上げ時 時刻フォーマット：24時間、日付フォーマット：年／月／日

メニュー ▶ 設定 ➡ 日時設定

時刻フォーマットの設定

「時刻フォーマット」選択➡◉➡「24時間」／「12時間」選択➡◉

日付フォーマットの設定

「日付フォーマット」選択➡◉➡「日.月.年」／「月-日-年」／「年／月／日」選択➡◉

週始まり	一週間の始まりを日曜日にするか、月曜日にするかを設定します。

お買い上げ時 日曜日-土曜日

メニュー ▶ 設定 ➡ 日時設定 ➡ 週始まり

「日曜日-土曜日」／「月曜日-日曜日」選択➡◉

アラーム電源On設定	電源Off時にアラーム時刻になったとき、自動的に電源が入りアラームが鳴るように設定します。

お買い上げ時 Off

メニュー ▶ 設定 ➡ 日時設定 ➡ アラーム電源On設定

「On」選択➡◉

■ アラーム電源On設定の解除：「Off」選択➡◉

ユーザー辞書

よく使う言葉を登録する

よく使う言葉（単語）に読みをつけて、最大100件まで登録できます。
登録した単語は、読みを入力して漢字変換すると、変換候補に表示され入力できます。
●同じ読みは５件まで登録できます。

ユーザー辞書の登録	新しくユーザー辞書を登録します。

メニュー ▶ 設定 ➡ ユーザー辞書 ➡ 新規登録
単語入力➡◉➡読みを入力➡◉
●単語は最大15文字まで、読みはひらがなで最大８文字まで入力できます。

ユーザー辞書の編集	登録したユーザー辞書を修正／消去します。

メニュー ▶ 設定 ➡ ユーザー辞書 ➡ 単語登録リスト

ユーザー辞書の修正

編集する単語選択➡㊀（メニュー）➡「編集」選択➡◉➡単語修正➡◉➡読み修正➡◉➡㊀（Yes）

ユーザー辞書の消去

編集する単語選択➡㊀（メニュー）➡「消去」選択➡◉➡㊀（Yes）

ダウンロードした辞書を設定する

Vodafone live!などでダウンロードした日本語変換用の辞書を使用します（２件）。
専門用語などの辞書をダウンロードして使用すると、その辞書に登録されている用語が変換候補に表示されるようになります。
●辞書ファイルの入手方法などについては、ブックマークにあらかじめ登録されているシャープオリジナルサイト「Space Town」（☞P.16-6）でご案内しています。

ダウンロード辞書設定	ダウンロードした辞書を使用します。

メニュー ▶ 設定 ➡ ユーザー辞書 ➡ ダウンロード辞書
番号選択➡◉➡ダウンロード辞書選択➡◉
■ダウンロード辞書が設定されている番号への登録：
㊀（メニュー）➡「変更」選択➡◉➡設定するダウンロード辞書を選択➡◉

注意▶ 辞書データによっては、登録できないことがあります。

ダウンロード辞書解除	設定したダウンロード辞書を解除します。

メニュー ▶ 設定 ➡ ユーザー辞書 ➡ ダウンロード辞書
番号選択➡㊀（メニュー）➡「設定解除」選択➡◉

ダウンロード辞書情報	ダウンロード辞書の詳細情報を確認します。

メニュー ▶ 設定 ➡ ユーザー辞書 ➡ ダウンロード辞書
番号選択➡㊀（メニュー）➡「プロパティ」選択➡◉

通話設定

通話設定内の下記の項目は、別のページで説明しています。それぞれのページを参照してください。

留守番・転送電話	☞P.13-4、P.13-2	発番号通知・表示	☞P.13-10
割込通話	☞P.13-5	発着信規制	☞P.13-7

国際電話に関する設定

国際コード設定 よく利用する国際電話番号を設定します。

お買い上げ時 0046010

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 国際発信設定
「国際コード設定」選択➡◉➡国際コード入力➡◉

国番号リスト 国番号リストを変更／追加／削除します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 国際発信設定 ➡ 国番号リスト ➡ 国名を選ぶ

国番号の変更

「変更」選択➡◉➡国名入力➡◉➡国番号入力➡◉

国番号の追加

国名がないリスト選択➡◉➡国名入力➡◉➡国番号入力➡◉

国番号の削除

「削除」選択➡◉➡㊀（Yes）

その他通話に関する設定

通話時間お知らせ 通話中に1分ごとにお知らせ音を鳴らすかどうかを設定します。

お買い上げ時 Off

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 通話時間お知らせ
「On」／「Off」選択➡◉

通話時間表示 通話中に通話時間を表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 On

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 通話時間表示
「On」／「Off」選択➡◉

通話後料金表示 通話後に通話料金を表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 On

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 通話後料金表示
「On」／「Off」選択➡◉

セキュリティ設定

PINコードの設定

●PINコードの詳細については、P.1-6を参照してください。

電源を入れたときにPINコード入力をする

PIN On／Off設定	USIMカードを取り付けたときや電源を入れたとき、PIN1コードを入力して照合を行うかどうかを設定します。

メニュー ▶ 設定 ➡ セキュリティ設定 ➡ PIN認証 ➡ PIN On／Off設定

「On」／「Off」選択➡◉➡PIN1コード入力➡◉

PINロック解除

■PIN1コードまたはPIN2コードの入力を3回続けて間違うと、PIN1ロック／PIN2ロックが設定され、903SHの使用が制限されます。PIN1ロック／PIN2ロックを解除するときは、次の操作を行います。

PIN1／PIN2の入力が必要な機能選択➡PINロック解除コード（PUKコード）入力➡◉➡新しいPIN1コード／PIN2コード入力（4～8ケタ）➡◉➡もう一度新しいPIN1コード／PIN2コード入力（4～8ケタ）➡◉

●PIN1ロックまたはPIN2ロック解除コード（PUKコード）については、お問い合わせ先（☞P.19-25）までご連絡ください。

●PIN解除コードの入力を10回続けて間違えると、USIMカードがロックされます。（途中で電源を切っても連続として数えます。）

●USIMカードがロックされたときは、所定の手続きが必要となります。お問い合わせ先（☞P.19-25）までご連絡ください。

PIN1コード／PIN2コードを変更する

PINコード変更	PIN1コードまたはPIN2コードを変更します。

■PIN1コードを変更するときは、あらかじめ「PIN On／Off設定」を「On」に設定してください。

メニュー ▶ 設定 ➡ セキュリティ設定

PIN1コードの変更

「PIN認証」選択➡◉➡「PIN変更」選択➡◉➡現在のPIN1コード入力➡◉➡新しいPIN1コード入力➡◉➡もう一度新しいPIN1コード入力➡◉

PIN2コードの変更

「PIN2変更」選択➡◉➡現在のPIN2コード入力➡◉➡新しいPIN2コード入力➡◉➡もう一度新しいPIN2コード入力➡◉

電話機の操作を禁止する

簡易ロック	電源を入れたとき、操作用暗証番号を入力しないと、903SHを使用できないようにします。

お買い上げ時 Off

メニュー ▶ 設定 ➡ セキュリティ設定 ➡ 簡易ロック

「On」／「Off」選択➡◉➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡◉

注意 ▶ 簡易ロック設定中に利用できる「110」などの緊急電話発信については、P.2-22「**緊急電話発信について**」を参照してください。

ダイヤル操作禁止	操作用暗証番号を入力しないと、903SHを操作できないようにします。

お買い上げ時Off

メニュー ▶ 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ ダイヤル操作禁止

操作用暗証番号（４ケタ）入力▶◉

■ ダイヤル操作禁止の解除：待受中／通話中に操作用暗証番号（４ケタ）入力▶◉

● 電源を切ってもダイヤル操作禁止は解除されません。

ダイヤル操作禁止設定中にできること

■待受中

● Ⓞ長押し（２秒以上：電源のOn／Off）、＊長押し（誤動作防止の設定／解除）、0～9／CLEAR/BACK（操作用暗証番号入力／入力中の消去）

■通話中

● Ⓞ（終話）、⊖／◉（メニュー表示、TVコール中：画面切替）、⊖（マイクミュート／解除）、Ⓢ（オプションサービスの割込通話サービス利用時の通話切替）、0～9／CLEAR/BACK（操作用暗証番号入力／入力中の消去）

■着信中

● Ⓢ／⊖（**メニュー表示**）／エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-6）で電話に出る（エニーキーアンサー「On」設定時）、Ⓞ（着信拒否）、⊖（通話中転送「On」設定時の着信中の着信手動転送）

注意▶ ダイヤル操作禁止設定中に利用できる「110」などの緊急電話発信については、P.2-22「**緊急電話発信について**」を参照してください。

電話帳使用禁止	電話帳を誤って削除したり、他人が使用できないようにします。

お買い上げ時Off

メニュー ▶ 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ 電話帳使用禁止

「On」／「Off」選択▶◉▶操作用暗証番号（４ケタ）入力▶◉

注意▶ 電話帳使用禁止設定中は、次の機能などは利用できません。
- ■ 電話帳の検索、登録、修正、発信［スピードダイヤルでの発信（☞P.4-13）も含む］
- ■ 電話帳やオーナー情報を使ったバーコードの作成（☞P.12-18）

シークレットデータを利用する

電話帳やスケジュールなどで、シークレットを「On」に設定したデータは、シークレットモードでだけ確認や修正などが行えます。

シークレットモード	シークレットモードを設定／解除します。

お買い上げ時Off

メニュー ▶ 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ シークレットモード

「On」選択▶◉▶操作用暗証番号（４ケタ）入力▶◉

■ シークレットモードの解除：「Off」選択▶◉

注意▶ 操作用暗証番号を知らない人でも偶然番号が合い、シークレットデータを見られることも考えられます。重大な秘密などの記録用としてではなく、便利な機能としてお使いになることをおすすめします。

シークレットモードを解除すると

■電話帳のシークレットデータに登録されている相手から電話がかかってきたり、メールが送られてくると、相手の名前やフォト設定されている画像は表示されません。
（着信音／ムービーの設定も無効となります。）
また、発信履歴や着信履歴、受信メールボックスの画面でも表示されません。

操作用暗証番号を変更する

暗証番号変更 現在使用している操作用暗証番号を、新しい操作用暗証番号に変更します。

お買い上げ時 9999

メニュー ▶ 設定 ➡ セキュリティ設定 ➡ 暗証番号変更

現在の操作用暗証番号（4ケタ）入力➡◉➡新しい操作用暗証番号（4ケタ）入力➡◉➡もう一度新しい操作用暗証番号（4ケタ）入力➡◉

位置情報設定

位置情報URL設定 通常、設定を変更する必要はありません。位置情報付の電話帳データからアクセスする特定の接続先に接続するときなどに設定してください。

メニュー ▶ 設定 ➡ 位置情報設定 ➡ 位置情報URL設定

URL選択➡◉

- URLの表示：㊀（メニュー）➡「表示」選択➡◉
- URLの編集：㊀（メニュー）➡「編集」選択➡◉➡URL編集➡◉
- URLの削除：URL選択➡㊀（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡㊀（Yes）
- URLの追加：番号選択➡◉➡URL入力➡◉

測位On／Off設定 Webサービスを利用するとき、現在の位置情報を送信するかどうか設定します。

お買い上げ時 On

メニュー ▶ 設定 ➡ 位置情報設定 ➡ 測位On／Off設定

「On」／「Off」選択➡◉➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡◉

初期化

設定リセット 設定内容や登録内容をお買い上げ時の状態（初期状態）に戻します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 初期化 ➡ 設定リセット

操作用暗証番号（4ケタ）入力➡◉➡㊀（Yes）➡㊀（Yes）

- 電話帳などの登録内容は消去されません。
- 次のときは、操作用暗証番号（4ケタ）を入力する前に確認画面が表示されますので、㊀（Yes）を押してください。
  - ■Vアプリ起動中　■ミュージックプレイヤー利用中
  - ■Bluetooth利用中　■赤外線通信利用中

注意 ▶ 設定内容や登録内容によっては、お買い上げ時の状態に戻らないものがあります。

オールリセット お客様が設定されていた電話帳やデータフォルダなどの内容を消去し、お買い上げ時の状態（初期状態）に戻します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 初期化 ➡ オールリセット

操作用暗証番号（4ケタ）入力➡◉➡㊀（Yes）➡㊀（Yes）

- 電話帳やデータフォルダなどの登録内容も初期状態に戻ります。（消去されます。）
- 次のときは、操作用暗証番号（4ケタ）を入力する前に確認画面が表示されますので、㊀（Yes）を押してください。
  - ■Vアプリ起動中　■ミュージックプレイヤー利用中
  - ■Bluetooth利用中　■赤外線通信利用中

注意 ▶ 一度、オールリセットされた登録内容や履歴などのデータは、元に戻すことはできません。操作用暗証番号も消去されます。

ツール

カレンダー

カレンダーを表示します。
- カレンダー内に予定を登録できます。
- 予定は、予定リスト（☞P.12-6）と合わせて、最大300件まで登録できます。
- カレンダー表示には、「**月表示**」と「**週表示**」の２種類があります。
- お買い上げ時には、「**月表示**」に設定されています。

カレンダーを表示する

メニュー ▶ ツール

1 「カレンダー」を選び、◉を押す。

今月のカレンダー（カレンダー画面）が表示されます。

カレンダー画面（月表示）

カレンダー画面（週表示）

■ 日付／時刻未設定時：地域選択➡◉➡日付入力➡◉➡時刻入力➡◉

■ カレンダー表示切替：0

■ ガイド機能：◯（**メニュー**）➡「**ヘルプ**」選択➡◉

■ カレンダーの操作方法が表示されます。◯（**戻る**）を押すと、カレンダー画面に戻ります。

■カレンダー画面（月表示／週表示）での操作

キー	操作	キー	操作
＊	前月（先週）のカレンダーを表示	◯（下）	月表示：カーソル移動（下） 週表示：時刻移動（下）
＃	翌月（翌週）のカレンダーを表示	◯（左）	カーソル移動（左）
0	表示切替（「**月表示**」⇔「**週表示**」）	◯（右）	カーソル移動（右）
5	今日に移動	◯	メニュー表示
◯（上）	月表示：カーソル移動（上） 週表示：時刻移動（上）	◯	表示終了（戻る）

表示設定	カレンダーを起動したときの画面表示を設定します。

お買い上げ時 月表示

メニュー ▶ ツール ➡ カレンダー

◯（**メニュー**）➡「**表示設定**」選択➡◉➡「**月表示**」／「**週表示**」選択➡◉

予定を登録する

メニュー ▶ ツール ➡ カレンダー

1 登録する日を選び、◉を押す。

2 「新規作成」を選び、◉を押す。

3 件名を入力し、◉を押す。
- 最大16文字以内で、必ず入力してください。

4 予定の場所を入力し、◉を押す。
- 最大16文字まで入力できます。

5 カテゴリを選び、◉を押す。

ツール 12

6 **開始日を入力し、◉を押す。**

7 **開始時刻を入力し、◉を押す。**

8 **時間を選び、◉を押す。**

■終了日時を設定：「**その他**」選択➡◉➡終了日入力➡◉➡終了時刻入力➡◉

9 ***アラームを設定しない***

1「予告アラームなし」を選び、◉を押す。

アラームを設定する

1「開始時刻」～「1日前」のいずれかを選び、◉を押す。

■アラーム日時を指定：「**その他**」選択➡◉➡アラーム通知日付入力➡◉➡アラーム通知時間入力➡◉

10 **「内容：」を選び、◉を押す。**

11 **予定の内容を入力し、◉を押す。**

- 最大128文字まで入力できます。
- このあと、予定の各種設定（アラーム音選択、くり返し設定、シークレット設定など）を行うこともできます。（☞P.12-4）

予定登録の画面

12 **⊝（保存）を押す。**

予定が登録されます。

注意▶ 他の機器との間でデータをやりとりしているとき、相手機によっては表示される日時情報などが異なることがあります。

補足▶ まだ設定時刻になっていない予定がある日には、待受画面に「📅」（アラームあり）または「📅」（アラームなし）が表示されます。（その日の最後の予定の時刻が過ぎると消えます。）

アラーム設定の指定時刻になると

アラーム設定の内容に従って、お知らせします。

- アラーム設定を「**予告アラームなし**」に設定しているときは、何も動作を行いません。
- 「**アラーム電源On設定**」（☞P.11-10）を「On」に設定している場合、電源を切っている状態で設定時刻になったときは、自動的に電源が入りアラームが動作します。
- 画面ピクチャーを設定しているときは、設定している画像が表示されます。また、画像付きSMAFファイルをアラーム音に設定しているときは、SMAFファイルの画像が優先して表示されます。

アラーム音の停止

■アラーム動作中に次の操作を行います。

⊝（**キャンセル**）／⓪／CLEAR/BACK

- 電源Off時：⊝（Yes）（電源Onのまま）／⊝（No）（電源Offに戻る）
- 上記電源Off時に、約20秒間そのままにしておくと、自動的に電源Offになります。
- ⊖◉を押しても止められます。（ビューアポジションやクローズポジションのとき）

登録した予定の確認

■アラーム動作中に登録した予定の確認をするとき（電源Offから起動したときを除く）は、次の操作を行います。

⊝（**表示**）／◉

- ⊝、📷◉を押しても確認できます。（ビューアポジションのとき）

補足▶
- 通話中に指定時刻になっても、アラーム音は鳴りません。このときは、通話終了後⓪を押すとアラーム音が鳴ります。
- アラーム動作中に着信があったときは、アラームの動作は終了します。⓪で通話終了後、待受画面に戻りインフォメーションが表示されます。

予定の各種設定

下記の各操作は、予定登録の画面（P.12-3操作11の画面）で行います。

アラーム音	アラーム動作時のアラーム音の種類を設定できます。

お買い上げ時 アラーム1

「アラーム：」選択➡◉➡「アラーム音／ムービー：」選択➡◉➡「音選択」選択➡◉➡「固定データ」／「データフォルダ」選択➡◉➡アラーム音選択➡㊀（メニュー）➡「決定」選択➡◉➡㊀（戻る）➡予定登録の画面（P.12-3操作11の画面）

- データフォルダ内のデータを設定：アラーム音選択後㊀（メニュー）➡「選択」選択➡◉➡㊀（戻る）➡予定登録の画面（P.12-3操作11の画面）
- 再生：アラーム音選択後㊀（メニュー）➡「再生」選択➡◉

ムービー	アラーム動作時にムービーを流すように設定できます。

「アラーム：」選択➡◉➡「アラーム音／ムービー：」選択➡◉➡「ムービー選択」選択➡◉➡ムービー選択➡◉➡㊀（戻る）➡予定登録の画面（P.12-3操作11の画面）

- 再生：ムービー選択後㊀（メニュー）➡「再生」選択➡◉

鳴動時間	アラームを何秒間鳴らすかを設定します。

お買い上げ時 15秒

「アラーム：」選択➡◉➡「鳴動時間：」選択➡◉➡時間選択➡◉➡㊀（戻る）➡予定登録の画面（P.12-3操作11の画面）

- 時間を設定：時間選択時に「その他」選択➡◉➡鳴動時間入力➡◉➡㊀（戻る）➡予定登録の画面（P.12-3操作11の画面）

繰り返し設定	予定のくり返し（1回のみ、毎日、毎週、毎月、毎年）を設定します。

お買い上げ時 1回のみ

1回だけの予定

「繰り返し：」選択➡◉➡「1回のみ」選択➡◉➡予定登録の画面（P.12-3操作11の画面）

くり返しの予定

「繰り返し：」選択➡◉➡「毎日」～「毎年」選択➡◉➡くり返し回数（00～99）入力➡◉➡予定登録の画面（P.12-3操作11の画面）

- 予定の日を29～31日に設定し、「毎月」を選んだときは、29～31日が存在しない月では、予定は設定されません。
- 「毎年」を選んだときは、くり返し回数の指定はできません。期限なしになります。
- くり返し回数を「00」に設定したときは、期限なしになります。

注意▶ 繰り返し設定をすると、アラーム設定が解除されます。（アラームを「開始時刻」にしているときを除く）
アラームを設定するときは、アラームを設定し直してください。

シークレット設定	予定をシークレットデータに設定します。

お買い上げ時 Off

「シークレット設定：」選択➡◉➡「On」選択➡◉➡予定登録の画面（P.12-3操作11の画面）

- シークレットデータは、シークレットモード（☞P.11-14）を設定しないと確認できません。
- シークレット設定を解除するときは、シークレットモードを設定したあと、予定の編集（☞P.12-5）を行います。（上記操作の「On」のかわりに「Off」を選びます。）

予定を確認する

メニュー ▶ ツール ➡ カレンダー

1 **予定を確認する日を選び、◉を押す。**

2 **確認する予定を選び、◉を押す。**

- 予定をメール送信：㊀（メニュー）➡「送信」選択 ➡◉➡「メール」選択➡◉➡メール作成／送信（☞P.15-7）
- 指定した日に移動：㊀（メニュー）➡「指定日付へ移動」選択➡◉➡「指定日」選択➡◉➡指定日入力➡◉
- 今日へ移動：㊀（メニュー）➡「指定日付へ移動」選択➡◉➡「今日」選択➡◉

3 **確認を終了するときは、㊀（戻る）を押す。**

予定の件数確認

■予定の件数を確認するときは、次の操作を行います

◉➡「ツール」選択➡◉➡「カレンダー」選択➡◉➡予定を確認する日選択➡㊀（メニュー）➡「メモリ確認」選択➡◉

予定を編集する

メニュー ▶ ツール ➡ カレンダー

1 **予定を編集する日を選び、◉を押す。**

2 **編集する予定を選び、㊀（メニュー）を押す。**

3 **「編集」を選び、◉を押す。**

4 **変更する項目を選び、◉を押す。**

- 編集方法は、登録時と同様です。

5 **編集が終われば、㊀（保存）を押す。**

予定を削除する

1件削除／1日削除	予定を1件ずつまたは1日単位で削除します。

メニュー ▶ ツール ➡ カレンダー

1件削除

予定を削除する日選択➡削除する予定選択➡㊀（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡「1件」選択➡◉➡㊀（Yes）

1日削除

予定を削除する日選択➡㊀（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡「1日」選択➡◉➡㊀（Yes）

今月削除／今週削除	月表示のとき予定を1月単位で、週表示のとき今週の予定を削除します。

■「今月削除」は月表示のときだけ、「今週削除」は週表示のときだけできます。

メニュー ▶ ツール ➡ カレンダー

今月削除

予定を削除する月選択➡㊀（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡「今月」選択➡◉➡㊀（Yes）

- 今月の予定がないときは、「今月」は表示されません。

今週削除

予定を削除する週の日選択➡㊀（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡「今週」選択➡◉➡㊀（Yes）

- 今週の予定がないときは、「今週」は表示されません。

前月まで削除／前週まで削除	月表示のとき前月までの予定を、週表示のとき前週までの予定を削除します。

■「前月まで削除」は月表示のときだけ、「前週まで削除」は週表示のときだけできます。

メニュー ▶ ツール ➡ カレンダー

前月まで削除

㊀（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡「前月まで」選択➡◉➡㊀（Yes）

- 前月までの予定がないときは、「前月まで」は表示されません。

前週まで削除

㊀（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡「前週まで」選択➡◉➡㊀（Yes）

- 前週までの予定がないときは、「前週まで」は表示されません。

全件削除	すべての予定を削除します。

メニュー ▶ ツール ▶ カレンダー

⏜（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡「全件」選択➡◉➡⏜（Yes）

削除する予定にくり返しの予定が含まれていると

■全件削除するときを除いて、その他の予定も削除するかどうかの確認画面が表示されます。削除するときは、次の操作を行います。

⏜（Yes）

■ 削除しない：⏝（No）

予定リスト

期限の決まった予定（用件）を登録して、リストで管理します。（予定リスト）

●処理した用件は、処理済チェックを付けて管理できます。

●予定リストは、カレンダーの予定（☞P.12-2）と合わせて、最大300件まで登録できます。

用件を登録する

メニュー ▶ ツール ▶ 予定リスト

1 「新規作成」を選び、◉を押す。

2 件名を入力し、◉を押す。

●最大16文字以内で、必ず入力してください。

3 期限日を入力し、◉を押す。

4 期限時刻を入力し、◉を押す。

5 *アラームを設定しない*

1「予告アラームなし」を選び、◉を押す。

アラームを設定する

1「期限時刻」～「1日前」のいずれかを選び、◉を押す。

■アラーム日時を指定：「**その他**」選択➡◉➡アラーム通知日付入力➡◉➡アラーム通知時間入力➡◉

6 「内容：」を選び、◉を押す。

7 内容を入力し、◉を押す。

●最大128文字まで入力できます。

●このあと、用件の各種設定（アラーム音選択、シークレット設定など）を行うこともできます。（☞P.12-7）

8 ⏜（保存）を押す。

用件が登録されます。

用件登録の画面

アラーム設定の指定時刻になると

アラーム設定の内容に従って、お知らせします。

●アラーム設定を「**予告アラームなし**」に設定しているときは、何も動作を行いません。

●「**アラーム電源On設定**」（☞P.11-10）を「On」に設定している場合、電源を切っている状態で設定時刻になったときは、自動的に電源が入りアラームが動作します。

アラーム音の停止

■アラーム動作中に次の操作を行います。

⏝（キャンセル）／⓪／CLEAR/BACK

■ 電源Off時：⏜（Yes）（電源Onのまま）／⏝（No）（電源Offに戻る）

■ 上記電源Off時に、約20秒間そのままにしておくと、自動的に電源Offになります。

■ ⏝◉を押しても止められます。（ビューアポジションやクローズポジションのとき）

登録した用件の確認

■アラーム動作中に登録した用件の確認をするとき（電源Offから起動したときを除く）は、次の操作を行います。
㊀（表示）／◉
■ ㊀、📷を押しても確認できます。(ビューアポジションのとき)

補足▶
- 通話中に指定時刻になっても、アラーム音は鳴りません。このときは、通話終了後㊀を押すとアラーム音が鳴ります。
- アラーム動作中に着信があったときは、アラームの動作は終了します。㊀で通話終了後、待受画面に戻りインフォメーションが表示されます。

用件の各種設定

下記の各操作は、用件登録の画面（P.12-6操作７の画面）で行います。

アラーム音	アラーム動作時のアラーム音の種類を設定できます。

お買い上げ時アラーム１

「アラーム：」選択➡◉➡「アラーム音／ムービー：」選択➡◉➡「音選択」選択➡◉➡「固定データ」／「データフォルダ」選択➡◉➡アラーム音選択➡㊀（メニュー）➡「決定」選択➡◉➡㊀（戻る）➡用件登録の画面（P.12-6操作７の画面）

- データフォルダ内のデータを設定：アラーム音選択後㊀（メニュー）➡「選択」選択➡◉➡㊀（戻る）➡用件登録の画面（P.12-6操作７の画面）
- 再生：アラーム音選択後㊀（メニュー）➡「再生」選択➡◉

ムービー	アラーム動作時にムービーを流すように設定できます。

「アラーム：」選択➡◉➡「アラーム音／ムービー：」選択➡◉➡「ムービー選択」選択➡◉➡ムービー選択➡◉➡㊀（戻る）➡用件登録の画面（P.12-6操作７の画面）

- 再生：ムービー選択後㊀（メニュー）➡「再生」選択➡◉

鳴動時間	アラームを何秒間鳴らすかを設定します。

お買い上げ時15秒

「アラーム：」選択➡◉➡「鳴動時間：」選択➡◉➡時間選択➡◉➡㊀（戻る）➡用件登録の画面（P.12-6操作７の画面）

- 時間を設定：時間選択時に「その他」選択➡◉➡鳴動時間入力➡◉➡㊀（戻る）➡用件登録の画面（P.12-6操作７の画面）

シークレット設定	用件をシークレットデータに設定します。

お買い上げ時Off

「シークレット設定：」選択➡◉➡「On」選択➡◉➡用件登録の画面（P.12-6操作７の画面）

- シークレットデータは、シークレットモード（☞P.11-14）を設定しないと確認できません。
- シークレット設定を解除するときは、シークレットモードを設定したあと、用件の編集（☞P.12-8）を行います。（上記操作の「On」のかわりに「Off」を選びます。）

用件を確認する

メニュー ▶ ツール ➡ 予定リスト

1 ㊀で「📋」（全件）、「📋」（処理済）、「📋」（未処理）のいずれかを選ぶ。
- 「処理済」はチェック済の用件が、「未処理」は未チェックの用件が表示されます。

2 用件を選び、◉を押す。
- 処理済チェック：◉（☑）
  ■ チェックの解除：◉（☐）
- 予定をメール送信：㊀（メニュー）➡「送信」選択➡◉➡「メール」選択➡◉➡メール作成／送信（☞P.15-7）

3 確認を終了するときは、⊖（戻る）を押す。

> **用件の件数確認**
>
> ■用件の件数を確認するときは、次の操作を行います。
> ◉➡「ツール」選択➡◉➡「予定リスト」選択➡◉➡⊖（メニュー）➡「メモリ確認」選択➡◉

用件を編集する

メニュー ▶ ツール ➡ 予定リスト ➡ 編集する用件を選ぶ

1 ⊖（メニュー）を押す。

2「編集」を選び、◉を押す。

3 変更する項目を選び、◉を押す。

●編集方法は、登録時と同様です。

4 編集が終われば、⊖（保存）を押す。

用件を削除する

1 件削除	用件を 1 件ずつ削除します。

メニュー ▶ ツール ➡ 予定リスト

削除する用件選択➡⊖（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡「1 件」選択➡◉➡⊖（Yes）

全処理済削除	処理が終わっている用件をすべて削除します。

メニュー ▶ ツール ➡ 予定リスト

⊖（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡「処理済」選択➡◉➡⊖（Yes）

●処理済データがないときは、「**処理済**」は表示されません。

全件削除	すべての用件を削除します。

メニュー ▶ ツール ➡ 予定リスト

⊖（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡「全件」選択➡◉➡⊖（Yes）

アラーム

アラームを設定する

あらかじめ指定した時刻にアラームを鳴らしお知らせします。毎日または、指定した曜日にだけアラームを鳴らすこともできます。

●最大 5 件まで登録できます。

メニュー ▶ ツール ➡ アラーム

1 登録先を選び、◉を押す。

2 アラームの時刻を入力し、◉を押す。

●このあと、アラームの各種設定（アラーム音選択、スヌーズ設定など）を行うこともできます。（☞P.12-10）

アラーム登録の画面

3「リピート：」を選び、◉を押す。

4 ***毎日アラームを鳴らす***

1「毎日」を選び、◉を押す。

指定した曜日にアラームを鳴らす

1「曜日指定」を選び、◉を押す。

■曜日をすべて選択：⊖（メニュー）➡「全選択」選択➡◉

2 曜日を選び、◉を押す。

曜日が指定され、「☑」が表示されます。

●すでに指定されている曜日を選び、◉を押すと、指定が解除されます。

3 2をくり返し、必要な曜日を指定する。

4 指定が終われば、(保存)を押す。

一日だけアラームを鳴らす

1「1回のみ」を選び、を押す。

5 (保存)を押す。

アラームが設定されます。

- 続けて他の時刻にアラームを設定するときは、操作1～5をくり返します。

6 設定を終わるときは、を押す。

待受画面に戻り、「」が表示されます。

アラームの設定時刻になると

アラーム設定の内容に従って、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

- 「**アラーム電源On設定**」(☞P.11-10)を「On」に設定している場合、電源を切っている状態で設定時刻になったときは、自動的に電源が入りアラームが動作します。ただし、完全に電源が切れていない状態でアラーム設定時刻になったときは、アラームは動作しません。完全に電源が切れてから、2分以内にアラームは動作します。
- 画面ピクチャーを設定しているときは、設定している画像が表示されます。また、画像付きSMAFファイルをアラーム音に設定しているときは、SMAFファイルの画像が優先して表示されます。

アラーム音の停止

■アラーム動作中に次の操作を行います。

(**キャンセル**)／／CLEAR/BACK

- ■ 電源Off時：(Yes)(電源Onのまま)／(No)(電源Offに戻る)
- ■ 上記電源Off時に、約20秒間そのままにしておくと、自動的に電源Offになります。
- ■ を押しても止められます。(ビューアポジションやクローズポジションのとき)

スヌーズ(☞P.12-10)を設定すると

■設定したスヌーズ間隔で、くり返しアラームが鳴ります。スヌーズを解除するときは、アラーム動作中に次の操作を行います。

(**キャンセル**)／／CLEAR/BACK➡(Yes)

- ■ 電源Off時：電源On／Off確認画面表示➡(Yes)(電源Onのまま)／(No)(電源Offに戻る)
- ■ を押したあと、(Yes)を押しても解除できます。(ビューアポジションのとき)

- 電源On／Off確認画面で別のアラームの設定時刻になったときは、別のアラームが動作します。
- 着信があったときは、電話を受けることができます。(電源Offからのアラーム起動時では、電話は受けられません。)通話終了後を押すと、スヌーズ待機状態に戻ります。
- スヌーズを解除する前に別のアラームの設定時刻になったときは、スヌーズ解除後に別のアラームが動作します。
- スヌーズ開始から60分経過すると、スヌーズは自動的に解除されます。

補足▶

- 通話中にアラーム設定時刻になっても、アラーム音は鳴りません。このときは、通話終了後を押すとアラーム音が鳴ります。
- マナーモードに設定したときの音量は、マナーモードの設定内容に従います。(お買い上げ時は「**サイレント**」)
- 自動電源Onの設定時刻とアラームの設定時刻が同じときは、通常起動後にアラームが動作します。
- 「**PIN On／Off設定**」を「On」にしている場合、「**アラーム音／ムービー**」を「**固定データ**」以外で設定しているとき、電源Off状態から起動するアラームの鳴動音は「**アラーム1**」となります。
- アラーム設定をしたあとで電池パックを抜くと、電源Offからのアラームが起動しないことがあります。そのときは、一度電源を入れて電源を切り直してください。

アラームの各種設定

下記の各操作は、アラーム登録の画面（P.12-8操作２の画面）で行います。

アラーム音 アラーム動作時のアラーム音の種類を設定できます。

お買い上げ時アラーム１

「アラーム音／ムービー：」選択➡◉➡「音選択」選択➡◉➡「固定データ」／「データフォルダ」選択➡◉➡アラーム音選択➡㋱（メニュー）➡「決定」選択➡◉➡アラーム登録の画面（P.12-8操作２の画面）

- データフォルダ内のデータを設定：アラーム音選択後㋱（メニュー）➡「選択」選択➡◉➡アラーム登録の画面（P.12-8操作２の画面）
- 再生：アラーム音選択後㋱（メニュー）➡「再生」選択➡◉

ムービー アラーム動作時にムービーを流すように設定できます。

「アラーム音／ムービー：」選択➡◉➡「ムービー選択」選択➡◉➡ムービー選択➡◉➡アラーム登録の画面（P.12-8操作２の画面）

- 再生：ムービー選択後㋱（メニュー）➡「再生」選択➡◉

スヌーズ設定 アラーム動作後、一定の間隔でアラームをくり返し鳴らします。

お買い上げ時５分毎

「スヌーズ設定：」選択➡◉➡くり返す間隔選択➡◉➡アラーム登録の画面（P.12-8操作２の画面）

- 間隔を設定：間隔選択時に「その他」選択➡◉➡間隔入力➡◉➡アラーム登録の画面（P.12-8操作２の画面）

アラーム音量 アラーム動作時のアラーム音の音量を７段階で調節します。

お買い上げ時音量５

「アラーム音量：」選択➡◉➡✣（音量選択）➡◉➡アラーム登録の画面（P.12-8操作２の画面）

鳴動時間 アラームを何秒間鳴らすかを設定します。

お買い上げ時10秒

「鳴動時間：」選択➡◉➡時間選択➡◉➡アラーム登録の画面（P.12-8操作２の画面）

- 時間を設定：時間選択時に「その他」選択➡◉➡鳴動時間入力➡◉➡アラーム登録の画面（P.12-8操作２の画面）

バイブ設定 バイブレータでお知らせするように設定します。

お買い上げ時On

「バイブ：」選択➡◉➡「On」／「音連動」／「Off」選択➡◉➡アラーム登録の画面（P.12-8操作２の画面）

- 「音連動」については、P.11-3「バイブ」を参照してください。

アラームを解除する／再設定する

アラーム解除 設定したアラームを解除します。

メニュー ▶ ツール ➡ アラーム

アラーム選択➡㋱（メニュー）➡「アラームOff」選択➡◉

- アラームが解除され「🔔」が消えます。
- 解除しても登録内容は消えません。同じ内容でアラームを動作するときは、アラームの再設定を行ってください。

ツール 12

アラーム再設定	解除したアラームを同じ内容で再設定します。また、一部を変更して設定もできます。

メニュー ▶ ツール ▶ アラーム

アラーム選択➡㊀（メニュー）➡「アラームOn」選択➡◉

■ 一部を変更して再設定：㊀（メニュー）➡「選択」選択➡◉➡設定編集

■ 編集方法は、登録時と同様です。

アラームを削除する

1件削除	アラームを1件ずつ削除します。

メニュー ▶ ツール ▶ アラーム

アラーム選択➡㊀（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡㊀（Yes）

全件削除	設定したすべてのアラームを削除します。

メニュー ▶ ツール ▶ アラーム

「全件削除」選択➡◉➡㊀（Yes）

自動電源On

電源Offにしているときに、設定した時刻になると自動的に電源を入れられます。

- お買い上げ時には、「Off」に設定されています。

メニュー ▶ ツール ▶ 自動電源On ▶ On／Off設定

1 「On」を選び、◉を押す。

■ 自動電源Onの解除：「Off」選択➡◉

2 「時刻設定」を選び、◉を押す。

3 開始時刻を入力し、◉を押す。

注意▶ アラーム動作中やアラーム動作中のスヌーズを解除する前に、自動電源Onの設定時刻になっても自動的に電源は入りません。スヌーズを設定している場合はスヌーズ解除後に、スヌーズを設定していない場合はアラーム動作終了後に自動的に電源が入ります。

補足▶ 自動電源Onの設定をしたあとで電池パックを抜くと、自動的に電源が入らないことがあります。そのときは、一度電源を入れて電源を切り直してください。

世界時計

世界各国の都市の時刻が表示できます。

- 903SHには、あらかじめいくつかの世界各国の都市の時刻情報が登録されています。
- 世界時計を起動すると、世界各国の都市の時刻とともに、普段お使いの地域の時刻も表示されます。
- 世界時計は、待受画面に表示することもできます。
- お買い上げ時には、世界各国の都市や普段お使いの地域は、ともに「東京」に設定されています。

世界時計を設定する

- 世界各国の地域は、普段お使いの地域の時刻との時差と地域名を入力して、追加することもできます。
- サマータイムの設定をすると、設定した世界各国の地域の時刻が、1時間進んだ状態で表示されます。

メニュー ▶ ツール ▶ 世界時計 ▶ 編集（㊀）

1 ***世界各国の地域を設定する***

1「タイムゾーン設定」を選び、◉を押す。

2 ◎で地域を選び、◉を押す。

■ 世界各国の地域の追加：設定画面で㊀（メニュー）➡「オリジナルゾーン設定」選択➡◉➡都市名入力➡◉➡◎（＋）／◎（－）➡時差入力➡◉

サマータイムを設定する

1「サマータイム設定」を選び、◉を押す。
2「On」を選び、◉を押す。
■ サマータイムの解除：「Off」選択➡◉

世界時計を表示する

メニュー ▶ ツール

1「世界時計」を選び、◉を押す。

（例） 普段お使いの地域が「東京」、世界各国の地域が「ローマ」のとき

補足▶
- 普段お使いの地域は変更できます。（☞P.11-9）
- 待受画面に世界時計を表示させるためには、時計表示形式を、「**世界時計**」に設定する必要があります。（☞P.11-10）

簡易電卓

12ケタまでの四則演算やパーセント計算が行えます。
- 国内通貨と海外通貨の換算が行えます。
- 簡易電卓の機能は、次のボタンに割り当てられています。

＋（足す）	◎(左)	CM（クリアメモリ）	㊀※
－（引く）	◎(右)	RM（メモリ呼出）	㊀※
×（掛ける）	◎(上)	M＋（メモリ加算）	㊀※
÷（割る）	◎(下)	．（小数点）	＊
＝（イコール）	◉	＋/－（符号反転）	＃
C・CE（クリア）	CLEAR/BACK	％（パーセント）	㊂

※㊀（メニュー）を押したあとに、メニュー項目から選択してください。

メニュー ▶ ツール

1「簡易電卓」を選び、◉を押す。
簡易電卓の画面が表示されます。
- ダイヤルボタンで数字を入力し、左記の各ボタンを使って計算を行います。

■ 計算結果のコピー：計算結果表示中に㊀（メニュー）➡「コピー」選択➡◉

2 簡易電卓を終わるときは、㊂を押す。

補足▶
- 計算中に着信があったときは、入力した数値や計算結果は消去されます。ただし、メモリに記憶した数値は消去されません。
- メモリ計算は、メモリ内容を消去してから始めてください。
- メモリに記憶した数値は簡易電卓を終了しても消去されません。電源を切ると消去されます。

通貨換算

■国内と海外の換算レートを設定するときは、簡易電卓の画面で次の操作を行います。お買い上げ時には、「1 ： 1」に設定されています。

㊀（メニュー）➡「換算」選択➡◉➡「レート設定」選択➡◉➡「国内通貨」／「海外通貨」選択➡◉➡換算レート入力➡◉

■国内通貨と海外通貨を換算するときは、数字を入力したあと、次の操作を行います。

㊀（メニュー）➡「換算」選択➡◉➡「国内通貨に換算」／「海外通貨に換算」選択➡◉

- 換算は、あらかじめ設定している換算レートに従って行われます。

ツール 12

ボイスレコーダー

903SHのマイクを利用して、音声を録音します。

●録音できる音声の種類と録音した音声の登録先は次のとおりです。

音声	内容	登録先
メール添付	録音した音声は、メールに添付して送信できます。	903SHまたはメモリカード
長時間録音	最長99時間59分59秒まで録音できます。	メモリカード

●ご利用の前に、電池残量をご確認ください。電池レベル表示が「▭」では録音できません。また、長時間録音で録音中に電池レベル表示が「▭」になると、録音は中止されます。

●通話中にボイスレコーダーを利用して、音声を録音することはできません。

●外部マイクとして利用できないプラグなどを接続すると、正しく録音できないことがあります。

音声を録音する

メニュー ▶ ツール

1 「ボイスレコーダー」を選び、◉を押す。

■登録先の変更：☞P.12-14

2 *「メール添付」で録音する*

1 ㊀（メニュー）を押す。

2 「録音時間」を選び、◉を押す。

3 「メール添付」を選び、◉を押す。

4 ◉を押す。

録音が始まります。

「長時間録音」で録音する

1 ㊀（メニュー）を押す。

2 「録音時間」を選び、◉を押す。

3 「長時間録音」を選び、◉を押す。

4 ◉を押す。

録音が始まります。

3 *「メール添付」での録音時*

1 録音を止めるときは、◉を押す。

●録音可能時間が経過したときは、自動的に終了します。

■音声の再生：「再生」選択➡◉

- 再生の一時停止：再生中に㊀（停止）
- 再生を終了：㊁（戻る）

■録音のやり直し：㊁（キャンセル）➡操作2へ

■音声をメールに添付して送信：「メール送信」選択➡◉➡メール作成／送信（☞P.15-7）

- 保存先設定が「毎回確認」時：「本体」／「メモリカード」選択➡◉

2 登録するときは、「保存」を選び、◉を押す。

録音した音声が903SHまたはメモリカードに保存されます。

■保存先設定が「毎回確認」時：「本体」／「メモリカード」選択➡◉

■録音の再開：◉

- 録音を再開して登録したときは、別のファイルとして保存されます。

「長時間録音」での録音時

1 録音を止めるときは、◉を押す。

録音した音声がメモリカードに保存されます。

■録音の再開：◉

- 録音を再開して登録したときは、別のファイルとして保存されます。

注意▶
- 録音中は、903SHに衝撃を与えないでください。雑音や音とびの原因となります。
- メモリカードに音声ファイルが大量に保存されているときは、録音開始までにしばらく時間がかかることがあります。

補足▶
- 録音中は、アラームの設定時刻になっても、アラームは動作せず録音が継続されます。録音終了後、ボイスレコーダーを終了するとアラームが動作します。
- メール作成画面からボイスレコーダーを起動して録音したり、録音した音声をメールに添付して送信できます。（☞P.15-9）

音声を再生する

●再生音は、903SHのスピーカーから聞こえます。
●再生音は、ステレオイヤホンマイクを利用して聞くこともできます。（☞P.7-7）

メニュー ▶ ツール ➡ ボイスレコーダー

1 ㊀（メニュー）を押す。

2「データフォルダ」を選び、◉を押す。

■903SH／メモリカードの切替：◎

3 音声ファイルを選び、◉を押す。

再生が始まります。

■音量の調節：◎（上げる）／◎（下げる）

タイトルの変更

■903SHで録音した音声ファイルには、自動的に録音日時のタイトルが付きます。タイトルを変更するときは、次の操作を行います。
◉➡「ツール」選択➡◉➡「ボイスレコーダー」選択➡◉➡㊀（メニュー）➡「データフォルダ」選択➡◉➡ファイル選択➡㊀（メニュー）➡「ファイル名変更」選択➡◉➡ファイル名入力➡◉➡㊀（OK）

再生中に電話／メールなどの着信があると

■再生中に電話着信があったときや、アラームの設定時刻になったときは、再生は停止します。
- メール着信があったときは、再生は継続したまま、アイコンが表示されます。

音声録音に関する設定

保存先設定	「メール添付」で録音した音声の保存先を、903SH（本体）またはメモリカードに設定します。

お買い上げ時 本体

メニュー ▶ ツール ➡ ボイスレコーダー

㊀（メニュー）➡「保存先設定」選択➡◉➡「本体」／「メモリカード」／「毎回確認」選択➡◉

●「毎回確認」を選ぶと、録音後に保存先を選択することができます。

バーコード読み取り

印刷されたバーコードをカメラで撮影して読み取ったり、Vodafone live!などで入手したバーコードの画像ファイルを直接読み取れます。

- バーコード（JANコード）、QRコードのいずれかを自動的に判別し、読み取ることができます。
- バーコード（JANコード）を最大50回まで、QRコードを最大16回まで連続して読み取ることができます。
  （連続モード：☞P.12-16）
  ただし、データ内容やデータサイズによっては、連続して読み取りできないことがあります。
- フォーカスロックすると、自動的にフォーカスを合わせたあと、バーコードを読み取りできます。また、マニュアルで自由にフォーカス位置を設定できます。
- ズームは利用できません。

補足▶

- JANコードとは幅の異なるバーとスペースを組み合わせた一次元コードの種類です。
  （ただし、JANコード以外の一次元バーコード（ITFコード、Code39、Codabar/NW-7など）は、読み取ることができません。）
- QRコードとは縦横に情報を持った二次元コードの種類です。

▶ ツール ➡ バーコード／OCR ➡ バーコードリーダー

1 読み取るバーコードを画面中央に表示する。

- 被写体との距離は、約10cm程度離してください。
- フォーカスロック（☞P.6-7）を行って、バーコードを読み取ることや、マニュアルでフォーカス位置を設定することもできます。（☞P.12-16）

■ ピントの自動調整：Ⓐ
■ 明るさ調整：2
■ フォーカスモード切替：3
■ モバイルライト利用：#

2 ◉を押す。

バーコードの読み取りが開始されます。

- 読み取りにくいときは、903SHをゆっくりと前後に動かして被写体との距離を変えてください。

■ 読み取りの中止：㊀（**キャンセル**）➡操作１へ

3 読み取りが終了すると、認識完了音が鳴り、読み取り結果が表示される。

■ 読み取り結果を利用した各操作：☞P.12-16
■ 読み取りのやり直し：読み取り結果表示中に㊀（**戻る**）➡㊀（Yes）➡操作１へ

注意▶

- 903SHの温度が高いときは、確認メッセージが表示され、バーコード読み取りは起動できません。また、読み取り中に温度が高くなったときは、確認メッセージが表示されたあと、読み取りは自動的に終了します。
- バーコードが汚れていたり、かすれていたり、薄いときなどは、読み取れないことがあります。
- 室内などでバーコードを読み取る場合、体の一部や903SHの影がバーコードにかかっているときは、読み取れないことがあります。このようなときは、モバイルライトを利用されることをおすすめします。
- 画面内に複数のバーコードを表示すると、読み取れないことがあります。

連続モードでの読み取り後の操作

■読み取りが終了すると、連続して読み取るかどうかの確認画面が表示されます。

- 連続して読み取るとき
  ㋾（Yes）➡**次のバーコードを画面中央に表示する**➡◉
- 読み取りを終了するとき
  ㋹（No）➡**読み取り結果表示**

分割されているバーコードのとき

■読み取りが終了すると、次のバーコードを読み取るかどうかの確認画面が表示されます。

- 読み取るとき
  ㋾（Yes）➡**次のバーコードを画面中央に表示する**➡◉
- 読み取りを中止するとき
  ㋹（No）➡**情報破棄の確認画面表示**➡㋾（Yes）

■分割個数分のバーコードをすべて読み込まないと、表示／保存できません。

■読み取り中は、分割されている個数と、読み取り済の個数が画面1行目に表示されます。（例：🗐…4分割の1個目）

読み取り画面でできること

■フォーカスの設定
㋾（**メニュー**）➡「**フォーカス**」**選択**➡◉➡「**オートフォーカス**」／「**接写**」／「**マニュアル**」**選択**➡◉

- フォーカスについて詳しくは、☞P.6-17を参照してください。

■連続して読み取り
㋾（**メニュー**）➡「**連続読み取り**」**選択**➡◉➡「**On**」／「**Off**」**選択**➡◉

■読み取りモードの切替（文字読み取り利用時）
㋾（**メニュー**）➡「**反転モード切替**」**選択**➡◉➡「**自動**」／「**通常文字**」／「**反転文字**」**選択**➡◉

■モバイルライトの利用
㋾（**メニュー**）➡「**モバイルライト**」**選択**➡◉➡「**On**」／「**Off**」**選択**➡◉

■明るさの調整
㋾（**メニュー**）➡「**明るさ調整**」**選択**➡Ⓠ（**暗**）／Ⓠ（**明**）

■ガイド機能
㋾（**メニュー**）➡「**ヘルプ**」**選択**➡◉

■読み取り結果を利用した各操作

操作	手順
電話をかける※1	「TEL:」の付いている番号※2を選択➡◉➡電話番号入力画面➡Ⓢ
メール送信する※3	「@」の含まれているE-mailアドレスを選択➡◉➡メール作成画面表示（以降の操作：☞P.15-7）

ツール

12

メール本文に貼り付ける		㋱（**メニュー**）➡「**メール本文へ貼付**」選択➡◉➡編集確認画面➡◉ 読み取った文字の利用：読み取り結果確認画面で㋱（**メニュー**）➡「**メール本文へ貼付**」選択➡◉➡編集確認画面➡㋱（**メニュー**）➡「**カット**」選択➡◉➡最初の文字にカーソル移動➡◉➡切り出す最後の文字にカーソル移動➡◉（以降の操作：☞P.15-7）
電話帳に登録する※1、※3		「TEL:」の付いている番号※2／「@」の含まれているE-mailアドレスを選択➡㋱（**メニュー**）➡「**電話帳登録**」選択➡◉（以降の操作：☞P.4-4）
インターネットに接続する※4		先頭に「http://」「rtsp://」の付いているURLを選択➡◉（情報画面表示）
データフォルダに登録する（画像／メロディ）		画像／メロディ選択➡㋱（**メニュー**）➡「**保存**」選択➡◉
登録する		㋱（**メニュー**）➡「**読み取りデータ登録**」選択➡◉ ● 登録できるのは最大10件までです。
コピーする	文字	㋱（**メニュー**）➡「**コピー**」選択➡◉➡コピーする最初の文字にカーソル移動➡◉➡コピーする最後の文字にカーソル移動➡◉
	URL※4	先頭に「http://」「rtsp://」の付いているURLを選択➡㋱（**メニュー**）➡「**URLコピー**」選択➡◉
	E-mailアドレス※3	「@」の含まれているE-mailアドレスを選択➡㋱（**メニュー**）➡「**アドレスコピー**」選択➡◉
	電話番号※1	「TEL：」の付いている番号を選択※2➡㋱（**メニュー**）➡「**電話番号コピー**」選択➡◉

画面ピクチャーに登録する	画像選択➡㋱（**メニュー**）➡「**画面ピクチャー登録**」選択➡◉➡表示場面選択➡◉➡◉
壁紙に登録する	画像選択➡㋱（**メニュー**）➡「**壁紙登録**」選択➡◉➡◉
画像／メロディを表示／再生する	画像／メロディ選択➡◉
ファイルの詳細情報を表示する	画像／メロディ選択➡㋱（**メニュー**）➡「**プロパティ**」選択➡◉

※1 含まれている文字が「TEL:¥」のときに利用できます。
※2 0から始まる10ケタ以上32ケタ以下の数字の文字列についても、「TEL:」と同様の扱いになります。
※3 含まれている文字が「¥@¥」のときに利用できます。
※4 含まれている文字が「http://¥」「rtsp://¥」のときに利用できます。

●「¥」は英数字1文字以上を示します。

注意▶ 先頭に「TEL:」の付いている電話番号（0から始まる10ケタ以上32ケタ以下の数字の文字列についても同様）、「@」が含まれているE-mailアドレス、先頭に「http://」や「rtsp://」の付いているURLがないときは、それらを利用した各操作は行えません。

補足▶ 読み取り結果に「MEMORY:」や「MAILTO:」が含まれているとき、電話帳（「MEMORY:」）やメール（「MAILTO:」）用の項目と内容が表示されます。
このあと◉を押すと、表示されている内容を電話帳登録画面やメール送信画面にまとめて入力することができます。まとめて入力できるものには破線のアンダーラインが付きます。（ただし、文字列の中に規定以外の文字があったときは、その文字以降は破線のアンダーラインは付きません。）

文字入力中の読み取り	文字入力中にバーコードを読み取り、読み取り結果をカーソル位置に挿入します。

文字入力画面で㋱(メニュー)➡「読み取り」選択➡◉➡「バーコード読み取り」選択➡◉➡バーコードを画面中央に表示➡◉➡◉

注意▶
- 次のときは、文字入力中のバーコード読み取り/文字読み取りはできません。
  - ■ 通話中
  - ■ 電子ブック使用中
  - ■ Vアプリ起動中
  - ■ ストリーミングURL入力画面

バーコードピクチャーファイルの読み取り	データフォルダ内のバーコードピクチャーファイルを直接読み取ります。

メニュー ▶ ツール ➡ バーコード/OCR ➡ データフォルダ

バーコードファイル選択➡◉

- 分割バーコード読み取り時:㋱(Yes)
  - ■ 読み取り中止:㋫(No)➡情報破棄確認画面➡㋱(Yes)
- 自動読み取り失敗時:次のバーコードファイル選択➡◉

注意▶
- サイズを変更したバーコードは、読み取りできないことがあります。
- バーコードの種類によっては、確認メッセージが表示され、読み取りできないことがあります。

読み取りデータ確認	登録した読み取り結果(読み取りデータ)を確認します。

メニュー ▶ ツール ➡ バーコード/OCR ➡ 読み取りデータ確認

読み取りデータ選択➡◉

- 表示した読み取り結果を、再び登録することはできません。
- 表示サイズが大きすぎると表示されません。また、ファイルによっては表示できないことがあります。

バーコード作成

903SHの電話帳、入力したテキスト、データフォルダ内のメロディ/画像/定型文を利用して、バーコードを作成できます。

- 1つのバーコードに登録できる文字数の目安は、数字だけを入力したときは513文字、漢字だけを入力したときは131文字となります。
- 情報量が多いときは、自動的に分割バーコードが表示されます。(16分割まで)
- 作成したバーコードは、903SHのピクチャーフォルダに登録されます。

電話帳データのバーコード作成	登録済の電話帳を利用して、バーコードを作成します。

メニュー ▶ ツール ➡ バーコード/OCR ➡ QRコード作成

「電話帳」選択➡◉➡電話帳選択➡◉➡作成されたバーコード表示➡㋱(メニュー)➡「保存」選択➡◉

- バーコードには、姓、名、ヨミ、電話番号、E-mailアドレス、メモが含まれます。その他の項目は含まれません。

テキストのバーコード作成	テキストを入力して、バーコードを作成します。

メニュー ▶ ツール ➡ バーコード/OCR ➡ QRコード作成

「テキスト」選択➡◉➡テキスト入力➡◉➡作成されたバーコード表示➡㋱(メニュー)➡「保存」選択➡◉

その他のバーコード作成	データフォルダ内のメロディ/画像/定型文を利用して、バーコードを作成します。

メニュー ▶ ツール ➡ バーコード/OCR ➡ QRコード作成

「データフォルダ」選択➡◉➡フォルダ選択➡◉➡メロディ/画像/定型文選択➡◉➡作成されたバーコード表示➡㋱(メニュー)➡「保存」選択➡◉

登録先の変更

■作成されたバーコードが表示されたあとで、次の操作を行います。

㋟（メニュー）➡「登録先変更」選択➡◉➡「本体」／「メモリカード」選択➡◉

MMSに添付して送信

■作成されたバーコードが表示されたあとで、次の操作を行います。

㋟（メニュー）➡「メール添付」選択➡◉（以降の操作：☞P.15-7）

バーコード作成中に着信があると

■作成中の内容は保存されています。通話終了後、バーコード作成画面に戻ります。

文字読み取り

URL、E-mailアドレス、電話番号、単語などをカメラで撮影し、読み取ります。また、読み取ったあとに、種類に応じた操作も行えます。

- 一度に読み取り可能な文字数は最大半角60文字まで、行数は3行までです。ただし、35文字を越えると、読み取りにくいことがあります。
- 最大256文字まで読み取ることができます。
- 一部記号などで読み取ることができない場合があります。
- フォーカスロックすると、自動的にフォーカスを合わせたあと、文字を読み取りできます。また、マニュアルで自由にフォーカス位置を設定できます。
- ズームは利用できません。

注意▶
- 音楽再生中やVアプリ起動中には、文字読み取りは行えません。文字読み取りを起動すると、終了確認画面が表示されますので、㋟（Yes）を押し、それぞれの機能を終了させてください。
- 903SHの温度が高いときは、確認メッセージが表示され、文字読み取りは起動できません。また、読み取り中に温度が高くなったときは、確認メッセージが表示されたあと、読み取りは自動的に終了します。

メニュー▶ ツール ➡ バーコード／OCR ➡ 文字読み取り

1 読み取る文字を、画面中央に表示する。

ピント調整バー（色が濃くなるほどピントが合います）

- 画面内の〔〕枠中央に入るように調整してください。
  〔〕の端の文字は読み取りにくいことがあります。
- 文字読み取りの起動時には、反転モードは「**自動**」に設定されています。白抜きの文字など、うまく読み取れないときは、反転モードを切り替えてください。
- フォーカスの接写モードで読み取りにくいときは、フォーカスを切り替えてください。
- フォーカスロック（☞P.6-7）を行って、文字を読み取ることや、マニュアルでフォーカス位置を設定することもできます。（☞P.6-17）
- 被写体との距離は、約10cm程度離してください。

■ ピントの自動調整：㋔
■ 明るさ調整：2
■ フォーカスモード切替：3
■ モバイルライト利用：#

ツール 12

2 ◉を押す。

文字の読み取りが開始されます。

■読み取りの中止：CLEAR/BACK➡操作1へ

3 ◎で読み取る行を指定し、◉を押す。

●文字の読み取りは、1行単位で行います。

4 読み取りが終了すると、読み取り結果が表示される。

読み取った文字を自動的に判別し、URL、E-mailアドレス、電話番号、単語などで表示します。種類が異なっているときは種類を変更し、再認識することができます。

●読み取り可能文字数を超えたときは、文字数をカットしたあとの読み取りデータが表示されます。

■読み取りの種類変更：◯（**メニュー**）➡「**モード切替**」選択➡◉➡切り替える種類選択➡◉
（切り替えた種類により、読み取り結果や変換候補で表示される内容が変わります。）

■読み取り結果修正：◯（**メニュー**）➡「**候補選択（編集）**」選択➡◉➡修正する文字にカーソル移動➡候補選択／文字入力

■読み取りのやり直し：◯（**戻る**）➡◯（Yes）➡操作1へ

5 ◉を押す。

●このあと、下表のとおり利用できます。

URL	ウェブアクセス、コピー
Eメールアドレス	メール送信、電話帳登録、コピー
電話番号	電話をかける、電話帳登録、コピー
単語	コピー

■読み取り画面でできること：☞P.12-16
■読み取り結果を利用した各種操作：☞P.12-16

補足▶ ●続けて読み取るときは、次の操作を行います。
◯（**メニュー**）➡「**続き読み取り**」／「**追加読み取り**」選択➡◉

■続き読み取り
改行をカットしたデータを、前回読み取った結果の末尾に追加します。（前に読み取ったものと同じ種類で読み取ります。）

■追加読み取り
改行も含むデータを、前回読み取った結果の次行に追加します。

●すでに256文字を読み取り済のときは、「**続き読み取り**」または「**追加読み取り**」は行えません。

文字入力中の読み取り	文字入力中に文字を読み取り、読み取り結果をカーソル位置に挿入します。

文字入力画面で◯（メニュー）➡「読み取り」選択➡◉➡「文字読み取り」選択➡◉➡文字を画面中央に表示➡◉➡読み込んだ文字選択➡◉➡◉

ストップウォッチ

最長24時間（23時間59分59.9秒）まで、1/10秒単位で時間（タイム）を計測できます。

計測中に途中までの所要時間（ラップタイム）も記録できます。

●計測したタイムは、最新の4件までのラップタイムと合わせて、903SHの定型文に登録できます。

●電池レベル表示が「▭」のときは、計測できません。

メニュー ▶ ツール ▶ ストップウォッチ

1 ◉を押す。

タイムの計測が始まります。

■ラップタイムの記録：⊖（LAP）

■ラップタイムは、最新の4件まで保持されます。ストップウォッチを終了すると、すべて消去されます。

2 止めるときは、もう一度◉を押す。

■定型文登録：⊖（**メニュー**）➡「**定型文に登録**」選択➡◉

■登録済のタイムは、定型文の操作で確認します。（☞P.9-14）

■再スタート：◉

■計測タイムの消去：⊖（**メニュー**）➡「**リセット**」選択➡◉

3 終わるときは、⊖（戻る）を押す。

■ストップウォッチ動作中／停止中：⊖（**戻る**）➡⊖（Yes）

注意▶ 電池残量が少なくなると、ストップウォッチの動作は中止します。

補足▶
- ストップウォッチを終了すると、計測したデータはすべて消去されます。保存するときは、計測終了後、定型文に登録してください。
- 計測中に着信があったときは、通話中もストップウォッチの動作は継続します。⊙で通話終了後、計測中の画面に戻ります。
- アラーム（☞P.12-8）を設定しているときは、ストップウォッチ終了後に鳴動します。（ストップウォッチ動作中は、お知らせしません。）

キッチンタイマー

設定した時間が経過すると、アラームとランプ（スモールライト）でお知らせします。

- 最長60分まで、1秒単位で設定できます。

メニュー ▶ ツール ▶ キッチンタイマー

1 セットする時間（00分01秒～60分00秒）を入力し、◉を押す。

- 入力を間違えたときは、⊙でカーソルを移動し、入力し直します。◉を押したあとは、下記の「**時間の変更**」の操作を行います。
- 60分（60：00）以上の数字を入力したときは、タイマー起動時の入力画面に戻ります。

■時間の変更：⊖（**メニュー**）➡「**編集**」選択➡◉➡時間入力➡◉

2 ◉を押す。

タイマーのカウントダウンが始まります。

3 止めるときは、もう一度◉を押す。

■再スタート：◉

■タイマーのリセット：⊖（**メニュー**）➡「**リセット**」選択➡◉

4 終わるときは、⊖（戻る）を押したあと、⊖（Yes）を押す。

起動時間になったときの動作

■メッセージが表示され、現在のモードの「**効果音／サウンド再生**」の音量設定に従ってお知らせします。

- アラームを止めるときは、⊖（**キャンセル**）を押します。約60秒間そのままにしておいても止まります。
- マナーモードに設定しているときは、マナーモード設定に従ってお知らせします。
- 着信中や通話中にタイマー起動時間になったときは、通話終了後⊙を押すと、起動時間のお知らせが表示されます。

補足▶
- キッチンタイマー動作中に着信があったときは、通話中も動作は継続します。Ⓞで通話終了後、キッチンタイマー動作中の画面に戻ります。
- アラームを設定しているときは、キッチンタイマー終了後に鳴動します。（キッチンタイマー動作中は、お知らせしません。）

マネー積算メモ

順次入力した金額の合計を自動的に計算します。出張時の経費の計算などに便利です。
- マネー積算メモには最大30件まで金額が入力できます。（合計金額は最大29,999,999.70円まで、１回の入力は最大999,999.99円まで）
- 通話中にマネー積算メモは入力できません。

マネー積算メモ入力 ダイヤルボタンで金額を入力し、明細名を付けて登録できます。

メニュー▶ツール▶マネー積算メモ▶新規入力

金額を入力➡◉➡明細名選択➡◉

■マネー積算メモを簡単に入力：待受画面で金額入力➡文字➡◉➡明細名選択➡◉
- 金額と日時が登録されます。
- 日付時刻設定（☞P.11-9）がされていないときは、日時には「--/--/-- --:--」などが登録されます。

確認 入力したマネー積算メモを確認します。

メニュー▶ツール▶マネー積算メモ

「メモ確認」選択➡◉

■他の金額を確認：Ⓞ
■入力したマネー積算メモの明細名を変更：明細選択➡Ⓞ（メニュー）➡「**明細変更**」選択➡◉➡明細名入力➡◉
- ■最大14文字まで入力できます。
- ■あらかじめ登録されている明細名は変更されません。

■金額変更：明細選択➡Ⓞ（**メニュー**）➡「**金額変更**」選択➡◉➡金額入力➡◉
■明細１件削除：明細選択➡Ⓞ（**メニュー**）➡「**１件削除**」選択➡◉➡Ⓞ（Yes）
■明細全件削除：明細選択➡Ⓞ（**メニュー**）➡「**全件削除**」選択➡◉➡Ⓞ（Yes）

補足▶ マネー積算メモの確認中に着信があったときは、Ⓞで通話終了後、待受画面に戻ります。

明細変更 あらかじめ登録されている明細名を変更します。

メニュー▶ツール▶マネー積算メモ

「明細変更」選択➡◉➡明細名選択➡◉➡明細名入力➡◉

- 最大14文字まで入力できます。

電子ブック

メモリカードに保存されている電子書籍用のデータフォーマット（XMDF形式やText形式）で作成されたデータ（電子ブック）を閲覧できます。

- 電子ブックには通常の「**書籍データ**」と、言葉の意味などを検索できる「**辞書データ**」があります。
- 電子ブックにご利用いただける書籍データや辞書データの入手方法などについては、ブックマークにあらかじめ登録されているシャープオリジナルサイト「Space Town」(☞P.16-6)でご案内しています。
- 書籍データによっては、文字コードを変更することで、多国語で表示できるデータがあります。(☞P.12-24)
- 書籍データによっては、音声や画像が埋め込まれているデータがありますが、903SHではご利用になれないものもあります。
- 次のときは、電子ブックを起動できません。
  - ■ メモリカードシンクロ中
- 一時停止中のVアプリがあるときや音楽を再生しているときは、書籍データは読めません。

書籍データを読む

メニュー ▶ ツール

1 **「電子ブック」を選び、◉を押す。**

電子ブックフォルダ内の書籍データのリスト画面が表示されます。(前回 を押して閲覧を終了していたときは、終了時のページが表示されます。)

■ 電子ブックフォルダ 1 以外のフォルダ内の電子ブックの閲覧：㊀(**メニュー**)➡「**表示フォルダ切替**」選択➡◉➡フォルダ選択➡◉

■ 次回からもここで選択したフォルダが表示されます。

2 **データを選び、◉を押す。**

- 画面上部に表示される「○%」は、現在のページが書籍データ全体の何%ぐらいの位置にあたるかを示しています。

■ パスワードが必要なデータ：パスワード入力➡◉➡閲覧画面へ

■ タイトルや著者などの情報表示：データ選択後㊀(**メニュー**)➡「**プロパティ**」選択➡◉

3 **閲覧を終わるときは、 を押す。**

- 次回電子ブックを起動すると、終了時の書籍データで閲覧されていたページから表示されます。

注意▶
- 次のときは、電子ブックは自動的に終了します。
  - ■ 着信があったとき
  - ■ 発信したとき
  - ■ アラーム設定時刻になったとき
  - ■ 電池残量が少なくなったとき
  - ■ 閲覧中に約５分間操作しなかったとき
  - ■ 閲覧中にメモリカードを取り出したとき
- リスト表示画面では、拡張子が「zbf」、「zbk」、「txt」、「text」のファイルだけが表示されます。
- 改訂データには対応していません。

閲覧画面での基本操作

■横書きか、縦書きかによって操作が異なります。

	横書き	縦書き
◎(上)	上にスクロール（行戻り）	前のページへ（ページ戻し）
◎(下)	下にスクロール（行送り）	次のページへ（ページ送り）
◎(左)	前のページへ（ページ戻し）	左にスクロール（行送り）
◎(右)	次のページへ（ページ送り）	右にスクロール（行戻り）

閲覧画面でできること

■データの先頭や最後に移動

◯（メニュー）➡「先頭へ」／「最後へ」選択➡◉

■先頭からおおよその位置を％で指定して、移動

◯（メニュー）➡「％指定移動」選択➡◉➡位置（00〜99％）入力➡◉

■目次を利用し、読む章を表示（目次に対応した書籍データで利用可能）

◯（メニュー）➡「目次」選択➡◉➡章選択➡◉

■しおりの利用：☞P.12-25

■リンクを戻る／リンクを進む

◯（メニュー）➡「リンクを戻る」／「リンクを進む」選択➡◉

■リスト表示画面に移動

◯（メニュー）➡「リストへ」選択➡◉

■閲覧画面の表示方法

◯（メニュー）➡「表示設定」選択➡◉➡項目選択➡◉➡内容選択➡◉

項目	内容	お買い上げ時の設定
文字サイズ設定	文字サイズを「**小**」、「**やや小**」、「**中**」、「**やや大**」のいずれかに設定します。	中
縦横設定	縦書きと横書きを切り替えて表示します。	縦書き
ルビ表示	ルビを表示するかどうかを設定します。	Off
テキスト文字コード	文字コードを「Shift-JIS」、「Latin-1」、「Latin-9」のいずれかに設定します。	Shift-JIS

●書籍データによっては、上記の表示設定が利用できないことがあります。

情報の利用／文字列のコピー

■書籍データ内に電話番号やE-mailアドレス、URLが入っているとき、これらの情報を利用できます。（電話発信、メール送信、インターネット接続）

情報選択➡◯（メニュー）➡「リンクへ」選択➡◉➡◯（Yes）➡電話発信画面／メール作成画面／インターネット接続画面表示

●データの内容によっては、利用できないことがあります。

■書籍データ内の文字列（最大20文字まで）を、コピーできます。

閲覧画面で◯（メニュー）➡「コピー」選択➡◉➡P.3-13操作３以降

■辞書データ内の辞書見出し画面や検索結果リスト表示画面などはコピーできません。

■ルビ文字や画像などはコピーできません。

マスク情報／ジャンプ情報

■書籍データによっては、特定の文字列や画像を隠す情報（マスク情報）やコンテンツ内の他のページに移動する情報（ジャンプ情報）が埋め込まれていることがあります。

●マスク情報が埋め込まれている部分で◉を押すと、文字列や画像が反転します。再度◉を押すと、文字列または画像が表示されなくなります。

●ジャンプ情報が埋め込まれている部分で◉を押すと、指定されているページに移動します。移動先のページで◯（**戻る**）を押すと、元のページに戻ります。

フォルダ／ファイルの利用

■フォルダの作成

書籍データのリスト画面で㋡（メニュー）➡「フォルダ作成」選択➡◉➡フォルダ名入力➡◉

■フォルダ／ファイル名の変更

書籍データのリスト画面でフォルダ／ファイル選択➡㋡（メニュー）➡「名前変更」選択➡◉➡フォルダ／ファイル名入力➡◉

■フォルダ／ファイルの削除

書籍データのリスト画面でフォルダ／ファイル選択➡㋡（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡㋡（Yes）

■ファイルの移動

書籍データのリスト画面でファイル選択➡㋡（メニュー）➡「移動」選択➡◉➡移動先選択➡◉➡◉

しおりを利用する

読みかけのページにしおりを登録しておけば、次回簡単な操作で続きから閲覧できます。

- しおりは1書籍につき最大2個（最大5書籍）まで登録できます。

1 しおりを登録するページで、㋡（メニュー）を押す。

2「しおりをはさむ」を選び、◉を押す。

3「しおり1」または「しおり2」を選び、◉を押す。

指定したページにしおりが登録されます。

自動しおり

■書籍データの閲覧を終了すると、自動的に最後に表示していたページにしおりが登録されます。（自動しおり1）
次に同じ書籍データの閲覧を行い終了すると、最後に表示していたページが自動しおり1に登録され、前回の自動しおり1は自動しおり2に登録されます。

- 自動しおりは1書籍につき最大2個まで登録され、古いものから順に自動的に消去されます。
- 書籍データの閲覧中に着信があったときも、電子ブックは自動的に終了されます。（上記と同様に、自動しおり1が付きます。）

しおりを登録したページの表示

■閲覧画面で次の操作を行います。

㋡（メニュー）➡「しおりへ」選択➡◉➡「しおり1」／「しおり2」／「自動しおり1」／「自動しおり2」選択➡◉

書籍データ内の画像を利用する

画像の壁紙設定 書籍データ内の画像を壁紙に設定します。

メニュー ▶ ツール ➡ 電子ブック ➡ 書籍データを閲覧する

画像選択➡㋡（メニュー）➡「壁紙登録」選択➡◉➡㋡（OK）

- 画像によっては、壁紙に設定できないものがあります。

画像内情報の利用	画像に埋め込まれた情報を利用します。

メニュー ▶ ツール ➡ 電子ブック ➡ 書籍データを閲覧する

画像選択➡㊀（メニュー）➡「リンクへ」／「マスクの切替」／「動画の実行」選択➡◉

リンクへ	ジャンプ情報では、書籍内の他のページへジャンプします。ウェブへのアクセスやメール送信など、リンク情報を実行するときは、電子ブックの終了確認が表示されます。 （情報の利用／文字列のコピー：☞P.12-24）
マスクの切替	隠された特定の文字列または画像の表示／非表示を切り替えます。
動画の実行	指定のパラパラアニメが動きます。

辞書データを利用する

文字列の検索	辞書データを利用して言葉の意味などが検索できます。

メニュー ▶ ツール ➡ 電子ブック

辞書選択➡◉➡検索文字列の入力欄選択➡◉➡文字列入力➡◉

- 検索結果画面から情報を選び、◉を押すと、辞書データの項目が表示されます。
- 項目画面での操作は、閲覧画面での基本操作（☞P.12-23）を参考にしてください。

ガイド機能

メニュー操作以外の機能の操作方法を表示します。

メニュー ▶ ツール

1 「ガイド機能」を選び、◉を押す。

ガイド機能画面が表示されます。

2 ◎を押す。

別の機能の操作説明が表示されます。

3 確認を終わるときは、㊀（戻る）を押す。

ツール

12

オプションサービス

オプションサービスの概要

ボーダフォンでは、次のオプションサービスが利用できます。

- 電波の届かない場所では、903SHからは操作できません。
- 一般電話からの操作、サービスの詳細については「**3Gガイドブック**」をご覧ください。

転送電話サービス	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します。(☞右記)
留守番電話サービス	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。(☞P.13-4)
割込通話サービス※	通話中の相手を保留にし、他の相手からの電話を受けたり、他の相手へ電話をかけられます。また、相手を切り替えることもできます。(☞P.13-5)
多者通話サービス※	通話中に他の相手に電話をかけ、最大6人同時に通話できます。また、相手を切り替えながら交互に通話できます。(☞P.13-6)
発着信規制サービス	電話をかけたり、電話を受けたりすることを状況にあわせて制限できます。(☞P.13-7)
発信者番号通知サービス	お客様の電話番号を相手に通知したり、非通知にする設定ができます。(☞P.13-10)

※別途お申し込みが必要です。

転送電話サービス

あらかじめ設定した条件（転送条件、着信の種類）に従って、かかってきた電話を別の電話番号に転送します。

- 転送条件は次のものが選択できます。

呼出なし	着信音を鳴らさずに、すべての着信を転送します。
着信／通話中	通話中は自動的に転送します（割込通話サービス解除時）。また、着信中はお客様の操作で転送します。
呼出あり	設定した呼出時間内に電話にでなかったときに転送します。
電源Off／圏外時	電源Off／圏外時の着信をすべて転送します。

- 転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。
- すでに留守番電話サービスを開始されているときに転送電話サービスを開始すると、留守番電話サービスは停止されます。
- 発着信規制サービスの「**全発信規制**」または「**全着信規制**」を設定中は、転送電話サービスはご利用になれません。(発着信規制サービスが優先されます。)

転送電話サービス開始

転送電話サービスを開始します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 留守番・転送電話 ➡ 転送電話

「開始」選択➡◉➡転送条件選択➡◉➡「電話番号入力」選択➡◉➡転送先電話番号入力➡◉➡呼出し時間選択➡◉

- 電話帳の電話番号に転送する：「**開始**」選択➡◉➡転送条件選択➡◉➡電話帳選択➡◉➡◉➡呼出し時間選択➡◉
  - ■ 電話帳に電話番号が複数登録されているときは、電話帳選択のあと、電話番号を選んでください。
- 着信の種類を選択：「**サービス選択**」選択➡◉➡通話の種類選択➡◉➡転送条件選択➡◉➡「**電話番号入力**」選択➡◉➡転送先電話番号入力➡◉➡呼出し時間選択➡◉

- ● 呼出し時間は、転送条件が「**呼出あり**」のときに設定できます。
- ● 一般電話へ転送するときは、電話番号を市外局番から入力してください。

補足▶ 転送電話サービスを903SHの簡易留守録（☞P.2-9）と合わせてご利用になるときは、呼出し時間の設定により、優先順位が変わります。

例：転送電話サービスの呼出し時間…10秒
簡易留守録の呼出し時間………… 9秒

と設定すると、簡易留守録が優先されます。（ただし、電波状況により優先順位が変わることがあります。）

転送先として登録できない電話番号

- ●「1」から始まる電話番号（例：110、119、118など）
- ●「00」から始まる電話番号（例：001、0041から始まる国際電話番号など）
- ●「0120」から始まる電話番号（フリーダイヤル）
- ●「0990」から始まる電話番号（ダイヤルQ2など）

転送電話サービス停止

転送電話サービスを停止します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 留守番・転送電話

転送条件ごとに停止する

「個別停止」選択➡◉➡転送条件選択➡◉

すべての転送設定を消去する

「留守番・転送電話停止」選択➡◉➡⌒（Yes）

- ● すべての転送設定を消去すると、留守番電話サービスの設定も消去されます。
- ● 接続中のメッセージが表示されたあと、停止の確認メッセージが表示されます。

転送電話サービス設定確認

転送電話サービスの設定状況を確認します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 留守番・転送電話 ➡ 設定確認

転送条件選択➡◉➡通話の種類選択➡◉

- ● 設定状況に応じて、確認画面が表示されます。

転送電話サービス開始後に着信があると

■着信音が鳴っている間に◎を押すと、そのまま通話できます。

留守番電話サービス

あらかじめ設定した条件（転送電話サービスと同様：☞P.13-2）に従って、かかってきた電話を留守番電話センターに転送します。

- 留守番電話センターへの転送には、転送電話サービスを利用します。そのため、留守番電話サービスと転送電話サービスを同時に利用することはできません。
- 留守番電話サービスで利用できる機能などの詳細は、「**3G ガイドブック**」をご覧ください。
- すでに転送電話サービスを開始されているときに留守番電話サービスを開始すると、転送電話サービスは停止されます。
- 発着信規制サービスの「**全発信規制**」または「**全着信規制**」を設定中は、転送電話サービスはご利用になれません。（発着信規制サービスが優先されます。）

留守番電話サービス開始 留守番電話サービスを開始します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 留守番・転送電話 ➡ 留守番電話

「開始」選択➡◉➡転送条件選択➡◉➡呼出し時間選択➡◉

- 接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。
- 呼出し時間は、転送条件が「**呼出あり**」のときに設定できます。

留守番電話サービス開始後に着信があると

■着信音が鳴っている間にⓐを押すと、そのまま通話できます。

補足▶ 留守番電話サービスを903SHの簡易留守録（☞P.2-9）と合わせてご利用になるときは、呼出し時間の設定により、優先順位が変わります。

例：**留守番電話サービスの呼出し時間…10秒**
簡易留守録の呼出し時間……………9秒

と設定すると、簡易留守録が優先されます。（ただし、電波状況により優先順位が変わることがあります。）

留守番電話サービス停止 留守番電話サービスを停止します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 留守番・転送電話

転送条件ごとに停止する

「個別停止」選択➡◉➡転送条件選択➡◉

すべての転送設定を消去する

「留守番・転送電話停止」選択➡◉➡㊀（Yes）

- すべての転送設定を消去すると、転送電話サービスの設定も消去されます。
- 接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。

留守番電話センター番号設定 留守番電話センターの番号を設定します。

お買い上げ時 留守番電話センター番号：09066517000
再生用センター番号：留守電再生（国内）1416、留守電再生（海外）+819066514170

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 留守番・転送電話 ➡ 留守番電話 ➡ 設定

留守番電話センター番号を設定する

「留守番電話センター番号」選択➡◉➡番号入力➡◉

再生用センター番号を設定する

「再生用センター番号」選択➡◉➡「留守電再生（国内）」／「留守電再生（海外）」選択➡◉➡番号入力➡◉

留守番電話サービス設定確認 留守番電話サービスの設定状況を確認します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 留守番・転送電話 ➡ 設定確認

転送条件選択➡◉➡通話の種類選択➡◉

- 設定状況に応じて、確認画面が表示されます。

伝言メッセージ再生 留守番電話センターに入っている伝言メッセージを確認します。

待受画面で1（1秒以上）

終了：◎

- 留守番電話センターに接続後は、アナウンスに従って操作します。
- 待受画面で次の操作を行っても伝言メッセージを再生できます。
  - ■ ◉➡「電話帳」選択➡◉➡「留守番電話再生」選択➡◉
  - ■ ◉➡「設定」選択➡◉➡「通話設定」選択➡◉➡「留守番・転送電話」選択➡◉➡「留守番電話」選択➡◉➡「留守番電話再生」選択➡◉

補足▶
- 留守番電話センターに伝言メッセージが入っているときは、「💬」が表示されます。
- 「💬」は903SHから伝言メッセージを聞いたときに消えます。

割込通話サービス

別途お申し込みが必要です。

割込通話サービス設定／解除 割込通話サービスを設定／解除します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 割込通話

「On」／「Off」選択➡◉

- ネットワーク接続後、確認メッセージが表示されます。

割込通話サービス設定確認 割込通話サービスの設定状況を確認します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 割込通話

「設定確認」選択➡◉

- 設定状況に応じて、確認画面が表示されます。

割込通話着信 通話中の電話を保留にして、あとからかかってきた電話を受けます。

通話中に割り込み音が聞こえたら◎

保留中の相手との通話：◎（**切替**）

通話する相手の切替：◎（**切替**）

割込通話中に、◎を押すか、903SHを閉じると

■すべての通話が切れます。

割込通話中に、通話中の相手が電話を切ると

■「ピピピピ…」と警告音が鳴ります。⊖（**再開**）を押すと、保留中の相手との通話になります。

補足▶
- 割込通話サービスをご利用中は、通話中に着信があっても、バイブレータは動作しません。（着信音も鳴りません。）専用の割り込み音が聞こえ、着信中のメッセージが表示されます。
- 留守番電話サービスまたは転送電話サービスを開始しているときは、通話中にかかってきた電話を受けなければ、留守番電話センターまたは転送先に転送されます。また、留守番電話サービスまたは転送電話サービスで「**呼出なし**」に設定しているときは、割込通話サービスは受けられません。直接、留守番電話センターまたは転送先に転送されます。

多者通話サービス

別途お申し込みが必要です。

通話中発信 通話中の電話を保留にして、別の相手に電話をかけます。

通話中に電話番号を入力➡
- 相手につながると、通話できます。それまで通話していた相手は、保留になります。
- 電話帳、発信履歴、着信履歴、不在着信履歴を使ってかけることもできます。

切替通話 相手を切り替えながら通話します。

通話中に
- それまで通話していた相手が保留になり、もう一方の相手と通話できます。

切替通話中に、を押すか、903SHを閉じると

■すべての通話が切れます。

切替通話中に、通話中の相手が電話を切ると

■「**ピピピピ…**」と警告音が鳴ります。（**再開**）を押すと、保留中の相手との通話になります。

多者間通話 複数で同時に通話できます。（最大6人）

切替通話中に（メニュー）➡「多者間通話」選択➡➡「全てと通話」選択➡

多者通話中に、を押すか、903SHを閉じると

■全員の電話が同時に切れます。

多者通話中に、通話中の相手が電話を切ると

■残された相手との通話になります。

オプションサービス 13

発着信規制サービス

電話をかける／電話を受ける／SMSの送受信のサービスを規制します。（各サービスごとにも規制できます。）
規制内容は次のとおりです。

発信規制	**全発信規制**	緊急通話を除くすべての電話をかけられないようにします。
	国際発信全規制※1	滞在国以外への電話をかけられないようにします。
	国際発信規制※2	滞在国と日本以外への国際電話をかけられないようにします。
着信規制	**全着信規制**	すべての電話を受けられないようにします。
	国際着信規制	日本以外で電話を受けられないようにします。

※1 例：イギリス滞在中➡イギリス国内へだけ発信可能
※2 例：イギリス滞在中➡イギリス国内および日本国内へ発信可能

また、発信先や着信元を規制したり、電話番号非通知の着信を拒否することもできます。

着信拒否番号	あらかじめ設定した相手からの電話をつながらないようにします。
非通知着信拒否	電話番号非通知の電話をつながらないようにします。

注意▶
- 発着信規制サービスの操作には、ご契約時にお決めいただいた「**発着信規制用暗証番号**」（☞P.1-27）が必要です。
- 発着信規制用暗証番号の入力を3回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。このときは、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先（☞P.19-25）までご連絡ください。
- 「**転送電話サービス**」または「**留守番電話サービス**」を設定中は、「**全発信規制**」および「**全着信規制**」はご利用になれません。（転送電話サービスまたは留守番電話サービスが優先されます。）
  - 転送電話サービスまたは留守番電話サービスを設定中に「**全発信規制**」または「**全着信規制**」を設定すると、転送電話サービスまたは留守番電話サービスの設定されていないサービスに対して、発着信規制が設定されます。

補足▶
発信規制中に電話をかけようとすると、発信規制中である旨のメッセージが表示されますが、お客様がご利用になる地域によっては、表示されるまでに時間がかかることがあります。メッセージが表示されないときは、発着信規制サービスの設定状況をご確認ください。

発信規制を設定する

発信規制の設定／解除　発信規制を設定／解除します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 発着信規制 ➡ 発信規制

規制内容／発信の種類ごとに設定／解除する

規制内容選択➡◉➡発信の種類選択➡◉➡「On」／「Off」選択➡◉➡発着信規制用暗証番号（４ケタ）入力➡◉

すべての発信規制を解除する

「全発信規制停止」選択➡◉➡発着信規制用暗証番号（４ケタ）入力➡◉

注意▶ 発信規制設定中に利用できる「110」などの緊急電話発信については、P.2-22「**緊急電話発信について**」を参照してください。

発信規制の設定確認　発信規制の設定状況を確認します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 発着信規制 ➡ 発信規制

規制内容選択➡◉➡発信の種類選択➡◉➡「設定確認」選択➡◉

- 設定状況に応じて、確認画面が表示されます。

着信規制を設定する

着信規制の設定／解除　着信規制を設定／解除します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 発着信規制 ➡ 着信規制

規制内容／着信の種類ごとに設定／解除する

規制内容選択➡◉➡着信の種類選択➡◉➡「On」／「Off」選択➡◉➡発着信規制用暗証番号（４ケタ）入力➡◉

すべての着信規制を解除する

「全着信規制停止」選択➡◉➡発着信規制用暗証番号（４ケタ）入力➡◉

着信規制の設定確認　着信規制の設定状況を確認します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 発着信規制 ➡ 着信規制

規制内容選択➡◉➡着信の種類選択➡◉➡「設定確認」選択➡◉

- 設定状況に応じて、確認画面が表示されます。

着信を拒否する

着信拒否の設定　あらかじめ登録した相手からの着信を拒否します。

お買い上げ時 Off

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 発着信規制 ➡ 着信拒否番号 ➡ On／Off設定

「On」／「Off」選択 ➡ ◉

着信拒否電話番号の登録　着信を拒否する電話番号を登録します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 発着信規制 ➡ 着信拒否番号 ➡ 拒否番号リスト

新たに電話番号を登録する

登録する場所を選択 ➡ ◉ ➡ 電話番号を入力 ➡ ◉

電話帳を利用した登録：登録場所を選択 ➡ ㊀（メニュー）➡「電話帳読出」選択 ➡ ◉ ➡ 電話帳を選択 ➡ ◉ ➡ 電話番号を選択 ➡ ◉

■ 電話帳に登録されている番号は、登録している相手の名前で表示されます。

登録した電話番号を修正する

修正する電話番号を選択 ➡ ㊀（メニュー）➡「編集」選択 ➡ ◉ ➡ 電話番号を修正 ➡ ◉

登録した電話番号を削除する

削除する電話番号を選択 ➡ ㊀（メニュー）➡「削除」選択 ➡ ◉ ➡ ㊀（Yes）

電話番号非通知の着信を拒否する

非通知着信拒否　電話番号非通知の着信を拒否します。

お買い上げ時 Off

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 発着信規制 ➡ 非通知着信拒否

「On」／「Off」選択 ➡ ◉

発着信規制用暗証番号を変更する

発着信規制用暗証番号変更　発着信規制用暗証番号を変更します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話設定 ➡ 発着信規制 ➡ 規制用暗証番号変更

現在の発着信規制用暗証番号（４ケタ）入力 ➡ ◉ ➡ 新しい発着信規制用暗証番号（４ケタ）入力 ➡ ◉ ➡ もう一度新しい発着信規制用暗証番号（４ケタ）入力 ➡ ◉

発信者番号通知サービス

お客様の電話番号を相手に通知したり、非通知に設定するサービスです。

● ここでの設定にかかわらず、電話番号の前に次の数字を付けてダイヤルすると、発信ごとに電話番号の通知／非通知を選択することができます。

通知	186または*31#
非通知	184または#31#

発信者番号通知／非通知設定 発信時の電話番号の通知／非通知を設定します。

お買い上げ時 On（通知／表示）

メニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ 発番号通知・表示

「On」／「Off」選択 ▶ ●

発信者番号通知サービス設定確認 発信者番号通知サービスの設定状況を確認します。

メニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ 発番号通知・表示

「設定確認」選択 ▶ ●

● 設定状況に応じて、確認画面が表示されます。

Vodafone live!をご利用になる前に

Vodafone live!について

Vodafone live! とは、Vodafone live!対応の携帯電話を利用して、メール、ウェブ、Vアプリが利用できる通信サービスです。

■メール

SMS（ショートメッセージサービス）やMMS（マルチメディアメッセージングサービス）を利用して海外でも日本国内と同じようにに文字メッセージなどをやりとりできます。（☞P.15-2）

SMS	MMS
ボーダフォン携帯電話どうしでご契約の電話番号を宛先として、短いメッセージを送受信できます。 	ボーダフォン携帯電話やパソコン、E-mailに対応している携帯電話などとの間で、長いメッセージや画像、サウンド、vファイルなどを送受信できます。

●MMSの利用とE-mailの受信を行うには、別途ご契約が必要です。

■ウェブ

さまざまな内容のコンテンツにアクセスできるインターネット接続サービスです。情報の検索や、画像／サウンドの取得などボーダフォン携帯電話だけで利用できます。（☞P.16-2）

Vodafone live!のメインメニューからアクセス	インターネットアクセス
Vodafone live! のメインメニューを選択して、必要な情報を入手できます。 	URLを入力して、インターネットのホームページから情報を入手できます。

●ウェブを利用するには、別途ご契約が必要です。

■Vアプリ

ゲームや3D画像などのいろいろなアプリケーションをダウンロードして利用できます。(☞P.17-2)

- 903SHでは、ボーダフォン携帯電話専用のVアプリだけ利用できます。
- Vアプリの利用には、別途ご契約が必要です。(お買い上げ時に登録されているVアプリは、そのまま利用できます。)

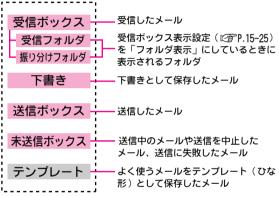
補足▶
- 各サービスの通信料や詳細は、「**3Gガイドブック**」をご覧ください。
- Vodafone live!をご利用になるには、ネットワークに接続する情報などをセンターから取得する必要があります。(☞P.1-22)

メールについて

903SHでは、SMSとMMSの２つのメッセージサービスが利用できます。

SMS（ショートメッセージサービス）	ボーダフォン携帯どうしで電話番号を宛先として、短いメッセージを送受信できます。
MMS（マルチメディアメッセージサービス）	ボーダフォン携帯電話やパソコン、E-mailに対応している携帯電話などとの間で、長いメッセージや画像、サウンド、vファイルなどを送受信できます。

メールをご利用になる前に

メールは、メールフォルダで管理されており、メールを受信／送信すると、メールの種類に応じて該当するフォルダに保存されるようになっています。フォルダ名、各フォルダに保存されるメールは次のとおりです。

● メールフォルダに未読メール／未送信メールがあるときや、下書きとして保存したメールがあるときは、該当するフォルダの名前が太く表示されます。また、フォルダ名のうしろに件数も表示されます。

メモリ使用状況の確認

■メールフォルダのメモリの使用状況を確認するときは、次の操作を行います。

◉➡「メール」選択➡◉➡「メモリ確認」選択➡◉

メール

15

メール画面の見かた

リスト画面

メールの受信画面（☞P.15-15）で◉を押したときや、メールフォルダを選び◉を押したときは、次のようなリスト画面が表示されます。

メールの種類／状態

● メールの状態

アイコン	状態	アイコン	状態
✉	未読／未送信	✉	既読
✉	送信済	✉	送信失敗

● メールの種類／設定など

アイコン	種類／設定	アイコン	種類／設定
	MMS※1		SMS
	添付あり		保護
!	優先度（高）		優先度（低）
	MMS通知※2		通信レポート要求※3
	USIMカード内SMS		

※1 MMSご契約時だけ表示されます。
※2 受信ボックスで表示されます。
※3 送信ボックスで表示されます。

選択しているメールの番号

件名／メールの内容／送受信日時

- MMSでは件名が、SMSではメールの内容が表示されます。

送信元／送信先

- 電話番号／E-mailアドレスや名前が表示されます。

補足▶ 次の操作を行うと、メールの順番を並べ替えることができます。
リスト画面で⊖（メニュー）➡「その他」選択➡◉➡「並べ替え」選択➡◉➡並べ替え方法選択➡◉

メッセージ画面

リスト画面でメールを選び◉を押すと、次のようなメッセージ画面が表示されます。

送受信日時

送信元／送信先

- 電話番号／E-mailアドレスや名前が表示されます。

件名

メールの内容

補足▶
- バックライトが暗くなりメッセージが読みづらいときは、0～9を押すと、バックライトが点灯します。
- メッセージ画面で＊／＃を押すと、前／次のメッセージを確認できます。

メールアドレスの変更

メールアドレスのアカウント名（@の前の部分）をお好きな文字列に変更できます。

- この操作は、ウェブを利用します。
- あらかじめネットワーク自動調整を行ってください。（☞P.1-22、P.10-20）
- 迷惑メール防止のためにも、メールアドレスの変更をおすすめします。
- ご契約時には、ランダムな英数字が設定されています。

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ Vodafone live!

1 **「My Vodafone」を選び、◉を押す。**

2 **「各種変更手続き」を選び、◉を押す。**

3 **「オリジナルメール設定・各種メール設定」を選び、◉を押す。**

交換機用暗証番号の入力画面が表示されます。

4 **暗証番号入力欄を選び、◉を押す。**

5 **交換機用暗証番号を入力し、◉を押す。**

■ 交換機用暗証番号：☞P.1-27

6 **「OK」を選び、◉を押す。**

7 **「1.各種メール設定」を選び、◉を押す。**

8 **「1.メールアドレス編集」を選び、◉を押す。**

現在のメールアドレスが表示されます。

9 **メールアドレス入力欄を選び、◉を押す。**

10 **希望のアカウント名を入力し、◉を押す。**

11 **「OK」を選び、◉を押す。**

注意▶ ウェブの情報が更新され、設定手順が変更されることがあります。詳しくは、お客さまセンター（☞P.19-25）までお問い合わせください。

メール送信

メールを作成する前に

SMSとMMSでは、メール作成で入力できる項目が異なります。

	宛先	件名	本文	添付
SMS	○	×	○	×
MMS	○	○	○	○

このため、ファイルの添付や件名入力などMMS固有の機能を利用すると、自動的にMMSに変更されます。

次のときも、SMSからMMSに変更されます。

- 宛先の電話番号が20ケタを超過しているとき
- メール本文の文字色が「**ブラック**」以外に設定されているとき
- 文字サイズが「**中**」以外に設定されているとき
- 送信オプションの優先度が「**普通**」以外に設定されているとき
- 送信オプションの配信時間が「**すぐに配信**」以外に設定されているとき

補足▶

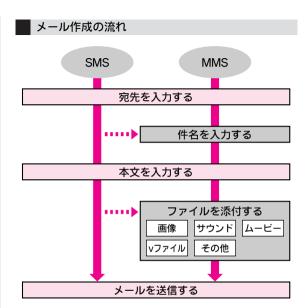
- 一度MMSに変更されたメールは、件名を削除したり設定を変更しただけでは、SMSに戻らないことがあります。このときは、「**送信メールのタイプを設定する**」(☞P.15-12)で、メールタイプを「**SMS**」に設定し直してください。
- 送信オプションの「**優先度**」、「**配信時間**」を操作してMMSに変更されたメールは、SMSには戻せません。(☞左記)

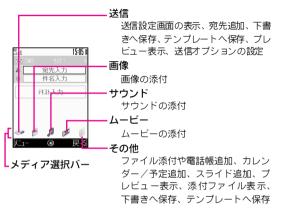
送信可能文字数

送信可能文字数は、次のとおりです。

SMS	最大全角70文字(半角カタカナ70文字、半角英数字160文字)
MMS	全角約10000文字(半角カタカナ約10000文字、半角英数字約30000文字)

- MMSは、添付ファイルと本文など、あわせて最大300Kバイトまで送信できます。このため、宛先の件数や添付ファイルのデータ量によって、本文に入力できる文字数は異なります。
- 送信するメールのおおよそのデータ容量は、メール作成画面(☞P.15-7)で確認できます。

メール作成の流れ

メディア選択バーについて

メール作成画面では、「**メディア選択バー**」が表示されます。メディア選択バーでできることは、次のとおりです。

メディア選択バーの操作方法

■メディア選択バーに「[ ]」が表示されているときは、次の操作を行います。

◎で項目選択➡●

■メディア選択バーに「[ ]」が表示されていないときは、次の操作を行います。

メディア選択バーに「[ ]」が表示されるまで◎➡項目選択➡●

補足▶ 本書では、メディア選択バーを利用した操作方法を中心に説明します。

メールを作成／送信する

ここでは、SMSとMMSの新規作成を例に、メールの宛先入力から送信までを説明します。

- メール作成前に、「**メールを作成する前に**」（☞P.15-5）をご確認ください。
- あらかじめ署名を登録しておくと、メールの本文で簡単に入力できます。（☞P.15-25）
- あらかじめメールグループを登録しておくと、グループに設定した複数の宛先に、同じメールを一括で送信できます。（☞P.4-11）
- よくメールを送信する相手は、簡単メール宛先に登録しておくと便利です。（☞P.15-24）

1 ◉を押したあと、「メール」を選び、◉を押す。

- 待受画面で㋡（✉）を押しても、操作できます。

2 「新規作成」を選び、◉を押す。

メール作成画面が表示されます。

メール作成画面

3 宛先入力欄を選び、◉を押す。

宛先選択画面が表示されます。

- 宛先選択画面では、送信履歴も選べます。（送信履歴は、「✉」のあとに名前または電話番号／E-mailアドレスが表示されます。）

宛先選択画面

4 ***電話帳から選択する***

1 「電話帳」を選び、◉を押す。

2 送信先を選び、◉を押す。

■ 電話帳の検索方法：☞P.4-7

■ 宛先が複数登録されている電話帳選択時：電話番号／E-mailアドレス選択➡◉

メールグループから選択する

1 「メールグループ選択」を選び、◉を押す。

2 メールグループを選び、◉を押す。

■ メール作成に戻る（宛先が複数のとき）：㋢（**戻る**）

■ 宛先の追加（宛先が複数のとき）：「**宛先追加**」選択➡◉➡操作4をくり返す

送信履歴から選択する

1 送信先を選び、◉を押す。

簡単メール宛先から選択する

1 ㋡（メニュー）を押す。

2 「簡単メール宛先リスト」を選び、◉を押す。

3 送信先を選び、◉を押す。

直接入力する

1 「電話番号入力」または「メールアドレス入力」を選び、◉を押す。

2 ボーダフォン携帯電話の電話番号またはE-mailアドレスを入力し、◉を押す。

5 ⓠ（SMSのとき）または◉（MMSのとき）を押す。

- SMSの作成は、このあと操作7へ進みます。

■ 宛先の修正：☞P.15-9

6 件名を入力し、◉を押す。

- 最大全角13文字（半角カタカナ13文字、半角英数40文字）まで入力できます。

7 メールの本文を入力する。

■文字の入力方法：☞P.3-5
■署名の入力：本文入力中に㊀（**メニュー**）➡「**その他**」選択➡◉➡「**署名**」選択➡◉
■文字色の変更：㊀（**メニュー**）➡「**その他**」選択➡◉➡「**文字色**」選択➡◉➡色選択➡◉
■文字サイズの変更：㊀（**メニュー**）➡「**その他**」選択➡◉➡「**文字サイズ**」選択➡◉➡サイズ選択➡◉

8 ◉を押す。

●SMSの作成のときやファイルを添付せずにメールを送信するときは、このあと操作10へ進みます。
■メッセージの修正：本文入力欄選択➡◉➡本文修正➡◉
■メール本文の削除：本文入力欄選択➡㊀（**メニュー**）➡「**本文消去**」選択➡◉

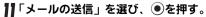
9 ファイルの添付などを行う。

■ファイルの添付（MMS）：☞P.15-9
■スライドの作成（MMS）：☞P.15-11

10 メディア選択バーで、「✉」（送信）を選び、◉を押す。

送信設定画面が表示されます。
■送信メールの確認：「**プレビュー表示**」選択➡◉
■宛先の修正：☞P.15-9
■送信メールタイプの設定：☞P.15-12
■送信オプションの設定：☞P.15-12
■下書きに保存：☞P.15-13操作３
■テンプレートに保存：☞P.15-14「**テンプレートを作成する**」操作３以降

送信設定画面

11「メールの送信」を選び、◉を押す。

メールが送信されます。
●送信中に903SHを閉じても、送信はキャンセルされません。

電話帳からのメール作成

■電話帳を呼び出し、次の操作を行います。
● 電話番号のとき
電話番号選択➡◉➡「**メール作成**」**選択**➡◉➡**メール作成**（☞P.15-7操作５以降）
● E-mailアドレスのとき
E-mailアドレス選択➡◉➡**メール作成**（☞P.15-7操作５以降）

メール作成中に着信があると

■通話終了後、メール作成画面に戻ります。

相手が電源を切っていたり、電波の届かないところにいると

■サービスセンターにメールが保管され、送信が終了するまでくり返し配信します。（リトライ機能）
● サービスセンターで保管する期間（有効期限）は設定できます。（☞P.15-12）
設定された有効期限内に相手が受信しないときは、メールは削除されます。

送信に失敗すると

■送信に失敗したメールがあるときは、「✉」とインフォメーションが表示されます。再送するときは、次の操作を行います。
◉➡「**メール**」**選択**➡◉➡「**未送信ボックス**」**選択**➡◉➡**メール選択**➡㊀（**メニュー**）➡「**再送**」**選択**➡◉
■自動再送を「On」にしているときは、自動的に最大２回まで再送されます。（☞P.15-24）
● ２回続けて送信に失敗したメールは、以降自動では再送できません。送信する必要があるときは、手動で再送してください。（☞上記）
● 自動再送するときまれに、同じメールが２通送信されることがあります。

宛先入力時にできること

■他の宛先を追加入力するときは、メール作成画面／送信設定画面で次の操作を行います。

宛先欄選択➡◉➡「宛先追加」選択➡◉➡宛先入力（☞P.15-7操作4）

■ メール作成画面に戻る：㊀（**戻る**）

●最大20件まで入力できます。

■宛先タイプ（「To」、「Cc」、「Bcc」）を変更するときは、メール作成画面／送信設定画面で次の操作を行います。

宛先欄選択➡◉➡宛先選択➡㊀（メニュー）➡「Toへ変更」／「Ccへ変更」／「Bccへ変更」選択➡◉

●「Cc」や「Bcc」に設定すると、メールのコピーが送信されます。「Bcc」に設定すると、「Bcc」に設定した相手の電話番号／E-mailアドレスは、他の送信先には表示されません。

■宛先を変更／修正するときは、メール作成画面／送信設定画面で次の操作を行います。

宛先欄選択➡◉➡宛先選択➡㊀（メニュー）➡「宛先編集」選択➡◉➡宛先修正➡◉

■ メール作成画面に戻る：㊀（**戻る**）

■宛先を削除するときは、メール作成画面／送信設定画面で次の操作を行います。

宛先欄選択➡◉➡宛先選択➡㊀（メニュー）➡「宛先削除」選択➡◉

■ メール作成画面に戻る：㊀（**戻る**）

注意▶ 宛先にE-mailアドレスを入力したときは、件名や本文に絵文字や半角カタカナを入力しないでください。受信側で正しく表示されないことがあります。

補足▶ メール作成中Ⓢを押すと、簡単に送信設定画面（☞P.15-8）を表示できます。

画像／サウンドファイルなどを添付する

MMSに画像やサウンド、vファイルなどを添付して送信します。

● メール本文などと合わせて300Kバイトを超えるときは、添付できません。
● 送信先が添付ファイルを受信できるかなど、あらかじめ送信先のサービス対応状況などをご確認のうえ、操作してください。
● ファイルの添付は、P.15-8「**メールを作成／送信する**」操作9で行います。添付後、メール作成画面に戻りますので、メールを作成／送信してください。

1 *画像を添付する*

1 メディア選択バーで、「✐」（画像）を選び、◉を押す。

2「画像追加」を選び、◉を押す。

■ 添付する画像を撮影：「**カメラ起動**」選択➡◉➡◉（撮影）➡㊀（**保存**）（操作完了）

■ 保存先を「**毎回確認**」設定時：保存先選択➡◉

3 画像を選び、◉を押す。

■ データサイズの大きいJPEG画像選択時：圧縮サイズ選択➡◉

サウンドを添付する

1 メディア選択バーで、「♪」（サウンド）を選び、◉を押す。

2「サウンド追加」を選び、◉を押す。

■ 添付するサウンドの録音：「**ボイスレコーダー起動**」選択➡◉➡◉（録音開始）➡◉（録音終了）➡「**添付**」選択➡◉➡「**本体**」／「**メモリカード**」選択➡◉（操作完了）

3 サウンドを選び、◉を押す。

■ サウンドの再生：サウンド選択 ➡㊀（**メニュー**）➡「**再生**」選択➡◉

ムービーを添付する

1 メディア選択バーで、「」(ムービー)を選び、◉を押す。
2「ムービー追加」を選び、◉を押す。
 ■ 添付するムービーの撮影:「ビデオカメラ起動」選択➡◉➡◉(撮影開始)➡◉(撮影終了)➡「添付」選択➡◉➡「本体」/「メモリカード」選択➡◉(操作完了)
3 ムービーを選び、◉を押す。
 ■ ムービーの再生:ムービー選択➡㊀(メニュー)➡「再生」選択➡◉

電話帳を添付する

1 メディア選択バーで、「」(その他)を選び、◉を押す。
2「電話帳追加」を選び、◉を押す。
3 電話帳を選び、◉を押す。
 選んだ電話帳は、データフォルダの「その他ファイル」に保存されたあと、添付されます。
 (メールのサイズ表示の横に「」が表示されます。)

予定を添付する

1 メディア選択バーで、「」(その他)を選び、◉を押す。
2「カレンダー/予定追加」を選び、◉を押す。
3 予定が登録されている日を選び、◉を押す。
4 予定を選び、◉を押す。
 選んだ予定は、データフォルダの「その他ファイル」に保存されたあと、添付されます。
 (メールのサイズ表示の横に「」が表示されます。)

その他のファイルを添付する

1 メディア選択バーで、「」(その他)を選び、◉を押す。
2「ファイル添付」を選び、◉を押す。
3 フォルダを選び、◉を押す。
4 ファイルを選び、◉を押す。
 メールのサイズ表示の横に、「」が表示されます。

添付した画像/サウンド/ムービーの変更/削除

■画像/サウンド/ムービー添付時に、添付ファイルを変更するときは、メール作成画面で次の操作を行います。
 ファイル選択➡㊀(メニュー)➡「画像変更」/「サウンド変更」/「ムービー変更」選択➡◉➡ファイル選択➡◉

■画像/サウンド/ムービー添付時に、添付ファイルを削除するときは、メール作成画面で次の操作を行います。
 ファイル選択➡㊀(メニュー)➡「画像削除」/「サウンド削除」/「ムービー削除」選択➡◉

電話帳/予定/その他の添付ファイルの確認

■電話帳/予定/その他のファイル添付時に、添付ファイルを確認するときは、メール作成画面で次の操作を行います。
 メディア選択バー内「」(その他)選択➡◉➡「添付ファイル表示」選択➡◉

- 添付ファイルの一覧画面が表示されます。
  - ■添付ファイルの表示:添付ファイルの一覧画面でファイル選択➡◉
  - ■添付ファイルの削除:添付ファイルの一覧画面でファイル選択➡㊀(メニュー)➡「削除」選択➡◉
  - ■添付ファイルの全件削除:添付ファイルの一覧画面で㊀(メニュー)➡「全件削除」選択➡◉➡㊀(Yes)

スライドを作成する

スライドとは、メールの本文と画像／サウンドなどの添付ファイルを1つにまとめたものです。このスライドを2件以上作成すると、スライドの順番に受信側で連続表示できます。

- スライドは複数のファイルを添付して、自動的に作成することもできます。
- スライドの表示される時間は、スライドごとに変更できます。（☞右記）
- 送信先がMMSに対応していないときは、通常の添付ファイルとして送信されます。
- 1件のスライドに登録できるファイルは、次のいずれかとなります。
  - ■画像（1ファイル）＋サウンド（1ファイル）
  - ■画像（1ファイル）
  - ■サウンド（1ファイル）
  - ■ムービー（1ファイル）
- スライドの作成は、P.15-8操作9で行います。作成後、操作11を行い、メールを送信してください。

1 画像／サウンドファイルなどを添付する。

添付方法：☞P.15-9

2 メディア選択バーで、「 」（その他）を選び、◉を押す。

3 「スライド追加」を選び、◉を押す。

4 「後ろに追加」を選び、◉を押す。

入力済の本文、添付ファイルが1件目のスライドとなり、2件目のスライドが入力できる状態になります。

- 「**前に追加**」を選び、◉を押すと、作成済のスライドの前に本文を入力できます。

スライドにファイルを添付する：スライド番号選択➡㊀（**メニュー**）➡「**ファイル挿入**」選択➡◉➡添付項目選択➡◉➡P.15-9

スライドの表示時間設定：スライド番号選択➡㊀（**メニュー**）➡「**スライド表示時間**」選択➡◉➡表示時間選択➡◉

- ■表示時間を手動で入力する：表示時間選択時に「**オリジナル設定**」選択➡◉➡◉➡表示時間入力➡◉➡㊀（**メニュー**）➡「OK」選択➡◉

スライドの削除：スライド番号選択➡㊀（**メニュー**）➡「**スライド削除**」選択➡◉

- ■スライドが1件になったときは、通常のメールに戻ります。

5 本文の入力／ファイルの添付を行う。

- 新しいスライドを作成するときは、操作2～5をくり返します。

メール

15

送信時のその他の機能

送信メールのタイプを設定する

送信メールタイプ（SMS／MMS）を設定します。

- 送信メールタイプの設定は、P.15-8操作10の送信設定画面で行います。設定後、メール作成画面に戻りますので、メールを作成／送信してください。
- MMS固有の機能を利用しているメールは、「**SMS**」には設定できません。
- メールの新規作成時には、「**固定解除（自動設定）**」に設定されています。

1 **送信設定画面で、「送信メールタイプ」を選び、◉を押す。**

2 **「固定解除（自動設定）」、「SMS」、「MMS」のいずれかを選び、◉を押す。**

3 **◉を押す。**

送信オプションを設定する

SMSおよびMMSの送信オプションを設定します。

- 送信オプションで設定した内容は、作成中のメール1件だけに有効です。
- 送信オプションの設定は、P.15-8操作10の送信設定画面で行います。設定後、メール作成画面に戻り、メールを作成／送信してください。

配信確認	送信したメールの配信状況を通信レポート（☞P.15-15）として入手するかどうかを設定します。

■宛先がボーダフォン携帯電話のときに利用できます。

お買い上げ時Off

送信設定画面で「送信オプション」選択➡◉➡「配信確認」選択➡◉➡「On」／「Off」選択➡◉➡◉

メール作成画面に戻る：㊀（**戻る**）

有効期限	送信したメールをセンターに保存する期間を設定します。

お買い上げ時最大

送信設定画面で「送信オプション」選択➡◉➡「有効期限」選択➡◉➡期間選択➡◉➡◉

メール作成画面に戻る：㊀（**戻る**）

MMSの送信オプションを設定する

MMSの送信オプションを設定します。

● MMSの送信オプションで設定した内容は、作成中のメール1件だけに有効です。
● MMSの送信オプションの設定は、P.15-8操作10の送信設定画面で行います。設定後、メール作成画面に戻り、メールを作成／送信してください。
● 以下の操作を行うと、SMSで作成したメールでもMMSに変更されます。設定をお買い上げ時の状態に戻しても、MMSに変更されたメールはSMSには戻りませんので、ご注意ください。

優先度	優先度を設定します。

お買い上げ時 普通

送信設定画面で「送信オプション」選択→●→「優先度」選択→●→優先度選択→●→●

■ メール作成画面に戻る：⊖（**戻る**）

● 優先度を設定しても、送信速度は変わりません。

配信時間	送信したメールを送信先に配信するまでの時間を設定します。

お買い上げ時 すぐに配信

送信設定画面で「送信オプション」選択→●→「配信時間」選択→●→時間選択→●→●

■ メール作成画面に戻る：⊖（**戻る**）

下書きを利用する

作成したメールを下書きに保存する

作成したメールを、送信せずに下書きとして保存します。

● 保存するメモリがないときは、下書きを保存できません。不要なメールを削除（☞P.15-21）してから、操作してください。

1 メールを作成する。

■ メールの作成方法：☞P.15-7操作1～P.15-8操作9

2 メディア選択バーで、「✉」（送信）を選び、●を押す。

3 「下書きへ保存」を選び、●を押す。

下書きフォルダに保存されます。

4 ●を押す。

注意▶ MMSを保存したときは、宛先タイプ（「To」、「Cc」、「Bcc」）や添付ファイルの順番が変わることがあります。

下書きしたメールを送信する

下書きとして保存しておいたメールを送信します。

メニュー ▶ メール

1 「下書き」を選び、●を押す。

下書きフォルダ内に保存されているメールの一覧画面が表示されます。

■ 下書きしたメールの情報確認：メール選択➡㊀（**メニュー**）➡「**メールのプロパティ**」選択➡●
  ■ 確認の終了：上記操作のあと㊀（**戻る**）

■ 下書きしたメールの削除：メール選択➡㊀（**メニュー**）➡「**削除**」選択➡●➡㊀（Yes）

2 メールを選び、●を押す。

メールを修正できる状態になります。

3 メールを修正／送信する。

- メールの修正／送信方法は、メールの作成時（☞P.15-7）と同様です。
- 送信したメールは、下書きから消去されます。

テンプレートを利用する

作成したメールをひな形として登録します。

テンプレートを作成する

1 メールを作成する。

■ メールの作成方法：☞P.15-7操作１～P.15-8操作９

2 メディア選択バーで、「✉」（送信）を選び、●を押す。

3 「テンプレートへ保存」を選び、●を押す。

4 ●を押したあと、テンプレート名を入力し、●を押す。

- ●を押さずにはじめに入力する文字のボタン（0～9、*、#）を押しても、文字が入力できます。

5 ㊀（メニュー）を押す。

6 「保存」を選び、●を押す。

7 ●を押す。

テンプレートを利用してメールを送信する

メニュー ▶ メール

1 「テンプレート」を選び、●を押す。

■ テンプレートの情報確認：テンプレート選択➡㊀（**メニュー**）➡「**メールのプロパティ**」選択➡●
  ■ 確認の終了：上記操作のあと㊀（**戻る**）

2 テンプレートを選び、●を押す。

テンプレートの内容が入力された状態で、メール作成画面が表示されます。

3 メールを作成／送信する。

■ メールの作成／送信方法：☞P.15-7

メール受信

新着メールを確認する

1 メールを受信すると、受信アニメーションのあと、受信画面が表示される。

インフォメーションが表示されたあと、「✉」が表示されます。

- 903SHがクローズポジションのときは、受信中にオープンポジションにすると、受信画面のあと、インフォメーションが表示されます。

受信画面

2 受信画面で、◉を押す。

メールのリスト画面（☞P.15-3）が表示されます。

■ メール振り分け設定で振り分けられたメールの確認：フォルダ選択➡◉

3 メールを選び、◉を押す。

メッセージ画面が表示されます。

■ 続きのあるMMSの受信：☞P.15-16
■ 受信したメールの利用：☞P.15-18

15:05
05/07/15 14:55
北山 かおる
結婚式の件
来週の日曜の山本君と川橋さんの結婚式にカメラと三脚を忘れずに持ってきてください。
なお、ビデオは私が持っていきます。
ﾒﾆｭｰ 戻る

メッセージ画面

インフォメーション

■受信時にメールを確認できなかったときは、待受画面に未読メールの件数が表示されます。（インフォメーション）
次の操作を行うと、メールを確認できます。

項目選択➡◉➡メール選択➡◉

- 受信ボックスをフォルダ表示（☞P.15-25）にしているときは、確認するフォルダを選び◉を押したあと、メールを選んでください。

通信レポートの確認

■配信確認（☞P.15-12、P.15-25）を「On」にしてメールを送信したときは、サービスセンターからメールの配信状況のレポートが届きます。このレポートは、通常のメールと同様の操作で確認できます。

待受画面以外でメールを受信すると

■待受画面に戻ると、インフォメーションが表示されます。

補足▶ 受信画面が表示されていないときは、受信ボックスから確認できます。（☞P.15-18）

MMSの続きを受信する

下記のいずれかに該当するMMSが送られてくると、サービスセンターに一時蓄積され、メッセージの一部（先頭部分）がお客様のボーダフォン携帯電話に送信されます。

サービスセンターに一時蓄積される条件
- ■宛先が複数あるとき
- ■添付ファイルがあるとき　など

- ●続きのあるMMS（MMS通知）は、受信ボックスのリスト画面に「■」が表示されています。
- ●メールリストを利用して、MMSの続きを受信することもできます。（☞P.15-17）

補足▶ MMSが送信されてきたときに、サービスセンターに蓄積せず、自動的に受信することもできます。
- ●日本国内使用時：ホームネットワーク自動受信（☞P.15-26）
- ●海外使用時：ローミング自動受信（☞P.15-26）

1件ずつ受信する

メニュー ▶ メール ➡ 受信ボックス

1 「■」が表示されているメールを選び、◯（メニュー）を押す。
- ●受信ボックスをフォルダ表示（☞P.15-25）にしているときは、確認するフォルダを選び◉を押したあと、メールを選んでください。

2 「全文受信」を選び、◉を押す。

メールの取得が始まります。
- ●取得が終わると、メールのリスト画面が表示されます。
- ■受信の取消：受信中に◯（**キャンセル**）➡◯（Yes）

注意▶ 300Kバイトを超えるメールは、受信できません。

複数のMMSの続きを一度に受信する

- ●指定した件数によっては、すべてのメールを取得できないことがあります。

メニュー ▶ メール

1 「受信ボックス」を選び、◉を押す。
- ■受信ボックスをフォルダ表示時：フォルダ選択➡◉

2 ◯（メニュー）を押す。

3 「その他」を選び、◉を押す。

4 「複数選択」を選び、◉を押す。

5 「■」が表示されているメールを選び、◉を押す。

メールの右端に「✓」が表示されます。
- ■選択の解除：「✓」が表示されているメール選択➡◉

6 操作5をくり返す。
- ■すべてのメール選択：◯（**メニュー**）➡「**全選択**」選択➡◉
- ■全選択の解除：◯（**メニュー**）➡「**全選択解除**」選択➡◉

7 ◯（メニュー）を押す。

8 「全文受信」を選び、◉を押す。

取得が終わると、メールのリスト画面が表示されます。
- ■受信の取消：受信中に◯（**キャンセル**）➡◯（Yes）

メールリストを取得する

サービスセンターに一時蓄積されているメールの一覧（メールリスト）を取得できます。また、取得したメールリストを利用して、メールサーバーからメールの続きを取得できます。

メニュー ▶ メール

1「サーバーメール操作」を選び、◉を押す。

- 以前取得したメールリストの確認：「**メールリスト**」選択➡◉
- サーバーメールリスト内のメールをすべて受信する：「**メール全受信**」選択➡◉
- サーバーメールリスト内のメールをすべて削除する：「**メール全削除**」選択➡◉➡⊖（Yes）➡◉

2「メールリスト更新」を選び、◉を押す。

取得が始まります。取得が終わると、メールリストが表示されます。

- 以前に取得したメールリストがあるときは、メールリストが更新されます。

- 更新中の取消：⊖（**キャンセル**）➡⊖（Yes）
- メールリストを利用する：☞右記

サーバーメール容量の確認

■サーバーメールの容量を確認するときは、上記操作1のあと次の操作を行います。

「サーバーメール容量」選択➡◉

- サーバーメール容量確認中の更新：⊖（**更新**）➡⊖（Yes）
- 確認の終了：上記操作のあと⊖（**戻る**）

メールリストを利用する

左記で取得したメールリストを利用して、メールサーバー内のメールを転送／削除できます。

MMSの続きを受信する MMSの続きを受信します。

メール選択➡◉

- 受信したメールは、メールリストから削除され、受信ボックスに保存されます。

メールの転送 サーバー内のメールをボーダフォン携帯電話番号／パソコンなど他のE-mailアドレスに転送します。

メール選択➡⊖（メニュー）➡「サーバーメール転送」選択➡◉➡宛先欄選択➡◉➡転送先入力(☞P.15-7操作4）➡「メールの送信」選択➡◉

メールの削除 サーバー内のメールを削除します。

メール選択➡⊖（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡⊖（Yes）➡◉

メールの利用

受信したメールから返信したり、受信／送信したメールを転送できます。また、電話をかけたり、メールを作成したり、インターネット接続などに利用することもできます。
- 受信したメールは、送信元や件名などで振り分けることもできます。（☞P.15-23）

メールの内容を確認する

メニュー ▶ メール

1 「受信ボックス」、「下書き」、「送信ボックス」、「未送信ボックス」、「テンプレート」のいずれかを選び、◉を押す。

リスト画面が表示されます。
- 受信ボックスをフォルダ表示（☞P.15-25）にしているときは、確認するフォルダを選び、◉を押してください。

■ メールの詳細情報の確認：メール選択➡㊀（**メニュー**）➡「**メールのプロパティ**」選択➡◉
- ■ 確認の終了：上記操作のあと㊀（**戻る**）

2 メールを選び、◉を押す。
- 画像が添付されているときは、画像も表示されます。添付されている画像のサイズが大きいときは、画像を表示できないことがあります。
- スライドのときは、自動的に再生されます。
- 操作1で「**下書き**」、「**テンプレート**」を選んだときは、メールの作成（修正）画面が表示されます。（☞P.15-7）

■ 画面のスクロール：◎

注意▶ 「**下書き**」、「**送信ボックス**」、「**未送信ボックス**」、「**テンプレート**」内のメールに添付されているファイルがデータフォルダから削除されると、メールを表示できなくなることがあります。

送信ボックス／未送信ボックス内のメールの編集

■一度送信したメールを編集するときは、左記操作1のあと、次の操作を行います。

メール選択➡㊀（メニュー）➡「編集と送信」選択➡◉➡P.15-7操作3以降

■未送信メールを編集するときは、左記操作1のあと、次の操作を行います。

メール選択➡㊀（メニュー）➡「編集」選択➡◉➡P.15-7操作3以降

未開封にする／開封済みにする

一度読んだメールを未開封にしたり、まだ読んでいないメールを開封済みに切り替えられます。

メニュー ▶ メール

1 「受信ボックス」を選び、◉を押す。

■ 受信ボックスをフォルダ表示時：フォルダ選択➡◉

2 メールを選び、㊀（メニュー）を押す。

3 「その他」を選び、◉を押す。
- 1件ずつ切り替えるときは、このあと**P.15-19**操作8へ進みます。

4 「複数選択」を選び、◉を押す。

5 メールを選び、◉を押す。

メールの右端に「✓」が表示されます。

■ 選択の解除：「✓」が表示されているメール選択➡◉

6 **操作5をくり返す。**

■ すべてのメール選択：㋱（メニュー）➡「全選択」選択➡◉
■ 全選択の解除：㋱（メニュー）➡「全選択解除」選択➡◉

7 **㋱（メニュー）を押す。**

8 **「未開封にする」または「開封済みにする」を選び、◉を押す。**

メールを返信する

メニュー ▶ メール ➡ 受信ボックス

1 **メールを選び、◉を押す。**

- 受信ボックスをフォルダ表示（☞P.15-25）にしているときは、確認するフォルダを選び◉を押したあと、メールを選んでください。

2 **㋱（メニュー）を押す。**

3 **「返信」または「全返信」を選び、◉を押す。**

- MMSで一度に送信できる宛先は、最大20人です。
- 「全返信」を選ぶと、すべての送信先（To／Cc）に同じ内容のメールを一度に返信できます。
（メールによっては、「全返信」が表示されないことがあります。）

4 **「返信」または「引用付き返信」を選び、◉を押す。**

メール作成画面が表示されます。

- 「引用付き返信」を選ぶと、返信元のメールの本文を引用できます。

5 **返信メールを作成／送信する。**

■ メールの作成／送信方法：☞P.15-7操作5以降

補足▶ 「全返信」を行うと、自分にもメールが送信されることがあります。

メールを転送する

メニュー ▶ メール

1 **「受信ボックス」または「送信ボックス」を選び、◉を押す。**

■ 受信ボックスをフォルダ表示時：フォルダ選択➡◉

2 **メールを選び、◉を押す。**

3 **㋱（メニュー）を押す。**

4 **「転送」を選び、◉を押す。**

メール作成画面が表示されます。

5 **宛先入力欄を選び、◉を押す。**

宛先選択画面が表示されます。

6 **転送先を入力し、◉を押す。**

■ 宛先入力：☞P.15-7操作4

7 **メディア選択バーで、「✉」（送信）を選び、◉を押す。**

8 **「メールの送信」を選び、◉を押す。**

メールが転送されます。

- 添付ファイルがあるときは、転送するメールに自動的に添付されます。

メール内の電話番号／E-mailアドレス／URLを利用する

電話帳に登録する

メールの送信先／送信元の電話番号／E-mailアドレスを電話帳に登録します。また、メールの本文に含まれる電話番号も登録できます。

- 本文に含まれる電話番号は、文字色が変わったものだけ利用できます。

メニュー ▶ メール

1 「受信ボックス」または「送信ボックス」を選び、◉を押す。

■ 受信ボックスをフォルダ表示時：フォルダ選択➡◉

2 メールを選び、◉を押す。

3 *送信元／送信先の電話番号／E-mailアドレス登録*

1 ⊝（メニュー）を押す。

2 「電話帳に登録」を選び、◉を押す。

3 電話番号またはE-mailアドレスを選び、◉を押す。

本文中の電話番号／E-mailアドレスの登録

1 電話番号またはE-mailアドレスを選び、◉を押す。

2 「電話帳に登録」を選び、◉を押す。

4 「新規作成」を選び、◉を押す。

電話番号やE-mailアドレスが、電話帳の該当する項目に入力されます。続けて、他の項目を入力し、電話帳の登録を完了します。(☞P.4-4)

■ 追加登録時：電話帳選択➡◉➡⊝（保存）

電話発信／メール送信／インターネット接続を行う

メール本文に電話番号やE-mailアドレスが含まれているときは、その画面から電話をかけたり、メールを送信できます。また、URL（「http://」／「https://」／「rtsp://」で始まるアドレス）が含まれているときは、インターネットに接続できます。

- 文字色が変わったものだけ利用できます。

メニュー ▶ メール

1 「受信ボックス」または「送信ボックス」を選び、◉を押す。

■ 受信ボックスをフォルダ表示時：フォルダ選択➡◉

2 メールを選び、◉を押す。

- 電話番号やE-mailアドレス、URLが含まれているメールを選んでください。

3 *電話をかける*

1 電話番号を選び、◉を押す。

2 「発信」または「TVコール」を選び、◉を押す。

メールを作成する

1 ボーダフォン携帯電話の電話番号またはE-mailアドレスを選び、◉を押す。

2 「メール作成」を選び、◉を押す。

■ メールの作成／送信方法：☞P.15-7操作５以降

- メール送信後、自動的に待受画面へ戻ります。

URLを利用する

1 URLを選び、◉を押す。

インターネットに接続されます。

- 「rtsp://」で始まるアドレスのときは、動画／音楽がストリーミング再生されます。(☞P.16-10)

メールを保護する

削除したくない受信メールや送信済メールを個別に保護できます。

- 保護されたメールは、削除できません。
- 「テンプレート」内のメールは、複数選択できません。

メニュー ▶ メール

1 「受信ボックス」、「送信ボックス」、「テンプレート」のいずれかを選び、◉を押す。

■ 受信ボックスをフォルダ表示時：フォルダ選択➡◉

2 *1件ずつ保護する*

1 メールを選び、㊀（メニュー）を押す。

- 「テンプレート」を選んだときは、このあと操作3へ進みます。
- 保護解除するときは、保護されているメール（「🔒」表示）を選んでください。

2「その他」を選び、◉を押す。

指定した複数のメールを保護する

1 ㊀（メニュー）を押す。

2「その他」を選び、◉を押す。

3「複数選択」を選び、◉を押す。

4 メールを選び、◉を押す。

メールの右端に「✓」が表示されます。

■ 選択の解除：「✓」が表示されているメール選択➡◉

5 操作4をくり返す。

■ すべてのメール選択：㊀（メニュー）➡「全選択」選択➡◉

■ 全選択の解除：㊀（メニュー）➡「全選択解除」選択➡◉

6 ㊀（メニュー）を押す。

3「保護」または「保護解除」を選び、◉を押す。

保護されたメールには、「🔒」が表示されます。

メールを削除する

- 保護されているメールは、削除されません。
- 「テンプレート」内のメールは、複数選択できません。

メールを指定して削除する

メニュー ▶ メール

1「受信ボックス」、「下書き」、「送信ボックス」、「未送信ボックス」、「テンプレート」のいずれかを選び、◉を押す。

■ 受信ボックスをフォルダ表示時：フォルダ選択➡◉

2 *1件ずつ削除する*

1 メールを選び、㊀（メニュー）を押す。

指定した複数のメールを削除する

1 ㊀（メニュー）を押す。

2「その他」を選び、◉を押す。

3「複数選択」を選び、◉を押す。

4 削除するメールを選び、◉を押す。

メールの右端に「✓」が表示されます。

■ 選択の解除：「✓」が表示されているメール選択➡◉

5 操作4をくり返す。

■ すべてのメール選択：㊀（メニュー）➡「全選択」選択➡◉

■ 全選択の解除：㊀（メニュー）➡「全選択解除」選択➡◉

6 ㊀（メニュー）を押す。

3「削除」を選び、◉を押す。

4 ㊀（Yes）を押す。

メールをすべて削除する

メニュー ▶ メール

1「受信ボックス」、「下書き」、「送信ボックス」、「未送信ボックス」、「テンプレート」のいずれかを選び、◉を押す。

■ 受信ボックスをフォルダ表示時：フォルダ選択➡◉

2 ㊀（メニュー）を押す。

●「テンプレート」を選んだときは、操作４へ進みます。

3「その他」を選び、◉を押す。

4「全件削除」を選び、◉を押す。

5 ㊀（Yes）を押す。

6 ◉を押す。

添付ファイルをデータフォルダに保存する

メール内の添付ファイル（画像やサウンド、vファイルなど）を、データフォルダに保存します。

メニュー ▶ メール

1「受信ボックス」または「送信ボックス」を選び、◉を押す。

■ 受信ボックスをフォルダ表示時：フォルダ選択➡◉

2 メールを選び、◉を押す。

●ファイルが添付されているメールを選んでください。

3 ファイルを選び、㊀（メニュー）を押す。

■ ファイルの情報確認：「プロパティ」選択➡◉

▪確認終了：上記操作のあと㊀（戻る）

4「添付ファイル保存」を選び、◉を押す。

5 保存先を選び、◉を押す。

6 ファイル名を入力する。

●ファイル名を変更しないときは、そのまま操作７へ進みます。

7 ◉を押す。

データフォルダに保存されます。

●データフォルダのメモリが一杯のときは、確認メッセージが表示されます。不要なデータを削除（☞P.9-15）したあと、保存し直してください。

8 ◉を押す。

■ リスト画面に戻る：㊀（戻る）

受信メールをフォルダで管理する

受信ボックスに保存されたメールは、通常「**受信フォルダ**」で管理されています。受信ボックスには、この受信フォルダとは別に利用できる「**振り分けフォルダ**」があり、件名などでメールを自動的に振り分けたり、相手によってフォルダを使い分けることができます。

フォルダ名を変更する

●あらかじめ、受信ボックス表示設定（☞P.15-25）を「**フォルダ表示**」にしておいてください。

メニュー ▶ メール ➡ 受信ボックス

1 振り分けフォルダを選び、㊀（メニュー）を押す。

2「フォルダ名変更」を選び、◉を押す。

■ フォルダ保護時：操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉

3 **フォルダ名を入力し、◉を押す。**

●最大全角10文字（半角カタカナ10文字、半角英数字30文字）まで入力できます。

フォルダの保護／保護解除

■フォルダを保護するときは、操作1のあと、次の操作を行います。
「**フォルダ保護**」選択➡◉➡**操作用暗証番号（4ケタ）入力**➡◉➡◉
●フォルダを保護すると、フォルダ内のメールを確認するとき、操作用暗証番号の入力が必要になります。

■フォルダの保護を解除するときは、操作1のあと、次の操作を行います。
「**フォルダ保護解除**」選択➡◉➡**操作用暗証番号（4ケタ）入力**➡◉➡◉

メールをフォルダに移動する

●連結受信中のメールは、分類（移動）できません。

メニュー ▶ メール ➡ 受信ボックス

1 **メールを選び、㋱（メニュー）を押す。**

●受信ボックスをフォルダ表示（☞P.15-25）にしているときは、確認するフォルダを選び◉を押したあと、メールを選んでください。

2 **「その他」を選び、◉を押す。**

3 **「フォルダへ移動」を選び、◉を押す。**

4 **フォルダを選び、◉を押す。**

5 **◉を押す。**

指定したフォルダへメールを自動的に保存する

受信メールを電話番号やE-mailアドレスによって、指定したフォルダに自動的に振り分けます。また、MMSの件名に含まれる文字列によって、振り分けることもできます。

●設定できる振り分け条件は、1つのフォルダにつき最大20件です。
●振り分け条件は、フォルダ番号が小さい方が優先されます。

メニュー ▶ メール ➡ メール設定 ➡ メール振り分け設定

1 **フォルダを選び、◉を押す。**

■フォルダ保護時：操作用暗証番号（4ケタ）入力➡◉

2 **設定番号を選び、◉を押す。**

■振り分け条件の削除：設定番号選択➡㋱（**メニュー**）➡「**削除**」選択➡◉

3 ***電話番号／E-mailアドレスで振り分ける***

1「送信元」を選び、◉を押す。

2 宛先を入力し、◉を押す。

■宛先入力：☞P.15-7操作4
■宛先の変更：設定番号選択➡㋱（**メニュー**）➡「**宛先変更**」選択➡◉➡宛先入力（☞P.15-7操作4）

件名に含まれる文字で振り分ける

1「件名」を選び、◉を押す。

2 文字を入力し、◉を押す。

●最大全角13文字（半角カタカナ13文字、半角英数字40文字）まで入力できます。

その他の機能

簡単メール宛先を登録する

よくメールを送信する相手を簡単メール宛先に登録しておけば、待受画面から簡単にメールを送信できます。また、メール作成時に利用することもできます。

- 最大10件まで登録できます。

メニュー ▶ メール ➡ メール設定 ➡ 簡単メール宛先設定

1 番号を選び、◉を押す。

■ 登録済の宛先変更：番号選択 ➡㊀（メニュー）➡「変更」選択➡◉➡宛先修正➡◉➡㊀（Yes）

■ 登録済の宛先削除：番号選択➡㊀（メニュー）➡「削除」／「設定リセット」選択➡◉➡㊀（Yes）

2 *宛先を電話帳から選択する*

❶「電話帳」を選び、◉を押す。

❷ 電話帳を選び、◉を押す。

■ 電話帳の検索方法：☞P.4-8

❸ E-mailアドレスまたは電話番号を選び、◉を押す。

宛先を直接入力する

❶「電話番号入力」または「メールアドレス入力」を選び、◉を押す。

❷ ボーダフォン携帯電話の電話番号またはE-mailアドレスを入力し、◉を押す。

簡単にメールを送信する

簡単メール宛先に登録した相手に、待受画面から簡単にメールを作成／送信します。

- あらかじめ、簡単メール宛先を登録しておいてください。（☞左記）

1 待受画面で、簡単メール宛先に登録している番号（1～9、0）を押す。

2 ㊂を押す。

メールの作成画面が表示されます。（宛先はあらかじめ入力されています。）

3 メールを作成／送信する。

■ メールの作成／送信方法：☞P.15-7操作５以降

自動再送メールを設定する

送信に失敗したメールを自動的に再送するように設定できます。

- 自動再送を「On」にすると、一定の間隔をおいて最大２回再送します。
- SMS／MMSにかかわらず、登録（作成）した順にメールを再送できます。
- お買い上げ時には、「Off」に設定されています。

メニュー ▶ メール ➡ メール設定 ➡ 共通設定 ➡ 自動再送

1「On」を選び、◉を押す。

■ 自動再送の解除：「Off」選択➡◉

▪ 自動再送の解除は、再送待ちのメールがない状態で行ってください。

注意▶ 自動再送メール設定は、海外などでローミング網を利用しているときでも有効です。課金が高額になることがありますので、ご注意ください。

SMS／MMSのその他の共通設定

受信ボックス表示設定 受信ボックスの下に、振り分けフォルダを表示させるかどうかを設定します。

お買い上げ時 一覧表示（フォルダ表示しない）

メニュー ▶ メール ➡ メール設定 ➡ 共通設定 ➡ 受信ボックス表示設定

「一覧表示」／「フォルダ表示」選択 ➡ ◉

■ フォルダ保護時：操作用暗証番号（4ケタ）入力 ➡ ◉

署名編集 名前やアドレスなど、メールの本文で使う署名を作成できます。

メニュー ▶ メール ➡ メール設定 ➡ 共通設定 ➡ 署名編集

署名入力 ➡ ◉

■ 登録済の署名の修正：◉ ➡ 署名入力 ➡ ◉

- 作成した署名は、メールの本文を作成するときに、簡単な操作で入力できます。（☞P.15-8）

メールの自動削除 受信ボックス／送信ボックス内のメールを、古いものから自動的に削除するようにします。

お買い上げ時 送信ボックス

メニュー ▶ メール ➡ メール設定 ➡ 共通設定 ➡ メールフォルダ自動削除

「受信ボックス」／「送信ボックス」／「両方」選択 ➡ ◉

■ 自動削除の解除：「Off」選択 ➡ ◉

- 自動削除されるのは、受信ボックス／送信ボックスにメールを保存するメモリがなくなったときです。このときは、古い既読メール／送信済メールから自動的に削除されますので、削除したくないメールは、保護しておいてください。（☞P.15-21）

メールリスト表示切替 リスト画面の表示方法を設定します。

お買い上げ時 1行表示

メニュー ▶ メール ➡ メール設定 ➡ 共通設定 ➡ メールリスト表示切替

表示選択 ➡ ◉

配信確認 送信メールの配信状況を通信レポート（☞P.15-15）として入手するかどうかを設定します。

■宛先がボーダフォン携帯電話のときに利用できます。

お買い上げ時 Off

メニュー ▶ メール ➡ メール設定 ➡ 共通設定 ➡ 配信確認

「On」／「Off」選択 ➡ ◉

- 「On」にすると、ボーダフォン携帯電話へのメール送信時には常に、通信レポートが届くようになります。メールによって設定を変更することもできます。（☞P.15-12）

有効期限 送信したメールをセンターに保存する期間を設定します。

お買い上げ時 最大

メニュー ▶ メール ➡ メール設定 ➡ 共通設定 ➡ 有効期限

期限選択 ➡ ◉

配信確認応答 配信確認が設定されているメールを受信したとき、相手に受信状況を送るかどうかを設定します。

お買い上げ時 On

メニュー ▶ メール ➡ メール設定 ➡ 共通設定 ➡ 配信確認応答

「On」／「Off」選択 ➡ ◉

- 配信確認が設定されているSMSを受信したときは、設定にかかわらず、相手に受信状況を送ります。

ローミング自動受信	MMSをサービスセンターに蓄積せず自動受信するか、手動受信するかを設定します。

■海外で903SHを使用するとき、設定してください。

お買い上げ時 手動受信

メニュー ▶ メール ➡ メール設定 ➡ 共通設定 ➡ ローミング自動受信

「自動受信」／「手動受信」選択➡◉

ホームネットワーク自動受信	MMSをサービスセンターに蓄積せず自動受信するか、手動受信するかを設定します。

■日本国内で903SHを使用するとき、設定してください。

お買い上げ時 手動受信

メニュー ▶ メール ➡ メール設定 ➡ 共通設定 ➡ ホームネットワーク自動受信

「自動受信」／「手動受信」選択➡◉

SMS設定

メッセージセンター	SMSセンター番号を設定します。

お買い上げ時 +819066519300

メニュー ▶ メール ➡ メール設定 ➡ SMS設定 ➡ メッセージセンター

SMSセンター番号入力➡◉

- ご契約されたボーダフォンから番号変更のお知らせがないときは、変更しないでください。

送信メールの最適化	フランス語のアクサン・グラーヴ、ドイツ語のウムラウトなどを類似するアルファベットに置き換えます。

お買い上げ時 On

メニュー ▶ メール ➡ メール設定 ➡ SMS設定 ➡ 送信メールの最適化

「On」／「Off」選択➡◉

MMS設定

- MMSアカウントの設定は、「**MMSアカウント**」（☞P.10-18）を参照してください。

スライド表示時間	スライドが表示される時間を設定します。

お買い上げ時 3秒

メニュー ▶ メール ➡ メール設定 ➡ MMS設定 ➡ スライド表示時間

表示時間入力➡◉

送信メールサイズ制限	送信するメールのサイズを設定し、それを超えるサイズのメールを送信できなくします。

お買い上げ時 300KB

メニュー ▶ メール ➡ メール設定 ➡ MMS設定 ➡ 送信メールサイズ制限

サイズ選択➡◉

メール作成モード	メールに添付するファイルの種類やメール形式を制限し、海外の電話機などとの互換性を高めます。

お買い上げ時 制限なし

メニュー ▶ メール ➡ メール設定 ➡ MMS設定 ➡ メール作成モード

「制限なし」／「互換性優先」選択➡◉

ウェブ

ウェブについて

ウェブとは、Vodafone live!を利用したインターネット接続サービスです。(☞P.14-2)

- ボーダフォン携帯電話だけで、さまざまな内容のコンテンツにアクセスしたり、情報の検索や、画像／サウンドの取得などが行えます。
- ウェブは、903SHでは「Vodafone live!」と表示されています。(☞P.1-24)

情報画面

ウェブの情報画面は、次のような構造になっています。

キャッシュメモリ（一時保存用のメモリ）

■ウェブで入手したメニューや情報は、「**キャッシュメモリ**」に一時保管されます。キャッシュメモリの容量は、あらかじめ定められていて、メモリが一杯になると古い情報から順に自動的に消去されます。

- 一度見た情報画面を再度表示すると、サービスセンター内の情報ではなく、キャッシュメモリに一時保存されている情報が表示されることがあります。
- 有効期限が指定されている情報は、有効期限を過ぎるとキャッシュメモリから消去されます。

注意▶ 通信やサーバーなどの状態によっては、情報画面を表示できないことがあります。

補足▶ ウェブの通信料や詳細は、「**3Gガイドブック**」をご覧ください。

■SSL

SSL（Secure Socket Layerの略）とは、インターネット上でデータを暗号化して送受信する通信方法です。一般的に、クレジットカードの番号や個人情報など、大切な情報を送受信する際に使用されます。

903SHでは、あらかじめ認証機関から発行された電子的な証明書が登録されています。この証明書の内容を確認することもできます。(☞P.16-14)

SSL利用に関するご注意

■セキュリティで保護されている情報画面を表示する場合、お客様は自己の判断と責任においてSSLを利用することに同意されたものとします。

お客様自身によるSSLの利用に際し、ボーダフォンおよび認証会社である日本ベリサイン株式会社、日本ボルチモアテクノロジーズ株式会社、エントラストジャパン株式会社は、お客様に対しSSLの安全性などに関して何ら保証を行うものではありません。

万一、何らかの損害がお客様に発生した場合でも一切責任を負うものではありませんので、あらかじめご了承願います。

ウェブにアクセスする

メニューからアクセスする

ウェブのメインメニューから項目を選び、情報を入手します。

●あらかじめネットワーク自動調整を行ってください。（☞P.1-22、P.10-20）

メニュー ▶ Vodafone live!

1 「Vodafone live!」を選び、◉を押す。

ウェブのメインメニューが表示されます。

●待受画面で ㊀（◉）を押しても、ウェブのメインメニューが表示されます。

●ウェブのメインメニューは、変更されることがあります。

2 項目にカーソルを移動する。

3 ◉を押す。

●通信中に903SHを閉じても、通信は中断されません。

■通信中止：通信中にCLEAR/BACK

4 操作２～３と同様の操作をくり返し、閲覧する項目を順に選ぶ。

■情報画面での操作：☞P.16-5

5 ウェブを終了するときは、◎を押したあと、㊀（Yes）を押す。

前／次の情報画面の表示

■前に表示した情報画面に戻るときは、次の操作を行います。

㊀（**戻る**）

■元の画面に戻る：上記操作のあと㊀（**メニュー**）➡「**進む**」選択➡◉

セキュリティで保護されている情報画面の表示

■SSL／TLSに対応している情報画面を表示しようとすると、確認画面が表示されます。このときは、次の操作を行います。

㊀（OK）

● 画面に「🔒」が表示されます。

● 確認画面を表示しないように設定することもできます。（☞P.16-14）

認証要求時の操作

■情報画面によっては、接続のために認証（ユーザー ID やパスワードの入力）を要求されることがあります。このときは、次の操作を行います。

ユーザー ID／パスワード入力➡◉

補足▶ ウェブのメインメニューや情報画面がキャッシュメモリ（☞P.16-2）に保存されているときは、サービスセンターとの通信は行わず、保存されている内容が表示されることがあります。

履歴を利用してアクセスする

これまでに表示した情報画面の履歴を利用して、情報画面を表示します。

- 履歴には、最大10件までドメインが記憶されます。1件のドメイン内には、最大30件まで情報画面が記憶されます。最大件数を超えたときは、古いドメイン／情報画面から順に自動的に削除されます。

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ 履歴

1 ドメインを選び、◉を押す。

2 履歴を選び、◉を押す。

- 履歴の情報確認：履歴選択➡㊀（**メニュー**）➡「**プロパティ**」選択➡◉
  - ■ 確認終了：㊀（**戻る**）
- URLをメールで送信：履歴選択➡㊀（**メニュー**）➡「**URLをメール送信**」選択➡◉➡メール作成／送信（☞P.15-7）

3 接続を終わるときは、◎を押したあと、㊀（Yes）を押す。

履歴の削除

■履歴を削除するときは、ドメイン／情報画面のリスト画面で、次の操作を行います。（「**全件削除**」のときは、ドメイン／情報画面の履歴を選ぶ必要はありません。）

ドメイン／情報画面の履歴選択➡㊀（メニュー）➡「削除」／「全件削除」選択➡◉➡㊀（Yes）➡㊀（OK）

- 情報画面のリスト画面で、全件削除を行うと、同じドメイン内の履歴がすべて削除されます。

URLを入力してインターネットにアクセスする

インターネットのホームページなどのURL（「http://」／「https://」／「file://」で始まるアドレス）を入力して、情報画面を表示します。

- あらかじめネットワーク自動調整を行ってください。（☞P.1-22、P.10-20）

メニュー ▶ Vodafone live!

1 「URL入力」を選び、◉を押す。

- 「www.」を簡単に入力：◎➡◉
- アドレスヘッダ（「http://」など）を簡単に入力：㊀（**メニュー**）➡「**アドレスヘッダ選択**」選択➡◉➡入力する項目選択➡◉

2 ◉を押す。

3 URLを入力し、◉を押す。

- 「.co.jp」、「.ne.jp」などを簡単に入力：[＊]➡入力する項目選択➡◉

4 ㊀（メニュー）を押す。

5 「OK」を選び、◉を押す。

情報画面が表示されます。

6 接続を終わるときは、◎を押したあと、㊀（Yes）を押す。

注意▶ インターネットのホームページによっては、画面がうまく表示されないことがあります。また、画像表示などパソコンで見る内容と異なることがあります。

補足▶ これまでに表示した情報画面の履歴を利用してアクセスするときは、左記「**履歴を利用してアクセスする**」を参照してください。

情報画面での操作のしかた

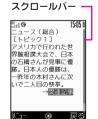
カーソルを移動する

ウェブの情報画面では、カーソルを移動して項目を選びます。選べる項目にはアンダーラインが付いています。
⇕を押すと、カーソルが１段ずつ下または上に移動します。

また、同じ行に複数の項目があるときは、⇔を押すとカーソルが右または左に移動します。
- 選べる項目がないときは、カーソルは表示されません。

画面を切り替える

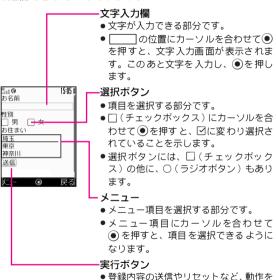
下画面や上画面があるときは、画面の右にスクロールバーが表示されます。スクロールバーの赤色の部分が現在表示されている位置です。
⇕を押すと、続きの画面が表示され、スクロールバーの赤色の部分も移動します。

スクロールバー

情報画面内の文字入力や項目選択

入手した情報によっては、下の画面例のように、文字を入力したり、選択ボタンやメニューで項目を選択して、情報を返信できるものもあります。

文字入力欄
- 文字が入力できる部分です。
- ［　　］の位置にカーソルを合わせて◉を押すと、文字入力画面が表示されます。このあと文字を入力し、◉を押します。

選択ボタン
- 項目を選択する部分です。
- □（チェックボックス）にカーソルを合わせて◉を押すと、☑に変わり選択されていることを示します。
- 選択ボタンには、□（チェックボックス）の他に、○（ラジオボタン）もあります。

メニュー
- メニュー項目を選択する部分です。
- メニュー項目にカーソルを合わせて◉を押すと、項目を選択できるようになります。

実行ボタン
- 登録内容の送信やリセットなど、動作を選択する部分です。
- ［　　］の位置にカーソルを合わせて◉を押すと、［　　］内の動作を行います。

文字入力欄への文字入力時（インプットメモリ）

■情報画面の文字入力欄に入力した文字は、自動的にインプットメモリに登録されます。登録されたインプットメモリは、必要なときに呼び出して利用できます。（入力した暗証番号や、セキュリティで保護されている情報内で入力した文字は、登録されません。）

■インプットメモリは、新しいものから最大20件まで記憶されています。20件を超えたときは、古いインプットメモリから順に消去されます。

インプットメモリの利用

■文字入力できる状態で、次の操作を行うと、選んだインプットメモリの内容が入力されます。

㊀（メニュー）➡「その他」選択➡◉➡「インプットメモリ」選択➡◉➡インプットメモリ選択➡◉

情報の利用

ブックマーク／お気に入りを利用する

よく利用するURL／情報画面を「**ブックマーク**」、「**お気に入り**」に登録しておくと、簡単な操作で表示できます。

●各機能の内容は、次のとおりです。

機能名	内容
ブックマーク	情報画面のURLが登録されます。情報は、ウェブに接続することで確認できます。 ● フォルダで管理することもできます。 ● お買い上げ時には、壁紙やゲームなどの多彩なコンテンツや、辞書ファイルなどのダウンロードができるシャープオリジナルサイト「Sharp Space Town」が登録されています。
お気に入り	情報画面そのものが登録されます。情報は、ウェブに接続せずに確認できます。 ● お気に入りには、気になる情報をメモ代わりに登録すると便利です。

URL／情報画面を登録する

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ Vodafone live! ➡ 情報画面を表示する

1 **㊀（メニュー）を押す。**

●「**ブックマーク登録**」が表示されないときは、ブックマークには登録できません。

2 ***ブックマークに登録する***

❶「ブックマーク登録」を選び、◉を押す。

❷ タイトルを確認し、◉を押す。

■タイトルが表示されていないとき：上記操作のあと㊀（OK）➡タイトル入力➡◉➡㊀（**メニュー**）➡「OK」選択➡◉

❸ ㊀（OK）を押す。

■同名のブックマークあり：◉➡タイトル変更➡◉➡㊀（**メニュー**）➡「OK」選択➡◉➡㊀（OK）

お気に入りに登録する

❶「その他」を選び、◉を押す。

●「**お気に入りへ登録**」が表示されないときは、お気に入りに登録できません。

❷「お気に入りへ登録」を選び、◉を押す。

❸ タイトルを入力し、◉を押す。

❹ ㊀（OK）を押す。

URL入力でのブックマーク登録

■直接URLを入力してブックマークに登録するときは、次の操作を行います。

◉➡「Vodafone live！」選択➡◉➡「ブックマーク」選択➡◉➡⊖（メニュー）➡「新規作成」選択➡◉➡「新規ブックマーク」選択➡◉➡◉➡URL入力➡◉➡⊖（メニュー）➡「OK」選択➡◉➡タイトル入力➡◉➡⊖（メニュー）➡「OK」選択➡◉➡⊖（OK）

登録した情報画面を表示する

メニュー ▶ Vodafone live!

1 *ブックマークを表示する*

❶「ブックマーク」を選び、◉を押す。

- ブックマークの情報確認：タイトル選択➡⊖（メニュー）➡「プロパティ」選択➡◉
  - ■確認終了：⊖（戻る）
- URLをメールで送信：タイトル選択➡⊖（メニュー）➡「URLをメール送信」選択➡◉➡メール作成／送信（☞P.15-7）

ブックマークのリスト画面

お気に入りを表示する

❶「お気に入り」を選び、◉を押す。

- お気に入りの更新：⊖（メニュー）➡「更新」選択➡◉➡⊖（OK）
  - ■ウェブに接続して最新の情報画面に更新します。
- お気に入りの情報確認：タイトル選択➡⊖（メニュー）➡「プロパティ」選択➡◉
  - ■確認終了：⊖（戻る）
- お気に入りの表示（日付／タイトル）切替：タイトル選択➡⊖（メニュー）➡「日付表示」／「タイトル表示」選択➡◉

お気に入りのリスト画面

2 タイトルを選び、◉を押す。

情報画面表示中のブックマーク／お気に入り表示

■情報画面表示中に、ブックマークまたはお気に入りを表示するときは、次の操作を行います。

ブックマーク：⊖（メニュー）➡「ブックマーク」選択➡◉➡タイトル選択➡◉

お気に入り：⊖（メニュー）➡「その他」選択➡◉➡「お気に入り」選択➡◉➡タイトル選択➡◉

ブックマーク／お気に入りの登録内容を編集する

●登録内容の編集の操作は、ブックマークやお気に入りのリスト画面（☞P.16-7「登録した情報画面を表示する」操作1の画面）で行います。

タイトル名／フォルダ名の変更	タイトル名やフォルダ名（ブックマークだけ）を変更します。

ブックマーク／お気に入りのリスト画面で、タイトル／フォルダ選択➡㋠（メニュー）➡「タイトル変更」選択➡◉➡タイトル名／フォルダ名入力➡◉

● お気に入りの編集時は、上記操作のあと㋠（OK）を押してください。

削除	ブックマークやお気に入りを削除します。

ブックマーク／お気に入りのリスト画面で、タイトル／フォルダ選択➡㋠（メニュー）➡「削除」／「全件削除」選択➡◉➡㋠（Yes）➡㋠（OK）

● フォルダを削除するときは、フォルダ内のブックマークをすべて削除してから操作してください。

URLの編集（ブックマーク）	ブックマークのURLを編集します。

ブックマークのリスト画面で、タイトル選択➡㋠（メニュー）➡「URL編集」選択➡◉➡◉➡URL入力➡◉➡㋠（メニュー）➡「OK」選択➡◉

フォルダで管理（ブックマーク）	ブックマークをフォルダで管理します。

新規フォルダ作成

ブックマークのリスト画面で、㋠（メニュー）➡「新規作成」選択➡◉➡「フォルダ作成」選択➡◉➡フォルダ名入力➡◉➡㋠（OK）

フォルダに移動

ブックマークのリスト画面で、タイトル選択➡㋠（メニュー）➡「移動」選択➡◉➡移動先フォルダ選択➡◉

● フォルダが1件もないときは、「移動」は選択できません。

■ フォルダ内に移動したブックマークを元に戻すとき:移動先フォルダ選択時に「ブックマーク」選択➡◉

情報内のファイルをデータフォルダに保存する

情報内の画像やサウンド、vファイルなどをデータフォルダに保存します。

情報画面に含まれるファイルを保存する

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ Vodafone live! ➡ 情報画面を表示する

1 **㋠（メニュー）を押す。**

2 **「ファイル保存」を選び、◉を押す。**

■ ファイルの確認：ファイル選択➡㋠（メニュー）➡「表示」選択➡◉
- ■確認終了：㋘（戻る）

■ ファイルの情報確認：ファイル選択➡㋠（メニュー）➡「プロパティ」選択➡◉
- ■確認終了：㋘（戻る）

■ ファイルをメール（MMS）に添付して送信：ファイル選択➡㋠（メニュー）➡「メール送信」選択➡◉➡メール作成／送信（☞P.15-7）
- ■「メール送信」が表示されないときは、メール（MMS）に添付して送信できません。

3 **ファイルを選び、◉を押す。**

データフォルダのリスト画面が表示されます。

■ 903SH／メモリカードの切替：◎

■ 新しく作成したフォルダに保存:データフォルダのリスト画面で、フォルダ選択➡◉

ウェブ

16

4「保存」を選び、◉を押す。

●タイトル（ファイル名）を変更しないときは、◉を押したあと、操作6へ進みます。

5 タイトル（ファイル名）を入力し、◉を押す。

●データフォルダのメモリが一杯のときは、空き容量がない旨のメッセージが表示されます。不要なデータを削除（☞P.9-15）したあと、保存し直してください。

6 ◯（OK）を押す。

データフォルダに保存されます。

リンクからファイルを保存する

情報によっては、文字列などに設定されているリンクから、ファイルをダウンロードできるものもあります。

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ Vodafone live! ➡ 情報画面を表示する

1 リンクが設定してある文字列などを選び、◉を押す。

ダウンロードするファイルの情報が表示されます。

2 ◉を押す。

ダウンロードを開始します。ダウンロードが終わると、確認画面が表示されます。（ダウンロードしたファイルは、データフォルダに保存されます。）

■ダウンロード中止：ダウンロード中に◯（キャンセル）

3 ◉を押す。

ファイルが表示／再生されます。

■確認終了：◯（戻る）

情報画面内の電話番号／E-mailアドレス／URLを利用する

情報画面に電話番号（先頭に「TEL:」が付いている番号）やE-mailアドレスが含まれているときは、その画面から電話をかけたり、MMSを送信できます。また、URL（「http://」／「https://」／「rtsp://」で始まるアドレス）が含まれているときには、インターネットに接続できます。

●アンダーラインが付いていないときは、利用できません。

●電話番号やE-mailアドレス、URLが表示されていなくても、操作できることもあります。

メニュー ▶ Vodafone live!

1 電話番号やE-mailアドレス、URLが含まれている情報画面を表示する。

2 ***電話番号を利用する***

1 電話番号を選び、◉を押す。

2「発信」または「TVコール」を選び、◉を押す。

電話番号がダイヤルされます。

E-mailアドレスを利用する

1 E-mailアドレスを選び、◉を押す。

2「メール作成」を選び、◉を押す。

■メールの作成／送信：☞P.15-7

URLを利用する

1 URLを選び、◉を押す。

インターネットに接続されます。

●「rtsp://」で始まるアドレスのときは、動画／音楽がストリーミングで再生されます。（☞P.16-10）

電話帳への登録

■新規で登録するときは、情報画面で次の操作を行います。
　電話番号／E-mailアドレス選択➡◉➡「電話帳に登録」選択➡◉➡㊀（メニュー）➡「新規作成」選択➡◉➡P.4-4

■登録されている電話帳に追加登録するときは、情報画面で次の操作を行います。
　電話番号／E-mailアドレス選択➡◉➡「電話帳に登録」選択➡◉➡電話帳選択➡◉➡㊀（保存）

動画／音楽をストリーミングで再生する

動画や音楽のデータをダウンロードしながら同時に再生します。（ストリーミング）

- ストリーミングで再生できるのは、ストリーミング用のデータだけです。
- ダウンロードしたデータは、903SHやメモリカードには保存されません。

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ Vodafone live! ➡ 情報画面を表示する

1 ストリーミングするデータを選び、◉を押す。

メディアプレイヤーが起動し、動画や音楽がストリーミング再生されます。
（動画／音楽の再生：☞P.7-11、P.7-7）

■一時停止：ストリーミング再生中に◉
　■一時停止中の再開：◉

■表示サイズの設定：ストリーミング再生中に㊀（メニュー）➡「表示サイズ」選択➡◉➡「等倍」／「拡大」／「全画面表示」選択➡◉

■表示サイズの変更：ストリーミング再生中に[0]
　■[0]を押すたびに、画面表示が「拡大」→「全画面表示（アイコンなし）」→「全画面表示（アイコンあり）」→「等倍」…の順に切り替わります。
　■データや再生開始状態によっては、表示サイズが変更されないことがあります。
　■一時停止中は、「全画面表示（アイコンなし）」⇔「全画面表示（アイコンあり）」だけ変更できます。
　■再生終了後、次回起動時からは「表示サイズ」（☞下記、P.16-11）で設定されたサイズで表示されます。

■URL入力によるストリーミング再生：ストリーミング再生中に◉➡㊀（メニュー）➡「URL入力」選択➡◉➡URL入力➡◉

■URLをお気に入りに登録：ストリーミング再生中に◉➡㊀（メニュー）➡「お気に入り」選択➡◉➡「お気に入りに追加」選択➡◉

再生中に電話着信があると

■ストリーミング再生中に電話着信があると、再生中のデータを自動的に保存します。（アラームが動作したときや、電池レベル表示が「▭」になったとき、メモリカードを入れたときも同様です。）
着信画面表示中に、通話または通話拒否するときは、次の操作を行います。
　㊀（メニュー）➡「応答」／「通話拒否」選択➡◉

- 通話後は、ブラウザから起動したときはブラウザ画面に、メディアプレイヤーから起動したとき（☞P.16-11）は待受画面に戻ります。

保存したデータがあると

■保存したデータがあると、保存した続きからストリーミング再生できます。
続きから再生するときは、次の操作を行います。
　㊀（Yes）
　■始めから再生：㊀（No）

注意▶
- ストリーミング一時停止中も、ウェブへは接続されています。
- ストリーミング中にメールを受信すると、メール着信音は鳴らずに、「✉」が表示されます。
- 一時停止中などで5分間以上そのままにしていると、ストリーミングは終了します。
- ストリーミング中にクローズポジションにすると、ストリーミングは終了します。(音楽データのストリーミング再生中を除く)

補足▶ ストリーミング再生時に接続したURLは、903SHに最大10件まで記憶されます。(アクセス履歴)
10件を超えたときは、古い履歴から順に自動的に削除されます。

メディアプレイヤーからのストリーミング	あらかじめメディアプレイヤーを起動してから、ウェブに接続してストリーミング再生します。

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ ムービー ➡ ストリーミング

保存したデータがあるとき(☞P.16-10)に、続きから再生する

「続き再生」選択➡◉
- 保存した続きからストリーミング再生されます。
- 保存した情報がないときは、「**続き再生**」を選択できません。

URL入力によるストリーミング再生

「URL入力」選択➡◉➡URL入力➡◉
- 最大半角英数字1024文字まで入力できます。

お気に入りを利用したストリーミング再生

「お気に入り」選択➡◉➡お気に入り選択➡◉

アクセス履歴を利用したストリーミング再生

「アクセス履歴」選択➡◉➡履歴選択➡◉

- アクセス履歴の詳細を確認:「**アクセス履歴**」選択➡◉➡履歴選択➡㊀(**メニュー**)➡「**プロパティ**」選択➡◉
  - ■確認の終了:㊀(**戻る**)
- アクセス履歴のURLを編集して接続:「**アクセス履歴**」選択➡◉➡履歴選択➡㊀(**メニュー**)➡「**URL編集**」選択➡◉➡URL編集➡◉

表示サイズの設定

「表示サイズ」選択➡◉➡「等倍」/「拡大」/「全画面表示」選択➡◉

補足▶ ストリーミング再生中の操作は、P.16-10を参照してください。

情報表示中の各種操作

ホーム	情報画面表示中にウェブのメインメニューに移動します。

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ Vodafone live! ➡ 情報画面を表示する ➡ メニュー(㊀)

「ホーム」選択➡◉

URLを入力してアクセス	情報画面表示中にURLを入力してアクセスします。

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ Vodafone live! ➡ 情報画面を表示する ➡ メニュー(㊀)

「URL入力」選択➡◉➡P.16-4操作2以降

履歴を表示してアクセス	情報画面表示中に履歴を表示してアクセスします。

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ Vodafone live! ➡ 情報画面を表示する ➡ メニュー(㊀)

「履歴」選択➡◉➡P.16-4操作1以降

情報の更新 情報を最新の内容に更新します。

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ Vodafone live! ➡ 情報画面を表示する ➡ メニュー（⊝）

「更新」選択➡◉

URLをメールで送信 情報画面のURLをメールで送信します。

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ Vodafone live! ➡ 情報画面を表示する ➡ メニュー（⊝）➡ その他 ➡ URLをメール送信

メール作成／送信（☞P.15-7）

プロパティ 情報の詳細を確認します。

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ Vodafone live! ➡ 情報画面を表示する ➡ メニュー（⊝）➡ その他

「プロパティ」選択➡◉

■ 情報画面に戻る：上記操作のあと⊖（戻る）

キャッシュ/Cookie/履歴の削除 キャッシュ／Cookie／履歴を削除します。

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ Vodafone live! ➡ 情報画面を表示する ➡ メニュー（⊝）➡ その他 ➡ 保存情報削除

「キャッシュ削除」／「Cookie削除」／「履歴削除」選択➡◉

● 項目内容は、次のとおりです。

キャッシュ	キャッシュメモリに一時保管された情報のことです。
Cookie	サーバー側で利用者を識別するための情報のことです。
履歴	これまでに表示した情報画面のうちで、903SHに記憶されている情報画面のURLのことです。

ページ内検索 情報画面内の文字を検索したり、情報画面の先頭や最後に移動します。

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ Vodafone live! ➡ 情報画面を表示する ➡ メニュー（⊝）➡ その他 ➡ ページ内検索

文字列の新規検索

「テキスト検索」選択➡◉➡◉➡検索文字列入力➡◉➡⊝（実行）

● 該当する文字列が複数あるときは、先頭の文字列だけが反転表示されます。このあと◉を押すと、次の文字列が表示されます。

情報画面の先頭や最後への移動

「先頭へジャンプ」／「文末へジャンプ」選択➡◉

テキストコピー 情報画面内の文字をコピーします。

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ Vodafone live! ➡ 情報画面を表示する ➡ メニュー（⊝）➡ その他

「テキストコピー」選択➡◉➡P.3-13「コピー／カット（切り取り）／ペースト（貼り付け）を行う」操作3以降

カレント証明書 現在表示中の、セキュリティで保護されている情報画面の証明書を確認します。

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ Vodafone live! ➡ 情報画面を表示する ➡ メニュー（⊝）➡ その他 ➡ ブラウザ設定 ➡ セキュリティ

「カレント証明書」選択➡◉

■ 確認の終了：⊖（戻る）

■ 証明書の詳細：⊝（プロパティ）

ブラウザの再起動　情報画面がうまく表示されないときなどに、ブラウザを起動し直します。

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ Vodafone live! ➡ 情報画面を表示する ➡ メニュー（◯）➡ その他

「ブラウザ再起動」選択 ➡ ◉

● 再起動したあとは、ウェブのメインメニューが表示されます。

ブラウザ情報の確認　ブラウザの詳しい情報を確認します。

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ Vodafone live! ➡ 情報画面を表示する ➡ メニュー（◯）➡ その他

「ブラウザについて」選択 ➡ ◉

■ 確認の終了：◯（戻る）

画像などのアップロード　データフォルダ内の画像など各種ファイルを、サービスセンターへアップロード（送信）します。

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ Vodafone live! ➡ 情報画面を表示する

アップロード操作のできる情報画面で、「参照」を選択 ➡ ◉ ➡ データフォルダの画面表示 ➡ 画像などを選択（☞P.9-4）➡ ◉ ➡「送信」選択 ➡ ◉

● 上記の操作は、あくまでも一例です。詳しくは、情報画面の操作説明を参照してください。
● コンテンツによっては、アップロードに対応していないことがあります。

その他の機能

ウェブ関連の設定

文字サイズの設定　情報画面の文字サイズを設定します。

お買い上げ時 中

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ ブラウザ設定 ➡ 文字サイズ

文字サイズ選択 ➡ ◉

スクロール単位の設定　情報画面がスクロールする単位を設定します。

お買い上げ時 行単位

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ ブラウザ設定 ➡ スクロール単位

スクロール単位選択 ➡ ◉

リンク元の参照　リンク元の参照を設定します。

お買い上げ時 許可する

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ ブラウザ設定 ➡ リンク元の参照

「許可する」／「許可しない」選択 ➡ ◉

Cookie　Cookie（☞P.16-12）を許可するかどうかを設定します。

お買い上げ時 許可する

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ ブラウザ設定 ➡ Cookie

「許可する」／「許可しない」選択 ➡ ◉

テキストブラウズ	情報内の画像やサウンドを取得せずに、文字情報だけを表示します。

お買い上げ時すべて取得（再生）する

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ ブラウザ設定 ➡ テキストブラウズ

「画像取得」／「サウンド取得」／「オブジェクト取得」選択➡◉➡「取得する」／「取得しない」（サウンドのときは「再生する」／「再生しない」）選択➡◉

- オブジェクトとは、画像／サウンド以外のファイルです。

製造番号通知	情報画面を表示したときに、製造番号（接続認証のための情報）を自動的に送信します。

お買い上げ時Off

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ ブラウザ設定 ➡ 製造番号通知

「On」／「Off」選択➡◉

位置情報設定	位置情報を自動的に送信するかどうかを設定します。

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ ブラウザ設定 ➡ 位置情報設定

「位置情報送信確認」選択➡◉➡◉➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡◉➡㊀（OK）➡「毎回確認」／「送信する」／「送信しない」選択➡◉

- 「位置情報設定」内の「測位On/Off設定」（☞P.11-15）が「Off」に設定されているときは、「位置情報設定」を「送信する」に設定しても、位置情報は送信されません。

ファイル保存先	ダウンロードファイルの保存先を、903SH（本体メモリ）またはメモリカード（メモリカード優先）に設定します。

お買い上げ時メモリカード優先

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ ブラウザ設定 ➡ ファイル保存先

「本体メモリ」／「メモリカード優先」選択➡◉

- 「メモリカード優先」に設定されている場合、メモリカードの保存容量を超えたときは、903SHに保存されます。
- 「メモリカード優先」に設定されている場合、メモリカードが挿入されていないときは、903SHに保存されます。
  また、ファイルによっては、メモリカードに保存できないことがあります。

セキュリティ設定

セキュリティ確認画面	セキュリティで保護されている情報画面（☞P.16-2）と通常の情報画面の間を移動するとき、確認画面を表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時表示する

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ ブラウザ設定 ➡ セキュリティ ➡ セキュリティ確認画面

「表示する」／「表示しない」選択➡◉

ルート証明書	903SHにあらかじめ登録されている、認証機関が発行した電子的な証明書を確認します。

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ ブラウザ設定 ➡ セキュリティ

「ルート証明書」選択➡◉

- 確認の終了：㊀（戻る）
- 証明書の詳細：㊀（プロパティ）

認証	認証要求時に、以前に入力したユーザーID／パスワードで自動的に認証するかどうかを設定します。

お買い上げ時On

メニュー ▶ Vodafone live! ➡ ブラウザ設定 ➡ セキュリティ ➡ 認証

「On」／「Off」選択➡◉

Vアプリ

Vアプリについて

903SHにゲームなど、いろいろなタイプのアプリケーション（Vアプリ）をウェブからダウンロードして楽しめます。

- ネットワークに接続しながら楽しめるVアプリもあります。
- 903SHでは、ボーダフォン携帯電話専用のVアプリだけ利用できます。
- Vアプリの利用には、別途ご契約が必要です。（お買い上げ時に登録されているVアプリは、そのまま利用できます。）

補足▶ 通信料や詳細については「3Gガイドブック」をご覧ください。

Vアプリライブラリを表示する

903SHに保存されているVアプリは、Vアプリライブラリで確認できます。
また、メモリカードに保存したVアプリも確認できます。

メニュー ▶ Vアプリ

1 「Vアプリ」を選び、◉を押す。

903SHのVアプリライブラリが表示されます。

■903SH／メモリカードのVアプリライブラリを切替：◎

Java™のライセンスに関する情報の確認

■次の操作を行います。

◉➡「Vアプリ」選択➡◉➡「インフォメーション」選択➡◉

ネットワーク接続型Vアプリ

Vアプリによっては、利用時にネットワーク（ウェブ）への接続が必要なことがあります。このようなVアプリを「**ネットワーク接続型Vアプリ**」といいます。

- ネットワーク接続型Vアプリを利用するときには、ネットワーク接続の確認画面が表示されます。設定により、この確認画面を表示しないようにすることもできます。（☞P.17-7）
- 通信料については、「**3Gガイドブック**」を参照してください。

メモリカードに保存したVアプリをご利用の場合

メモリカードを別のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用（データの編集や追加、消去など）したときは、Vアプリライブラリの情報を更新する必要があります。（メモリカードシンクロ）

- あらかじめネットワーク自動調整を行ってください。（☞P.1-22、P.10-20）
- Vアプリライブラリを更新しないと、正しく動作しないことがあります。

メニュー ▶ Vアプリ ➡ Vアプリ設定 ➡ メモリカードシンクロ

1 ⊖（Yes）を押す。

注意▶ 903SHからメモリカードに保存したVアプリは、お客様のUSIMカードが取り付けられた903SHまたは機種交換されたボーダフォン携帯電話以外では利用できません。

補足▶ Vアプリライブラリのファイル数やデータ量によっては、情報更新が完了するまで時間がかかることがあります。

外部出力

903SHは、ビデオ出力ケーブルを利用して、テレビやビデオなどの他の機器でVアプリを表示できます。

- ご利用にあたっては、外部出力に対応したVアプリが必要です。外部出力に対応しているかどうかは、プロパティの「TV出力」欄で確認できます。（☞P.17-5）
- あらかじめビデオ出力ケーブルで、テレビやビデオなどの他の機器と接続し、「**外部出力**」の「**On／Off設定**」を「On」に設定しておいてください。（☞P.11-7）

メニュー ▶ Vアプリ ➡ Vアプリ

1 Vアプリを選び、◉を押す。

Vアプリがテレビやビデオなどで表示されます。

■ 903SHのディスプレイに表示：[文字]（[文字]を押すたびに切り替わります。）

- ■ 表示サイズを拡大／等倍に切り替えることもできます。（☞P.11-8）

注意▶
- Vアプリを外部出力でご利用になるときは、視力の低下を防止するため、長時間の利用を控えるようにしてください。
- Vアプリ待受設定から起動したVアプリは、外部出力できません。

Vアプリをダウンロードする

- あらかじめネットワーク自動調整を行ってください。（☞P.1-22、P.10-20）
- ダウンロードするVアプリによっては、メモリカードにも保存できます。
- 電波状態のよい所で利用してください。

メニュー ▶ Vアプリ ➡ Vアプリ ➡ Vアプリダウンロード

1 Vアプリを提供しているウェブの情報画面を表示する。

2 Vアプリを選び、◉を押す。

データ解析中の確認メッセージが表示されたあと、Vアプリ情報が受信され、情報表示画面が表示されます。

■ Vアプリ一時停止中［「」（グレー）点灯時］：⊙（Yes）

3 ◉を押す。

Vアプリ本体のダウンロードが開始されます。

- ダウンロードする際に、多少時間がかかることがあります。

■ ダウンロードの中止：⊙（**戻る**）

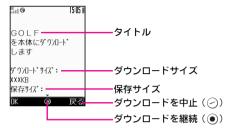
4 ダウンロードが終われば、自動的に保存され、確認画面が表示される。

- Vアプリ待受に設定されているVアプリの新しいバージョンをダウンロードしたときは、確認メッセージが表示され、Vアプリ待受設定が解除されることがあります。

5 ⊙（Yes）を押す。

ウェブを終了し、Vアプリライブラリが表示されます。

■ ウェブの情報画面に戻る：⊙（No）

■ Vアプリの起動：☞P.17-4

情報表示画面

Vアプリのダウンロードでは、Vアプリ本体をダウンロードする前に、タイトルやサイズなどのVアプリ情報を受信します。（情報表示画面）
この情報表示画面で確認したあと、Vアプリ本体をダウンロードできます。

メモリ使用状況の確認

■次の操作を行います。
◉➡「データフォルダ」選択➡◉「メモリ確認」選択➡◉➡「本体」／「メモリカード」選択➡◉

Vアプリの利用

Vアプリを起動する

Vアプリはオープンポジションでご利用ください。ビューアポジションでは操作できません。

メニュー▶ Vアプリ

1 「Vアプリ」を選び、◉を押す。

Vアプリライブラリ（☞P.17-2）が表示されます。

■Vアプリ一時停止中［「♨」（グレー）点灯時］：◉

2 Vアプリを選び、◉を押す。

Vアプリが起動します。［「♨」点灯］

- Vアプリの操作方法については、ダウンロードしたウェブの情報画面などでご確認ください。
- 利用できないVアプリのときは、Vアプリライブラリに戻ります。

補足▶ Vアプリ起動中に電話などの着信があると、Vアプリが一時停止し、着信画面が表示されます。（Vアプリを起動させたまま着信通知を表示させることもできます。：☞P.17-8）

ネットワーク接続型Vアプリの起動

■ネットワーク接続型Vアプリを起動するときは、操作2のあと、ネットワーク接続の確認画面で次の操作を行います。
「Yes」／「No」選択➡◉➡Vアプリ起動
- 確認画面を表示しないようにも設定できます。（☞P.17-7）

■Vアプリの種類によっては、ネットワーク接続型Vアプリを起動するとき、セキュリティレベルの設定画面が表示されることがあります。（☞P.17-7）

Vアプリを終了／一時停止／再開する

Vアプリを終了／一時停止する

1 Vアプリ利用中に、[終話キー]を押す。

2 ***終了する***

1「終了」を選び、◉を押す。

Vアプリライブラリに戻ります。[「[アイコン]」消灯]

一時停止する

1「一時停止」を選び、◉を押す。

待受画面に戻ります。[「[アイコン]」(グレー)点灯]

- 再度同じVアプリを起動するときは、一時停止している状態から続きを行うことができます。

一時停止中のVアプリを再開する

1 Vアプリが一時停止している状態の待受画面で、◉を押す。

- Vアプリ一時停止中は、「[アイコン]」(グレー)が点灯しています。

2「再開」を選び、◉を押す。

■ Vアプリを終了：「**終了**」選択➡◉

■ 一時停止のままメインメニューを表示：「**キャンセル**」選択➡◉

Vアプリを管理する

情報を確認する（プロパティ）

Vアプリの詳細情報を確認します。

メニュー ▶ Vアプリ ➡ Vアプリ

1 Vアプリを選び、[メニューキー]（メニュー）を押す。

2「プロパティ」を選び、◉を押す。

■ 情報の続きを確認：上記操作のあと[下キー]（[上キー]：前の画面に）

■ 確認の終了：[戻るキー]（**戻る**）

- 次の情報が表示されます。

名前	Vアプリの名称
ベンダ名	Vアプリの開発元や販売元など、提供者の名称
バージョン	Vアプリのバージョン
説明	Vアプリの説明
アプリケーションサイズ	Vアプリのデータサイズ
レコードサイズ	ゲームのスコアなどを保存できるデータサイズ
Vアプリ待受設定	Vアプリ待受設定の可／不可
プロファイル	VSCL（海外）／JSCL（国内）バージョン
関連リンク	リンク先のWEB情報
TV出力	テレビやビデオなどへの外部出力の可／不可
認証	認証の有無
自動接続	自動接続対応の有無

メモリカードに保存する

903SHに保存しているVアプリをメモリカードに移動します。

メニュー ▶ Vアプリ ➡ Vアプリ

1 Vアプリを選び、㊀（メニュー）を押す。

2「メモリカードへ移動」を選び、◉を押す。

■ メモリカード内に古いバージョンのVアプリあり：㊀（Yes）／㊀（No）

■ ㊀（Yes）を押すと、メモリカード内のVアプリが新しいバージョンに上書きされます。

注意▶
- メモリカード内に同じVアプリがあるときや、メモリカード内に十分な空き容量がないときは、移動できません。また、Vアプリ待受に設定しているVアプリを移動するときは、あらかじめVアプリ待受設定を解除してください。
- Vアプリによっては、メモリカードに移動できないことがあります。

Vアプリを削除する

Vアプリを削除します。

メニュー ▶ Vアプリ ➡ Vアプリ

1 Vアプリを選び、㊀（メニュー）を押す。

2「削除」を選び、◉を押す。

3 ㊀（Yes）を押す。

- 削除時に、操作用暗証番号の入力が必要なこともあります。
- Vアプリ待受に設定されているVアプリを選んだときは、確認メッセージが表示されたあと、Vアプリライブラリに戻ります。設定を解除してからやり直してください。

Vアプリ待受

Vアプリ待受のOn／Offを設定する

待受画面で、常にVアプリを起動させておくかどうかを設定します。

Vアプリには、Vアプリ待受に設定できるものとできないものがあります。

- お買い上げ時には、「Off」に設定されています。

メニュー ▶ Vアプリ ➡ Vアプリ設定 ➡ Vアプリ待受設定 ➡ On／Off設定

1「On」を選び、◉を押す。

■ Vアプリ待受を解除：「Off」選択➡◉

Vアプリ待受に設定する

- Vアプリ待受に設定できるVアプリは、1件です。また、Vアプリの形式によっては、Vアプリ待受に設定できないものもあります。
- 一時停止中のVアプリがあるとき［「♨」（グレー）点灯時］は、設定できません。
- メモリカード内のVアプリは設定できません。

メニュー ▶ Vアプリ ➡ Vアプリ

1 Vアプリ待受に設定できるVアプリを選び、㊀（メニュー）を押す。

2「Vアプリ待受に設定」を選び、◉を押す。

- Vアプリ待受に設定できないVアプリを選んだときは、「Vアプリ待受に設定」は表示されません。

起動開始時間の設定

■Vアプリ待受に設定したVアプリが、起動を開始するまでの時間を設定します。

◉➡「Vアプリ」選択➡◉➡「Vアプリ設定」選択➡◉➡「Vアプリ待受設定」選択➡◉➡「起動開始時間」選択➡◉➡時間（01～10秒）入力➡◉

一時停止移行時間の設定

■無操作時に、Vアプリが一時停止するまでの時間を設定します。

◉➡「Vアプリ」選択➡◉➡「Vアプリ設定」選択➡◉➡「Vアプリ待受設定」選択➡◉➡「一時停止移行時間」選択➡◉➡時間選択➡◉

注意▶
- メモリカードが取り付けられていて、ステレオイヤホンマイクが接続されているときは、Vアプリ待受を設定していても起動しません。
  またメモリカードが取り付けられていて、Vアプリ待受に設定したVアプリが起動しているとき、ステレオイヤホンマイクを接続すると、Vアプリが終了します。
- ハンズフリーキットなどの外部機器を接続しているときは、Vアプリが起動しないことがあります。
- 着信と連動しているタイプのVアプリは、Vアプリに依存した着信パターンやバイブパターンで動作することがあります。

セキュリティレベルを設定する

Vアプリが自動的に行う各種動作について、確認画面の表示方法や動作の可／不可を設定します。

- 設定項目は、次のとおりです。

設定項目	内容
電話発信	音声通話の発信
ネットワークアクセス	ネットワークへの接続
メール送受信	メールの利用
オートラン	オートランファイルの実行
外部機器接続	外部機器との接続
ユーザーデータ読込み	電話帳やカレンダーなどの読み込み
ユーザーデータ書込み	電話帳やカレンダーなどへの書き込み
マルチメディア	メディアプレイヤーの利用
位置情報	位置情報の送出
設定リセット	設定したセキュリティレベルをリセット

- メモリカード内のVアプリも設定できます。
- Vアプリによっては、セキュリティレベルを設定できないことがあります。

メニュー▶ Vアプリ ➡ Vアプリ

1 **Vアプリを選び、㊀（メニュー）を押す。**

2 **「セキュリティレベル」を選び、◉を押す。**

3 **設定項目を選び、◉を押す。**

4 **設定内容を選び、◉を押す。**

- 各設定の内容は、次のとおりです。（設定項目や状況によっては、表示されない内容もあります。）

設定内容	説明
Vアプリ起動時表示	起動時に確認画面を表示します。
毎回表示する	該当動作の前に確認画面を表示します。
表示しない	確認画面を表示しません。
許可しない	該当動作を許可しません。

その他の機能

Vアプリ関連の設定

音量の設定 Vアプリ起動中の効果音などの音量を設定します。

お買い上げ時 音量3

メニュー ▶ Vアプリ ▶ Vアプリ設定 ▶ 音量
（音量選択）▶◉
- マナーモード設定時は、マナーモードの設定内容が優先されます。

バックライトOn／Off設定 Vアプリ起動中のパネル照明の点灯方法を設定します。

お買い上げ時 通常設定に従う

メニュー ▶ Vアプリ ▶ Vアプリ設定 ▶ バックライト ▶ On／Off設定
「常にOn」／「常にOff」／「通常設定に従う」選択▶◉
- 各設定の内容は、次のとおりです。

常にOn	Vアプリ起動中は、常に点灯します。
常にOff	Vアプリ起動中は、ボタンを押しても点灯しません。
通常設定に従う	ディスプレイ設定内の「**バックライト**」と連動します。（☞P.11-7）

Vアプリ点滅制御 Vアプリにパネル照明の点滅が設定されているときの動作を設定します。

お買い上げ時 On

メニュー ▶ Vアプリ ▶ Vアプリ設定 ▶ バックライト ▶ Vアプリ点滅制御
「On」／「Off」選択▶◉

バイブの設定 Vアプリにバイブレータが設定されているときの動作を設定します。

お買い上げ時 On

メニュー ▶ Vアプリ ▶ Vアプリ設定 ▶ バイブ
「On」／「Off」選択▶◉
- マナーモード設定時は、マナーモードの設定内容が優先されます。

着信時優先動作 Vアプリ起動中に着信などがあったときの動作を設定します。

お買い上げ時 着信優先動作／アラーム動作

メニュー ▶ Vアプリ ▶ Vアプリ設定 ▶ 着信時優先動作
「音声着信」～「アラーム」選択▶◉▶動作方法選択▶◉
- 各設定の内容は、次のとおりです。

着信優先動作（アラーム動作）	Vアプリは自動的に一時停止して、着信などが受けられるようになります。
着信通知表示（アラーム通知）	Vアプリは継続し、着信通知（「090392XXXX1」など）が画面に表示されます。を押すと、Vアプリが一時停止して、着信などが受けられるようになります。

- 待受設定したVアプリのときは、上記の設定内容にかかわらず着信通知が表示されます。

サラウンドの設定 Vアプリ起動中のサラウンドを設定します。

お買い上げ時 On

メニュー ▶ Vアプリ ▶ Vアプリ設定 ▶ サラウンド
「On」／「Off」選択▶◉

Vアプリを初期化する

Vアプリ設定の初期化 Vアプリ設定を初期化します。

メニュー ▶ Vアプリ ➡ Vアプリ設定 ➡ Vアプリ設定リセット

操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉➡㊀（Yes）

●Vアプリ設定リセットで初期化される内容は、次のとおりです。

音量		音量３
バックライト		点灯方法：通常設定に従う／点滅制御：On
バイブ		On
着信時優先動作		着信優先動作／アラーム動作
サラウンド		On
Vアプリ待受設定	On／Off設定	Off
	起動開始時間	３秒
	一時停止移行時間	Off

Vアプリオールリセット Vアプリをすべて削除します。

メニュー ▶ Vアプリ ➡ Vアプリ設定 ➡ Vアプリオールリセット

操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉➡㊀（Yes）

Abridged English Manual

For more information about handset operations and functions, please go to the Vodafone K.K. Website (www.vodafone.jp) for the full manual* or dial 157 from a Vodafone handset for Customer Service.

* Please note, full English manual was created for Sharp 903, sold in the UK, and thus may include information/features specific to that model and exclude Japan-specific services, etc.

Accessories

■ **Lithium-ion Battery** (Type 1) **(SHBAA1)***

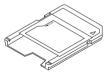
■ **Headphones**

■ **AC Charger (SHCAA1)***

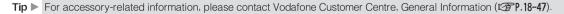
■ **Video Cable (SHPU01) ***

■ **Utility Software (CD-ROM)**

■ **miniSD™ Memory Card (64 MB) ★**

■ **miniSD™ Memory Card Adaptor★**

* May also be purchased separately.

★ Complimentary sample

Tip ▶ For accessory-related information, please contact Vodafone Customer Centre, General Information (☞P.18-47).

Safety Precautions

- Read safety precautions before using handset.
- Observe precautions to avoid injury to self or others, or damage to property.
- Vodafone is not liable for any damages resulting from use of this product.

Before Using Handset

Symbols

Make sure you thoroughly understand these symbols before reading on. Symbols and their meanings are described below:

DANGER	Great risk of death or serious injury from improper use
WARNING	Risk of death or serious injury from improper use
CAUTION	Risk of injury or damage to property from improper use

	Prohibited Actions
	Compulsory Actions
	Attention Required

Handset, Battery & Charger

Use only the specified battery, Charger or Holder.
Using non-specified equipment may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

Do not short-circuit Charger Terminals.
Keep metal objects away from Charger Terminals. Keep handset away from jewellery. Battery may leak, overheat, burst or ignite causing injury. Use a case to carry handset.

Battery

Prevent injury from battery leakage, breakage or fire. Do not:

- Heat or dispose of battery in fire.
- Disassemble, modify or break battery.
- Damage or solder battery.
- Use a damaged or deformed battery.
- Use non-specified charger.
- Force battery into handset.
- Charge or place battery near fire, heat sources or expose it to extreme heat.
- Use battery for other equipment.

If battery fluid gets into eyes, do not rub them. Rinse with clean water and consult a doctor immediately.
Eyes may be severely damaged.

⚠WARNING

Handset, Battery & Charger

Do not insert foreign objects into handset.
Do not place metal or flammable objects in handset, Charger or Holder. This may cause fire or electric shock. Keep handset out of the reach of children.

Keep handset out of rain or extreme humidity.
Fire or electric shock may occur.

Keep handset away from liquid-filled containers.
Keep handset, Charger and Holder away from chemicals/liquids. Fire or electric shock may result.

Avoid sources of fire.
Prevent fire or explosion. Do not use handset in the presence of gas or fine particles (coal, dust, metal, etc.).

Do not use Mobile Light near people's faces.
Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.

Keep handset, Charger or Holder away from microwave ovens.
Battery or handset may leak, burst, overheat or ignite and cause accidents.

Do not disassemble or modify handset.

- Do not open housing of handset, Charger or Holder; may cause electric shock or injury. Contact Vodafone Customer Centre, Customer Assistance for repairs.
- Do not modify handset, Charger or Holder. Fire or electric shock may result.

Do not subject handset to shocks.
Subjecting handset, Charger or Holder to shocks may cause malfunction or injury. Should the handset break, remove the battery and contact Vodafone Customer Centre, Customer Assistance. Discontinue handset use. Fire or electric shock may occur.

If water or foreign matter is inside handset:
Discontinue handset use to prevent fire or electric shock. Turn handset power off, remove battery, unplug Charger and contact Vodafone Customer Centre, Customer Assistance.

If an abnormality occurs:
Should there be unusual sound, smoke or odour, discontinue handset use to avoid fire or electric shock. Turn handset power off, remove battery and unplug Charger and contact Vodafone Customer Centre, Customer Assistance.

Handset

Preventing accidents

- For safety, never use handset while driving. Pull over beforehand. Mobile phone use while driving is prohibited by the revised Road Traffic Law (effective 1 November 2004).
- Do not use headphones while driving or riding a bicycle. Accidents may result.
- Moderate volume outside, especially at level/road crossings to avoid accidents.

Do not swing handset by handstrap.

May result in injury or breakage.

Keep miniSD™ Memory Card and miniSD™ Memory Card Adapter out of the reach of children.

If swallowed, consult a doctor immediately.

Turn handset power off before boarding aircraft.

Using wireless devices aboard aircraft may cause electronic malfunctions or endanger aircraft operation.

Adjust vibration and Ringtone settings:

Select settings carefully if you have a heart condition or wear pacemaker/defibrillator.

During thunderstorms, turn power off; find cover.

There is a risk of lightning strike or electric shock.

Charger

Use only the specified voltage.

Non-specified voltages may cause fire or electric shock.

- AC Charger: 100 - 240 VAC
  - Vodafone is not liable for problems caused by charging handset abroad.
- In-Car Charger: 12/24 VDC

Do not use commercially available transformers.

Use of AC Charger with commercially available transformers may cause fire, electric shock or damage.

Do not use In-Car Charger inside vehicles with a positive earth.

Fire may result. Use In-Car Charger only inside vehicles with a negative earth.

Charger Care

Do not touch blades with wet hands. Electric shock may occur.

- Do not use multiple cords in one outlet. May generate excess heat or fire.
- Do not bend, twist, pull or set objects on cord. Exposed wire may cause fire or electric shock.

Do not short-circuit Charger Terminals.

Keep metal away from terminals. May cause overheating, fire or electric shock.

Do not use Desktop Holder inside vehicles.

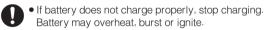
Extreme temperature or vibration may cause fire or damage handset, etc.

If AC/In-Car Charger cord is damaged:
May cause fire or electric shock; contact Vodafone Customer Assistance to replace.

Preventing accidents
Secure In-Car Charger to avoid injury or accidents.

During thunderstorms:
Unplug Charger to avoid damage, fire or electric shock.

Keep Charger & Desktop Holder out of the reach of children.
Electric shock or injury may occur.

Battery

- If battery does not charge properly, stop charging. Battery may overheat, burst or ignite.
- If there is leakage or abnormal odour, avoid fire sources. It may catch fire or burst.

If there is abnormal odour, excessive heat, discolouration or distortion, remove battery from handset. It may leak, overheat or explode.

Handset Use & Electronic Medical Equipment

This section is based on "Guidelines on the Use of Radio Communications Equipment such as Cellular Telephones and Safeguards for Electronic Medical Equipment" (Electromagnetic Compatibility Conference, April 1997) and "Report of Investigation of the Effects of Radio Waves on Medical Equipment, etc." (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

People with implanted pacemakers/defibrillators should keep handset more than 22 cm away.
Implanted pacemakers/defibrillators may malfunction due to radio waves.

Turn handset power off in crowded places such as trains. People with implanted pacemakers/ defibrillators may be near.
Implanted pacemakers/defibrillators may malfunction due to radio waves.

Observe these rules inside medical facilities:
- Do not take handset into operating rooms or Intensive or Coronary Care Units.
- Keep handset off in hospitals.
- Keep handset off in hospital lobbies. Electronic equipment may be near.
- Obey rules regarding mobile phone use in medical facilities.

Consult manufacturer for radio wave effects on electronic medical equipment.

CAUTION

Handset, Battery & Charger

Handset Care

- Place handset on stable surfaces to avoid malfunction or injury.
- Keep handset away from oily smoke or steam. Fire or accidents may result.
- Cold air from air conditioners may condense, resulting in leakage or burnout.
- Keep handset away from direct sunlight (inside vehicles, etc.) or heat sources. Distortion, discolouration or fire may occur. Battery shape may be affected.
- Keep handset out of extremely cold places to avoid malfunction or accidents.
- Keep handset away from fire sources to avoid malfunction or accidents.

Usage Environment

- Excessive dust may prevent heat release and cause burnout or fire.
- Avoid using handset on the beach. Sand may cause malfunction or accidents.
- Keep handset away from credit cards, phone cards, etc. to avoid data loss.

Handset

Avoid leaving handset in extreme heat (inside vehicles, etc.).

Handset may heat up and lead to burns.

Volume settings

Keep handset volume moderate.

Excessive volume may cause damage to your hearing.

Headphones

- Do not unplug by pulling the cord. May cause damage to the cord.
- Keep plug clean to avoid noise or malfunction.

Inside vehicles:

Handset use may cause electronic equipment to malfunction.

Should skin irritation occur, discontinue handset use and consult a doctor.

Skin irritation, rashes, or itchiness may result depending on your physical condition.

Charger

Charger & In-Car Charger
Grasp plug (not cord) to disconnect Charger. May cause fire/electric shock.

- Keep cord away from heaters. Exposed wire may cause fire or electric shock.
- Stop use if plug is hot or improperly connected. May cause fire/electric shock.
- Keep In-Car Charger socket clean. May overheat and cause injury.

Do not touch Desktop Holder while in use
May cause burns.

Use only the specified fuse
1A fuse for In-Car Charger. Or may cause damage/fire.

Always charge handset in a well-ventilated area
Avoid covering/wrapping Charger/Desktop Holder. May cause damage/fire.

Do not use In-Car Charger when engine is off
Start engine before use. Or car battery may be weakened.

Long periods of disuse
Be sure to unplug AC/In-Car Charger after use.

Handset Maintenance
When cleaning, disconnect AC/In-Car Charger to prevent shock/injury.

Installing In-Car Charger
Properly position the cable for safe driving to avoid injury or accidents.

Battery

Do not throw or abuse battery. Battery may overheat, burst or ignite.

Do not leave battery in direct sunlight or inside vehicles. Overheating/fire may occur; may reduce performance.

Do not expose battery to liquids. Performance may deteriorate.

If battery fluid contacts on skin or clothes, rinse with clean water immediately.

Do not dispose of exhausted batteries with ordinary refuse. Tape over battery terminals before disposal, or bring them to a Vodafone shop. Follow local regulations regarding battery disposal.

Keep battery out of the reach of children.

- Charge battery within a range of 5℃ - 35℃; outside this range, battery may leak/overheat and performance may deteriorate.
- If your child is using handset, explain all instructions and supervise usage.
- If there is abnormal odour or excessive heat, stop using battery and call Vodafone Customer Centre, Customer Assistance.
- Do not leave battery uncharged. Charge at least once every six months.

General Notes

General Use

- Vodafone is not liable for any damages resulting from accidental loss/alteration of handset or miniSD™ Memory Card data. Please keep separate records of Phone Book entries, etc.
- Handset transmissions may be disrupted inside buildings, tunnels or underground, or when moving into/out of such places.
- Use handset without disturbing others.
- Handsets are radios as stipulated by the Radio Law. Under the Radio Law, handsets must be submitted for inspection upon request.
- Handset use near landlines, TVs or radios may cause interference.
- **Beware of eavesdropping.**
  Because this service is completely digital, the possibility of signal interception is greatly reduced. However, some transmissions may be overheard.
  Eavesdropping
  Deliberate/accidental interception of communications constitutes eavesdropping.

Inside Vehicles

- Never use handset while driving.
- Do not park illegally to use handset.
- Handset use may affect a vehicle's electronic equipment.

Aboard Aircraft

Never use handset aboard aircraft (keep power off). Handset use may impair aircraft operation.

Electromagnetic Waves

For body worn operation, this phone has been tested and meets RF exposure guidelines when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 15mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

Handset Care

- If handset is left with no battery or an exhausted one, data may be altered/lost. Vodafone is not liable for any resulting damages.
- Use handset between 5℃ - 35℃ and 35% - 85% humidity. Avoid extreme temperatures/direct sunlight.
- Exposing lens to direct sunlight may damage colour filter and affect image colour.
- Do not drop or subject handset to shocks.
- Clean handset with dry, soft cloth. Using alcohol, thinner, etc. may damage it.
- Do not expose handset to rain, snow or high humidity.
- Never disassemble or modify handset.
- Avoid scratching handset Display.
- When closing handset, keep straps, etc. outside to avoid damaging the display.
- When using headphones, moderate volume to avoid sound bleed.
- Handset is not water-proof. Avoid exposure to liquids and high humidity.
  - Keep handset away from precipitation.
  - Cold air from air conditioning, etc. may condense causing corrosion.
  - Avoid placing handset in damp places (restrooms, bath/shower rooms, etc.).
  - On the beach, keep handset away from water and direct sunlight.
  - Perspiration may get inside handset causing malfunction.
- Heavy objects or excessive pressure should be avoided. May cause malfunction or injury.
  - Do not sit down with handset in a back pocket.
  - Do not place heavy objects on handset in a bag.
- Connect only the specified equipment to Headphone Connector. Malfunction or damage may result.
- Always turn off handset before removing battery. If battery is removed while saving data or sending mail, data may be lost, changed or destroyed.

Copyrights

Copyright laws protect sounds, images, computer programmes, databases, other materials and copyright holders. Duplicated material is limited to private use only. Use of materials beyond this limit or without permission of copyright holders may constitute copyright infringement, and be subject to criminal punishment. Comply with copyright laws when using images captured with handset camera.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver.
It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organisations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.
The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.355 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.426 W/kg.
Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorisation for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/fccid after searching on FCC ID APYHRO00041.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at http://www.phonefacts.net.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.544 W/kg*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this user guide**. In this case, the highest tested SAR value is 0.876 W/kg.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

---

* The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

** Please see General Notes (Electromagnetic Waves) on page 18-9 for important notes regarding body worn operation.

SHARP

Declaration of Conformity

We Sharp Telecommunications of Europe Ltd

of Azure House
Bagshot Road
Bracknell
Berkshire
RG12 7QY

Declare under sole responsibility that the product:

Model: **903SH**

Description: GSM 900/GSM 1800/ PCS 1900 Tri Band Dual Mode WCDMA Cellular Telephone, Bluetooth enabled

To which this declaration relates, is in conformity with the following standards and/or other normative documents:

- ETSI EN301511
- ETSI EN301908-1
- ETSI EN301908-2
- ETSI EN301489-1
- ETSI EN301489-7
- ETSI EN301489-17
- ETSI EN301489-24
- ETSI EN300328-2
- EN60950
- EN50360
- EN50371

We hereby declare that the above named product is in conformance to all the essential requirements of the Directive **1999/5/EC**

The conformity assessment procedure referred to in Article 10 and detailed in Annex [V] of directive 1999/5/EC has been followed related to Articles

- R&TTE Article 3.1 (a) Health and Safety
- R&TTE Article 3.1 (b) EMC
- R&TTE Article 3.2 spectrum Usage

With the involvement of the following Notified Body:

BABT, Claremount House, 34 Molesey Road, Walton-on-Thames, KT12 4RQ

Identification mark: **0168** (Notified Body) **CE**

The technical documentation relevant to the above equipment will be held at:

Sharp Telecommunications of Europe Ltd
Azure House
Bagshot Road
Bracknell
Berkshire
RG12 7QY

EU Representative: Clive Ross Bax

Authorised Person:

Name:	Signature:	Title:	Date:
CLIVE ROSS BAX		GENERAL MANAGER	23 / 6 / 2005

Document Control No: STE/BUSINESS/QA/1959

Minding Mobile Manners

Please use your handset responsibly. Use these basic tips as a guide. Inappropriate handset use can be both dangerous and bothersome. Please take care not to disturb others when using your handset. Adjust handset use according to your surroundings.

- Turn it off in theatres, museums and other places where silence is the norm.
- Refrain from using it in restaurants, hotel lobbies, elevators, etc.
- Observe signs and instructions regarding handset use aboard trains, etc.
- Refrain from use that interrupts the flow of pedestrian or vehicle traffic.

Manner-Related Features

Take advantage of built-in features to help you use your handset in public places without disturbing or endangering others.

■ Offline Mode

Use Offline Mode to suspend all handset transmissions. When Offline Mode is active, incoming and outgoing calls/mail as well as incoming Vodafone live! information are blocked.

■ Manner Mode

Press a single key to automatically mute all Ringtones and activate Vibration mode for incoming calls/mail.

■ Vibration Mode

Activate Vibration mode to use handset vibration to alert you to incoming calls, mail, etc. in public places.

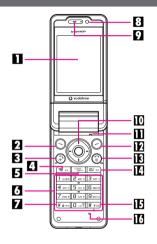
■ Volume Settings

Decrease or mute Ringtone volume for incoming calls/mail as well as tones for Web or V-applications when carrying handset in public places.

■ Answer Phone

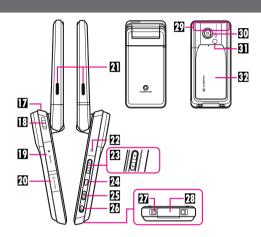
Use Answer Phone to handle incoming calls when it is inappropriate or unsafe to answer.

Handset Parts & Functions

Handset

1 Display

2 Left Soft Key
Open messaging menu or execute Soft Key function/ command.

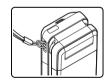
3 Start Key
Initiate/answer calls.

4 Shortcuts and A/a Key
In Standby, open Shortcuts menu.
In text entry windows, toggle upper/lower case roman letters or standard/small hiragana/katakana.

5 Clear/Back Key
Delete entries/return to previous window.

6 Keypad

7 ✱ Key/Keypad Lock
When handset is open and mobile camera is active, toggle Mobile Light on/off. In Standby, press for 1+ seconds to toggle Keypad Lock.
In alphanumeric entry, open web/mail address prefixes & suffixes.

8 Internal Camera
Use during Video Call.
9 Earpiece
10 Multi Selector
Select menu items, move cursor, scroll, etc.
11 Microphone
Use in Viewer position.
12 Right Soft Key
Open Vodafone live! menu or execute Soft Key function/command.
13 Power On/Off Key
Press for 2+ seconds to turn handset power on/off.
14 Multimedia/Text Key
Start Media Player or toggle between character entry modes.
15 # Key
In text entry windows, toggle Symbol/Pictograph Lists.
Press for 1+ seconds to activate/cancel Manner mode.
16 Microphone
17 Infrared Port
18 Strap Eyelet
19 Memory Card Slot
20 Video Out/Headphone/Optical Digital/Line In Connector
Connect supplied Video Cable, Headphones, etc.

21 Speaker
22 Small Light
Illuminates red while charging.
23 Zoom/Select Key
Select menu items, move cursor, etc.
24 Menu Key
In Viewer position, toggle Camera Options on/off.
In Viewer position, execute left Soft Key function.
25 Shutter Key
Open selected menu items or execute functions.
Press for 1+ seconds to activate mobile camera.
26 Clear Key
In Standby, press for 1+ seconds to activate Pen Light.
In Viewer position, cancel current operation/return to previous window; when camera is active, press for 1+ seconds to cancel.
27 Charger Terminal
28 External Device Connector
Connect Charger here.
29 Internal Antenna Location
30 External Camera (Lens Cover)
Capture still and video images.
31 Mobile Light
Flashes for incoming calls/mail. Serves as a strobe or Pen Light.
32 Battery Cover

Note ▶ Internal Antenna
- 903SH has no external antenna. Handset transmits and receives signals via Internal Antenna.
- Do not cover or place stickers, etc. over the area containing Internal Antenna. Voice quality will vary depending on where/how handset is used.

USIM Card

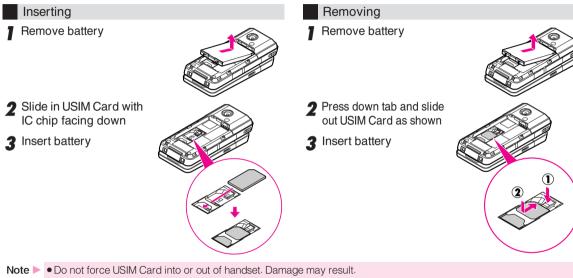
Vodafone Global Standard USIM Card is an IC card containing customer information such as handset number. USIM Card must be inserted before using a USIM Card compatible handset. Without USIM Card, Network services (calls, messaging, Web, etc.) are not available.

Inserting

1. Remove battery
2. Slide in USIM Card with IC chip facing down
3. Insert battery

Removing

1. Remove battery
2. Press down tab and slide out USIM Card as shown
3. Insert battery

Note ▶

- Do not force USIM Card into or out of handset. Damage may result.
- Be careful not to lose removed USIM Card.
- Avoid touching USIM Card IC chip. May hinder performance. In such cases, ***Insert SIM Card*** may appear or handset may automatically restart. This is not a malfunction. Avoid touching USIM Card terminals as well.

Charging Battery

Battery & Charger

Charge battery before use or after a period of disuse.

■ Battery Life

- Do not use or store battery at extreme temperatures. May shorten battery life.
  Ideal working temperature is between 5℃ - 35℃.
- Use specified Charger only. Battery may deteriorate, overheat or cause fire.
- Replace battery if operating time is noticeably shorter than normal.

■ Charging

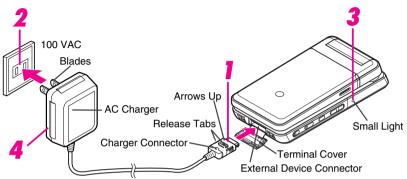
- Do not use Charger for other purposes.
- Battery may short-circuit, overheat or burst from contact with metal objects.
- Charger and battery may become warm during charging.
- Move Charger away from TV/radio if interference occurs.

■ Precautions

- Use a dry cotton swab to clean handset, battery and Charger terminals.
- Avoid:
  - Extreme temperatures
  - Humidity, dust and vibration
  - Direct sunlight
- Do not leave battery uncharged. Charge at least once every six months.
- Use a case when carrying battery separately.

■ Battery Disposal

Do not dispose of exhausted batteries with ordinary refuse. Tape over battery terminals before disposal, or bring them to a Vodafone shop. Follow local regulations regarding battery disposal.

Charging (Use Specified Charger Only)

1 Open Terminal Cover, then squeeze release tabs and insert Charger connector until it clicks

2 Plug in Charger

- Charging starts and Small Light illuminates red.
- Extend blades. Fold back when not in use.

3 Charging is complete when light goes out

- Charging takes approximately 140 minutes* (with handset power off).

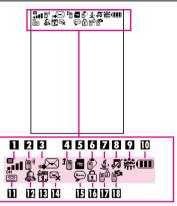
* May vary with temperature.

4 After charging battery, unplug Charger from outlet, then handset

- Squeeze release tabs and pull connector straight out.
- Cap Terminal Cover.

Note ▶

- Do not pull, bend or twist AC Charger cord.
- AC Charger is compatible with household currents between 100 - 240 VAC.
- Vodafone is not liable for problems caused by charging handset abroad.

Display Indicators

1 Signal Strength / 3G / GSM
: Strong : Moderate : Low : Weak
: Out-of-Range

2 Incoming Voice Call / Voice Call in Progress
Video Call in Progress
/ Packet Data Communication Status
Offline Mode

3 SMS or MMS / (red) Memory Full
Receiving Mail / Sending Mail

4 Call Forwarding or Voice Mail / Auto Delivery Info

5 / / / miniSD™ Memory Card Status
: Loading / : In Use
: Formatting / : Unusable

6 / / / / / External Transmission
: USB Transmission Ready
(red): Infrared Connection in Progress
: Infrared Transmission in Progress
: Bluetooth Transmission Ready
: Bluetooth Transmission in Progress
: Bluetooth Talk in Progress

7 Active V-Application
(grey) Paused V-Application
Music Player Active / SSL

8 Silent / Increasing Volume / Vibration
Loudspeaker / Microphone Mute

9 / / / / Mode Settings
: Meeting : Activity : Car
: Headset : Manner

10 Battery Strength / Pen Light
: Strong : Moderate : Low : Empty
and flash when Pen Light is in use.

11 Answer Phone Active / Message
: Answer Phone Active
: Answer Phone Cancelled

12 Alarm Set

13 / Schedule
Reminder On: / Off:

14 Message Delivery Failure

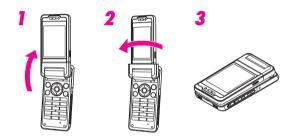
15 New Voice Mail

16 Secret Mode Active

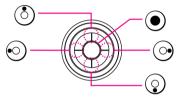
17 Function Lock Active / Keypad Lock Active

18 (grey) Infrared Transmission Ready

Using Viewer

903SH features a rotating Display. Rotate Display into Viewer position for use with mobile camera, etc. (☞P.18-34 "Mobile Camera") with handset closed.
To use Display as Viewer with handset closed:
1) Open handset; 2) rotate Display 180 degrees clockwise; and 3) close handset with Viewer facing outward.

Symbols

Multi Selector

Use Multi Selector to select menu items, move cursor, scroll, etc. In this manual, Multi Selector operations are indicated as follows:

Basic Multi Selector Operations

- : Press or
- : Press or
- : Press , , or

Menu Items

Use or to select menu items. (Example: Select ***Text*** and press ●.)

USIM PINs

PIN1 & PIN2

PIN1	Prevent unauthorised use of Vodafone handset
PIN2	Required to clear Call Costs and to set Max Cost

- PIN1 & PIN2 are ***9999*** by default.
- PIN1 & PIN2 can be changed.
- When ***Switch On/Off*** in ***PIN Entry*** is ***On***, PIN1 (4-8 digits) is required every time handset is turned on (with USIM Card inserted).

PIN Lock & Cancellation (PUK Code*)

PIN1 Lock or PIN 2 Lock is activated if PIN1 or PIN2 is incorrectly entered three times consecutively. Cancel PIN Lock by entering the Personal Unblocking Key (PUK Code). For information on PUK Code, contact Vodafone Customer Centre, General Information (☞P.18-47).

* USIM Personal Unblocking Key (PUK Code) unblocks a USIM Card blocked after the wrong PIN has been entered three consecutive times. Each USIM Card has a unique PUK Code. Do not disclose it to unauthorised persons.

Note ▶
- If PUK Code is incorrectly entered ten times, USIM Card is locked and handset is disabled. Write down PUK Code.
- For procedures required to unlock USIM Card, contact Vodafone Customer Centre, General Information (☞P.18-47).

Security Codes

Handset Code, Centre Access Code and Network Password are needed for handset use.

Handset Code

9999 or the 4-digit number selected at initial subscription. Handset Code is required to use/change some handset functions. ⁑ appears when Handset Code is entered. If incorrect, ***Handset code is incorrect!*** appears.

Centre Access Code

The 4-digit number in the contract, required to access optional service via landlines, and to subscribe to fee-based information.

Network Password

The 4-digit number selected at initial subscription, required to restrict handset services. If Network Password is incorrectly entered three times consecutively, Call Barring settings are locked. To resolve, Network Password and Centre Access Code must be changed. For details, contact Vodafone Customer Centre, General Information (☞P.18-47).

Note ▶
- Write down Handset Code, Centre Access Code and Network Password. If lost, contact Vodafone Customer Centre, General Information (☞P.18-47).
- Do not reveal Handset Code, Centre Access Code and Network Password. Vodafone is not liable for misuse or damages.

Tip ▶
- Change Handset Code and Network Password as needed.
- Do not attempt to change Centre Access Code. Contact Vodafone Customer Centre, General Information (☞P.18-47) for details.

Basic Handset Operations

Handset Power On/Off

Turning On

1. Open handset
2. Press ◎ for 2+ seconds

Turning Off

1. Open handset
2. Press ◎ for 2+ seconds

English Display

1. Press ◉, select ***設定*** and press ◉
2. Select ***Language*** and press ◉
3. Select ***English*** and press ◉

Your Phone Number

1. Press ◉, select ***My Details*** and press ◉
2. Press ◎ to exit

Setting Clock

1. Press ◉, select ***Settings*** and press ◉
2. Select ***Date & Time*** and press ◉
3. Select ***Set Date/Time*** and press ◉
4. Enter the date and press ◉
5. Enter the time (24-hour format) and press ◉

Network Settings

1. Press ◉, select ***Connectivity*** and press ◉
2. Select ***Network Settings*** and press ◉
3. Select ***Select Service*** and press ◉
4. Select ***Auto***, ***3G*** or ***GSM*** and press ◉
   For ***Auto***, mode (3G or GSM) changes automatically depending on the current location.

Initiating a Voice Call

Calling in Japan

1. Enter a phone number
2. Press ☏

Placing an International Call

Service requires an additional contract, but no basic monthly charges or application fees.

1. Enter a phone number
   Proceed to Step 6 when calling Vodafone handsets.
2. Press ◯ Options
3. Select *Country Code* and press ◉
4. Select a country and press ◉
5. Select *Japan* and press ◉
6. Press ☏

Note ▶
- Omit the first 0 of the area code except when calling a number in Italy.
- For details on placing international calls, contact Vodafone Customer Centre, General Information (☞P.18-47).

Calling from Outside Japan

Service requires an additional contract, but no basic monthly charges or application fees.

1. Enter a phone number
   When calling landlines or mobile phones within the country, proceed to Step 6.
2. Press ◯ Options
3. Select *Country Code* and press ◉
4. Select a country and press ◉
   When calling Vodafone handsets, always select ***日本 (JPN)***.
5. Select *Abroad* and press ◉
6. Press ☏

Redial

1. Press ◯
2. Select a record and press ◉
3. Press ☏

Calling from Received Calls

1. Press ◯
2. Select a record and press ◉
3. Press ☏

Initiating a Video Call

1. Enter a phone number
2. Press ⊖ Options
3. Select *Video Call* and press ⊙

Answering a Voice Call

1. Handset rings/vibrates and Mobile Light flashes for an incoming Voice Call
   Open handset
2. Press ⊙

Answering a Video Call

1. Handset rings/vibrates and Mobile Light flashes for an incoming Video Call
   Open handset
2. Press ⊙ to answer with voice and video image
   Press ⊖ Options, select *Hide Picture* and press ⊙ to answer with voice only

Total Charges & Call Time

Total Charges

1. Press ⊙, select *Call Log* and press ⊙
2. Select *Call Costs* and press ⊙
3. Select *All Calls* and press ⊙

Total Call Time

1. Press ⊙, select *Call Log* and press ⊙
2. Select *Call Timers* and press ⊙
3. Select *Received Calls* or *Dialled Calls* and press ⊙

Muting Microphone

Even when Microphone is muted, other party's voice can be heard through Earpiece.

1. During a call, press ⊖ Mute
2. Press ⊖ Unmute to cancel

Answer Phone & Voice Mail

Activate Answer Phone or transfer incoming calls to Voice Mail to record caller messages.

	Answer Phone	Voice Mail
Message Recorded	Handset	Voice Mail Centre
Setting	Press ● ➡ Select ***Call Log*** ➡ Press ● ➡ Select ***Answer Phone*** ➡ Press ● ➡ Select ***Settings*** ➡ Press ● ➡ Select ***Switch On/Off*** ➡ Press ● ➡ Choose ***On*** ➡ Press ●	Press ● ➡ Select ***Settings*** ➡ Press ● ➡ Select ***Call Settings*** ➡ Press ● ➡ Select ***Voicemail & Diverts*** ➡ Press ● Select ***Voicemail*** ➡ Press ● ➡ Select ***Activate*** ➡ Press ● ➡ Select a forwarding condition ➡ Press ● ➡ Select ring time (when the forwarding condition is ***No Answer***) ➡ Press ●
Additional Contract	Not Required	Not Required
Message Indicator	/	
Play	Press ● ➡ Select ***Call Log*** ➡ Press ● ➡ Select ***Answer Phone*** ➡ Press ● ➡ Select ***Play Answer Phone*** ➡ Press ●	Press ● ➡ Select ***Phone Book*** ➡ Press ● ➡ Select ***Call Voicemail*** ➡ Press ●
Delete	During playback, press ⌒ Options ➡ Select ***Delete*** ➡ Press ● ➡ Press ⌒ Yes	After playback, press 7 PQRS
When Handset Power is Off	Not Available	Available (except when the forwarding condition is ***When Busy*** or ***No Answer***)
When Handset is Out-of-Range	Not Available	Available (except when the forwarding condition is ***When Busy*** or ***No Answer***)

Tip ▶ Activating Voice Mail cancels Call Forwarding.

Forwarding a Call

Transfer incoming calls to a specified phone number.

Activating Call Forwarding

1. Press ◉, select *Settings* and press ◉
2. Select *Call Settings* and press ◉
3. Select *Voicemail & Diverts* and press ◉
4. Select *Diverts* and press ◉
5. Select *Activate* and press ◉
6. Select a forwarding condition and press ◉
7. Select *Enter Phone Number* and press ◉
8. Enter a forwarding number and press ◉
9. Select ring time and press ◉ (when the forwarding condition is *No Answer*)

Note ▶ Activating Call Forwarding cancels Voice Mail.

Manner Mode

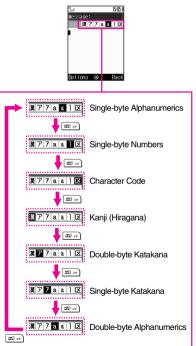
Activate Manner mode to use handset without disturbing others.

1. In Standby, press [# 記号] for 1+ seconds
   Default Manner Mode Settings:
   ① Mutes Keypad Tones as well as Power On/Off, Error and Barcode recognition tones.
   ② Simultaneously invokes: For Incoming Call (Silent), For New Message (Silent), General Volume (Silent), Vibration (On). Adjust settings as required.

Tip ▶ Cancelling Manner Mode
In Standby, press [# 記号] for 1+ seconds.

Entering Characters

Entry Modes

Press [文字] to toggle between character entry modes.

Key Assignments

Key	Single-byte Alphanumerics		Single-byte Numbers	Character Code
	Upper & Lower Case	Lower Case		
1	@./_-1 (Space)	@./_-1 (Space)	1	1
2 ABC か	ABCabc2	abc2	2	2
3 DEF さ	DEFdef3	def3	3	3
4 GHI た	GHIghi4	ghi4	4	4
5 JKL な	JKLjkl5	jkl5	5	5
6 MNO は	MNOmno6	mno6	6	6
7 PQRS ま	PQRSpqrs7	pqrs7	7	7
8 TUV や	TUVtuv8	tuv8	8	8
9 WXYZ ら	WXYZwxyz9	wxyz9	9	9
0	,.0 ↵ (Line Break)[1]	,.0 ↵ (Line Break)[1]	0 +[3]	0
*	Single-byte Mail/Web Extensions[2]		* P (Pause) ? -[4]	
#	Log/Single-byte Symbols/Double-byte Pictographs		#	
Up	Cursor Up			
Down	Cursor Down ↵ (Line Break)[1]			
Left	Cursor Left			
Right	Cursor Right			
文字	Change Character Entry Mode			
A/a	Toggle Case + Toggle Mode (upper & lower/lower case)			
CLEAR/BACK (Press)	Delete One Character			Delete Code/One Character
CLEAR/BACK (Long Press)	Delete before or after cursor			
Recover key	Recover up to 64 deleted characters[5]			
Center key	OK			

[1] Insert line breaks in mail message text, Text Templates, etc. Press (Down) at the end of text.

[2] Extensions are listed for easy entry.

[3] + is for phone number entry. Press for 1+ seconds.

[4] P (Pause), ? and - are for phone number entry.

[5] Press (Recover key) once for each character to recover immediately after deleting. [Not available after deleting text with CLEAR/BACK (Long Press).]

Tip ▶ Entering Consecutive Characters Assigned to the Same Key
Press ◎ to move cursor to the right, then enter the next character.
Editing Characters
Use ◎ to move cursor to a character. Press CLEAR/BACK to delete it and then enter another.

Symbols, Pictographs & Emoticons

Symbols & Pictographs

1. Press # to open Symbol List
2. Press ◎ to toggle the list as follows: Pictograph List (6 - 1) → Log List (up to 20 recently entered Symbols/Pictographs are saved) → Symbol List
3. Use ◎ to select one and press ◉
4. Press ◎ Exit to exit list

Tip ▶ In double-byte character entry modes, three Symbol Lists appear. Press ◎ to toggle between them.

Emoticons

1. In a text entry window, press ◎ Options
2. Select *Emoticons* and press ◉

3. Select an emoticon and press ◉

Saving to Phone Book

Save names with phone numbers, mail addresses, etc. to Phone Book.

Phone Book Entry Items

Item	Description
Last Name:	Enter up to 16 characters. (Select ***Name:*** when saving to USIM Card.)
First Name:	
Reading:	Enter up to 32 characters
Add Telephone:	Enter up to three numbers on handset and two numbers on USIM Card (32 digits each)
Add Email Address:	Enter up to three addresses on handset and one address on USIM Card (128 single-byte characters each)
Category:	Sort entries into 16 Groups (handset and USIM Card each). Group names can be changed. Set Ringtone by Category (handset only).
Postcode:	Enter up to 20 characters
Country:	Enter up to 32 characters
State:	Enter up to 64 characters
City:	Enter up to 64 characters
Street & Number:	Enter up to 64 characters
Note:	Add personal details. Enter up to 256 characters.
Birthday:	Enter birth date
Picture:	Set an image to appear for incoming calls/mail
Assign Tone/Video:	Set Ringtone or Ringvideo by caller
Secret:	Restrict access to Phone Book entries by saving them as Secret

- Save up to 500 entries to handset Phone Book. On USIM Card, the number of entries you can save in Phone Book depends on the card specification. Depending on the USIM Card in use, some items may not be supported, and character entry limits or number of Groups may be lower. Also, the number of phone numbers or mail addresses per entry may be lower.
- Save names, readings, phone numbers, mail addresses and Categories to USIM Card.

Note ▶ Back-up Important Information
Keep a separate copy of important information. When battery is exhausted or removed for long periods, Phone Book entries may be lost. Handset damage may also affect information recovery. Vodafone is not liable for any damages resulting from accidental loss/alteration.

New Phone Book Entries

Enter a name, reading, phone number and mail address.

1. Press ◉, select ***Phone Book*** and press ◉
2. Select ***Phone Book List*** and press ◉
3. Press ⊝ Options
4. Select ***Add New Entry*** and press ◉
5. Select ***Last Name:*** and press ◉
6. Enter last name and press ◉
7. Select ***First Name:*** and press ◉
8. Enter first name and press ◉
   Characters entered for names appear after ***Reading:***.
   Confirm the reading.

Tip ▶ Correcting Spelling, etc.
Select ***Reading:*** and press ◉. Correct spelling and press ◉.

9. Select ***Add Phone Number:*** and press ◉
10. Enter a phone number and press ◉
11. Select an icon and press ◉
12. Select ***Add Email Address:*** and press ◉
13. Enter a mail address and press ◉
14. Select an icon and press ◉
15. Press ⊝ Save

Note ▶ Enter a name, phone number or mail address to create a Phone Book entry.

Tip ▶ To Change Storage Media
In Standby, press ◉ ➡ Select ***Phone Book*** ➡ Press ◉ ➡ Select ***Settings*** ➡ Press ◉ ➡ Select ***Save New Entry*** ➡ Press ◉ ➡ Select ***Handset***, ***USIM Memory*** or ***Ask Each Time*** ➡ Press ◉
- For ***Ask Each Time***, select storage media for each new entry.

Editing Phone Book

1. Open a Phone Book entry (☞P.18-33 "Dialling from Phone Book")
2. Press ⊝ Options
3. Select ***Edit*** and press ◉

4. Select an item and press ◉
5. Edit contents and press ◉
6. Press ⊝ Save

Saving from Received Calls

1 Select a phone number (☞P.18-25 "Calling from Received Calls")

2 Press ⊝ Options, select ***Save Number*** and press ◉

3 *New Entry*

1. Select ***As New Entry*** and press ◉
2. Follow Steps 5 - 15 on P.18-32

Add to Existing Entry

1. Select a Phone Book entry and press ◉
2. Press ⊝ Save

Dialling from Phone Book

Changing Search Method

By Reading Order	Shows entries that start with specified Reading
By Category	Opens entries in the specified Category
By Katakana	Shows entries with readings that start with katakana in the specified row

1 Press ◉, select ***Phone Book*** and press ◉

2 Select ***Settings*** and press ◉

3 Select ***View Phone Book*** and press ◉

4 Select ***By Reading Order***, ***By Category*** or ***By Katakana*** and press ◉

Tip ▶ To Open Phone Book Entries on USIM Card
In Standby, press ◉ ➡ Select ***Phone Book*** ➡ Press ◉ ➡ Select ***Settings*** ➡ Press ◉ ➡ Select ***Ph. Book Location*** ➡ Press ◉ ➡ Select ***USIM Memory*** ➡ Press ◉

Search by Reading

1 Set search method to ***By Reading Order***

2 Press ◌

3 Enter reading

4 Select a name and press ◉

Tip ▶ Multiple Numbers
Use ◌ to select other numbers.

5 Press ◌

Mobile Camera

Before Using Camera

Select from two different shooting modes. Use ***Photo Camera*** for still images and ***Video Camera*** for videos.

	Photo Camera	Video Camera	
Image Size	W 1536 × H 2048 dots W 1200 × H 1600 dots W 960 × H 1280 dots W 768 × H 1024 dots W 480 × H 640 dots W 240 × H 320 dots W 120 × H 160 dots	W 176 × H 144 dots (QCIF) W 128 × H 96 dots (SQCIF)	W 240 × H 320 dots (QVGA)
Save to	Handset or miniSD™ Memory Card	Handset or miniSD™ Memory Card	miniSD™ Memory Card
File Format	JPEG (.jpg)	MPEG-4 (.3gp)	MPEG-4 (.3gp or .ASF)

Camera Shake

If handset moves while shooting, images may blur. Hold handset firmly or place it on a stable surface and use Self-timer.

Note ▶ Lens Cover

Use a soft cloth to wipe fingerprints and oil off lens cover.

CCD Camera

- Mobile camera is a precision instrument. However, some pixels may appear brighter or darker.
- Shooting/saving images while handset is hot may affect the image quality.
- Subjecting the lens to direct sunlight will damage the camera's colour filter.

Capturing Still Images

1. Open handset (clamshell open) and press ◉ in Standby
2. Select *Camera* and press ◉
3. Press ◎ until [icon] appears at top of Display
4. Frame image on Display
5. Press ◉ [camera icon]
6. Press ⊝ Save to save image
7. Press ⊙ to exit

Using Camera with Handset Closed

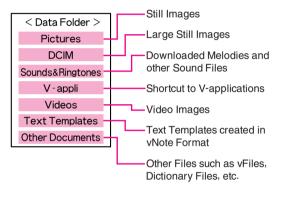
Open handset and rotate Display 180 degrees clockwise (☞P.18-21 "Using Viewer"). Then close handset with Display in Viewer position. Holding handset horizontally with Side Keys up, press Shutter Key for 1+ seconds to activate mobile camera.

Capturing Self Portraits

Open handset and activate mobile camera, then press [*] to switch to Internal Camera. Your image appears on Display as a mirror image.
Alternatively, open handset and activate mobile camera, then rotate Display 180 degrees clockwise. Turn handset around in your hand so the lens is facing you. Your image appears on Display as a mirror image. After shutter is released, preview image appears reversed.

Data Folder

Data Folder Contents

Saved files are organised in separate folders according to file format.

Opening Data Folder

1 Press ◉, select ***Data Folder*** and press ◉

2 Select a folder and press ◉

- To select a file in a created sub folder, select the sub folder and press ◉.
- To open miniSD™ Memory Card Data Folder, press ◎.

3 Select a file and press ◉

4 Press CLEAR/BACK to return to file list

MMS Mail Attachments

Example: Attaching an image from Pictures folder to MMS Mail

1 Press ◉, select ***Data Folder*** and press ◉

2 Select ***Pictures*** and press ◉

3 Select a file and press ⌒ Options

4 Select ***Send*** and press ◉

5 Select ***As Message*** and press ◉

6 Select the recipient field and press ◉

7 Enter a recipient and press ◉

8 Select the subject field and press ◉

9 Enter a subject and press ◉

10 Select the message text field, enter text and press ◉

11 Select ✉ on Media Console and press ◉

12 Select ***Send Message*** and press ◉

Vodafone live!

Automatic Network Setup

To use Vodafone live! services, first download network connection information from Vodafone live! Service Centre. Handset initiates Network Setup when ⊖, ⊖ or ◉ is pressed for the first time.
If handset is in Japanese mode, press ⊖ No, then change to English mode (☞P.18-24).

1 Press ⊖, ⊖ or ◉
2 Press ⊖ Yes
- Handset connects to the Network and retrieves required information.
- Follow onscreen instructions.

Web

Use Web to access the Mobile Internet directly from handset. Browse for image or sound files as well as information.

Vodafone live! Main Menu

Access Mobile Internet sites by selecting a topic from Vodafone live! Main Menu.

Auto Delivery Service

When available, request automatic info updates from Mobile Internet sites and download files via Web.

Searching the Mobile Internet

1 Press ◉, select ***Vodafone live!*** and press ◉
2 Select ***Vodafone live!*** and press ◉
3 Select ***English*** and press ◉
4 Select a menu item and press ◉
5 Repeat Step 4
6 Press ⓞ to exit Web
7 Press ⊖ Yes

Note ▶ Vodafone live! Main Menu content is subject to change.

Web Options Menu

Open Vodafone live! and press ⊙ Options to use the following functions.

Item	Description
Home	Open information saved as "Home"
Bookmarks	Open Bookmarks to access information or edit the list
Mark Page	Save the current information to Bookmarks
Save This Link	Download files from links
Save Items	Save images, sound files and vFiles to Data Folder
Enter URL	Enter a Mobile Internet addresses directly
Access History	Access Mobile Internet sites using previously entered URLs
Reload Page	Update information
Advanced	Send URL via SMS/MMS, open properties, search within information, customise settings, etc.
Exit	Exit Web

Messaging

Vodafone text communication services are available in Japan and overseas. Exchange text or multimedia messages with compatible handsets, PCs, etc. via the Net.

SMS

Exchange short text messages of up to 160 single-byte characters with SMS compatible Vodafone handsets.

MMS

Exchange long text messages of up to approximately 30,000 single-byte characters with MMS compatible Vodafone handsets, e-mail compatible handsets and PCs and other devices via the Net. Attach images, sounds or vFiles to messages. Send/receive up to 300 KB (attachment and message text).

Note ▶ 903SH handset is incompatible with Greeting, Coordinator, Relay Mail or Hotline. Messages from these services are not received.

Tip ▶
- An additional contract is required to use MMS and receive e-mail from PCs, etc.
- If a recipient's handset is off or out-of-range, the message is saved at the Centre, and delivered when recipient handset connects to the Network. The message is deleted if not received by the set Expiry Time.

Opening Messages

1 Press ◉, select *Messaging* and press ◉
2 Select *Received*, *Drafts*, *Sent* or *Unsent* and press ◉
3 Select a message and press ◉

Editing Messages

1 Open Draft or Unsent folder
2 *Draft*
1 Select a message and press ◉
Unsent
1 Select a message and press ◌ Options
2 Select *Edit* and press ◉
3 Edit the message

Customising Handset Address

Change the account name (alphanumerics before @) of initial handset mail address. Customising handset mail address helps reduce spam.

1 Press ◉, select *Vodafone live!* and press ◉
2 Select *Vodafone live!* and press ◉
Handset connects to the Network and Vodafone live! Main Menu opens.
3 Select *My Vodafone* and press ◉
4 Select ***各種変更手続き*** and press ◉
5 Select ***オリジナルメール設定・各種メール設定*** and press ◉
6 Select the text entry field below ***暗証番号を入力してください。*** and press ◉
7 Enter Centre Access Code and press ◉
8 Select *OK* and press ◉
9 Select 1.***各種メール設定*** and press ◉
10 Select 1.***メールアドレス編集*** and press ◉
11 Select the text entry field below ***ご希望のアカウントを入力してください。*** and press ◉
12 Enter an account name and press ◉
Enter between 3 and 30 single-byte characters.
13 Select *OK* and press ◉

Note: Error Messages

Message	Description
ご希望のEメールアドレスは既に登録されています。他のアドレスを入力してください	The address is already in use. Enter a different account name.
オリジナルメールアドレスを正しく入力してください	Entered address does not meet format requirements; try another.
一定時間経過しましたので再度暗証番号を入力して下さい	The specified time has elapsed. Press ◉ and start again.
暗証番号の入力に誤りがあります	The Centre Access Code is incorrect. Press ◉ and enter the correct Centre Access Code.

Note ▶ The procedure for searching the Mobile Internet may change without prior notice. For further information, contact Vodafone Customer Centre, General Information (☞P.18-47).

Messages Menu

Press ◉, then select *Messaging* and press ◉ to open Messages Menu.

Item	Description
Create Message	Create new message
Received	Open received messages
Drafts	Open draft messages
Sent	Open sent messages
Unsent	Open undelivered/cancelled/failed outgoing messages
Templates	Open messages saved as templates
Server Mail Box	Download and open list of messages on Server, or receive all messages on Server
Mail Settings	Customise general items, SMS, MMS, and Personal Folders. Create Speed Mail List.
Memory Status	View memory status of each Mail Box

Sending Text Messages

1 Press ◉, select *Messaging* and press ◉

2 Select *Create Message* and press ◉

3 Select the recipient field and press ◉

4 Enter a recipient

15:05 SMS Size: 0 Add Recipient Enter Subject Enter Text Options Back

Media Console

Phone Book

1 Select *From Phone Book* and press ◉

2 Select an entry and press ◉

3 Select recipient's mail address or Vodafone handset number and press ◉

Speed Mail

1 Press ⌒ Options, select *Speed Mail List* and press ◉

2 Select a recipient and press ◉

Sent Mail Record

1 Select a recipient and press ◉

Direct Entry

1 Select *Enter Phone No.* or *Enter Email* and press ◉

2 Enter a mail address or Vodafone handset number and press ◉

Sending to Group

1 Select *Select Group* and press ◉

2 Select a Contact Group and press ◉

3 When multiple recipients are included, press ⌒ Back to return to New Message window

5 Enter subject (MMS only)

1 Select the subject field and press ◉
2 Enter a subject and press ◉

6 Select the message text field and enter text, then press ◉

7 Press ◎ until ⌈ ⌉ appears on Media Console

For more about Media Console, see right.

8 Attach files (MMS only)

Attaching Images

1 Use ◎ to select on Media Console and press ◉
2 Select ***Saved Pictures*** and press ◉
3 Select a file and press ◉

Attaching Sound Files

1 Use ◎ to select on Media Console and press ◉
2 Select ***Saved Sounds*** and press ◉
3 Select a file and press ◉

Attaching Video Images

1 Use ◎ to select on Media Console and press ◉
2 Select ***Saved Videos*** and press ◉
3 Select a file and press ◉

9 When finished, use ◎ to select on Media Console and press ◉

10 Select ***Send Message*** and press ◉

Media Console

Media Console appears in New Message window for mail-related functions.

- When ⌈ ⌉ appears on Media Console, use ◎ to select icons. Otherwise press ◎ until ⌈ ⌉ appears.

Send
Enter a recipient, convert Message Type, send message, or use option settings.

Picture
Attach still images.

Sound
Attach sound files.

Video
Attach video images.

Others
Attach other types of files; attach Phone Book or schedule entries; create slides; check message text or attached files; or save to Draft or Templates.

Incoming Text Messages

Receiving MMS & SMS Messages

The Centre automatically delivers text messages to handset. ✉ appears. While ***Message received.*** appears, press ◉ to open Received folder.

Opening Received Text Messages

1. Press ◉, select ***Messaging*** and press ◉
2. Select ***Received*** and press ◉
3. Select a message and press ◉

Retrieving MMS Messages

The Centre delivers the initial portion of MMS messages when:

- The message was sent to multiple recipients
- Files are attached to the message

Follow the steps below to download the entire message and attachments:

1. Select a message (see above)
   Select an MMS message (MMS Notice).
2. Press ⊝ Options
3. Select ***Download*** and press ◉

Replying & Forwarding

Replying to Messages

1. Open a received message (see left)
2. Press ⊝ Options
3. Select ***Reply*** or ***Reply All*** and press ◉
4. Select ***Reply*** or ***Reply with Hist.*** and press ◉
5. Select the message text field and enter text, then press ◉
6. Select on Media Console and press ◉
7. Select ***Send Message*** and press ◉

Forwarding Messages

1. Open a received or sent message (☞P.18-39)
2. Press ⊝ Options
3. Select ***Forward*** and press ◉
4. Press ◉
5. Enter a recipient and press ◉
6. Select on Media Console and press ◉
7. Select ***Send Message*** and press ◉

V-applications

A variety of V-applications are available for use with Vodafone handsets.

- Download V-applications via Web.
- Enjoy Network games or real time information.
- Set a V-application to activate when handset enters Standby.

V-appli Menu

Press ◉, then select ***V-appli*** and press ◉ to open V-appli menu.

Item	Description
V-appli	Download, activate or delete V-applications
Settings	Adjust V-application settings
Information	View Java™ and JBlend™ rights

Downloading V-applications

1. Press ◉, select ***V-appli*** and press ◉
2. Select ***V-appli*** and press ◉
3. Select ***More V-Appli*** and press ◉
   Handset connects to the Network and Vodafone live! Game Menu opens.
4. Open a Mobile Internet site offering V-applications
5. Select a V-application and press ◉
6. Press ◉
   V-application is saved and confirmation appears.
7. Press ⊖ Yes

Function Menu

Main Menu	Sub Menu
V-appli	V-appli
	Settings
	Information
Vodafone live!	Vodafone live!
	Enter URL
	Bookmarks
	Saved Page
	Access History
	Browser Settings
Media Player	Music
	Videos
Messaging	Create Message
	Received
	Drafts
	Sent
	Unsent
	Templates
	Server Mail Box
	Mail Settings
	Memory Status
Camera	—
Data Folder	Pictures
	DCIM
	Sounds&Ringtones
	V-appli
	Videos
	Text Templates
	Other Documents
	Memory Status

Main Menu	Sub Menu
Tools	Calendar
	Alarms
	Auto Power On
	Calculator
	Voice Recorder
	Barcode
	E-Book
	Stopwatch
	Tasks
	World Clock
	Countdown Timer
	Expenses Memo
	Phone Help
Phone Book	Phone Book List
	Call Voicemail
	Manage Category
	Speed Dial List
	Contact Groups
	Settings
	Manage Ph.Book

Main Menu	Sub Menu
Call Log	All Calls
	Dialled Numbers
	Missed Calls
	Received Calls
	Call Timers
	Data Counter
	Answer Phone
	Call Costs
Connectivity	Bluetooth
	Infrared
	Network Settings
	Offline Mode
	Internet Setting
	Memory Card
My Details	—
Settings	Mode Settings
	Display Settings
	Sound Settings
	Date & Time
	言語選択
	User Dictionary
	Call Settings
	Video Call
	Security
	LBS Settings
	Master Reset

Specifications

903SH

Weight	Approximately 148 g (with battery, without miniSD™ Memory Card)
Continuous Call Time	Approximately 150 minutes (3G) Approximately 240 minutes (GSM)
Continuous Standby Time (when closed)	Approximately 300 hours (3G) Approximately 290 hours (GSM)
Video Call Continuous Call Time	Approximately 90 minutes
Charging Time (Power off)	AC Charger: Approximately 140 minutes In-Car Charger: Approximately 140 minutes
Dimensions (W × H × D)	Approximately 50 × 109 × 29 mm (when closed, without protruding parts)
Maximum Output	0.25 W (3G) 2.0 W (GSM)

- Continuous Call Time is an average measured with a new, fully charged battery, with stable signals. Continuous Call Time may be less than half this value if handset is out-of-range or signal is weak.
- Continuous Standby Time is an average measured with a new, fully charged battery, with handset closed clamshell closed without calls or operations, in Standby with stable signals. Standby Time may be less than half this value if handset is out-of-range or signal is weak. Standby Time may vary by environment (battery status, temperature, etc.).
- Call Time and Standby Time decrease with frequent use of Display/Keypad Backlights.
- Call Time and Standby Time may decrease when a V-application is active.
- Call Time and Standby Time decrease with handset use in poor signal conditions.
- Display employs precision technology. However, some pixels may appear brighter or darker.

AC Charger

Power Source	100 - 240 VAC, 50/60 Hz
Power Consumption	12 VA
Output Voltage/Current	5.2 VDC/650 mA
Charging Temperature	5℃ - 35℃
Dimensions (W × H × D)	Approximately 55 × 45 × 22 mm (without protruding parts, cord)
Cord Length	Approximately 1.5 m

Battery

Voltage	3.7 V
Battery Type	Lithium-ion
Capacity	900 mAh
Dimensions (W × H × D)	Approximately 35.8 × 4.5 × 55 mm (without protruding parts)

Headphones

Weight	Approximately 19 g
Cord Length	Approximately 169 cm

Customer Service

If you have questions about Vodafone handsets or services, please call General Information.
For repairs, please call Customer Assistance.

Vodafone Customer Centres

From a Vodafone handset, dial toll free at
157 for General Information or
113 for Customer Assistance

Call these numbers toll free from landlines.

Subscription Area	Service Centre	Phone Number
Hokkaido, Aomori, Akita, Iwate, Yamagata, Miyagi, Fukushima, Niigata, Tokyo, Kanagawa, Chiba, Saitama, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Yamanashi, Nagano, Toyama, Ishikawa, Fukui	General Information	0088-240-157
	Customer Assistance	0088-240-113
Aichi, Gifu, Mie, Shizuoka	General Information	0088-241-157
	Customer Assistance	0088-241-113
Osaka, Hyogo, Kyoto, Nara, Shiga, Wakayama	General Information	0088-242-157
	Customer Assistance	0088-242-113
Hiroshima, Okayama, Yamaguchi, Tottori, Shimane	General Information	0088-259-157
	Customer Assistance	0088-259-113
Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi	General Information	0088-247-157
	Customer Assistance	0088-247-113
Fukuoka, Saga, Nagasaki, Oita, Kumamoto, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa	General Information	0088-250-157
	Customer Assistance	0088-250-113

付録

機能一覧

メインメニュー	サブメニュー	参照先
Vアプリ	Vアプリ	☞P.17-2
	Vアプリ設定	☞P.17-8
	インフォメーション	☞P.17-2
Vodafone live!	Vodafone live!	☞P.16-3
	URL入力	☞P.16-4
	ブックマーク	☞P.16-6
	お気に入り	☞P.16-6
	履歴	☞P.16-4
	ブラウザ設定	☞P.16-13
メディアプレイヤー	ミュージック	☞P.7-9
	ムービー	☞P.7-11
メール	新規作成	☞P.15-7
	受信ボックス	☞P.15-18
	下書き	☞P.15-13
	送信ボックス	☞P.15-18
	未送信ボックス	☞P.15-18
	テンプレート	☞P.15-14
	サーバーメール操作	☞P.15-17
	メール設定	☞P.15-24
	メモリ確認	☞P.15-2
カメラ	—	☞P.6-2

メインメニュー	サブメニュー	参照先
データフォルダ	ピクチャー	☞P.9-2
	デジタルカメラ	☞P.9-2
	着信メロディ＆サウンド	☞P.9-2
	Vアプリ	☞P.17-4
	ムービー	☞P.9-2
	定型文	☞P.9-14
	その他ファイル	☞P.9-2
	メモリ確認	☞P.9-2
ツール	カレンダー	☞P.12-2
	アラーム	☞P.12-8
	自動電源On	☞P.12-11
	簡易電卓	☞P.12-12
	ボイスレコーダー	☞P.12-13
	バーコード／OCR	☞P.12-15
	電子ブック	☞P.12-23
	ストップウォッチ	☞P.12-20
	予定リスト	☞P.12-6
	世界時計	☞P.12-11
	キッチンタイマー	☞P.12-21
	マネー積算メモ	☞P.12-22
	ガイド機能	☞P.12-26
電話帳	電話帳	☞P.4-2
	留守番電話再生	☞P.13-5
	グループ設定	☞P.4-10
	スピードダイヤル設定	☞P.4-13
	メールグループ登録	☞P.4-11
	設定	☞P.4-8
	電話帳管理	☞P.4-7

メインメニュー	サブメニュー	参照先
通話履歴	全通話履歴	☞P.2-13
	発信履歴	☞P.2-13
	不在着信履歴	☞P.2-13
	着信履歴	☞P.2-13
	通話時間	☞P.2-14
	データ通信	☞P.2-14
	簡易留守録	☞P.2-9
	通話料金	☞P.2-15
外部接続	Bluetooth	☞P.10-2
	赤外線通信	☞P.10-9
	ネットワーク設定	☞P.10-16
	オフラインモード	☞P.2-20
	インターネット設定	☞P.10-17
	メモリカード	☞P.8-2
オーナー情報	—	☞P.4-14
設定	モード設定	☞P.11-2
	ディスプレイ設定	☞P.11-5
	サウンド設定	☞P.11-9
	日時設定	☞P.11-9
	Language	☞P.11-7
	ユーザー辞書	☞P.11-11
	通話設定	☞P.11-12
	TVコール設定	☞P.5-6
	セキュリティ設定	☞P.11-13
	位置情報設定	☞P.11-15
	初期化	☞P.11-15

故障かな？と思ったら

症状	確認すること	処　置
電源が入らない	●Ⓞを長く（２秒以上）押していますか？ ●電池切れになっていませんか？ ●電池パックが903SHに装着されていますか？	●Ⓞを長く（２秒以上）押してください。 ●電池パックを充電するか、充電されている予備の電池パックと交換してください。 ●正しく装着してください。
電源を入れたのに操作できない	●PIN On／Off設定が「On」に設定されていませんか？	●PIN On／Off設定が「On」に設定されているときは、PIN1コードの入力を求められますので、画面の指示に従って入力してください。（☞P.11-13）
電源を入れたときや機能の操作時に「USIMカード未挿入」と表示される	●USIMカードは正しく差し込まれていますか？ ●違ったUSIMカードをお使いではありませんか？ ●USIMカードのIC部に指紋などの汚れがついていませんか？	●USIMカードが正しく取り付けられていることを確認してください。正しく取り付けられているときは、破損している可能性があります。 ●正しいUSIMカードであることを確認してください。使用できないカードが取り付けられている可能性があります。 ●乾いたきれいな布で汚れを落として、正しくお取り付けください。
ボタン操作ができない	●誤動作防止が設定されていませんか？（「」表示） ●ダイヤル操作禁止が設定されていませんか？（「」表示）	●誤動作防止を解除してください。（☞P.1-23） ●ダイヤル操作禁止を解除してください。（☞P.11-14）
ダイヤルを押しても電話がかけられない	●誤動作防止が設定されていませんか？（「」表示） ●ダイヤル操作禁止が設定されていませんか？（「」表示）	●誤動作防止を解除してください。（☞P.1-23） ●ダイヤル操作禁止を解除してください。（☞P.11-14）
電話帳を使って電話がかけられない	●かけたい電話帳をシークレットメモリに登録していませんか？ ●電話帳使用禁止が設定されていませんか？	●シークレットモードにしてください。（☞P.11-14） ●電話帳使用禁止を解除してください。（☞P.11-14）
「圏外」が表示され、電話がかけられない	●サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいるのでは？	●電波の届く場所に移動してかけ直してください。

症状	確認すること	処　置
ダイヤルしても通話音（プープー…）が出る	●市外局番など「0」からはじまる相手の電話番号をダイヤルしていますか？ ●「圏外」が表示されていませんか？ ●オフラインモードが設定されていませんか？（「[icon]」表示）	●市外局番など「0」からはじまる相手の電話番号をダイヤルしてください。 ●電波の届く場所に移動してかけ直してください。 ●オフラインモードを解除してください。（☞P.2-20）
通話がとぎれたり、切れる	●電波の届きにくい場所にいるのでは？ ●電池切れになっていませんか？	●電波の届く場所に移動してかけ直してください。 ●電池パックを充電するか、充電されている予備の電池パックと交換してください。
通話中に「プチッ」と音が入る	●電波が弱くなって別のエリアに切り替わるときに発生することがあります。	—
充電ができない	●急速充電器の接続コネクターが903SHまたは卓上ホルダーに確実に差し込まれていますか？ ●急速充電器のプラグがしっかりとコンセントに差し込まれていますか？ ●電池パックが903SHに装着されていますか？ ●903SHが卓上ホルダーに確実に装着されていますか？ ●903SH、電池パック、卓上ホルダーの充電端子や急速充電器の接続コネクター、903SHの外部機器端子、卓上ホルダーの接続端子が汚れていませんか？ ●周囲温度が5℃～35℃以外になると、充電しないことがあります。 ●電池パックの寿命、または電池パックが異常です。	●もう一度、確実に差し込んでください。 ●もう一度、確実に差し込んでください。 ●正しく装着してください。 ●もう一度、確実に装着し直してください。 ●端子部を綿棒などで清掃してください。 ●周囲温度5℃～35℃の場所でご使用ください。 ●新しい電池パックと交換してください。
充電時間が短い	●電池パックに容量が残っている場合は、充電時間が短くなります。	—
熱くなる	●充電中に、急速充電器や卓上ホルダーが発熱することがあります。 また、長時間利用すると、903SHが熱くなることがあります。	●手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。ただし、903SHを長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。（☞P.xxii）
電池の消耗が早い	●使用環境（気温／充電状況／電波状態）、操作や設定状態によっては、電池パックの消耗が早くなります。	●「**完全に充電したときの利用可能時間**」、「**電池パックの持ちについて**」、「**電池パックの消耗を軽減するには**」を参照してください。（☞P.1-15～P.1-16）

症状	確認すること	処　置
画面の表示がちらつく	●蛍光灯の下では、画面の表示がちらつくことがあります。	—
着うた®やメディアプレイヤーを再生中に音が途切れる	●「サラウンド」を「On」にしている場合、着うた®やメディアプレイヤーを再生しているときにクローズポジションからオープンポジションにすると、瞬間的に音が途切れますが、故障ではありません。（☞P.11-9）	—
バックライトを消灯したとき画面の表示が暗い	●画面の特性によるもので、故障ではありません。	—
ハンドセット マネージャーを利用してBluetoothやUSB通信ができない	●パソコン側のBluetoothやUSBの接続ポートが、ハンドセットマネージャーで設定しているポートと同じですか？	●ハンドセット マネージャーのインターフェース設定でポートを合わせてください。
ハンドセット マネージャーと903SHが接続できなくなった	●ハンドセットマネージャーが正しく動作していますか？	●パソコンを再起動してください。

補足▶
- ハンドセットマネージャーを利用してデータをやりとりしているとき、903SHでキャンセル操作を行ってもタイミングによってはキャンセルできないことがあります。
- 故障の際の連絡先やアフターサービスについては、P.19-25を参照してください。

こんなときはご利用になれません

■「圏外」表示が出ているとき

サービスエリア外か電波の届かない場所にいるためです。
「圏外」表示が消え、受信電波の強さを示すバーが1本以上表示される場所へ移動してください。

■「充電して下さい」のメッセージが出て、電池アラーム音が鳴っているとき

電池残量がなくなっています。（☞P.1-17）
電池パックを充電するか、充電されている予備の電池パックと交換してください。

■「」表示が出ているとき

誤動作防止が設定されています。（☞P.1-23）
設定を解除しないとボタン操作はできません。ただし、電話がかかってきたときは、エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-6）を押して電話に出ることができます。

■「」表示が出ているとき

ダイヤル操作禁止が設定されています。（☞P.11-14）
ダイヤル操作禁止を解除しないと電話はかけられません。ただし、電話がかかってきたときは、エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-6）を押して電話に出ることができます。

Vアプリに関する画面表示

画面	原　因	処　置
一時停止中の Vｱﾌﾟﾘがあります 終了しますか? 一時停止中の Vｱﾌﾟﾘがあります 再開しますか?	●一時停止中のVアプリがあります。	●一時停止中のVアプリを終了してから、やり直してください。
○○ を本体にﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ します ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞｻｲｽﾞ: XXKB 保存ｻｲｽﾞ: XXKB ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞしますか? 電池残量が 足りないため 正常終了しない 可能性があります	●電池残量が少ないので、ダウンロードが正常に終了しない可能性があります。	●電池パックを充電してから、ダウンロードすることをおすすめします。
○○ を本体の空き容量が 不足しているため ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞにﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ します ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞｻｲｽﾞ: XXKB 保存ｻｲｽﾞ: XXKB ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞしますか?	●メモリが一杯です。	●㋹（OK）を押すと、ダウンロードを継続します。㋛（戻る）を押すと、ダウンロードを中止します。

画面	原　因	処　置
本体の登録可能 件数を超えて いるため 保存できません	●すでにVアプリが903SHに100件登録されています。（左記のメッセージは、確認メッセージとして表示されます。）	●不要なVアプリを削除してから、やり直してください。（☞P.17-6）
既に登録されている ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝより新しい ﾊﾞｰｼﾞｮﾝです ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞを 続けますか？	●ダウンロードしようとしているVアプリの古いバージョンが、903SHに登録されています。	●◯（Yes）を押すと、ダウンロードを継続します。◯（No）を押すと、ダウンロードを中止します。

補足▶ 次のような内容が表示されたときはダウンロードできません
●「不正データのためダウンロードできません」
●「アプリケーションサイズが大きすぎるためダウンロードできません」
●「既に登録されているアプリケーションと同じバージョンですダウンロードを続けますか？」

こんなときは（メール）

■写メールがうまく送信できないとき

次のような原因が考えられます。詳しくは、「3Gガイドブック」を参照してください。

- **相手がMMS／スーパーメール／ロングメールなどの契約をしていないとき**
- **相手がMMSに対応していないとき**
  - ■相手がスーパーメール対応機やロングメール対応機などのときは、受信できるデータ容量が異なります。
- **相手がJPEG形式に対応していないとき**
  - ■相手がPNG形式に対応しているときは、JPEG形式の画像をPNG形式に変換して送信できます。（☞P.9-13）

■受信メールを保存する容量がないとき

新しいメールを受信することはできません。このときは、「✉」が赤色で表示されます。受信できなかったメールは、サービスセンターに蓄積されます。

- 不要な受信メールを削除してください。（☞P.15-21）
  新しいメールを保存するメモリができると、自動的にサービスセンターに蓄積されたメールを受信します。
- 受信メールを保存するメモリがない場合に新しいメールが送られてきたときは、保護されていないメールを自動削除することができます。（☞P.15-25）
- 各サービスの使用メモリの合計が 100%未満のときでも、新しいメールを受信できないことがあります。このときも不要な受信メールを削除してください。（☞P.15-21）

区点コード一覧

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興

区点1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
	く									
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
	け									
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
	こ									
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫

区点1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
	さ									
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
	し									
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十

区点1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
	す									
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
	せ									
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎

区点1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
	そ									
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
	た									
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
	ち									
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			

区点1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ〜の										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃

区点1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁

区点1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
や										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									

区点1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ゆ										
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ										
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら										
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
り										
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
る〜れ										
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
ろ										
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
わ										
473					倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	口	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥

区点1~3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇

区点1~3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱

区点1~3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷

区点1~3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

絵文字一覧

注意▶ 絵文字非対応のボーダフォン携帯電話や、E-mailでは表示されません。

補足▶ □部の絵文字は動画です。

メモリ容量一覧

メール	
送信ボックス	最大１Mバイト※
下書き	最大１Mバイト※
未送信ボックス	最大１Mバイト※
受信ボックス	最大４Mバイト
テンプレート	最大200Kバイト

※送信ボックス、下書き、未送信ボックスはメモリを共有しています。

Vアプリ	
Vアプリ	最大８Mバイト、100件※

※データフォルダ（☞P.9-2）とメモリを共有しています。

主な仕様

仕様変更などにより、図や内容が一部異なることがあります。

■903SH

項目	仕様
質量	約148g（電池パック装着時、メモリカード含まず）
連続通話時間	約150分（3Gモード） 約240分（GSMモード）
連続待受時間 （クローズポジション時）	約300時間（3Gモード） 約290時間（GSMモード）
TVコール連続通話時間	約90分
充電時間 （903SHの電源を切って充電した場合）	急速充電器　：約140分 シガーライター充電器：約140分
サイズ （幅×高さ×奥行）	約50×109×29mm（クローズポジション時） （アンテナ、突起部除く）
最大出力	0.25W（3Gモード） 2.0W（GSMモード）

- 上記は、電池パック装着時の数値です。
- 連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。
- 連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、903SHをクローズポジションにした状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所（ビル内、車内、カバンの中など）や、圏外表示状態の待受では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境（充電状態、気温など）によっては、ご利用可能時間が変動することがあります。
- 電池の利用可能時間は、電波が安定した状態で算出した当社計算値です。電波の弱い場所での通話や圏外表示での待受は電池の消耗が多いため、ご利用時間が半分以下になることがあります。
- パネル照明が点灯している状態での利用（Vodafone live!ご利用時など）が多いときは、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。
- Vアプリを起動させた状態では、通話時間および待受時間が短くなる場合があります。
- 操作や設定状態によっては、通話時間および待受時間が短くなることがあります。（☞P.1-15）
- 液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素がありますので、あらかじめご了承ください。

■急速充電器

電源	AC 100V-240V、50／60Hz共用
消費電力	12VA
出力電圧／出力電流	DC 5.2V／650mA
充電温度範囲	5℃～35℃
サイズ（幅×高さ×奥行）	約55×45×22（突起部、コード除く）
コードの長さ	約1.5m

■電池パック

電圧	3.7V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	900mAh
外形サイズ（幅×高さ×奥行）	約35.8×4.5×55mm（突起部 除く）

■ステレオイヤホンマイク

質量	約19g
コードの長さ	約169cm

索引

英数字

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

保証書とアフターサービス

■**保証書**

903SH本体をお買い上げいただいた場合は、保証書がついています。

- **お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。**
- **内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。**
- **保証期間は、保証書に記載しております。**

■**アフターサービスについて**

修理をご依頼になる前に、「**故障かな?と思ったら**」(☞P.19-4)に掲載されている項目をもう一度ご確認ください。該当する症状がないときや、異常を解決できないときは、ご契約いただいたボーダフォンの故障受付(☞P.19-25)にご相談ください。

その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- **保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。**
- **保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。**

その他アフターサービスの詳細は、お買い上げいただいた「**取扱店**」、最寄りの「**ボーダフォンショップ**」または「**お問い合わせ先**」(☞P.19-25)までご連絡ください。

なお、補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は、生産打ち切り後6年です。

注意▶

- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録/設定した内容が消失/変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。

  なお、故障または修理の際に903SHに登録したデータ(電話帳/画像/サウンドなど)や設定した内容が消失/変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解/改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

ボーダフォンお客さまセンター

総合案内　ボーダフォン携帯電話から157（無料）
紛失・故障受付　ボーダフォン携帯電話から113（無料）

■一般電話からおかけの場合

ご契約地域	お問い合わせ内容	電話番号
北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	0088-240-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-240-113（無料）
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	0088-241-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-241-113（無料）
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	0088-242-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-242-113（無料）
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県	総合案内	0088-259-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-259-113（無料）
徳島県・香川県・愛媛県・高知県	総合案内	0088-247-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-247-113（無料）
福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	0088-250-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-250-113（無料）

Vodafone 903SH　取扱説明書

2005年７月　第１版
ボーダフォン株式会社

※ ご不明な点はお求めになられた
　ボーダフォン携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名：Vodafone 903SH
製造元：**シャープ株式会社**

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。
※プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（電話帳・通信履歴・メール等）は
　事前に消去願います。

この印刷物は、再生紙を使用しています。

古紙配合率100 %再生紙を使用しています

この印刷物は、植物性大豆油インキで印刷しています。

TINSJA118AFZZ
05G 98.0 TR AI388①